

事項五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉

五九八 一月十二日 幣原外務大臣ヨリ
在奉天吉田総領事宛

郭松齡事件後ノ奉天省ノ財政状態等ニ関シ調

査回報方指示ノ件

付記一 大正十三年二月二十二日在奉天內山総領事代

理ヨリ松井外務大臣宛公第六一号

東三省財政會議開催ニ関スル于冲漢ノ内談報
告ノ件

二 大正十四年十二月十日付在鉄嶺田中領事ヨリ

幣原外務大臣宛機密第八九号

政変時奉天票等ノ紙幣維持ニ関スル在奉天吉

田総領事宛具申転送ノ件

三 大正十四年十二月二十六日朝鮮銀行業務部寺

田雄資ヨリ亞細亞局第一課岡崎勝男宛報告

満州動乱ノ奉天票、特産物ニ及ボセル影響ト

奉天票ノ将来ニ関スル件

通二機密第五号

奉天省ニ於ケル戦局一段落ヲ告ケ奉票ノ市場相場モ一応安
定ヲ見タルヤニ伝ヘラルル処今次ノ戦費調達ニ因リ同省財
政ハ不勘窮窮ヲ告クルニ至リタルヘク同時ニ今後ニ於ケル

額、準備額

以上

本信写送付先 哈爾濱、吉林、間島、牛莊、遼陽、安

東、鉄嶺、長春、齊々哈爾、鄭家屯

(付記一)

大正十三年二月二十二日在奉天內山総領事代理ヨリ松井外務

大臣宛公第六一号

東三省財政會議開催ニ関スル于冲漢ノ内談報告ノ件

公第六一号 (大正十三年二月二十九日接受)

大正十三年二月二十二日

在奉天

総領事代理 領事 內山 清 (印)

外務大臣男爵 松井 慶四郎殿

東三省財政會議開催ニ関スル件

東三省財政會議ハ孫吳兩督軍ノ外吉黑兩省財政庁長、永衡
官銀号広信公司総弁及奉天省各關係者ヲ以テ近ク当地ニ於
テ開催セラルル趣ナルカ同會議ノ内容ニ就キ于冲漢力鎌田
満鉄公所長ニ内談シタル処ニヨレハ東三省財政會議ト云フ
モ実ハ吉黑財政整理會議カ主ニシテ各銀号ノ内情ニ就テ言
ヘハ

永衡官銀号ノ官帖発行現在額ハ三億二千万吊(目下ノ相

五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉 五九八

張作霖ノ政策施設ニ対スル一般人民ノ信望カ昔日ノ如クナ
ルヲ得ルヤ否ヤモ問題ナル上時局中諸取引使用貨幣ヲ安全
ナル金票又ハ銀ニ変更セムトスル傾向ヲ生シタルヤニ伝ヘ
ラレタニ鑑ミ奉天票ノ通用力ハ場合ニ依リテハ従前ト同様
ナル能ハサルニ至ルヘントモ認メラルルニ付テハ当方参考
ノ為メ奉天省財政状態並奉天票ノ地位等ニ関シテハ此ノ上
トモ隨時報告アリ度尚此際奉天省現行紙幣ニ関シ左記ノ点
精々詳細御取調ノ上回報相成度此段重テ照会申進ス

記

- 一、大正六年七月奉天省支那銀行發行洋錢票兌換ニ関スル
日支兩國金融調節委員ノ協定並其後ニ於ケル各種協定
(秘密協定ヲ含ム)ノ正文(第一回協定ハ除ク)並成立
事情
- 二、右等協定ニヨル小洋票回收状況(即大洋本位ノ勵行程
度並小洋票ノ現状)
- 三、右等協定ニヨル対日支人兌換状態
- 四、東三省現行紙幣(私帖ハ含マス)並其發行者名、發行

場現大洋一元ニ付百二十吊)ナルカ曾テ大洋票ヲ發行シ
テ整理ニ着手セシモ是又殆ント無価値トナリ所期ノ目的
ヲ達シ得ス東三省官銀号或ハ東三省銀行ヨリ大洋票ヲ發
行シテ整理スヘシトノ意見出テタルモ却テ共倒レニ陥ル
ヘキヲ顧慮シ取止メタリ尚永衡官銀号ハ担保流レノ土地
家屋油房等時価官帖發行額ノ六、七割ニ相当スル財産ヲ
有シ且多大ノ準備金モアレハ整理些シテ困難ナラサルモ
広信公司ニ至リテハ弁法ニ苦シム次第ニテ如何ニ処理ス
ヘキカハ兎ニ角今回ノ會議ニ依リテ決セラルヘシ云々

尚東三省各銀行号ノ現状ニ付テハ

東三省官銀号ハ小洋票三千二百萬元ヲ發行シ居レルカ本
年陽曆一月ヨリ漸次回收シツツアリ同号ハ準備金トシテ
新鑄大洋銀九百四十万円ヲ有ス(尚目下兵工廠ニテ毎日
二万円宛鑄造シツツアリ)又興業銀行ハ資本金五百萬元
ナルカ内張作霖ノ二百萬元ニ対シテ年一割ノ利息ヲ付ス
ル為姜会弁ハ少カラス苦痛ヲ感シ居レリ尚東三省銀行ハ
官銀号二百萬元、張作霖百萬元、興業銀行五十万円、吉
林省百萬元、黑龍江省五十万円ヲ出シ計五百万円ノ資本
金ヲ以テ設立シタルモノニシテ多少ノ準備金ヲ有ス

尚旧広信公司総弁某ノ談ニ依レハ

黒龍江官銀号ハ開弁當時資本金五十万兩始メハ營業順調ナリシモ取付ニ会ヒテ打撃ヲ受ケ三百万元ノ損失ヲ招ケリ、広信公司ハ三百万兩ノ官商合弁ニシテ民国三、四年頃一億四千万兩ノ帖子ヲ発行シ其ノ後多少回収シタルモ官銀号ノ欠損アリテヨリ兵餉ヲ七百万兩立替ヘテ痛手ヲ負ヒ其ノ後モ兵餉ノ立替払少カラス遂ニ兩行ヲ合併シ損失埋合セノ為帖子ヲ濫發シタルハ目今ニテハ恐ラク最初ノ一億四千万兩吊ノ二、三倍ニモ上リ居ラン広信公司ハ多少ノ林場土地家屋等ノ担保流ヲ有スルモ兵餉ノ回収ハ望ナカラシ云々

トノ由ニ有之候

右何等御參考迄此段及報告候

敬 具

(付 記一)

大正十四年十二月十日付在鉄嶺田中領事ヨリ幣原外務大臣宛
機密第八九号

政変時奉天票等ノ紙幣維持ニ関スル在奉天吉田総領事宛具申
転送ノ件

機密第八九号

(大正十四年十二月十五日接受)

大正十四年十二月十日

在鉄嶺

領事 田中 莊太郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

大正十四年十二月十日付奉天総領事宛機密

第六四号写送付

件 名

一、奉天政權移動ニ際シ紙幣維持ノ件

(別 紙)

機密第六四号

大正十四年十二月十日

在鉄嶺

領事 田中 莊太郎

在奉天 総領事 吉田 茂殿

奉天政權移動ニ際シ紙幣維持ノ件

在哈爾賓総領事發貴官宛電信第六八号奉天政權移動ノ場合張作霖及其系統ノ機關銀行發行紙幣維持ノ件ニ関連シ当地方流通同種紙幣奉天票ハ申ス迄モナク張作霖政府ノ信用ニ依リ發行流通スルモノニシテ從テ張ノ地位如何ニ依リ其通用力ニ變動ヲ来スモノナルハ明ニ有之今般支那時局推移ニ

件ヒ郭松齡反奉ヲ最近ノ變局トシ奉天票ハ著シク暴落セルモ尚金票ニ対シ二百元以内ニ止マリ居ルハ寧ロ意外トスル処ナルカ右ニ関シ支那商ハ仮リニ張作霖失脚シ郭松齡之ニ替ルトスルモ郭カ一朝ニシテ奉天票ノ通用ヲ維持セサルカ如キ暴政ヲ以テ奉天省ニ臨ムモノトハ想像セラレス從テ奉天票ハ右地方的政変ニ依リ根本的ニ通用力ヲ失フモノニ非ストノ期待ノ下ニ今日ノ処寧ロ安心シ得ル為メナル実状ナルカ畢竟郭カ新政府ヲ樹立シ且其標榜セル省内幣政改革ニ着手スル場合ヲ予想シ郭カ其財政ヲ如何ニシテ維持スルカヲ考フル時ハ一般商民ノ前記期待ハ果シテ裏切ラレサルヤ否ヤ疑問ナリ殊ニ郭カ奉天票ヲ維持スト雖モ北京方面ヲ中心トスル政局ノ推移ニ依ル郭ノ政治上ノ地位如何ニ依リ奉天票ノ信用ハ如何ニ變動スルヤ之レ強チ杞憂トスルヲ得ス要之今後ノ奉天票ノ価値ハ極メテ不安定ノモノトスヘク若シ之カ通用力ヲ失ハサル迄モ更ニ一段ノ暴落ヲ見ルニ於テハ地方財界ノ混乱想像ニ難カラス之カ為本邦商ノ被ル打撃ハ由々數キモノアルヘシ目下当地方本邦人ニ於テハ已ニ奉天票ノ危険ヲ知念シ之ヲ所持スルモノ少ナキモ支那商ニ対スル売掛代金及先約定取引額ノ如キ莫大ニ達シ(当地商業

會議所ノ調査ニ依レハ奉天票手持約二十万元、売掛代金約金八十万元、荷渡不能トナルモノ約金百七十五万円ナリ)開原地方ニ至リテハ土地柄更ニ數倍ニ達スヘク之カ整理ハ殆ト不可能ニ終ルヘク奉天票ノ前途極メテ重要視セサルヘカラス就テハ前記哈爾賓総領事電報ノ件御措置相成ル場合右当地奉天票ノ狀態共ニ御考量ニ加ヘラルル様致度ク此段不取敢申進ス

写送付先 外務大臣、在支公使、関東長官、上海商務書

記官、哈爾賓、吉林、長春、安東、遼陽、牛莊、鄭家

屯、各領事官

(付 記三)

大正十四年十二月二十六日朝鮮銀行業務部寺田雄資ヨリ亜細亞局第一課岡崎勝男宛報告

満州動乱ノ奉天票、特産物ニ及ボセル影響ト奉天票ノ将来ニ関スル件

(備考記)

一、満州動乱ノ奉天票ニ及セル影響並ニ奉天票ノ将来奉天軍ノ戦況ニ比例シテ百九十元台ニ低迷シツツアリシ奉票ハ郭松齡ノ反逆以來張作霖ノ威勢地ニ墜チ奉天軍ノ没落日ニ近ツクト噂セラレ殊ニ張作霖カ亡命ノ準備トシテ官銀号ヨリ多額ノ現大洋ト金票ヲ引出シ之ヲ諸方ニ陰匿シタリ

トノ報伝ハルヤ奉票ハ遂ニ二百元台ヲ割リ釣瓶落シノ慘落ヲ呈シ十二月十六日二百二十六元五十錢ト未曾有ノ安値ヲ唱エ前途益々不安ノ色濃厚ナリ奉票ノ慘落前途不安ノ氣配ハ各方面ニ影響ヲ及セル事甚大ニシテ殆ト華商ニ対スル商取引ノ杜絶ヲ見ルニ至リ最モ直接ナルモノ一、二ヲ挙クレハ奉天取引所ニ於テハ売買証拠金並ニ手数料ノ金建改正ノ議起リ支那郵便局ハ時局安定マテ奉票ニヨル切手印紙ノ不売ヲ通達シ其他奉票建ニヨル物価運賃等總テ二割方ノ騰貴ヲ示セリ

郭松齡氏東三省ヲ把握スルトセハ奉票ノ運命ハ如何ト云フ問題ニ関シテハ諸説区々トシテ一定セサレトモ大体ニ於テ樂悲両論ニ別レ悲觀論者ハ郭氏政權ヲ握レハ奉票ノ流通ヲ禁止スヘク從ツテ奉票ハ留同様ノ運命ニ立チ到ルヘシト極端ナル説ヲ為セ共此ノ論ハ余リニ乱暴ニ失ス次ニ樂觀論者ハ郭氏ハ明カニ奉票ヲ認ムルコトヲ言明セルヲ以テ漸次復旧スヘシト其ノ前途ヲ樂觀セルモノアリ今遽カニ予斷ヲ許ササレトモ現在奉天票ノ流通高ハ二億元余ト稱セラルルヲ以テ郭氏ニシテ奉票ヲ認メストセハ東三省ハ財政的ニ破滅スルノ他ナカルヘク經濟的見地ヨリスルモ財政的見地ヨリ

スルモ到底奉票ノ廃止ハ行ヒ得サル処ナリ殊ニ滿蒙ノ地ハ吾國ト特殊ノ關係アリ巨額ノ資金ヲ投シ各種ノ事業ニ從事セル經濟的連鎖ノ關係ニ於テ奉票ノ廃止ハ邦人ニ対シ絶大ナル打撃ヲ与フヘク吾國トシテモ默視スルコト能ハサルナリ

曩ニ奉票ノ兌換停止ニ際シテハ邦人ニ対スル奉票ノ決済ハ予メ朝鮮銀行ニ金預金ヲ為シ置キ決シテ邦人ニ対シ迷惑ヲ及サスト協定シタル前例モアルコトナレハ此際若シ郭氏ニシテ奉票ノ廃止ヲ斷行スルカ如キコトアラムニハ吾カ当局トシテモ相當ノ処置ニ出スヘク奉票廃止ハ東三省支那住民ヲシテ經濟的危機ニ陥ラシムルノミナラス在留外國人ノ財産ヲ脅威スルコト絶大ナルヲ以テ國際法上ヨリスルモ充分抗議スル權利ヲ有スルナリ然ラハ郭氏ニシテ奉票ヲ承認繼續スルトセハ果シテ如何ト云フニ第二奉直戰後ニ於ケル奉票ノ流通高ハ二億元ヲ突破シ奉直戰ノタメ増發セラレタル發行額五千元余ト稱セラレ戰勝張氏ノ勢力旭日ノ有様ニアリシヲ以テ奉票ノ価値モ戰前ニ比シ大差無キ価値ヲ維持シ居タルモ實ニ於テ亂發ニ依ル価値ノ下落ハ已ニ胚胎シ居タルモノニシテ早晚東三省戰後財政整理ノ如何ニヨ

リテハ漸次的下落ヲ現出スヘカリシナリ然ルニ張氏ハ戰後財政整理ニ対シ更ニ積極的方針ニ出テ American Bank Note Co. ニテ印刷セル五千元ノ新券ヲ東三省官銀号ヲシテ發行セシメタリ乱暴ノ至リト謂フヘキナリ恐ラクハ支那統一ノ妄想ニ囚ハレ從テ積極方針ニ出テタル結果ナラム張氏ノ積極方針ハ遂ニ其ノ身ヲ誤リ昨日ニ變ル今日ノ有様ト哀レヲ止メシハ半ニ張氏一個人ノ不運ニ止マラス彼力採リシ積極的財政方針ノ反動モ亦必ス襲來セサルヘカラサルナリ戰前ニ於ケル奉票流通高ヲ一億五千元トスレハ今日ニ於ケル流通高ハ其ノ倍額タル三億元ニ近キモノアラム殊ニ張作霖カ官銀号ヨリ現大洋約二千元其他数百万円ノ金票ヲ引出シタルコトハ官銀号ノ滙兌準備ヲ涸渴セシメ發行銀行タル官銀号ノ基礎ヲ根本的ニ破壊セルモノナルヲ以テ奉票ノ信用ハ甚敷減滅セラレ居ルカ故ニ郭氏力戰後ニ於ケル奉票ノ整理ニハ不尠苦心ヲ要スヘク不換紙幣トシテ其ノ価値ハ貨幣數量說ノ原則ニヨリテ支配セラルルモノトスルモ已ニ其ノ半額ニ下落スヘキヲ以テ若シ郭氏ノ財政整理宜シキヲ得ルトスルモ戰前ノ百五十元ニ対シ三百元位迄ハ下落スヘク若シ郭氏ニシテ奉票整理ノ宜シキヲ得サレハ三百

元ヲ超エテ更ニ下落スヘク斯クテハ東三省ヲシテ經濟的危機ニ陥ラシムヘキヲ以テ吾カ当局トシテモ傍觀スルコトヲ得サルニ至ラン要スルニ郭氏戰後財政ノ整理ハ活目ニ価スヘク又張氏復活スルカハ又張氏ノ運命ヲ決スルニ至ラム一方何レニスルモ奉票ノ將來ハ不換紙幣論ノ實際現象トシテ研究ニ価スルモノナリ吾カ当局トシテモ此際邦人ノ財産保護ノ為メ相當ノ道ヲ講セサル可カラス即チ或ハ奉票建ニヨル既存契約ニ関シテハ契約當時ノ換算相場ニ從ヒ金票ニヨル契約トシテ存続セシムルカ或ハ奉票ヲ所持セル外人ニ對シテハ滙兌ニ準シ一定ノ換算率ヲ設ケテ引替ヘセシムル等之レカ実行ヲ確保スル為メニハ相當額ノ金又ハ現銀ヲ積立タシメ万一ノ場合ニ処スル相當ノ協定ヲ予メ為シ置クコトハ目下ノ急務ナリト思惟ス

二、滿州動亂ノ特產物ニ及セル影響

滿州ニ於テハ結氷ト同時ニ地方ノ交通便利トナル為メ毎年結氷期ニ入ルト同時ニ特產ノ出廻モ旺盛トナルヲ常トス然ルニ本年ハ郭松齡ノ反逆以來滿州ニ於ケル治安ハ極度ニ不安ニ陥入り加フルニ奉票ノ暴落ハ全般ノ商取引ニ一大頓挫

ヲ来シ滿州ニ於ケル最大輸出品タル特産物界ニ及セル影響モ頗ル甚大ナルモノアリ

由來特産物取引ハ總テ奉票建ニヨリ金票、現大洋建等ヲ用ヒタルコトナシ之レ産地農民間ニ於ケル奉票ノ流通勢力如何ニ普遍的ナリシカヲ知ルニ足ラム然ルニ奉票ハ今日二百元台ノ大暴落ヲ来セルヲ以テ農民ノ奉票ニ対スル不安漸クニシテ萌シ更ニ一方日米為替ノ好調ト上海支米為替ノ下落ハ大連銀ノ下落ヲ誘致シ為ニ特産ハ益々商内洩リ農民ノ売リ洩リト共ニ一大閑散状態ヲ現出スルニ至レリ

特産商ニツキテ聞クモ例年ナレハ年末ハ繁忙ヲ極ハムヘキニ本年ハ十二月ニ入りテハ殆ント昨年ノ十分ノ一ノ商内モ行ハレスト歎シ居タリ今當行ノ取扱ヘル特産物荷為替ニツキテ昨年ト本年トヲ比較スルニ左表ニ示スカ如ク本年ニ比シ出廻リ後レタルモ十一月ニ入りテハ旺盛トナリ昨年ニ比シ多額ナリシニ十二月ニ入りテハ俄然大減少ヲ来シ今日迄ニ於テ漸ク四万六千円ヲ取扱ヘルニ過キス之ヲ昨年ニ比スレハ殆ント比較ニナラス今後猶多少取扱フトシテモ昨年ノ十分ノ一ニモ達セサルナリ以テ時局ノ特産界ニ及セル影響ノ如何ニ大ナルカラ知ルニ足ラン

政難ニ困惑シ辭職ノ意思ヲ以テ帰郷シ袁金鎧後任タルヘジトノ風説ニ依ルモノト思料セラル

六〇〇 三月五日 鈴木朝鮮銀行総裁ヨリ
佐分利通商局長宛

奉天票ノ暴落ニ関スル件

東調第二八号

大正十五年三月五日

朝鮮銀行總裁 鈴木 嶋吉

通商局長 佐分利 貞男殿

一、奉天票ノ暴落ニ関スル件

首題ニ付別紙写ノ通り弊行奉天支店ヨリ報告有之候間御参考迄御一覽相煩度得貴意候也

奉天票ノ暴落ニツキ（大正十五年三月一日奉天支店報告）

金票トノ比較ニ於テ張郭戦後ノ如ク奉天票ノ価値ヲ落トセシコト未タ曾テ其ノ例ヲ見サルナリ即チ第一次奉直戦ノ當時ハ最高百六十五元ナリシカ第二次奉直戦ニ於テ最高二百元ヲ示シ奉票ノ価値問題ニ就テ甚タシク内外ノ危懼スル所トナリシカ今次ノ張郭戦ニ於テハ遂ニ最高二百四十元ヲ突

特産物荷為替取扱高比較（円）

大正十三年 大正十四年

九月	二四二、三二六	四六、六二四
十月	二三九、九一六	三二九、〇八四
十一月	二一四、二三二	四二二、〇五九
十二月	八四一、三七八	四六、八五二

（十二月十八日現在）

（大正十四年十二月十九日奉天支店調査報告）

欄外記入 本調査ハ弊奉天支店ヨリノ報告ニ有之候処、御参考迄御一覽被成下度、尚本書ハ外部ニ公表セサルモノニ付特ニ貴官限り可然御含之上御処置相願度候以上得貴意候 拝具 寺田

五九九 二月二十日 在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

奉天票暴落ノ原因ニ関シ報告ノ件

第六三号

旧正月明ケノ十八日初取引ニ於テ奉票ハ二百五十元四十仙ノ安値ヲ表シ爾來漸落本二十日二百七十七元五十仙ニ暴落目先安ヲ唱フ暴落原因ハ種々ノ説アルモ（一）日本為替ノ高唱（二）支那時局ノ戰雲暗冥（三）奉票ノ濫発四王省長ノ昨十九日財

破シ世人ヲ驚愕セシメタリ此ノ當時ニ於テ邦人ハ奉票ヲ見ルコト恰モ「ルーブル」紙幣ノ如ク殆ト手持スル者無キ状態ナリシカ支那人側ニ於テモ大官連ヲ初メトシ奉票ヲ手持セシ商人等モ争ヒテ奉票ヲ売り之ヲ金票若クハ現大洋ニ交換スル状態ナリキ然ルニ時局ノ収マリシ今日ニ於テ奉天票ノ価値暴落ヲ告ケ奉天派ノ危急存亡ノ秋タリシ張郭戦ノ當時ヨリ却テ下値ナルハ一見洵ニ奇異ノ感ナキ能ハス茲ニ於テ一般市民ハ奉天票ノ将来ニ就テ非常ニ悲觀説ヲ唱フル者多ク金票トノ比較ニ於テ将来三百円若クハ夫レ以上ニ達スルニ非サヤト説ク者スラ出テタリ日滿貿易ニ於テ奉天票ヲ邦人カ絶対ニ取扱ハサルヘカラサル關係ニアル以上其ノ暴落原因ヲ調査シ以テ之カ対策ノ樹立乃至成行監視ノ資料ニ供スルコト亦徒事ニ非サルヘシ依テ奉票市価カ張郭戦後如何ナル理由ニヨリテ暴落セシヤヲ考察スルニ大要左ノ如キモノアリ

○第一、奉天票ノ増発カ一般的ニ知悉サレシコト

奉天票ノ価値ハ其ノ増発ニヨリテ崇リヲ受クルコトハ今更説明ヲ要セサレトモ奉天票カ果シテ如何ナル程度ニ増発サレシヤト言フ点ニ至ツテハ全ク未詳ニテ張郭戦中ハ単ニ市

場ノ噂ニ止マリ数字的ニハ知レサリキ然ルニ戦後二億五六千万元ナル数字ノ支那側ニヨリテ発表サレタルヲ以テ世人ハ今更ノ如ク驚ケリ蓋シ實際ノ発行高カ此ノ程度ナリト信セムニハ余リニ過少ナルカ如ク恐ラク當時ニ於ケル市場ノ心理状態ヲ推測セハ彼等ハ官銀号ノ発表ニシテ既ニ三億ニ近キ数字ヲ示セル故何事ニモ駭引多キ支那側ノ事ナレハ實際ノ数字ハ四億以上ニモ達セシニ非サルヤト信シタレハナリ之レ支那官憲ノ從來ノ遣口ヨリ見テ当然ノ事理ナリ奉天票カ肺患のニ崩レ行ク一ツノ理由ハ確カニ此ノ点ニ存スルモノト信セラル

第二、張郭戦當時ハ特産物ノ出廻リ期ナリシコト

一ケ年ヲ通シテ奉票ノ最も高価ナル季節ハ即チ特産物出廻リ期ニ相当スル十一月及十二月ナリ張郭戦ハ恰モ此ノ時機ナリシ為メ戦争ノ如何ニ拘ハラス輸出商筋ノ奉票買付カ毎日幾万トナク市場ニ現レタリ斯クシテ自然ニ市価ヲ緩和サレタルヲ以テ奉票ハ世人ノ想像程ニ下落スルニ至ラスシテ済ミタリ

○第三、戦争中郭軍側ハ奉天票ノ将来ニ向ヒテ有効ヲ宣言セシコト

外高ク維持サレ来リタルナリ

○第五、奉天票増発ノ計画カ具体的ニ暴露サルルニ至リシコト

最近官銀号ハ米國鈔票公司ニ一億元ノ奉票印刷ヲ注文シ旧四月頃迄ニハ着奉ノ予定ナリ又公濟平市錢号ニテハ奉天大西関ニ銅元票十仙、二十仙、五十仙、壹元ノ新紙幣印刷ノ為メ現大洋十八萬元ヲ以テ機械ヲ購入シ印刷所ヲ造リ旧二月頃ニハ印刷シ得ル準備ヲ為セル等奉票紙幣増発ノ計画カ具体的ニ外部ニ暴露セラレタルニヨルモノナリ

○第六、奉天政府ハ軍備其他ノ諸施設ニ関シ今後益々金票並ニ銀(鈔票又ハ現大洋)ヲ必要トスルコト

奉天政府ハ被服廠、兵工廠、軍需處、行空處(飛行場)、糧秣處、陸軍測量局、教育庁、教導隊、軍官教育班等ニ於ケル材料ノ購買其他ノ諸費用ニ充当スル金票又ハ銀ヲ必要トスルカ為種々ナル方法ヲ講シテ之ヲ買入レツツアリ

○第七、金對銀ニ於テ張郭戦開始以後今日ノ銀相場ハ漸落歩調ヲ辿リシコト

欧米為替金相場ノ昂騰ニ連レ金票對現大洋相場ハ張郭開戦以來左表ノ如ク動揺シ現大洋相場ハ漸落歩調ヲ持續セルニ

張郭戦ハ実ニ張作霖ニトリテ天下分目ノ大戦争ナリ何トナレハ郭ハ既ニ奉天城ニ迫ラントシ新民屯ノ一戦ニ張軍敗北セハ奉天省ハ忽チ郭ノ有ニ婦シ張ハ亡命ノ外ナカリシナリ從テ世人ノ危懼モ極度ニ達シ若シ張軍敗北セハ奉票ハ如何ニナルヤノ問題ハ実ニ「デリケート」ナルモノナリシナリ然ルニ郭軍ハ早クモ此ノ形勢ヲ察シ人氣取策トシテ中外ニ向ヒテ奉票ノ有効ヲ宣言セリ斯クテ世人ハ安堵ノ思ヒヲ為シ張郭其ノ孰レカ勝ツモ奉票ハ無効ニナラストノ信念ヲ懷クニ至リタレハナリ

○第四、東三省官銀号カ奉票市価ノ崩落ニ付テ各般ノ牽制策ヲ行ヒタルト市場ニ於ケル仕手カ一般ノ予想ト反對ニ行ハレシコト

官銀号トシテハ毎年十一、十二ノ両月ハ金票買入ノ書入時ナリ然ルニ金票日々昂騰ヲ続ケ意ノ如ク金票ヲ手ニ入ルルコト能ハス之カ為ニ種々ナル手段ヲ講シ金票市価ノ昂騰ヲ牽制セリ奉天票ノ發行元タル官銀号ニ於テ手ヲ入ルルニ於テハ其ノ市価ヲ或程度迄自由ニ左右シ得ルノミナラス支那側相場師ノ大手筋ハ一般ノ人氣ノ裏ヲ通りテ却テ高価ニ売物ヲ浴ヒセシ状態ナリシ為メ戦前ニ於ケル奉票ノ市価ハ案

因ル

大正十四年十月十六日

同 一四一円 二十日 一四二円 三十日 一三八円

同 年十一月十日 一三〇円 二十日 一三一〇 三十日 一三二〇

同 年十二月十日 一二九円 二十日 一二六〇 三十日 一二九〇

大正十五年 一月十日 一二五円 二十日 一二二〇 三十日 一一七〇

同 年二月十日 一一七円 二十日 一一五〇 (現大洋百元ニ對スル金相場)

六〇一 三月十九日

在奉天內山總領事代理ヨリ幣原外務大臣宛

張作霖商務会代表者ヲ召集シ金融維持ニツイテ打合せ、現大洋五千万元ノ募債ニ関シ言及ノ件

機密公第一九八号

(三月二十四日接受)

大正十五年三月十九日

在奉天

總領事代理 領事 内山 清 (印)

(欄外記入)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

張作霖商務会代表者召集金融維持打合ニ関スル件

張作霖ハ金融維持ノ目的ヲ以テ過般來奉天省內商務会代表者ヲ召集中ノ処本月十四日全員五十余名中三十九名(内吉林省及黑龍江省內商務会代表員若干含ム)來着セシヨリ翌十五日張奉天總商會長引率ノ下ニ督軍公署ニ出頭シタルカ張作霖ハ夫等代表者ニ對シ一、奉天側カ南方ト對戰中ニアル経緯ヲ説明シタル上民意ハ和戰何レニアルヘキカ二、奉天省目下ノ金融紊乱ニ関シ之レカ整理策如何等ノ諮問三、王永江省長辭任ニ至レル事情ノ説明等ヲ為シタル上各代表ヲシテ隔意ナキ意見ヲ吐露セシメ之ヲ聴取シタル趣キナルカ翌十六日ノ夜其等代表ヲ招キ饗宴ノ際座談ニ紛ラシ奉天省ニ於テハ目下ノ金融維持策トシテ現大洋五千万ノ公債ヲ募集シ之レニヨリテ奉天票ヲ回収セントノ計畫アリ奉天省ニ於テハ三陵ノ土地ヲ処分スル丈ケニテモ優ニ五千万元以上ノ収入ヲ得ヘク此際現大洋五千万ノ募債ハ容易ナリ云々トノ口吻ヲ洩シタル趣ニシテ之レカ為メ十六日

二百六十八元台ニアリシ奉天票ハ十七日逸早クモ二百五十八元台ニ反撥ヲ見ルニ至リタリ而シテ商務会代表者召集ノ結果トシテハ差シタル具體的匡正策案出セラレタル模様ナキモ現大洋五千万ノ募債ニ関シテハ今後如何ニ進展スヘキヤ相當注意ヲ要スヘキモノト思考セラル

右不取敢御参考迄報告ス

本信写送付先 在支公使、安東、牛莊、遼陽、鉄嶺、長

春各領事

欄外記入 張ノ奉票維持苦心ノ跡一読ノ価 次官 勝

六〇二 四月二日 在奉天吉田總領事ヨリ 幣原外務大臣宛

張郭動乱ニ依リ奉天側ノ執リタル戰時徵稅ニ

関シ調査報告ノ件

機密公第二四〇号 (四月八日接受)

大正十五年四月二日

在奉天

總領事 吉田 茂 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

奉郭動乱ニ関シ奉天側戰時徵稅ノ件

由來奉天省ノ財政ハ他省ニ比シ最モ余裕アリト伝ヘラレタル処累年ノ戰乱ニヨリ財源漸ク涸渴セントシ特ニ奉郭戰ニヨリ蒙リタル創痍ハ浅カラス現ニ奉票ハ金票百元ニ付二百五十元以下ニ暴落スルノ現況ヲ呈シタリ右ノ結果トシテ奉天側ハ之レカ対策トシテ曩ニ上海向為替ノ売出シ及公債募集等ノ計畫ヲナスニ至リタルカ財政補充ノ窮策ハ勢ヒ課稅ノ増徴トナリ人民ノ負担ヲ増スニ至リ茲ニ苛斂誅求ノ声漸ク高ク民心張作霖ヲ離レントスルノ状態ニアリ右事情ヲ知ルノ一端トシテ別紙奉天官憲ノ徵稅振何等御参考迄此段報告申進ス

本信写送付先 在支公使

(別紙)

民国十四年奉天側戰時徵稅調查

一、戰時稅トシテ賦課シタル稅目及其金額

客年奉郭戰ノ為メニ要シタル軍費補填ノ為メ奉天官憲ガ管内各県ニ賦課シタルモノ左ノ如シ

稅目	金 額			摘 要
	一等県	二等県	三等県	

軍費捐	100,000元	10,000元	20,000元	
-----	----------	---------	---------	--

右ノ外奉天省城ノ各商人ハ商務会費一ヶ年分ヲ増徴セラ

ル 二、金錢以外ノ物資又ハ勞力ノ徵發

徵發 種目	区 別			摘 要
	一等県	二等県	三等県	
人夫	1,100名	800名	500名	馬料ハ交通不便ノ各県ハ一千斤
馬糧	300,000斤	400,000斤	100,000斤	二十四元ノ率ニ
馬車	500輛	300輛	200輛	ヨリ現金ニテ徵收ス

一項二項ノ徵稅徵發ハ兵災ヲ蒙リタル西部十數県ハ一切ヲ免除セララルコトトナリ居ル筈ナルモ兵乱ニヨル被害最多キ新民県ノ如キハ張學良ノ名義ヲ以テ荷馬車、馬、驢、鞍、木板、鉄鍋、麻袋、麻繩、糧食人夫等見積リ価格四十萬元ノ徵發ヲ為シ(県官民ノ要求ニヨリ奉天當局ハ徵發物ノ代金及被害救恤金下付ノ詮議中ナリト言フ)タリ

一項二項ノ徵稅及徵發ヲ各県ニ於テ人民ニ賦課シタル合

計額ヲ示セハ概ネ左ノ如シ

人民分担数	一等県	二等県	三等県
一天地当リ	二二二円	一八円	一六円

三、平時税ト戦時税トノ対比

種別	一等県	二等県	三等県
平時	八元	六元	四元
戦時	二二	一八	一六

四、間接ニ邦人ノ負担ニ帰シタル戦費該当事項ナシ

五、支那人ノ感想

一般支那人ハ戦争ニ因ル徵発人夫及物資ノ代償等割当て相当多額ニ上リ所謂苛斂誅求ニ堪ヘス塗炭ノ苦ニ呻吟シツツアリ加フルニ奉国両軍ノ衝突以来奉票ノ大暴落ニヨリ諸物価ノ昂騰ヲ誘致セル為メ生活ノ脅威ヲ感スルニ至レルモノ多ク従ツテ張作霖ヲ呪フコト甚シク過般時局中ハ内心寧ろ奉軍ノ敗亡ヲ望ミ居レル者尠カラサリシカ遂ニ奉軍ノ大勝ニ帰シ一時下野説伝ハルヤ其ノ実現ノ速カナランコトヲ希ヒタリシモ再度留任ニ決シ等シク嘆声ヲ

漏シツツアリ今ヤ張作霖ハ衆怨ノ的ニシテ之ヲ歓迎スルモノナシト言フ

六〇三 四月二十六日 在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

張作霖ヘノ警告問題ニ関シ関東長官ト協議ノ
タメ出張方稟請ノ件

第一四七号

貴電第四九号警告ノ件

関東長官及ビ満鉄社長ヘハ東京ニ於テ大臣ソノ他ヨリ如何ノ御話有リタリヤ本官心得迄ニ電報ヲ請フ又本件ハ暫ク隠忍対峙ノ姿勢ニ在リテ自ラ氣運ノ熟スルヲ待ツ事肝要ト存セラルルモノソノ辺ノ事情関東長官等ニ於テ充分諒解有リヤ多少懸念有レハ往復三日ノ予定ニテ旅大ニ赴キ相談シ置キ度ク御承認ヲ請フ

六〇四 五月十七日 在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

中央政況不安定ニ依ル奉天票下落ト邦商ヘノ
影響ニ関シ報告ノ件

第一六三号

十七日奉天票ハ未曾有ノ安値三百十六円五十銭ニ下落スルニ至リタルカ右ハ別段突発ノ原因ニハ非スシテ要スルニ呉張ノ将来ニ関シ人心恐怖ヲ来セル結果ナリ奉票下落ノ為予テ邦商ハ警戒シ大口ノ輸出ハ殆ト停止ノ状態ナルヲ以テ直接ノ影響ナキモ新規取引ハ殆ト不可能トナリタリ在支公使、長春、安東ヘ転電シ牛莊、吉林、哈爾濱ヘ暗送セリ

六〇五 五月十九日(着) 在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天票暴落ノ実質の原因ト官銀号ノ価格維持

策ニ関スル件

第一六四号(極秘)

奉天票ハ去月以来漸落ノ傾向ヲ辿リ遂ニ去ル十七日対金票三百元台ヲ突破セルハ往電第一六三号ノ通ニシテ昨十七日ハ三百十七元ニ寄り付キ午後三百十九元ニ続落シ相場立タス取引所ハ遂ニ取引立会ヲ一時中止シ今十八日前場三百十九元ニ寄り付キ三百三十元ニ下レリ

暴落ノ原因ニ付坊間ニハ北京ノ政況ヨリ張呉ノ関係不安ヲ生シ偶々呉俊陞出征ノ噂アリ近ク戦争再開ヲ予想シタルト

五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉 六〇五

奉天派ハ中央組閣ノ際財政交通両総長ヲ専有シテ借款ヲ起

スノ目論見外レタルカ為メナリト云ヒ居レリ右ハ相場人氣ニ直接影響セル風聞ナルカ官銀号ハ之迄種々奉天票吊リ上ケ策ヲ講シ来タル所預金ノ払ヒ出シ即チ準備金減少コソ暴落ノ実質の原因ト云フ可シ官銀号ノ預金ハ從來正金朝鮮両銀行ニ主トシテ預ケ入レ居レル所兩者ニ付取調フルニ五月初メ以来正金ヨリ銀六百五十万弗朝鮮ヨリ二月以来金百五十万円ヲ引キ出シ居レリ現在ノ預金高ハ正金銀四百万弗以下朝鮮金百六十万円ニシテ現在官銀号ノ資産ト称スヘキモノハ以上ノ預金ノ外開原ニ有スル大豆二十万噸(価格二千万円)及金銀塊百五十万元其他各種証券、不動産ナルヘキカ正貨準備トシテ見ル可キモノハ前記預金及金銀塊ノミトセサル可ラス然ルニ奉天票ノ発行高ハ王永江在任當時二億トノ事ナルカ爾後相当ノ発行高アルヘク民間ニハ四億ト称セラレツツアリ本月初メ奉票価額維持ノ為正金ヨリ官銀号ハ三百万弗ヲ引キ出シテ開原大連ニ送り其結果奉票価額一時二十元ヲ引キ返シ(二百九十元ヨリ三百七十元トナル)タルモ三月十日ニ至リ大勢益々不可トナリ更ニ三百三十万弗ヲ開原ニ送リタルカ遂ニ送付ヲ以テ何等ノ効ナク益々漸落

ヲ辿リテ今日ニ及ヘリ昨十七日莫省長ヲ訪ヒ奉票價格維持策ニ付其意見ヲ質シタルモ公債五千万元募集案ノ外別ニ名案ナク右公債募集ノ前途ニ付テモ確タル成案ヲ示ス所ナシ結果交通財政ヲ得テ奉政府側ノ為何等カノ借款ヲ起スヲ目論見アリシトノ前記巷ノ説モ多少ノ事實アランカ此儘ニセシカ三百五十元台ヲ超スモ近キニアル可ク財政窮乏ヲ告ケ聽テ省政ノ維持ニモ困難ヲ生ス可ク予テノ警告第二案ニ進ムノ好機其内自然生スルニ至ル可シト思考ス

在支公使ニ転電セリ

六〇六 五月二十五日 在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛

奉天票回収ニ関スル省長公署訓令ノ件

公第四〇三号 (五月三十一日接受)

大正十五年五月二十五日

在奉天

総領事 吉田 茂 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

奉天票回収ニ関スル省長公署訓令ノ件

奉天票暴落ノ件ニ関シテハ屢次報告申進置タル処奉天省長

公署ハ今回奉天票回収ノ目的ヲ以テ本月二十三日付ニテ財政庁、中国、交通銀行及東三省官銀号ニ対シ大略左記ノ通り訓令ヲ發シタル旨奉天公報ニテ散見セリ

記

奉天省ハ金融整理ノ為メ公債ヲ發行スルコトニ決定セル次第ナルカ唯近來奉天票益々低落スルハ同票發行額過剩ノ結果ナルコトヲ察知セリ就テハ各銀行業者ヨリ既ニ發行セル奉天票ヲ急速回収ヲ行ヒ成果ヲ収メサルヘカラス依テ奉天省内ニ於ケル中国交通兩銀行流通ノ奉天票ハ今後二週間ヲ限りテ回収シ又官銀号ニ於テハ今後二週間内ニ先ツ貸出金額全部ノ回収ヲ行ヒ以テ市場ニ流通セル奉天票ノ回収ニ資スヘシ本件ハ必ス実行ヲ期シ遲延ヲ許サス右ハ本署ヨリ委員ヲ遣シ本件処理振リヲ監視セシムヘキニ付各銀行ニ於テハ之ヲ忽緒ニ付スルコト勿レ

右報告申進ス

本信写送付先 在支公使

(欄外記入) 事實上官銀号發行奉票ニ比シ信用アル中交兩行ノ發行券ヲ回収スルモ官銀号發行票ノ相場ヲ釣上クルコト能ハサルヘシ

官銀号ノ貸出先如何 要調

六〇七 五月二十八日(着) 在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天票ノ取引状況ニ関スル件

第一七二号

往電第一七〇号ニ関シ

奉天票ハ二十四日夜場外相場四百五元ヲ唱ヘ二十五日朝更ニ四百三十元ニ下落シタルタメ取引所ハ証拠金ノ整理付カス終日立会ヲ停止シ混乱ヲ極メタルカ同日夜ニ至リ場外相場三百八十五元ニ引返シ二十六日午前ハ更ニ下押ノ傾向アリ取引所ハ上場價格ヲ三百八十五元ニ制限シ午後開場シタルニ制限價格ニテ整理売買百二十七元ノ出来高アリ場外ニ於テハ三百九十二、三元ニテ取引セラレ本二十七日午前尚ホ場外相場ハ三百九十五元ヨリ四百元ノ間ヲ往来シツツアリシカ米國借款説又ハ日本借款説ヲ市場ニ流布セシメタル一面取引所内ニ於テ明二十八日官銀号カ引渡ヲ要スル金票約八十萬元ノ用意出来タル為メ午後ニ於テハ三百六十四元迄引返セリ借款説ノ虚伝タルト引返期日タル明二十八日ヲ過キナハ更ニ反動的ニ奉票相場下向カント観測セラル北京ヘ伝電シ拘鹿ヘ暗送セリ

六〇八 五月二十九日(着) 在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

場外取引禁止方ヲ関東長官ニ要望シタル件

別電

五月二十八日在奉天吉田総領事發幣原外務大臣宛電報第一七三号

場外取引禁止方ノ関東長官宛電報転電ノ件

第一七四号

奉票暴落ノ結果其救済策トシテ過日來省長側ヨリ種々話有リ其要ハ奉天省財政整理ニ付テハ五千万元公債發行ヲ為シ之ニ充ツル所存ナルカ奉天鐵道付屬地内取引所ノ錢鈔取引カ奉票ノ相場ヲ一層攪乱スル傾アリ依テ奉票價格安定迄錢鈔取引ヲ一時中止セラレ度又市場救済ノ為日本ヨリ借款出来マシキヤトノ事ニ付本官ハ借款ニ付テハ非公式ニ彼此ノ内話ハ却テ世間ノ疑惑ヲ惹起スル虞アレハ差控ヘラレ度此際錢鈔取引停止ノ如キハ却テ市場ニ恐怖ノ念ヲ与ヘ人氣ニ影響スヘケレハ斯ノ如キハ為スヘカラス但シ場外取引ニ付テハ相當考慮スヘシト答ヘ置キタリ元來取引勘定内取引ハ日本内地ニ於テモ賭博行為トシテ嚴重ニ禁止シ居ル次第ニモアリ場外取引ノ為ニ場内ノ相場ヲ乱シ若クハ場外ノ取引

ヲ場内ノ取引ニ掛クルカ為証拠金追徴ノ必要起リ遂ニ立会ヲ中止スル等ノ必要起リ常ニ場内取引ニ影響ヲ与ヘツツアリ奉票相場紊乱ノ最モ甚タシキハ場外取引ノ弊ト認ムルニ付断然禁止スル事然ルヘク又支那側ハ常ニ取引所ヲ利用セルニ拘ラス他面取引所取引ヲ以テ全然投機ノ目的ニ出ツル空売買トナシ又実際ニ其実例ナキニ非サレハ取引所場外ノ取引ヲ禁止シテ取引所ノ機能ヲ完全ニナラシムルト共ニ支那側ヲシテ我取引所ニ対スル誤解ヲ正ス事然ルヘント考ヘラル依テ別電ノ通関東長官ヘ電報セリ

(別電)

五月二十八日在奉天吉田総領事発幣原外務大臣宛電報第一七三三三號

場外取引禁止方ノ関東長官宛電報転電ノ件

第一七三三號

(五月二十九日接受)

本官発関東長官宛電報

第四一號

奉天票暴落ト共ニ支那側カ我カ取引所ノ錢鈔取引ヲ嫉視シ一時ナリトモ錢鈔取引停止ヲ要求シ来レルニ付本官ハ此際停止ハ却テ支商ノ不安ヲ来スヘキ所以ヲ説明シ其ノ停止ニ就テハ断然拒絶セルカ場外ノ取引ニ付テハ相当考慮スルノ

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

奉天票ニ関シ支那側当路者カ奉天商業會議所代表

ニ為シタル談話要領ノ件

奉天票ノ瓦落ニ関シ奉天商業會議所代表副会頭庵谷忱以下四名カ議員会ノ決議ニ基キ別紙甲号写ノ如キ要望書ヲ張作霖ニ交付スル為メ本月二十六日總商會副會長丁広文ニ同二十七日奉天省長莫德惠及張作霖代理楊宇霆ニ会見ノ際同人等ノ為シタル談話要領後記ノ如クナルヲ以テ御参考迄報告申進ス

本信写送付先 在支公使、在滿各領事

(別紙甲号)

昨冬東三省の騒乱に際し奉天票の暴落を来すや本會議所は是が価値の維持に關し閣下に要望書を提出せるは閣下の既に知悉せらるる処なり

然るに爾後に於て遺憾ながら何等の維持策の講ぜられしを聞かず却て奉軍の北京進出に伴ひ益々奉票の濫発せらるるを見る是が必然の結果として奉票夫れ自身の価値を失墜し内は物価の暴騰を来して貴国民の生活を脅かし産業をして萎靡不振に陥らしめ外は國際貿易を杜絶し在留外商の蒙む

余地アリト思考ス場外取引ハ従来区々ナルモ賭博行為トシテ嚴重取締ラレ居ル次第ニモアリ又場外取引ノ為ニ現ニ当取引所相場影響ヲ受ケ又場外取引ヲ認メテ場内ニ掛クルカ為証拠金追徴ノ必要ヨリ屢々立会ヲ中止スル事實アリ將又全然空売買ノ実績ノ顯著ナルモノアレハ此ノ際全然禁止スルコト然ルヘント思考ス又証拠金過少ニ失スル為空相場奨励ノ傾アリ傍々三取引所ノ現状ニ付テハ相当監督若ハ改正ヲ命スル必要アルト思考スルニ付至急關係員ニ出張ヲ命セラレ相当手段ヲ講セラレンコトヲ希望ス

外務大臣ヘ転電セリ

六〇九 六月一日

在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛

奉天票ニ関スル奉天商業會議所代表ノ張作霖
宛要望書及ビ奉天側要路トノ談話要領送付ノ
件

公第四一六號

(六月七日接受)

大正十五年六月一日

在奉天

総領事 吉田 茂 (印)

る損害莫大なるものありて滿蒙の經濟界は將に危殆に頻す
民国九年二月十五日中日金融調節委員會に於て滙兌券及債券は速かに之を回収し大洋兌換券を以て之に代ゆることと議決せられたるに不拘在再數年を経過せる現在に於て未だ其実行を見ざるは誠に遺憾とする処なり此際速かに根本的金融政策を樹立し貨幣整理統一の爲め最善の方途を講せられん事を望む

右本會議所議員会の決議により懇請す

大正十五年五月二十六日

奉天商業會議所

副会頭 庵谷 忱

東三省保安總司令

張上將軍 閣下

奉天總商會副會長丁広文ノ奉天票ニ関スル談話要領
奉天總商會トシテモ奉天票ノ價格維持ニ関シテハ頗ル苦心シ居レル処ニシテ目下會長張惠林ハ奉天省長及奉天省議會長等ト善後策協議中ニアリ奉天票暴落ノ原因ハ種々アルヘシト雖モ其最大原因ハ戰爭ニ因ル濫発ニシテ戰爭ヲ停止セ

サル以上ハ到底奉天票ノ価格ヲ維持スルコト困難ナリ故ニ莫省長白省議会議長及当總商會長ハ近ク張上將軍ニ對シ戰爭ヲ停止シ真ニ保境安民ノ実ヲ拳ケラレシコトヲ進言スルコトニ協議中ナレハ多分実行スルノ運ニ至ルヘシ奉天票ノ暴落ハ貴國商民ノ困憊ノミナラス弊國人モヨリ以上ノ困難ヲ感シ居レル次第ナルヲ以テ是非貴國側ト協力シ票價維持ニ努メ度此際貴商業會議所トノ連絡ヲ希望ス云々

奉天省長莫德惠ノ同上談話要領

本省長ハ就任日尚ホ浅キモ奉天票價ノ維持策ニ関シテハ充分ノ成案アリ其方法トシテハ第一各銀行ヲシテ奉天票ノ回收ヲ命スルコトニシテ既ニ發令シ第二ハ官銀号ノ既發紙幣一億九千万元ヲ今回募集五千万元ノ省公債ニヨリテ官銀号發行紙幣ヲ回收スルニアリ巷間ニ於テハ奉天票ノ發行額ヲ五億元又ハ六億元ト推断シ居レルモ甚シキ謬見ニシテ果シテ如斯多額ノ既發票アリタリトセハ自分ハ決シテ省長ニ就任スルヲ肯セサリシ筈ニシテ省公債五千万元ノ現大洋ヲ以テ奉天票ノ回收ヲ為ストセハ官銀号發行一億九千万元ノ回收ヲ為スヲ得ヘク官銀号以外ノ各銀行ニ於ケル貸付総額六

總參謀楊宇霆ノ同上談話

東三省官銀号ノ既發奉天票ハ總額二億三千万元ニシテ奉天省公債並ニ銀行ニ對シ奉天票ノ回收ヲ命シタル顛末ニ関シテハ莫省長ヨリ聴取セラレタル処ナルヘシ東三省ニ於ケル一ケ年ノ輸出額ハ合計四億萬元ニシテ輸入額ハ二億萬元ニ過キス差引毎年二億萬元ノ出超ヲ見ツアル東三省カ二億三千万元ノ奉天票ヲ發行シタリトテ之レヲ以テ濫發ナリト言フヲ得サルヘク昨今ノ如ク奉天票ノ價格ヲ惑乱セシメタルハ第一貴國側取引所ノ賭博取引ニシテ次ニハ官銀号ノ營業方針ヲ誤リタルニ基因スルモノナリ元來官銀号ニハ學識者ナク又銀行營業ニ通曉セルモノナキ為メ二千万元ノ資本中既ニ一千万元ノ損失ヲ見タル次第ニシテ之レ等ハ日本側取引所ノ賭博取引ト共ニ票價ヲ低落セシメタルモノナレハ將來官銀号ニ對スル監督ヲ嚴重ニスルト共ニ日本側ニ於テモ速ニ取引所ノ中止ヲ請ヒタシ世人ハ戰費ノ為メ多額ノ奉天票ヲ濫發セルモノノ如ク伝フルモ右ハ其内情ヲ知ラサルモノノ憶測ニシテ奉天官憲トシテハ塩稅及奉榆鐵道ニ因ル特別收入年額二千五百萬弗アリ一般會計ト分離シ專ラ軍費ニ充當シ居レルモノニシテ内八百萬弗ヲ兵工廠四百萬弗ヲ

千万元亦回收ヲ命シ置ケルヲ以テ仮リニ全部ノ回收不能ナリトスルモ結局市面ニ殘存スルモノハ四千万元内外ニ過サルニ至ルヘク官銀号トシテハ一千万元ノ財産ト二千万元ノ準備金アリ四千万元位ノ奉天票市面殘存ハ決シテ信用ヲ失墜スヘキ程度ニアラス五千万元ノ省公債ニ至リテモ世間兎角ノ評アリト雖モ右ハ東三省内ニ於ケル官商工農ノ全部ヲ通シ六月一日ヨリ向フ六ヶ月間ニ於テ強制的ニ応募セシムルモノナレハ失敗ニ終ルカ如キコト万々無ク既ニ黑龍江省吉林省及奉天省ニ於ケル各銀行ノ応募額合計一千二百萬元ハ昨二十六日夫々募入ヲ終リタル次第ナリ其結果四百元ヲ突破シタル奉天票カ直ニ三百七十元台ニ反撥シタルニ徴スルモ其效果ヲ認メ得ヘシ將來支那側ニ於テ奉天票ヲ發行シタル場合並ニ公債募入済トナリタル額ハ其都度貴會所ニ通報シテ一般疑惑ヲ避クルコトト為スヘキモ貴國側取引所ハ常ニ実需以外ノ賭博取引ヲ為シ票價ヲ惑乱スルモノナレハ取締方相當考慮ヲ払ハレタシ軍事行動及軍費ノ收支ニ関シテハ門外漢ナレハ説明ヲ避クルコトトシタシ大正九年頃日支經濟調査委員會ニ於テ取極メタル大洋制ノ実行ニ就テハ篤ト研究スルコトト為スヘシ云々

航空所ノ經費ニ充テ差引尚ホ一千三百万弗ノ余裕ヲ以テ戰爭軍費ト為シ居ルモノナレハ奉天票ニハ何等ノ關係ヲ有セス又山東直隸方面ニ於テ發行シツツアル軍票ノ如キモ發行地ニ於テ之レヲ整理スルモノナレハ奉天省ノ經濟ニ何等ノ影響ヲ与フルモノニアラス云々

六一〇 六月四日 松井(石根)參謀本部第二部長ヨリ
松井(七夫)東三省保安總司令部顧問宛

奉天官憲ニ對スル第二次警告ニ関シ軍部ノ意

向伝達ノ件

謹啓 奉天官憲ニ對スル我政府ノ第二次警告ノ件ニ付別紙寫ノ通五月二十五日付吉田總領事ヨリ木村重細亞局長ヘノ來電ニ関シ外務當局ニ於テハ概ネ同總領事ノ所見ニ同意シ機ヲ見テ第二次警告ニ進ミ度意向ヲ有シ居リ去月宋以來兩度ニ亘リ陸、外兩部門ニ協議ヲ重ネタル結果ニ基キ六月四日付別紙寫ノ通木村重細亞局長ヨリ吉田總領事ニ回示セル答ニテ當軍部ノ意見トシテハ警告実行時機ノ選定ニ就テハ概ネ貴見ト其感ヲ同クシアル次第ナルモ奉天財界ノ現状ニ鑑ミ我政府警告案ノ主旨ニ基キ將來財局行詰リノ場合ニ処スル為今ヨリ彼我當事者間ニテ準備的研究ヲ進ムルコトハ

相当有益ナルノミナラス之ニ因リ特ニ第二次警告ノ実行ヲ俟タス自然其結果ヲ収ムルノ手段トモ可相成様被認候ニ付此含ミヲ以テ楊宇霆其他ニ対シ便宜可然指導方配慮相成度尤モ將來我政府始メ我銀行力如何ナル程度ニ奉天財界ノ救済ニ任スルヤハ確言致難キモ之ヲ要スレハ調査ノ上成案ヲ立テ正金銀行其他ヲシテ支那側諸銀行ニ応分ノ援助ヲ与ヘシメ我政府モ相当之ヲ支援スルノ覚悟ハ相付キ居候旨外務側ノ言明スル所ニ有之是亦御含ミ置相成度尚之ニ関シ委細吉田総領事等ト協議ノ上貴官ノ所見等無腹藏申越相成度候

勿々

大正十五年六月四日

第二部長 松井少将

奉天顧問 松井少将閣下

編註 五月二十五日在奉天吉田総領事発木村亜細亞局長宛電
報見当ラス

(別紙写)

謹啓対張警告第二段第一財政整理問題ニ関連シ貴電第一六九号ニ接シタルヲ以テ直ニ畑、松井両將軍ト協議ノ結果松井部長ヨリ貴地松井顧問ニ対シ楊宇霆ノ説得尽力方並本問

題ニ関スル同顧問ノ意見回報方電報アリタル次第ハ拙電第八一号ノ通ニ有之候処五月二十八日同顧問ヨリ松井少将宛奉天側ニ於テ目下奉票價格回復措置腐心ノ模様ヲ報シ進テ「(一)例ノ勸告ハ現ニ奉票暴落支那側モ大ニ憂慮シアル際故時機ニハ相違ナキモ支那官憲ハ今日尚前述ノ処置ニ依リテ整理回復ノ可能ヲ信シアルニ依リ直ニ帝國ノ有スル警告第二段ノ事項ヲ依頼シ来ルヘントハ認メ難キ」コト並「(二)事実一片ノ警告ニテハ權威ナキヲ以テ日本ニ於テモ確固タル政策ヲ立テ支那側ノ成果面白カラサル際直ニ実施シ得ヘキ成案ヲ準備シテ警告スルヲ可ナリト考フ」ル旨回電有之候ニ付更ニ畑、松井両將軍ト会合意見交換ノ結果右松井顧問意見第一点ニ就テハ一同略同感ニ有之即チ支那側ニ於テ自負心強キ間ハ警告ヲ発スルモ直ニ我ニ依頼シ来ラサルヘキコトハ之ヲ想像スルニ難カラサル次第第二ニ有之候ヘ共同顧問意見第二点即チ支那側ノ成果面白カラサル際直ニ実施シ得ヘキ成案ヲ準備シテ警告スルヲ可ナリトスルノ点ニ関シ本官ヨリ第一支那側力窮境ニ陥リタル後ノ警告ハ意味ヲ為ササルノミナラス成案ヲ有セサレハ警告ヲ為スモ面白カラスト云フハ實際上甚タ無理ニシテ所謂成案ナルモノハ支那

煩スコト最適當且有効ト存居候ニ付此ノ上共可然同顧問ト御協力ノ程祈上候 勿々敬具

大正十五年六月二日

編註 別紙第二見当ラズ

六一一 六月十日

在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛

張作霖奉天票ノ市価維持ノタメ辺業銀行復活

ノ件

公第四五一号

(六月十五日接受)

大正十五年六月十日

在奉天

総領事 吉田 茂 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

辺業銀行復活ノ件

安福派全盛時代徐樹錚カ天津ニ創設セシ辺業銀行ハ第二次奉直戦後奉天ノ手ニ帰シ其後幾何モナクシテ郭松齡ノ叛乱ニ引続キ該銀行ハ其儘閉店シ居タルカ今ヤ戦後ノ金融逼迫シ奉天票ノ暴落ヲ見タル為メ現在其ノ維持策ニ付奉天当局ハ全力ヲ挙げ居ル処今回奉天票ノ維持及関内奉天票ノ市価

維持ノ為メ張作霖ハ前記辺業銀行ヲ復活セシムルコトナリ既ニ東三省官銀号總弁彭賢ヲ辺業銀行ノ總弁ニ官銀号長春分号總理姜得春ヲ經理ニ任命シ着々進行中ニテ奉天ニ本店ヲ設ケ支店ヲ天津ニ置キ来ル本月十五日ヨリ營業ヲ開始スル由奉天当局ハ奉票回収ノ目的ニテ該銀行ニ現大洋紙幣(二角、五角、一元、五元、十元)ヲ發行セシムルヤノ噂アリ該紙幣ハ既ニ米國印刷会社ニ注文セル趣ナルカ何レ着奉ノ際ハ官銀号ヲシテ管理セシメ必要ノ都度陸續發行スルモノナリト

右探知ノ儘不取敢報告申進ス

本信写送付先 在支公使、天津總領事

六一二 六月十一日(着) 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

我が警告第二ニ移ルヘキ時期接近ニツキ手配

方切望ノ件

(電番欠)(写)

張作霖、吳佩孚ト協議ノ目的ヲ以テ楊宇霆以下幕僚ヲ率ヒテ天津ニ赴キタルハ既電ノ通りナルカ奉天軍ノ方針ハ此ノ際難局表面ニハ吳佩孚ヲ立テシメ自ラ裏面ニアリテ徐ニ吳

佩孚失敗ノ上後ヲ受ケントスルモノノ如シ能ク予期ノ如クナリ得タリトスルモ吳佩孚失敗ノ後ヲ受クル迄ニ張吳ノ間決裂ヲ見ルヘク或ハ今日直ニ決裂ヲ生セストモ限ラス何レニスルモ奉天側ハ從來ノ行懸ニ一段落ヲ画シ今ヤ其ノ行動ヲ新ニスヘキ時期ニ到着セリト云フヘク而シテ奉票日ニ下落シ對金票四百六十元台ヲ上下シ折柄ノ早魃ト共ニ市場ハ益々弱氣ヲ示シ居リ奉天財政当局ハ一ニ北京若ハ日本方面ヨリ新ニ資金ヲ得テ一時窮乏ヲ填補セント考ヘ居ルモ北京方面ノ資源ハ金法問題當時事情異ナリ固ヨリ当ニスヘクモアラス本官ニハ既ニ省長ヨリ屢々借款ニ付内話アリタルモ張作霖ヨリ正式ニ話アラハ兎ニ角一応考慮スヘントノ意味合ヲ含メテ程好ク応酬シ来レル為メ目下ハ専ラ大倉組ニ相談ヲ持チ掛ケ居レリ愈々北京方面ヨリ資源ヲ得ルノ望ミナキコト明カトナレハ更ニ張ヨリ我ニ借款談申込ミ来ルヘント存セラルル処財政ノ窮乏ハ日々奉天側ニ緊切ニ危急ヲ痛感セシメ袁金鎧、于冲漢等迄カ錦州ニ王永江ヲ訪ネ再ヒ王ニ頻ニ接近ヲ求メツツアルニテモ其ノ間ノ消息ヲ窺フヘク奉天側カ財政的ニ反省ヲ促カサレツツアルト共ニ軍的ニモ新シキ「スタート」ヲ為ス時期ニ際シツツアルハ聽テ我

警告第二ニ移ルヘキ時期近キニアラント思考セラル就テハ政府ニ於テ殊ニ陸軍ニ對シ警告第二ニ移リテ我對張關係ヲ徹底セシムヘキ時期近ツキツツアル次第及此ノ際我政府諸機關ニ充分ノ諒解ヲ作り置クニアラサレハ變更スル(脱)ニアタリ心ナラスモ自然張作霖ニ引摺ラレ再ヒ無意味ニ張作霖援助ヲ余儀ナクセラレ不徹底ナル方針ヲ繰返スヘキ次第ヲ特ニ説示セラレ政情ノ變化ト共ニ何時ニテモ警告第二ノ実行ニ進ミ得ル様今日予メ充分ノ御手配ヲ切望ス

転電先、北京

六一三 六月十八日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

関東庁經濟調査会議ヘノ出席ニ関シ請訓ノ件

公第四七九号 (六月二十三日接受)

大正十五年六月十八日

在奉天

總領事 吉田 茂(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

関東庁經濟會議ヘ出席ノ件

五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉 六一三 六一四

今般関東庁ヨリ来ル六月二十九日同庁ニ經濟調査會議開催ノ趣ヲ以テ右出席方ヲ求メ来レル処聞ク処ニ依レハ同會議ニハ州内外ノ有力者ヲ招集ノ意向ナルヲ以テ此際当地方ニ於ケル輿論ノ趨勢ヲ知ル多少ノ便宜アルヘキニ付兎ニ角今回出席致度何分ノ儀御回訓ヲ乞フ

尚出張旅費ハ関東庁側ニテ負担ノ答

六一四 七月一日 木村重細車局長ヨリ
在奉天吉田總領事宛

奉票暴落ニ伴フ東三省善後問題ニ関スル松井

顧問トノ協議内容及ビ奉天票問題ニ関スル参

考資料送付ノ件

付属書一 奉天票ニ関スル松井東三省保安總司令部顧問意見書

二 東三省善後問題ニ関スル件

三 奉天票ニ関スル件

四 大正十五年六月二十三日付横濱正金銀行頭取席東洋課次長渡辺礼ヨリ木村重細車局長宛書

第一〇号

機密第九五号(極秘)

奉天票暴落ニ伴フ東三省善後問題ニ関シテハ其後モ当方ニ

於テ寄々協議中ナルカ今般松井奉天顧問帰朝シ別紙甲号写ノ通り意見書ヲ提出シタル上之ヲ敷衍説明スルトコロアリタルヲ以テ右ニ対シテハ別紙乙号写ノ通り応酬シ置キ尚引続キ局部長會議ニテ政究ノ筈不取敢

尚奉天票問題ニ関スル当方研究ノ結果並正金銀行ヨリ提出アリタル意見書写各別紙丙号並丁号ノ通り御参考ノ為送付致スニ付委細別紙ニ就キ御了承相成度此段申進ス

(付屬書一)

(別紙甲号)

松井奉天顧問意見書(大正十五年六月二十一日外務省亜細亞局長室ニ於ケル外務、陸、海、大蔵局部長會議ニ提出)

陸軍少将 松井 七夫

一 東三省ノ安定ニ付テ

1 日本一部論者カ曩ニ王永江辭職當時ニ於テ王永江ヲ中心視シ東三省カ為政ノ中枢ヲ失ヒ内部ヨリ土崩瓦解スヘシトノ觀察及最近張吳決裂ヲ必然トシテ張作霖カ東三省ノ事ヲ顧ミス閔内ノ事ニ没頭シ東三省ハ益々紊乱ニ陥ルヘシトノ觀察ハ共ニ當ラサリシ事ヲ漸次事実ノ上ニ証明シツアルカ如シ

2 奉天カ対国民軍策、張吳連盟ニ熱中セシ所以ノモノハ

ハ親身ニ相談相手トナルコトナリ商租問題ヲ始メ苟モ産業開發ニ関スル相談ノ余地ハ多大ナルヘシ(趙欣伯博士ノ奉天応聘ノ如キモ大ニ便宜アラン)

二 東三省ノ財政ニ付テ

1 東三省財政ノ基礎ハ案外強固ナリ塩稅其他ノ特別收入ハ二千乃至二千五百萬弗ナリ以テ軍費ヲ支持スルニ足リ今後戰爭ヲ止メレハ財政ノ整理ハ困難ニアラス支那側ハ強キ自信ヲ有シアリ

2 奉票下落ハ慥ニ現時苦痛ナリ然レトモ之ハ日本人迄カ反奉宣傳ヲ助長(知ラス知ラスニ)スルノ傾アリ支那側ノ現ニ採リツツアル整理案ニヨリテ逐次回復スヘシ
3 右ノ次第ナルヲ以テ支那側ハ財政整理ノ為日本ノ助力ヲ仰キ又ハ財政整理ノ為ノ借款ヲ申込ム如キハ絶対ニナキコトヲ斷言ス但シ財政借款ノ名義ヲ避ケ例ヘハ鐵道新設ノ如キ問題ニヨリ一時資金ノ融通ヲ得之ヲ財政整理ニ一時差向クルコトハ支那側ノ最モ希望シアル所ニシテ索倫鐵道ノ如キハ正ニ好個ノモノナリ此鐵道問題ノ如キハ今日程好機ハナカルヘシ滿鉄ヲシテ直ニ実行ニ移ラシムルヲ可トス(是テハ日本ノ有難味ヲ押付

斯クテ支那ノ安定東三省ノ平和ヲ招来セント欲セシ故ナリ幸ニ張吳ノ緊密ナル協同ニヨリ此処暫クハ小康ヲ保チ得東三省モ真ニ保境安民内部整頓實力充實ノ実行ニ移リ得ルニ至レリ

3 外務側ノ「警告更ニ一步ヲ進ム」ト云フ具体的内容ハ不明ナルモ若シ作霖ヲシテ顧ミテ東三省ノ安定ニ努メヨト云フニアラハ支那側ハ仰セ迄モナク一生懸命努力シアリ幸ニ実行期ニ入りタルヲ以テ御安心アリ度シト答ヘン

4 今後ノ実行方法ニ付キ更ニ親善一步ヲ進メ真ニ共存共榮ノ途ニ進マント云フニアラハ支那側ハ勿論喜ンテ之ニ応スルハ論ヲ俟タス警告杯開キ直ル筋合ノモノニアラス

然レトモ万一支那側ヲ弱ラセテ頭ヲ下ケサセテカラ首玉ヲ抑ヘ付ケツツ助ケテヤロト云フ如キケチ臭キ根性カ少シテモアラハ夫ハ根本カラ改メテ掛カラサルヘカラス(奉票下落問題ノ態度ノ如キモ之ヲ維持スルコトニ協力スルノ親切ナク寧ロ思フ壺ニ陥リ来リツツアリト寧ロ痛快カル感念果シテ絶無ナリシヤ)真ノ親切

クルニ不十分ナリ杯下ラス事ヲ考ヘサルヲ要ス)

4 財政顧問ノ如キ前述ノ次第ヲ以テ支那ニ之ヲ招聘スルノ意ナカルヘシ但シ官銀号ノ根本的の制度改善ハ大ニ其必要ヲ認メアリテ漸次實現スルナラン之カ為私カニ顧問的ノモノノ助言ヲ徵スルコトハ考ヘアルモ財政顧問ト看板掛ケタ様ナモノハ招聘セサルヘシ

三 今後ノ対策ニ関スル私見

1 吳佩孚内閣カ二分五厘テ関稅會議ヲ纏メントスルモ奉天ハ反対スルナラン關稅會議ハ将来東三省ノ内容充實シタル後現出スヘキ奉天内閣ニヨリテ完成ノ希望ヲ有ス從テ差当リ之ニ対シテハ七分五厘說ヲ主張シテ結局關稅會議延期ノ目的ヲ達スルナラン日本ハ特定稅率ヲ定ムルコトノ言質ヲ得テ此延期ヲ援助スルヲ可トセン
2 南方ハ今後尚多事ナルヘシ張作霖ハ北方ヲ受持チ吳佩孚ハ南方ヲ受持チ以テ利害ノ直接衝突セサル様ニスルコトニヨリ張吳連盟ヲ永引カシ得ヘシトハ張志譚モ語リシ所ニシテ勿論奉天ニモ異存ナシ

3 然レトモ最モ注意スヘキハ孫伝芳ナルヘシ日本ハ何処迄モ孫伝芳ヲ手ニ入レ之ヲシテ頭ヲ北方ニ向ケシムル

コトナク専ラ長江筋及南方ニ注意ヲ傾倒セシメ絶対ニ奉天ト衝突スルコト勿ラシムル如ク指導シ逐次吳佩孚ヲ浸蝕シ一面彼ヲシテ南方ヲ其手ニ収メシムルト共ニ日本ハ彼ヲ利用シテ吳ノ背後ニ在ル英國勢力ヲ抑制シ日本ノ長江發展ニ彼ノ力ヲ利用スルヲ可トス

4他日遂ニ張孫ノ衝突ハ避クヘカラサルニ至ルヤモ計リ難シ然レトモ夫ハ其時ノ事ナリ今ハ当面ニ善処スルヲ要セシ

(付屬書二) (別紙乙号)

東三省善後問題ニ関スル件

大正十五年六月二十一日松井奉天顧問ハ外務、陸、海、大藏、局部長會議ニ列席シ別紙ノ如キ意見書ヲ提示シ且之ヲ敷衍説明スル所アリタリ依リテ木村亜細亞局長ハ右ニ對シ要領左ノ如ク述ヘ置ケリ

一、東三省ノ現政局ニ對スル楊宇霆ノ態度カ積極ナルヘキコトハ自分ノ当初ヨリ杞慮シタル処ナリシカサレハトテ此際王永江ノ如キ消極主義ニ依リ果シテ万全ヲ期シ得ヘキヤ疑アリ兩者ノ政見ノ長短得失ニ付テハ大ニ考究ヲ要スヘク結局右兩者ノ合作ニ俟ツニ非スンハ到底東三省

伝芳ノ如キモ今ヤ孜々トシテ其勢力圏内部ノ結束ニ力ヲ注キツツアリ而シテ森岡領事ヨリノ電報ニ依レハ孫ハ張吳連盟ノ結束未タ全カラサルニ乗シ私ニ事ヲ山東ニ構ヘムトシ居ルモノノ如ク一度之等軍閥ノ中何レカノ權力動揺スルニ至ラハ新ナル合縱連衡ノ下ニ再ヒ地盤争ヒヲ惹起スヘキハ想像ニ難カラス

從テ楊宇霆ノ所謂時局安定ナルモノノ前途亦容易ニ樂觀ヲ許ササル次第ナリ

二、又東三省財政カ他省ニ比シ裕福ニシテ一度適當ノ財政整理ヲ行ヘハ容易ニ省財政ノ安定ヲ期シ得ヘキコトニ付テハ吾人モ亦之ヲ疑ハスト雖モ目下奉天票ノ暴落ハ日ニ甚シク今ヤ對金票五百元ニ至ラントシツツアリ殊ニ其最高最低相場ノ間ニ著シキ開キアルハ以テ奉票相場ノ動揺如何ニ甚シキカヲトスルニ足ルヘシ然ルニ其正貨準備ト認ムヘキモノハ數ヶ月前ニハ尚約二千万元ヲ保有シ居タルモ現今ハ僅ニ二、三百万元ニ減少シタル趣ニテ正金銀行側ニ於テモ目下ノ事態ニテハ最早何人ト雖モ之カ救済具体案作成ニ窮スヘク正金ノ立場ヲ率直ニ述フレハ此際斯ル問題ニ携ハルハ其ノ好マサル所ナリト悲觀的意見

ノ安定ヲ維持スルコト能ハサルヘシト認メラレタルカ今松井顧問ノ説明ヲ聞クニ天津會議ノ結果張吳連盟ノ実態ケラルルニ至リ茲暫クハ支那政局モ小康ヲ保チ東三省モ真ニ保境安民、内部ノ整頓充實ニ努力シ得ルニ至レリトノ趣ナルカ自分トシテハ張吳連盟ノ前途ニ對シシカク樂觀的ナル能ハス固ヨリ張吳共ニ從來ノ經驗ニ顧ミ互ニ慎重ノ態度ヲ持シ居ルカ如キモ必スシモ互ニ相許シ居ルモノト見ルヲ得サルヘク殊ニ對國民軍問題ハ政局拾収ノ問題ト共ニ張吳連盟亀裂ノ禍因タラサルヲ保セス奉天側ニ於テハ吳俊陞ヲシテ國民軍側ニ對シ一定ノ脅威ヲ加ヘシメタル上ハ或ハ國民軍側トノ握手ヲ希望スルカ如キ態度ニ出テ依リテ同軍内部ヨリノ分解作用ヲ俟ツモノニシテ必スシモ難攻不落ノ堅塞ニ向ヒ無謀ノ戰鬪ヲ続クルモノニ非ストノ弁解モナシ得ヘシト雖相手方内部ノ分解作用ヲ俟ツハ独リ奉天側ニ止ラス國民軍側並吳佩孚側ニ於テモ亦然リトス

尤モ吳佩孚ハ目下其地盤不安全ナルニ鑑ミ此際隱忍持久以テ張作霖トノ連盟ニ力ムヘシト雖一旦其地盤強固ヲ加フルニ至ラハ其態度逆睹スヘカラサルモノアルヘク又孫

ヲ有シ居レリ依リテ自分ハ之ニ對シ仮令正金側ニ於テ救済ニ関スル具体案作成困難ナリトスルモ単ニ奉天票ノ現狀カ既ニ拾収スヘカラサルノ事態ニ立至レル事情ニ関スル率直ナル意見ニテモ差支ナキニ付此際東三省當局者ノ参考トナリ其反省ヲ促スニ足ルヘキ專門家ノ意見ヲ必要トスル次第ヲ告ケ正金武内取締役ノ尽力ヲ求メ置ケリ

自分ノ想像スル処ニ依レハ楊宇霆モ亦武人ノ常トシテ此辺ノ關係ニ付樂觀ニ過クルモノノ如ク或ハ種々ノ不徹底ナル救済策ニ空顧ミシ居ルヤノ觀無キ能ハス右ノ点ニ関シ吉田總領事ノ憂ハ正シク自分ノ分ツ所ナルヲ以テ曩ニ吉田總領事ノ電報ニ答フルト共ニ松井令兄ヲ煩シ松井顧問ニ於テ今一層楊宇霆辺ノ反省ヲ促サルル様尽力アリタキ旨申出タル次第ナリ

自分ノ見ル所ヲ以テスレハ奉天票暴落ノ結果直ニ東三省政權ノ失墜ヲ来スカ如キコトハアラサルヘク又右ハ直ニ在滿邦人ノ破産等大打撃大恐慌起ルヘシトモ斷言セサレトモ奉天票ノ無価値迄ニ下落セハ東三省財政及經濟ノ根本的動揺ヲ徐々ニ根底深ク惹起スヘシ例ヘハ右暴落ニ依リ俸給生活者即官吏兵卒等ノ蒙ムレル生活上ノ脅威及支

那土着民ノ購買力ノ減少延テハ我對滿貿易ノ減少ハ想像ニ難カラサルヘク而シテ右購買力ノ減退並生活上ノ脅威ニ伴フ人心動揺ノ結果ハ經濟的社会的動揺トナルヘク此波瀾不安ノ間ニ乘シ今日迄ハ抑制セラレタル分子ノ活動ハ意外ニモ導火線トナリテ革命の大爆發ヲ為ス危險アルヘク少クトモ此機ニ際シ東三省政權ノ内部的瓦壊ト共ニ外部ノ復仇の侵略モアルヘク内憂外患交々到ルノ危機ヲ醸スヘキハ何人ト雖否認シ得サルヘシ

故ニ此方面ヨリ見ルモ楊宇霆等ノ樂觀ハ甚當ヲ得サル次第ナルノミナラス彼自身ト雖現ニ兵卒給料ハ大洋ト奉票ト半々ニテ支払フノ事實ハ内心如何ニ奉天票ノ暴落ノ危險ヲ真実ニ了解セルコトヲ曝露セル一証ニアラスヤ故ニ此際未タ危機至ラサルニ先チ非公式ニ東三省財政ノ真相ヲ調査シ適當ノ救済手段ヲ講スルコト喫緊ノ急務ナルヲ友誼のニ忠告セハ必スヤ毅然トシテ悟ルヘキモノナリト思考セラル

現下ノ事態ニテ何人モ奉天政權ノ五年継続ヲ保証シ得サルヘク況ンヤ此ノ財政狀態ニアル奉天政權ニ對シテハ佞令我方ニ對シ鐵道其ノ他ノ借款ノ申出アリトスルモ何人

亦其欠点無キニ非ス

然レトモココニ注意スヘキハ奉天側殊ニ楊等ニ於テハ一方日本ニ於テ果シテ真ニ東三省ノ福祉ヲ庶幾フモノナリヤ否ヤニ付稍疑念ヲ有スルカ如キト共ニ他方支那人ノ通弊トシテ面子ヲ重スル結果如何ナル名論卓説ト雖モ外部ヨリ強要スルノ形ニ出ツル時ハ到底之ヲ実行セシムルニ由ナキヲ以テ一定ノ成案アルニ於テハ表面上之ヲ例ヘハ楊宇霆自身ノ案トシテ実行セシムルコト可然又此意味ニ於テ楊宇霆等ニ於テハ大袈裟ナル顧問ヲ入ルルカ如キハ之ヲ好マサル次第ナリ

何レニスルモ此際其道ノ専門家ノ意見ニ依リ懇切ニ楊宇霆等ノ蒙ヲ啓クコトハ極メテ肝要ナルヘキヲ以テ速ニ前頭正金側ノ意見若クハ調査ノ結果ニ接センコトヲ希望スル

旨ヲ述ヘタリ

(大正十五年六月二十二日谷課長述 岡崎記)

(付屬書三) (別紙丙号)

奉天票ニ関スル件

第一、奉票ノ現況其他

(大正十五年六月調)

五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉 六一四

モ之ニ応スルコトナカルヘキハ殆ト疑ヲ容レサル所ナリ要之奉票今次ノ暴落ハ差當リ日本側ニ取リテ重大ナル影響ナキモ唯此儘ニテ本年末迄モ推移スルカ如キコトアラシカ前述ノ通り甚重大ナル結果ヲ生スルノ惧アリ旁々我方ニ於テモ之ヲ重要視シ其救済策ニ付テモ慎重考慮シ居ル次第ニシテ何等奉天側財政整理ニ容喙シテ利權等ヲ得ントスルカ如キ小ナル考ニ非ス將又本件ハ張楊等ニ於テ面子問題等ニ拘泥スヘキ小事件ニ非ス若シ張楊等カ右ノ如キ狹キ考ヲ有スルニ於テハ到底本問題ノ根本的解決ヲ期シ得ヘカラス宜シク其見地ヲ變ヘ誠心誠意本件ヲ考慮スヘキモノニシテ然ラスンハ日本側ヨリ誠心誠意ノ押売等ヲナス能ハス結局何等積極的ニ援助シ得サル次第ナリ就テハ吉田總領事ノ希望ノ如ク楊宇霆等ノ信任厚キ松井顧問ニ於テ此上トモ楊等説得ニ努メ當方好意ノ徹底方ニ付尽力アリタキコトヲ希望スル次第ナリ

松井顧問ニ於テハ以上ノ点ニ付稍會得スル所アリタルモノノ如ク

財政問題ノ如キハ軍人ノ不得手トスル所ニシテ独リ楊宇霆ニ於テ此点ヲ看過スルノ傾アルノミナラス自分ト雖モ

一、奉票相場、奉天票對金票相場ハ別表ニ示スカ如ク大正十三年夏迄ハ大体金票百圓ニ對シ百五十元前後ヲ往來シ居タルモ大正十三年十月第二奉直戰ノ際ハ一時百九十元ニ下落シ其後一度百四十元台ニ引返ヘセルモ爾來漸次下落ノ步調ヲトリ大正十四年十一月郭松齡ノ乱以後ハ其崩落益々甚シク大正十五年五月二十五日及六月四日ニハ四百元台ヲ遙ニ突破スルノ記録ヲ示セリ

二、奉天票暴落原因、奉票下落ノ原因大体左ノ如シ

(i) 奉天省財政ニ對スル不信用並不安即

(a) 奉天当局カ奉票發行高兌換準備等ニ関シ秘密主義ヲ採リ居レルコト

(b) 王永江去リタル結果奉天省財政ハ紊亂シ又軍閥ハ益々軍備擴張ヲ行フニ至ルヘシトノ予想

(c) 張呉關係ニ對スル不安並大兵ヲ関外ニ出スヘシトノ予想

(d) 五千万圓公債ノ前途必スシモ樂觀ヲ許ササルコト

(e) 對日借款ノ不成立

(f) 奉票價格維持策トシテ奉天当局ノ企テタル其他ノ各種彌縫策一モ奏効セサルコト

(c) 奉天票発行高ノ過多

(a) 大正十四年以降ノ関外出兵及郭松齡反逆ノ善後策等ノ為多大ノ奉票ヲ濫発セルコト

(b) 軍備拡張費捻出ノ為ノ奉票濫発(例ハ奉天兵器廠ニ費セルモノ奉票一億元ニ達セリト云フ)

(c) 特産物出廻期經過シ奥地ノ奉票カ市場ニ現ハレタルコト

(d) 関外ニ於テ濫発セル奉天軍票カ価格ノ關係上奉天ニ舞戻レルコト

(h) 日本円為替ノ昂騰

三、奉天票発行高(東三省官銀号中国、交通兩銀行並公濟平市錢号發行ノモノノ總計)

(i) 郭松齡事件前ハ約一億七八千万乃至二億元見當

(d) 現今ノ發行高ハ約四億元前後ト想像セラル

(a) 大正十四年末奉天總商会調査ニ依レハ同年末迄發行高約四億二千六万余元ノ趣ニシテ又大正十五年二月奉天總領事館ヨリノ報告ニ依レハ當時ノ發行高ハ約四億八千万ナリトノ説アル趣ナルモ右計算ハ何レモ過多ニ過クルモノノ如シ

法ヲモ考慮スル必要アリ旁々銀行トシテハ進ンテ手ヲ出シ得ス唯タ奉票下落ノドン底迄見送ル外ナシトノ意見ヲ陳述セリ)

第二、奉天票暴落ノ日支人ニ及ホス影響

一、奉天票暴落ノ支那人側ニ及ホセル影響ハ深刻ニシテ官吏其他ノ俸給生活者並労働者ノ如キハ購買力減退、物価騰貴ノ結果甚シキ生活難ニ陥レルノミナラス(最近奉天省内ニ頻々トシテ起レル増給運動、同盟罷業等ハ如実ニ之ヲ証明ス)支那商人中ニモ倒産者相当ニ多キ模様ナリ(最近ノ報道ニ依レハ支那商人側ハ一般ニ出来得ル限り取引ヲ手控ヘ居リ止ムヲ得サル場合ニハ金票、鈔票、現銀ヲ使用シテ不慮ノ損害防止ニ腐心シ居レルカ如シ)

二、次ニ邦人側ニ対スル影響ニ付見ルニ邦人ノ奉票手持高ハ郭事件前後ニ於テモ總額千三百萬元内外ニ過キサリシカ如ク(奉天商業會議所調査ニ依レハ當時邦人ノ現票所有七百万、売掛代金三百万、工事請負代金貸付金其他三百万)而シテ其後奉票暴落ヲ続ケ居ルカ故ニ此等手持高モ大部分処理セラレ現今ニ於ケル奉票ノ邦人手持高ハ意外ニ少ナルヘシト云フ(現今猶奉票ヲ現票又ハ債權トシ

(b) 然ルニ他方大正十五年一月一日東三省官銀号ノ発表ニ依レハ發行高約二億萬元ノ趣ニシテ又莫奉天省長ハ曾テ發行高二億二、三千万ナリ旨ヲ述ヘ居タルカ最近(五月末)ハ単ニ一億九千万ニ過キスト主張シ居レル趣ナル処右發行高ハ固ヨリ信ヲ置キ難シ

領事報告)

正金銀行預金	銀四、〇〇〇、〇〇〇弗弱
朝鮮銀行預金	金一、六〇〇、〇〇〇円
金銀塊	一、五〇〇、〇〇〇元
所有大豆	約二〇、〇〇〇、〇〇〇元

(其他証券不動産等)

(然ルニ本年六月十六日武内正金取締木村重細亜局長ヲ來訪シ奉天側ノ現在銀行預金ハ總計約二、三百万ニ過キサリ旨ヲ述ヘ且曾テ郭松齡背反當時奉天側ノ銀行預金二千万ニ近カリシ時代ニハ右預金ヲ奉票発行高ニ對スル約一割ノ兌換準備ト見テ之ヲ基礎トシテ奉票救済策ヲ建テ得ル事態ニアリシカ目下ノ状態ニ於テハ奉票救済ノ為ニハ新ニ準備金捻出方

テ握リ居ル邦人ハ大体投機者流カ又ハ危險ヲ承知ニテ奉票建商取引ヲナシ居ル中以下ノ商人等ニ過キサリヘシ)

三、然ルニ商取引ニ付テハ綿糸布ヲ初メ本邦ヨリノ輸入品

ハ支那側購買力甚減退セル為大打撃ヲ受ケタルノミナラス在滿邦人經營ノ工業其他ノ企業ニ付テモ一方ニ於テハ支那側購買力ノ減退(一般民ノ購買力減退並問屋筋ノ窮乏ニヨル)他方ニ於テハ原料價格ノ騰貴、職員、職工等ノ増給要求ニ加ヘテ手持原料ノ仕入當時ト現在トノ交換相場ノ差損大ナル等ノ事情アリテ目下ノ処事業ヲ繼續スレハ益々損害ヲ大ニスルノミニシテ到底立行カサルノ状態ニアルモノ鮮カラス(現ニ滿州紡績会社遠藤取締役ハ本年六月十七日木村局長ヲ來訪シ滿州紡績モ当分操業停止ノ外無キ状態ニアル旨ヲ述ヘタリ)又在滿邦人輪出業者ニ付テ見ルニ其ノ大部分ハ奉票暴落以前即奉票一六〇元台ニ於テ買入資金ノ手当ヲナシタルニ(特産物買付ハ奉票ヲ以テスルヲ要スル為輸出商ハ特産物出廻期前即每年秋期ニ於テ予メ奉票ヲ買付ケ置クモノナリ)其後奉票暴落シタル為特産物騰貴セルノミナラス農家ハ奉票ノ前途ヲ憂慮シテ売惜ム為資金回轉セス且手持奉票ニハ仕入

資金手当當時ト現在トノ交換相場ノ差損アリ之亦相当ノ打撃ヲ被リ居ルモノノ如シ

四、尤モ在滿邦人銀行中奉票勘定ヲ有スルモノ即滿州及正隆ノ二銀行ハ既ニ予メ相当ノ予防手段ヲ講シ居タルノミナラス其預金並貸付高モ少額ナル為(本年一月預金残高ハ兩銀行共五十万内外、貸付高ハ滿銀十七万、正隆七万)左程損害ヲ被リ居ラサルカ如シ

五、要之今次ノ奉票ノ暴落ハ延イテハ金融ノ逼迫、支那人購買力ノ減退、信用制度ノ破壊、社会的の不安並ニ張作霖政權ノ動搖等ヲ惹起シ為ニ在滿邦人乃至我カ對滿貿易ノ蒙ムレル打撃甚大ナルノミナラス之カ我カ對支政策上ニ及セル影響亦重大ナルコト論スル迄モナキ次第ナリ

第三、奉票暴落ニ對スル支那側ノ救済策

今次ノ奉票暴落ノ原因前述第一ノ二ノ如クナルヲ以テ之カ救済策トシテハ(イ)奉天財政ノ根本的の立直シ(ロ)兌換ノ実行(ハ)奉票流通高ノ收縮ノ三ヲ出テサルコト明白ナルニ拘ラス奉天当局ニ於テ何等右根本的の救済策ニ着眼スルコトナク単ニ姑息ナル一時的奉票価格吊上策ニ狂奔シ居レルハ寧ロ滑稽ナリト云フヘク之等弥縫策カ結局奉票暴落ノ大勢ヲ防止ス

海、天津ニ於テ支払ハレタル趣ナリ然ルニ其後奉票暴落益々甚シキ為ニカ奉天当局ハ再ヒ六月一日ヨリ本件滙兌ヲ再開セシメタルカ今回ハ相場ハ上海向二〇兩五錢ニシテ毎日天津上海兩地向合計十萬元ヲ限度トシタル趣ナリ

三、金票売叩、奉天当局ハ大正十五年三月五日ヨリ城内交易所ニ於テ毎日金票十萬元ヲ売叩カシメタリ(右二、及三、資金ニ付テハ張作霖、吳俊陞カ各奉天票千萬元宛ヲ抛出シテ之ニ當テントスルモノナリトノ噂アリタルモ疑ハシ

山本正金奉天支店長ノ説ニ依レハ當時張作霖ハ親近者名義ニテ朝鮮銀行ニ約金一千二、三百万円正金銀行ニ約鈔票千五、六百万円ノ預金アリタルヲ以テ前者ヲ金票売叩ニ用ヒ後者ヲ滙兌ニ用ヒ其結果奉天票ノ對金票相場上騰スルヲ俟チテ何等カ相場上ノ利益ヲ得ントセルモノニ非サルカトノ趣ナリ)

四、軍票ノ兌換、張作霖ハ王士珍等ノ來電ニ對シ關外ニ於テ發行セル奉天票ニ對シテハ辺業銀行又ハ東三省官銀行ヲ特派シテ即日市価通り兌換スヘキ旨回答セル趣ナリ(大正十五年四月二十三日東方通信)

ルニ由ナカリシコト亦当然ノ帰結ナリト云フヘシ今參考ノ為今春以來支那側ニ於テ奉票價格吊上ノ為実行又ハ企画セル各種ノ弥縫策ヲ列挙スレハ左ノ如シ

一、錢鈔取引ノ禁止、奉天当局ハ奉票ノ暴落ヲ錢鈔業者ノ投機的の売買ニ依ルモノトナシ大正十五年初頭ヨリ奉天城内交易所ニ於ケル錢鈔取引ヲ嚴重ニ取締タルモ右ハ奉天票價格維持上何等効果ナキノミナラス取引業務ハ總テ日本側取引所ニ移リ交易所ハ閉鎖同様ニナリタル為奉天当局モ止ムヲ得ス本年四月二十二日交易所ニ對シ再ヒ該錢鈔取引ヲ許可シタリ

二、公共滙兌所、大正十五年二月奉天当局ハ東三省官銀号中国並交通兩銀行奉天支店ノ合同ヲ以テ東三省官銀号内ニ公共滙兌所ヲ設立シ同年二月二十三日ヨリ七ヶ月間上海及天津向為替ヲ毎月十萬兩ヲ限度トシテ売出シ右ト引換ニ奉天票ヲ受領スヘキ旨ヲ声明セシメタリ

右滙兌ハ五月十九日迄繼續シ其売出高約六百萬兩ニ及ヘルカ相場ハ奉大洋百元ニ對シ上海二十九兩乃至三十兩ノ割ニシテ(右ハ現実ノ相場ニ比スレハ遙カニ奉票ニ有利ナルモノナリ)又為替ハ多少ノ遅延アリタルモ無事上

五、金票買付、奉天当局ハ五月末哈爾濱ニ於テ奉天票ヲ以テ大洋票ヲ買付ケ大洋票ヲ以テ日本金票ヲ買入レ其額二百萬圓ニ達シ又他方大洋票ヲ以テ大豆ヲ買ヒ右大豆ハ大連ニ於テ不利益ヲモ顧ミス金票ニ代ヘツツアリシカ右大豆買付高四千車契約高千五百車ニ及ヘリト云フ(五月三十日在哈爾濱天羽總領事報告、右報告ハ電文簡ニシテ未タ其詳細ヲ知ルヲ得ス)

六、場外錢鈔取引禁止、五月末奉天省当局ハ吉田總領事ニ對シ奉天日本取引所ノ錢鈔取引並場外取引禁止方ヲ懇請シ來リタル処吉田總領事ハ右ニ對シ取引所ニ於ケル錢鈔取引ハ毫モ之ヲ禁止スル必要ナキモ場外取引ニ付テハ相當考慮スヘシト答ヘタル趣ナルカ他方奉天日本取引所ニ於テハ五月三十日以來自發的ニ場外取引ノ記帳受理ヲ停止セリ

(又吉田總領事ハ五月二十九日及六月五日關東長官ニ電報シ空売買、場外取引禁止、其他相場ヲ左右スルカ如キ通信等ニ對スル取締方ヲ要求セリ)

七、奉天五千萬圓公債發行、奉天当局ハ現大洋五千萬圓ノ強制公債(奉天票二元ヲ一元トシ受入ルルヲ以テ結局奉

大洋一億元公債ナリ)ヲ發行スルコトトシ五月六日東三省整理金融公債令ヲ發布セルカ各方面負担額左ノ如シ

(イ)奉吉黑官吏 現大洋九百萬元

(ロ)各銀行 現大洋八百萬元

(ハ)東三省總商會 現大洋一千二百萬元

(ニ)東三省各縣地主 現大洋二千百萬元

右ハ六月一日ヨリ實行シ唯農民ニ對シテノミハ九月一日ヨリ實施シ穀物ノ收穫期ヲ待ツテ負担セシムルコトトセリ

本件公債ハ之ヲ真面目ニ實行スレハ奉票流通高收縮上相當効果アルヘキ処本年六月十二日在奉天總領事ヨリノ報告ニ依レハ各方面共金融梗塞ノ為引受困難ニシテ既ニ瀋陽縣知事ノ如キハ莫省長ニ對シ応募免除ヲ申請シ付近各縣何レモ之ニ倣ラハントスル狀態ニシテ公債募集ノ前途ニ付テハ頗ル憂慮セラレ居ル趣ナリ

八、莫奉天省長ハ東三省官銀号、中國交通兩銀行支店ノ貸出金(中、交兩行ノ分ハ六千萬元ナル由)ヲ回收シ新規貸出ヲ禁止スル方針ナリト云フ右モ亦奉票收縮ニ效果アルヘキモ他面之ニ依リ金融梗塞ノ結果ヲ来スヘク結果滿

一、奉天票暴落當面ノ對策トシテハ(一)商取引ニ付テハ金票建又ハ鈔票建其他確實ナル手段ニ依ルコト(關東庁ニテモ極力之ヲ勵奨シ一般ニ實行サレ居ル由ナルモ中ニハ中以下ノ商人ニテ暴利ヲ目當テニ奉天票建ノ取引ヲナスモノアリ又特產物ノ買入ニ付テハ或程度迄奉天票勘定止ムヲ得ストノコトナリ)(二)取引所取引ヲ健全ナルモノトシ迷惑者流ノ跳梁ヲ防クコト(五月末累次吉田總領事ヨリ關東庁ニ對シ場外取引ノ禁止方ヲ電報セルモ同庁ニテハ未タ之ヲ實行セサルモノノ如シ尤モ奉天取引所ハ五月三十日以来自發的ニ場外取引ノ記帳受理ヲ停止セリ)(三)奉天票手持ヲ可成避クルコト等種々ノ応急策唱ヘラレ居ル処此等ハ何レモ當面姑息ノ手段ニ過キス其結果力直ニ奉票急落ノ大勢ヲ支ヘ得サルハ論ナキ処一方滿州市面ノ沈滞ハ日々慘狀ヲ甚シクセントスルノ傾向アリ

二、本件根本的對策トシテハ左記諸案アリ

(イ)大正六年以來日支間ニ数次決定セラレタル所謂奉天金融整理委員會協定ノ如キモノヲ再ヒ實行シ兌換制度ノ確立ヲ図ルコト

本案ノ趣旨トスル処ハ奉天票目下ノ流通額ヲ五億弱ト

足ナル實行ハ困難ナルヘント云フ

九、借款

(イ)奉天當局ハ北京方面ヨリ金融ヲ得ント努力セルカ如キモ結局實現困難ナルカ如シ

(ロ)奉天省長側ニ於テハ屢々在奉天吉田總領事ニ對シ内密ニ日本側ヨリ借款ヲ得タキ旨申出テタルモ吉田總領事ハ右ニ對シ此際非公式ニ借款問題ヲ議スルハ好マサルモ張作霖ヨリ正式ニ申出アレハ兎ニ角一応考慮スヘント答ヘ居レル趣ナリ

(ハ)奉天當局ハ本年四月八日滿鉄側ニ對シ索倫鐵道資金トシテ二千萬円借款方ヲ申込タルモ滿鉄ハ之ニ取合ハス(滿鉄ハ目下奉天側ト通僚開魯間ノ鐵道建設ニ付交渉中ナル趣ナルカ或ハ奉天側ハ之ニ依リ幾分ノ資金融通ヲ得ントシ居ルニ非ルカ)

(ニ)奉天當局ハ目下大倉組ニ對シ借款方交渉中ナル趣ナリ一〇、尚奉天側ハ關稅會議ノ結果ニ着目シ之ニ依リ何等奉天省財政整理資金ノ融通ヲ得ント計畫シ居ルモノノ如ク觀測セラル

第四、奉天票暴落對策ニ関スル邦人側ノ意見

見テ之ヲ現大洋ニ換算シ一億五千万円ト推定シ右額ハ奉天省ノ人口、富力等ニ顧ミ過大ニ非ス唯タ其ノ弊害ノ依テ生スル所ハ奉天當局殊ニ其財政當局ニ對スル不信用並不安及兌換制度ノ欠如等ノ点ニアルカ故ニ日本側ノ助力ヲ以テ奉天財政ノ根本的立直ホシヲ行ヒ且奉票兌換ヲ實行スルニ於テハ容易ニ奉票價格ノ恢復ヲ計リ得ヘント云フニ在リ奉天票救済策ニ関スル本邦人間ノ通説ト目スヘシ

(ロ)奉天票ノ救済ニ見切ヲ付ケ寧ロ之ニ代ルヘキ適當ノ日本貨幣ニ依リ奉票ヲ實際上市場ヨリ驅逐スルコト
本案ノ趣旨トスル所ハ支那側ヲシテ幣制ヲ改善セシムルカ如キハ從來ノ經驗ニ徴シ到底予期シ得ヘカラストナシ寧ロ現今ノ金票又ハ鈔票ノ如キモノヲ以テ滿州ニ於ケル通価トナスヲ得策トスト云フニアリ客年全滿商業會議所連合會ノ決議セル銀資本銀行設立案ノ如キハ本案ノ一例ナリ又銀資本銀行ノ設立ニ付テハ石田奉天會議所會頭ノ意見書アル処右ニ依レハ大体(イ)關東州ニ銀本位制ノ特別幣制ヲ布クコト(ロ)右ニ依ル發券銀行ノ資本三千万円、發行能力三、四千万円トシ資本ノ募集

ニ付テハ政府ニ於テ株式半数以上引受ノコト(イ)関東州
及付屬地ヲ右紙幣流通区域トシ漸次奥地ニ浸潤セシム
ルコト等ナリ

三、右二案中第一案ニ付テハ支那側ニ(仮ニ有力ナル邦人
財政顧問ヲ入ルトルモ)其ノ実行力アルヤニ付疑問
ヲ抱クモノ少ナカラス然ルニ第二案ニ付テモ往年我方ニ
於テ鈔票ヲ奥地ニ浸潤セシメントシタル努力ノ遂ニ不成
功ニ終レル事実ニモ顧ミ其ノ成功ヲ危ム向モアリ何レニ
スルモ我方ニ於テ充分ノ決心ト準備トヲ以テ之ニ当ルヲ
要スルモノナリ

(付屬書四) (別紙丁号)

大正十五年六月二十三日付横浜正金銀行頭取席東洋課次長渡
辺礼ヨリ木村亜細亞局長宛書第一〇号

大正十五年六月二十三日
書第一〇号

横浜正金銀行

頭取席東洋課次長 渡辺 礼(印)

外務省亜細亞局

木村 鋭市殿

大正十五年五月末

正金銀行

銀三百万円

朝鮮銀行

金二百万円位ト称セラル

合計 銀三百万円

金二百万円位

(二)上記ノ期間奉天当局ノ採リタル奉天票価格維持策

イ城内支那側取引所ノ一時閉鎖、取引人ニ対スル圧迫拘
禁等ノ行政処分

右ハ從來モ屢実行シタル常套手段ニシテ効果ナシ

ロ満鉄付屬地日本側取引所ニ於ケル錢鈔取引禁止ノ請求

右ハ応諾スヘキ限ニアラサルヲ以テ取引所ニ於テ拒絶

シタリ

但シ場外取引ハ日本法ニテモ禁止シアルヲ以テ之タケ

ハ禁止セリ

ハ公共滙兌所ノ設立、上海天津向為替売出ニ依ル奉票ノ
回収

毎日十萬鋪相当額、七ヶ月間継続売出ノ予定ヲ以テ本
年二月二十三日開所セリ、奉天票百円ニ対シ上海鋪三
十兩乃至二十九兩位ノ相場ニテ売出シタルモノノ如
シ、五月十九日閉鎖売出中止セリ当局ノ謂フ所ニヨレ

拝啓益御清穆ノ段奉賀候陳者武内取締役ノ命ニ依リ別紙同
封御送付申上候間御查收被成下度候 敬具

(一)郭松齡事件前後ヨリ本年五月ニ至ル奉天票相場

	一日	十五日	同月中最低	同月中最高
十四年	一九、五	三二、四〇	一九、〇〇	三二、〇〇
十二月	二〇、六(四日)	三二、〇〇	一九、五	三二、五
十五年	二〇、六	三二、四〇(六日)	一九、〇〇	三二、五
一月	二〇、八	三二、二〇	一九、〇〇	三二、〇〇
二月	二〇、八	三二、〇〇	一九、五	三二、〇〇
三月	二〇、八	三二、〇〇	一九、五	三二、〇〇
四月	二〇、八	三二、〇〇	一九、五	三二、〇〇
五月	二〇、八	三二、〇〇(十七日)	一九、〇〇	三二、〇〇

(二)昨年十二月及本年五月ニ於ケル奉天側ノ本邦銀行ニ於ケ
ル預金高概算

大正十四年十二月十日

正金銀行

銀九百五十万円

金九十六万円

朝鮮銀行

金二千万円位ト称セラル

合計 銀九百五十万円 金二千九十六万円

ハ既ニ予定額六百萬鋪ヲ売尽シタリト云フモ信シ難
シ、右ヲ上記ノ相場ニテ換算スレハ奉票約二千万円ヲ
回収シタル筈ニシテ果シテ然リトスルモ上海ニ於ケル
支払資金調達ノ為メ夫レ丈再ヒ市場ニ放出セラレタル
ヤモ知レス畢竟資金不十分ナルヲ以テ此計畫モ失敗ニ
終リタリ

ニ五月中奉天交易所(城内支那側取引所)ニ於テ一日十
万円位ノ金票ヲ売り奉天票ヲ買収シタルコト数日アリ
タルモ之亦九牛ノ一毛ニ過キスシテ意味ナシ

ホ大洋五千万元公債発行ノコト

大洋百円ニ対シ奉票二百円ノ割合ニテ三陵ノ土地ヲ担
保トシ八ヶ年償還内債五千万元発行ノ条例ヲ發布シ
軍、政、商、農各界ニ割当テ強制応募セシムルコトト
シ農民ハ九月一日其他ハ六月一日払込ノ予定ナリシモ
実行セラレシヤ否ヤヲ知ラサルモ可能性ナキヤ明ニシ
テ本条例ノ發布ヲ以テスルモ奉天票相場ノ改善ニハ何
等効果ナク却テ弱気材料ニ数ヘラレタリ

ヘ奉天所在官銀号、中交兩行ノ奉票貸金回収命令、三行
ノ貸金約六千万円ト称セラレ其回収容易ノ業ニアラサ

ルカ勿論万一其一部分実行セラルルニ於テモ所謂角ヲ矯メ牛ヲ殺スノ類ニシテ財界ニ対シ紙幣乱発以上ノ攪乱ヲ来スヘシ

ト二三方面ニ対スル借款ノ申込ミ何レモ成功シタルヲ聞カス

チ銀元鑄造命令、奉天造幣廠ニテ一日五萬元鑄造スル旨公布セシモ流通紙幣回収ノ為メ兌換ニ使用セラレタルコトヲ聞カス畢竟スルニ兌換ニ要スル銀塊ヲ手ニ入ルルコト可能ナルカ如キ財政状態ナレハ初ヨリ奉天票ノ動搖ヲ見サル筈ニシテ本計画ノ如キハ夢物語ナリ

以上ノ如ク奉票ノ価格維持ニ焦慮シ種々ノ方法ヲ計画又ハ実行セルモ一トシテ其効果ノ見ルヘキモノナカリシハ当然ノコトニ属シ他方軍費ノ支出多額ニ上リ紙幣ノ濫発愈々益々甚シキモノアルヲ察スルニ難カラス

(四)郭死後時局一段落ノ観アリテ当分平和継続スヘキカノ如ク思ハレタリ、省民ノ輿望ヲ担ヘル王永江一派ノ非戰論者尚ホ財政ノ衝ニ当リ其標語トスル保境安民モ実現ノ望ミナキニアラサリシモ漸次軍部ノ圧倒スル所トナリ王一派ノ説ハ容レラレス王ハ二月二十日郷里金州ニ去リ超ヘ

将来其濫発ノ不安一掃セラレムカ多少ノ反撥ヲ見ルトシテモ大体現状付近ニ安定セシムルヲ得ヘキカ一旦安定サヘスレハ従来準備モナク且兌換セサル紙幣ノコトニモアリ必スシモ過去ノ銀元平価ニ近キ相場ニ回復セシムル必要ナシ強テ之ヲ為サントシ急遽タル相場ノ昂騰ヲ出現スルカ如キハ暴落ト同シク却テ弊害アルヲ以テ専ラ安定ヲ以テ目標トシ爾後財政ノ余裕ヲ生スルニ応シ徐々ニ調節ヲ計リ財界ニ衝動ヲ与ヘサルヲ以テ要諦トスレハ即チ足レリトスヘシ

(七)張ヲシテ中央政界ニ対スル野心ヲ断チ一意三省ノ保持ニ熱心ナラシムルニハ言説ヲ以テスルモ或ハ之ヲ納得セシムルコト困難ナルヘシ衷心ヨリ其必要ヲ自覺セシムルコト最モ緊要ナリ、其為メニハ現勢ノ儘推移セシメ必然到着スヘキ窮境ニ一旦陥ルニ至ラシムルモ成行上亦止ムヲ得サルヘシ財政方面ニ於テモ同様ナリ真ニ自ラ発意シテ之カ拾収ヲ委託スルニアラサル限り真実ヲ披瀝シ衷心指導ニ応スルカ如キコト期待シ得サルヲ以テ目下何等カノ助力ヲ為スモ其効果少ナカルヘシ

(八)仮リニ張カ窮境ニ陥リ誠意ヲ以テ財政恢復ノ援助ヲ我方

テ三月二日正式ニ辞表ヲ提出シ爾後軍部ノ行動ヲ掣肘スルモノナク尋テ天津ノ一戦トナリ転シテ國軍討伐ノ為メ兵ヲ関内ニ進メ依然中央ニ容喙セントスルノ方針ヲ以テ今日ニ至レリ其間当局ハ数次省政府財政ノ基礎並ニ奉票ノ発行額ニ付弁明的ノ發表ヲナシ又既記ノ諸手段ヲ講シタリト雖モ奉票市価ノ下落止マラサルハ最モ正直ニ其ノ発行額ノ過多ナルト、将来ノ不安トヲ物語ルモノト云フヘシ

(五)奉票ノ下落ヲ阻止安定シ現状ニテ推移スレハ或ハ到来スヘキ省政府ノ破滅ヲ未然ニ救フ途ハ

一、省財政ノ基礎ヲ確立シ内外人不安ノ念ヲ除去シ
二、敵ニ今後ノ濫発ヲ止メ財政回復ニ伴ナヒ徐々ニ調節ヲ計カル

ノ外ナシ、乃チ張ヲシテ兵力ヲ以テ中央ニ活動スルコトヲ少クトモ差当リ断念セシメ嘗テ王一派ノ唱ヘタル保境安民ノ善政主義ヲ採用シ過大ノ軍事費ヲ節減セシムルヲ得レハ将来ニ対スル不安ヲ一掃シ同時ニ紙幣増発ノ最大原因ヲ除去スルコトヲ得ヘシ

(六)奉票ノ整理トシテハ先ツ政治上ノ危虞ニシテ除去セラレ

ニ泣付クコトアリトセハ

一、先ツ予備調査ノ為メ適當ノ人物ヲ派遣シ徹底的ニ財務金融ノ調査ヲナシ

二、右ノ調査ニ基キ更ニ財政金融ノ要部ニ實質上執行力ヲ有セシムル諒解ノ下ニ適任者ヲ派遣スルコト

三、郭事変直後ノ状態ニ比シ目下実情更ニ甚シク悪化セラルモノノ如キヲ以テ當時ヨリハ整理困難ナルコトヲ予期セサルヘカラス、本年一二月ノ交ナレハ方法ニ拠リテハ恐ラク奉天政府ノ自力ヲ以テ比較的容易ニ短時日ニ局面ヲ拾収シ得ヘカリシモノト思ハルルモ今日トナリテハ調査ヲ遂ケタル上ニアラサレハ何等明言シ難キカ如シ

(九)更ニ張カ中央ノ兵争ニ失脚シ退テ三省ヲ固守スル破目トナランカ各方面ニ於ケル打撃ノ程度逆睹シ難ク或ハ万事休スルヤモ知レス併シナカラ張ニシテ幸ニ其地位ヲ維持シ得ルニ於テハ仮令我國ノ援助ヲ藉リ得サル場合ニ於テモ自ラ反省シテ過大ノ軍備ヲ廢シ且ツ兵争ヲナサス所云保境安民ノ善政主義ヲ守ルコトトナレハ徐々ナリト雖モ自力ヲ以テ其財政ヲ或程度ニ恢復シ得ヘク從テ一時暴落

ノ運命ニ陥リタル紙幣ノ価値モ安定スルニ至リ結局甚シキ騰落ヲ見ルコトナキニ至ルヲ得ヘシ

(付) 仮リニ奉天省政府カ自力ヲ以テ財政ノ確立ヲ希図スルトスルモ紊乱セル現下ノ幣制ヲ以テシテハ其目的ヲ達成スル以前ニ於テ対内關係ニ於テ民心ノ離反ヲ買ヒ省政府ノ覆滅ヲ見サルヤノ懸念ナキニアラサルモ若シ紙幣増発ノ程度最近數ヶ月ニ於ケル如ク甚シカラス從テ價格ノ低落緩慢ナレハ其間物価トノ調節曲カリナリニ行ハレ幣制破壊ノ危険ヲ免カレ政治的革命ヲ招来スル程ノコトニハ立ち至ラサルヘシ、例ヲ隣省吉林官帖下落ノ跡ニ徴スルニ前清末期ヨリ民国ノ初年ニ亘タリ十數年間銀一円ニ對シ二吊三百文内外ヲ維持シタルモ奉天派ノ省政掌握以來出費漸増濫發止マズ大正七年十五吊文、八年三十五吊文、九年七八十吊文ト毎年價格半減程度ニ漸落シ現在四五百吊文ノ間ニ在リ併カモ一般省民ハ今尚ホ官帖ニ對スル執着ヲ捨テス農民カ其產物ヲ売却スル對価ニハ依然トシテ官帖ヲ使用セリ奉天票ニ付テモ略ホ同様ニ觀測シ甚シキ誤リナカルヘキ乎統計ノ拠ルヘキモノナシト雖モ概觀スルニ奉省住民ノ大部分ハ農民ニシテ地方ニ散在シ僅少ナ

ル都市ニ集中生活ヲ営ムモノノ數ハ全体ニ比較シテ甚タシク少數ナリ、住民中ノ多數ヲ占ムル農民ハ幼稚低級ノ生活ニ満足シ生活必需品中外国產ニ俟ツモノハ僅カニ綿糸布ノ類ニ止マリ之ニ次ク準必需品トシテ石油、砂糖、煙草位ヲ算スルニ過キス、自余ハ郷土ノ產物ヲ以テ自給自足セリ、從テ通貨ノ對外価値ノ下落カ住民ノ生活ヲ脅カス程度他文明國ニ於ケル類似ノ場合ニ比シ甚シク少ナシ又綿糸布ヲ購買スルニシテモ一方農產物ノ價格ハ奉票ノ騰落ニ伴ヒテ高低スルヲ以テ売却ト購入トヲ成ルヘク同時ニナセハ其間通貨下落ノ損害ヲ蒙ルコト尠カルヘク又農民ハ概シテ財力甚シク貧弱ニシテ概ネ hand to mouth ノ生活ヲ營ミ貯蓄ノ余裕ナキヲ以テ通貨下落ニヨリ直接資産ノ減耗ヲ来タスコト甚タ少シ、都市ニ於ケル商賈就中輸出入品ヲ取扱フ比較的富裕ノ階級ハ概ネ他省ニ根拠ヲ有スルモノニシテ地方土着ノ商人ハ少ナシ(直隸、山東、出身者最モ多シ、就中直隸省樂亭、濰州ノモノ多數ヲ占ム、發字号ノ如キ代表的ノモノナリ)之等商賈ハ農民ノ鈍重ニ反シ通貨ノ變動ニ對シ敏感ナルニ加ヘ都市ニ於テハ其ノ趨勢ヲ速カニ感知シ得ルト錢鈔市

場ノ發達セルトニヨリ迅速ニ他種通貨ニ轉換シ得ル便宜ヲ有スルヲ以テ通貨下落ノ損害ヲ相當程度迄輕減スル事ヲ得ヘシ且ツ彼等ノ習慣ニ依レハ決算期毎ニ利益ノ全部ヲ郷里ニ移送スルヲ以テ多大ノ地方通貨ヲ蓄積スルコト尠ナク從テ通貨下落ノ苦痛モ比較的輕微ナルモノト察セラル唯俸給並ニ賃銀ニ衣食スルモノハ觀面ニ通貨下落ノ影響ヲ蒙リ之ヲ回避スルニ由ナシ例之街頭ノ労働者(衣食住共ニ自弁)工場ノ職工(概ネ衣食自弁)兵卒(食自弁)等ハ夫々ノ程度ニ於テ影響ヲ蒙リ雇主ヨリ増給ヲ得ルニアラサレハ生活困難ニ陥ルヘシト雖モ支那ニ於テ相當多數ヲ占ムル家内労働者、徒弟ノ類ハ旧來ノ風習ニ從カヒ生活資料ヲ物資ヲ以テ給セラルルモノナルヲ以テ直接ニ生活上脅威ヲ感スルコト尠ナシ、要スルニ一般住民ノ生活低級ナルト、自給自足ニ俟ツ所多ク從テ外國輸入品ノ消費少ナク加フルニ社会並ニ産業組織ノ特殊ナル為メ通貨下落ノ影響尠キコト、他文明國ト同日ニ談スヘキ

ニアラス、況ンヤ支那全土ヲ通シ中央ト地方トヲ問ハス完全ナル幣制ヲ有スル地方ハ一二開港市場ヲ除キテハ絶無ト云フヘク、一般人民ノ通貨ニ對スル觀念モ亦他國民

ノ夫レト大ニ異ナリ通貨ヲ以テ殆ト一種ノ商品ト考フル如キ事実ハ封建の事大思想、極端ナル個人主義彼等一流ノ「没法子」人生觀ト相錯綜シテ尚ホ奉票ノ壽命ヲ維持セシメ其ノ増發ノ程度甚シカラスシテ低落急激ナラサル限リ對内的ニ民心ノ離反ヲ買ヒ俄カニ政權ノ覆滅ヲ見ル如キコトハアラサルヘシ

(付) 更ニ對外貿易特ニ我邦ノ對滿貿易上ニ及ホス影響ヲ考フルニ對内關係ノ場合ト同シク今後通貨ノ低落急激ナラサル限リ甚シキ通商上ノ妨害トナラサルヘシト思ハル、滿州地方通貨ノ下落ハ今更珍シキ問題ニアラス過去十數年來統發セル各種通貨ノ下落ハ其都度取引ノ不便不円滑ヲ来タシタリト雖モ其ノ結果ハ一時的ニ止マリ永キニ亘リテ格段ニ我貿易ノ増進ヲ妨ケタリト認ムヘキモノナシ、輸出貿易ノ方面ニ於テハ通貨ノ下落ニ伴フ特產物価値ノ昂騰ハ實質的ニ何等影響スル所ナク(奉天省内ニ於ケル特產物集散市場ノ主要ナルモノ開原及公主嶺アリ、兩地共ニ関東庁取引所アリ、建值奉天票ヲ用フ)通貨ノ騰落甚シキニ際シ一時的ニ取引ノ渋滞ヲ来シタルコトアルモ大体ニ於テ輸出ヲ沮害スル程度ノ影響ヲ蒙リタルコト當

テナク最近數年間ニ著大ノ増進ヲ見タリ、輸入貿易ニ於テモ同シク通貨ノ騰落甚シキ時ハ取引ノ障害トナルコト勿論ナレトモ一時的ニモ通貨安定ノ機会アレハ取引復活シ大体ニ於テ逐年増加ノ趨勢ヲ示セリ、唯通貨ノ頽勢急激ニシテ一本調子ニ低落スルニ於テハ独リ輸出入貿易ヲ沮害スルノミナラス通貨タルノ機能ヲ失墜シ經濟生活ノ根底ヲ覆ヘスニ至ルヘキヲ以テ結局破滅ノ外途ナカルヘシ或ハ又低落ノ一路ヲ辿ルニセヨ其ノ傾斜急角度ノ直線ニアラスシテ數多ノ段階ヲ有スル緩傾斜ナルニ於テハ其間自カラ物価調節ノ余裕ヲ生シ經濟生活ニ及ホス衝動ヲ緩和スヘキヲ以テ現在ノ幣制ヲ以テ当分推移スルモノトスルモ之カ為メ必スシモ奉省政府ノ覆滅ヲ來タスモノト云フコトヲ得ス

(四)奉天当局ハ從來嘗テ信用スヘキ財政予算ヲ發表シタルコトナシト雖モ其施政ノ實際ヨリ觀察シ軍備、軍事費ヲ除キテハ多大ノ支出ヲ要スル綱目ノ著シキモノナシ、一方省民一般ハ殆ト原始的ノ生活ニ甘シ近代ノ文化的設備ヲ要スルコトナキヲ以テ、僅カニ都市地方ノ警察行政カ最モ經費ヲ要スル位ノモノニシテ其他司法、教育、産

六一五 七月二日 幣原外務大臣ヨリ
在奉天吉田総領事宛

奉天票問題ニ関スル關係各省局部長會議ノ模様及ビ陸軍、大藏両方面ノ態度通報ノ件

付屬書 六月三十日亜細亞局第一課作成

東三省財政問題ニ対スル陸軍、大藏両方面ノ態度ニ関スル件

機密第九六号 (極秘)

本年七月一日付往信機密第九五号ニ関シ

其後当方局部長會議ニ於ケル本問題協議ノ模様及本件ニ関スル陸軍並大藏両方面ノ状態ニ付別紙ノ通御参考ノ為送付致スニ付委細別紙ニ就キ御了承相成度此段申進ス

(付屬書)

東三省財政問題ニ対スル陸軍、大藏両方面ノ態度ニ関スル件
一、大正十五年六月二十八日外務、陸、海、大藏局部長會議ニ於テ木村局長ヨリ奉天票問題ニ関スル当方調査ニ対スル松井奉天顧問意見ト右ニ対スル弁駁並正金武内取締役意見書トヲ对照シ専門家ノ意見ニ依レハ奉天票問題ハ既ニ救済シ得ヘキ時機ヲ失シ拱手傍觀スルノ外無シト云フニ帰スルカ如ク思考セラルル旨ヲ述ヘタルニ

業、交通、衛生等何等多額ノ經費ヲ要スト認ムヘキモノナシ、然ルニ管下ノ農産物ハ世界的産物トシテ独特ノ地歩ヲ占メ其外國輸出額モ近年巨額ニ上ルヲ以テ此貨物ノミヲ以テスルモ苛斂誅求ヲ用ヒシテ裕ニ各般ノ行政費ヲ賄ヒ得ル資源タルヲ得ヘシト考ヘラル、要スルニ老ナル軍事費ノミカ万端ノ禍根ナルヲ以テ之ノ禍根ヲ除クコトヲ得レハ敢テ他ノ援助ヲ藉ラストモ自力ヲ以テ財政ヲ恢復シ紙幣ノ価格ヲ安定セシムルコト亦不可能事ニアラサルヘシ、從テ外来ノ援助ヲ要スルトセハ之レ単ニ整理ヲ容易ナラシメ恢復ヲ速カナラシムルニ過キササルモノナリ

(五)要スルニ奉省財政整理ノ成否ハ一ニ其老ナル軍事關係費ヲ削減シ得ル程度ニ於テ定マルモノト云フ可シ、保境安民ニ必要ナル程度ニ之ヲ削減シ得レハ自力ヲ以テスルモ恢復スヘク若シ又外部ノ援助ヲ藉ルニ於テハ此方針ヲ遂行スル実力アル援助タルヲ肝要トス然ラサル限り仮令外部ノ援助ヲ藉ルモ終ニ一時ノ糊塗ニ止マリ永遠ノ効果ヲ期スヘカラス

松井奉天顧問ハ外務省及正金ノ意見ハ共ニ想像ニ外ナラス之ニ反シ奉天当局者ニ於テハ帳簿ニ就キ取調タル結果二億余ノ奉天票ヲ発行シ居ルニ過キスシテ財政上破綻ニ瀕スルノ憂ナキノミナラス現ニ奉票價格引上ケノ為公債募集ノ結果二千万元ノ奉票回収ヲ行ヒタリト言明シ居ルニ対シテ之ヲ論駁スヘキ材料ヲ欲ス右我方意見書中ニハ右事実ヲ否定スヘキ数字上ノ根拠ヲ発見セスト述ヘタルニ付

木村局長ヨリ東三省財政ニ関スル適確ナル数字ハ支那ノ風潮並同国当局ノ内幕ニ顧ミ徹底的ニ調査スルニ非レハ之ヲ知ルニ由ナキコト勿論ナルト共ニ支那当局者一片ノ証言ヲ以テ確實ナリトスルコト能ハサルモ亦言ヲ俟タス而シテ一方奉天票ノ動搖並暴落及東三省歳入ノ減少甚シキニ当リ多大ノ軍費ヲ要スルコトモ亦明白ニシテ公債ノ募集ハ松井顧問ノ報道ニ反シ殆ト失敗ニ終レルコト在滿領事ノ報告一致セルトコロナリ
右事情ノ下ニ遠カラス東三省金融界ニ恐慌來ルヘキヲ判斷スルハ常識上当然ノコトニシテ特ニ数字上ノ調査ヲ要セス極言スレハ奉天票問題從テ東三省金融界ノ前途ニ対

シ悲觀スルト否トハ常識アルヤ否ヤノ問題ナリト云フヲ得ヘシ然ルヲ支那側ニ於テ其財政ノ前途ニ樂觀シ居レリトセハ故意ニ事ノ真相ヲ知ルコトヲ欲セサルモノト云フノ外ナク斯カル支那側ノ態度ニ對シテハ之カ救済策ニ關シ此上彼レ此レ論議スルモ無益ノ沙汰ニシテ結局奉天當局者ノ行詰リ覺醒スルヲ俟ツノ外ナカルヘシ然リト雖斯ル事態ノ下ニ於テハ町野顧問又ハ張作霖周囲ノ者ノ策動スルカ如ク鐵道布設問題ニ藉口シテ對日借款ヲ企圖セントスルモ我政府ハ勿論實業界ニ於テモ誰一人トシテ右借款ニ応スル者無カルヘキコトハ松井顧問ニ於テモ深く念頭ニ入レテ帰奉アリ度旨ヲ告ケタルニ列席ノ松井部長ヨリ彼レ此レ口添ヘノ点モアリ結局松井顧問ニ於テ奉天當局者ヨリ奉天票殊ニ其財政ニ關シ出来得ル限りノ数字ヲ入手シ以テ我方研究ノ資料ニ供スヘキ旨ヲ約シテ別レタリ

二、転シテ六月二十九日夜木村局長ニ於テ小泉策太郎氏ニ面会シタル処同氏ノ言ニ依レハ宇垣陸相ハ松井顧問ノ意見ヲ聞キタル結果ナルカ奉天當局者ニ於テ其財政ニ付案觀シ確信アリト言明シ外間ヨリ兎ヤ角焦慮スルハ無用ノ

木村局長ヨリ抽象的ニ云ヘハ戰爭ノ如キ非常事ニ際シ不換紙幣ノ發行等ハ之ヲ首肯スルニ難カラスト雖之ヲ支那ノ政情殊ニ東三省ノ現政情ニ顧ルトキハ右抽象論ノ当ラサルコト明ナルヘシ東三省刻下ノ急務ハ内部ノ結束ヲ強固ニスルニアリ從テ之カ為ニハ戰爭ヲ避ケ財政ノ整理ヲ斷行スルノ要アルコト言フ俟タス然ルニ奉天當局ニ於テ事茲ニ出テ空疎ナル財政整理策ニ倚賴シ外敵トノ争鬭ニ專念スルカ如キハ本末顛倒ノ行動ナル旨ヲ指摘シ同時ニ富田局長ノ再考ヲ促シ置ケリ

四、要之大藏省方面ニ於テハ奉天票問題從テ東三省財政ノ前途ニ付未タ研究ノ形跡無ク近頃滿州ニ於ケル企業者連其他政黨關係方面ヨリ刺戟セラレ稍其注意ヲ向クルニ至リタルモノノ如ク本件ニ關シ当初ヨリ余リ熱心ナラサリシハ想像ニ難カラサル処陸軍側ニ於テモ外務省ニ於テ憂慮スルカ如ク深ク本件ヲ考慮シ居ラス寧ロ本問題ニ對スル熱度幾分冷却ノ傾ナキニ非ス

(大正十五年六月三十日谷課長述 岡崎記)

六一六 七月十七日 在奉天吉田總領事ヨリ幣原外務大臣宛

五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉 六一六

セツカイナルカ如キ口吻ヲ洩セリト語レリ

三、尙大藏大臣ニ於テハ曩ニ對張警告ニ關スル閣議決定ノ際所旁列席セサリシモ其後ノ閣議ニ於テ外務大臣ヨリ本警告案ヲ示シタル際本警告中財政整理問題ハ多大ノ資金ヲ要スヘキモノト思考セラルル処本件ハ直ニ之カ実行ニ着手スヘキモノナリヤヲ訊ネタルニ付幣原大臣ヨリ愈々右実行ノ為ニハ予メ專門家ノ調査ヲ要シ該調査ヲ行ヒタル上適當ノ計画ヲ立テ幾何ノ資金ヲ要スルヤヲ決定スヘキモノナリ其ノ上ニテ政府力之ヲ援助スヘキヤ否ヤヲ考慮スヘク唯今直ニ決定ノ要ナシト説明シ大藏大臣ニ於テモ之ヲ諒トシ右警告案ニ署名シタル経緯アル次第ナルモ前記六月二十八日局部長會議ノ際ニ於ケル富田理財局長ノ口吻ニ徴スルニ大藏省側ニ於テハ未タ奉天票問題從テ東三省財政問題ニ關シ深く研究ヲ重ネサルモノノ如ク同局長ハ現ニ外敵ト戰爭中ナル奉天當局者ニ於テ自己ノ生死ノ問題ヲ眼前ニシ自衛上不換紙幣ヲ發行スルハ止ムヲ得サルモノト云フヘク外国側ヨリ財政整理ノ為戰爭ノ廢止若ハ不換紙幣發行ノ停止ヲ勸告スルモ之ヲ顧ルノ暇ナキハ察スルニ難カラサル旨ヲ述ヘタルニ付

滿州經營ニ關シ意見具申ノ件

付記一 同意見書付言

二 同意見書「(2)經濟不安定ニ對スル救済策」ノ訂正

三 滿州經營ニ關スル吉田總領事意見書ニ對スル亞細亞局第一課意見

四 昭和二年五月十三日付式村滿州商業會議所連合會長ヨリ田中義一外務大臣宛

滿州金融制度並ニ政策改善ニ關シ要請ノ件

機密公第五五五号 (七月二十三日接受)

大正十五年七月十七日

在奉天

總領事 吉田 茂(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

滿州經營ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ卑見別紙ノ通り御参考迄送付ス

本信写送付先 在支公使、吉林、哈爾濱、齊々哈爾、安

東、牛莊、長春、滿鉄大藏理事、木部部長

(別紙)

滿州經營ニ關スル件

在滿邦人ハ今ヤ既設事業不況ト新事業不振ノ為メ經濟的飽

満ノ状ヲ呈シ此儘ニテハ發展ノ前途甚タ望ナキヲ思ハシム
今其因テ来ル処ヲ考ヘ将来ニ処スル方法ニ付卑見ヲ述ヘン
トス

邦人ノ事業經營意ノ如クナラサルニ至リシ原因ハ

第一、政治的不安定

第二、經濟的不安定

第三、金融的不安定

ノ三者ニ歸スヘシ

第一、政治的不安定

近年支那政情安定セス年々兵ヲ関内ニ入レ中央政情ノ為
メ東三省モ亦動搖シ軍費嵩ミテ財政難ヲ生シ依テ以テ一
般經濟ヲ圧迫シツツアリ

第二、經濟的不安定

政治上ノ不安定ヨリ自然經濟的不安定ヲ招クト雖此外来
ノ事情ヲ別トシテ邦人特殊ノ事情カ又經濟的不安定ノ原
因ヲナスモノアリ在滿各種企業失敗ノ跡ヲ考フルニ

(一) 調査ノ不充分、經營ノ粗漏、好景氣時代ヨリ種々新企
業計画セラレ工場新設セラレタルモ其多クハ滿鉄、関
東庁其他ノ保護ニ依頼シ自ラ立ツノ計ヲナスモノ少カ

ニ新事業發展ノ余地少ナク所謂飽滿ノ状態ヲ生スルハ
当然ノ次第ナリ

第三、金融的不安定

(一) 商業金融

商業金融機關トシテ各種ノ銀行アルモ本邦銀行及本邦
人ハ主トシテ金資本ニ依リ支那人ハ銀資本ニ依ルヲ以
テ支那他地方ニ於ケルト同様經濟の基礎充分ナラサル
邦商ハ常ニ金銀為替相場變動ノ危険ニ苦メラレツツア
リ銀資問題ニ付テハ茲ニ叙説セサルモ要スルニ本邦商
人ハ商売上金銀為替相場ノ危険ト事業自態ノ危険ト二
重ニ負担ノ銀資ノ欠乏ハ好況不況ニ拘ラス邦人ノ商業
的活動ヲ拘束シ經濟の安定ヲ妨ケツツアリ

(二) 不動産金融

殖民地ノ經營發展ノ基礎ハ之レヲ土地ニ求メサルヘカ
ラサル処關東州外土地所有制限セラレ關東州内土地所
有權アリト雖不動産金融機關ヲ欠クコトハ多年ノ問題
ナリ東拓其他カ一時不動産金融ニ手ヲ染メタルモ經驗
乏シク其經營貸出方針ノ粗漫ナルト不動産銀行タルノ
組織充分ナラサル為メ徒ラニ利權屋ヲ利益セシニ止マ

五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉 六一六

リント云フモ不可ナラス保護ニ依頼ノ結果自ラ事業計
画疎漏トナリ經營放漫トナル關東庁及滿鉄ノ保護政策
ハ固ヨリ最善ノ途ヲ講シテ保護厚キヲ致シタルモノナ
ルヘキモ其保護ノ方針カ各個企業ヲ直接保護セントス
ルニアリタリトスレハ過テリ企業自身ハ各個人ノ計算
ト危険ニ於テ事ニ当ラシムヘク各個人ヲシテ其企業ヲ
容易ナラシムル状態ヲ招徠スルヲ以テ保護政策ノ主眼
トスヘカリシナリ既往ノ保護政策カ獨立企業心ヲ喪失
セシメ獨立企業心ノ喪失カ今日産業不安定ヲ来タセリ
ト断言スルヲ憚ラス

(二) 關東州外ニ於テ邦人企業ハ主トシテ鐵道付屬地内ニ存
在シ付屬地内土地ハ滿鉄ノ所有ニ歸シ居ルヲ以テ各種
ノ企業ハ土地ニ根底ナクシテ經營セラルト云フモ不可
ナラス鐵道付屬地ノ地積モ亦自ラ限リアリ今日ハ既ニ
其土地ニ不足ヲ感シ商埠地ニ出テントスレハ商埠地ノ
設定多カラサルニ加ヘ現存商埠地ノ大部分ハ支那大官
ノ所有ニ歸シ其値上ヲ俟ツテ売放タントスルヲ以テ商
埠地内ニモ土地ヲ得ルニ面倒少カラス自然邦人經濟的
活動ノ範圍限界セラレ經營事業ノ基礎強固ヲ欠クト共

リ会社事業自体モ遂ニ今日ノ悲況ニ陥レリ之ヲ支那他
地方在住外国人發展ノ狀況ニ考フルモ好景氣時代ニ土
地其他不動産ニ投資シ不況時代ニ此等不動産ヲ根拠ト
シテ市況回復ヲマツカ一般ナルカ土地所有權アルモ一
面不動産ノ金融機關備ハラサレハ邦人ヲシテ土地投資
ノ余裕ヲ有セシメス不動産金融ト土地所有權トハ相表
裏シテ我滿蒙發展ノ基礎ヲ為スモノト存ス

(1) 政治的不安定ニ対スル救済策

政治的不安定ニ対スル政策ハ暫ク論セス滿州ノ經濟的中
心ヲ政治の中心ヨリ分離シ政情ニ左右セラレサル關東州
若クハ鐵道付屬地内ニ移スコトヲ努ムルヲ要ス近時大連
並鐵道沿線ノ發展ヲ考フルニ漸次支那人カ政治上ノ不安
ヲ遁カルルカ為メニ移住シ来ル傾向アリ然ルニ是迄我ハ
可成支那人ノ来住ヲ喜ハサルノ風アリ或ハ支那人ノ来住
ニ便ナラサル事情アリ殊ニ鐵道付屬地ニ於テハ邦人ノ為
メニ土地ヲ保留センカ為メナリトテ全ク支那人借地權ヲ
制限セルモノアリ奉天鐵道付屬地ハ其一例ニテ當館ニ於
テハ滿鉄ノ希望ニ応シ支那人ノ付屬地内不動産登記ヲ中
止セリ之カ為メニ郭松齡事變其他ノ動搖ノ場合ニ奉天城

内大官巨商ノ一時鉄道付屬地ニ避難シ来リ事變後付屬地ニ土地ヲ求メントスルモノ尠ナカラサルモ以上ノ制限アルヲ以テ多クハ失望ノ間ニ思止マリ然サレハ邦人ノ名義ヲ用フ等ノ方法ヲ講シテ僅ニ借地權ヲ得ツツアリ其結果名義ヲ借シテ衣食スル邦人ヲ利益セシメタルモ結局鉄道付屬地内ニハ苦力小商人等屯集シ勢力アル支那人ハ入込マサル狀況ニアリスル制限ヲ廃止セハ支那惡政ノ結果支那街ノ大官巨商ハ自然產ヲ擧ケテ移住シ来リ經濟生活ノ中心ヲ鉄道付屬地内ニ移スコト恰モ上海天津ニ於ケルカ如クナルヘク若夫鐵道沿線右様ノ狀態ヲ呈スルニ至ラハ鐵道沿線ハ滿州ノ經濟的動脈ヲナシ大連ハ其中樞機關タルヘク滿州ノ經濟動脈及其中樞我權下ニアリテ支那政情ヨリ獨立シ經濟的安定ヲ得ルニ於テハ在滿邦人モ亦姑息ナル共喰生活ニ衣食セストモ關東州及州外鐵道付屬地ノ殷賑ニ依リテ經濟的新發展ノ余地ヲ生シ商業其他ノ企業ニ衣食スルノ邦人更ニ増加スルニ至ルヘキナリ支那人ニ借地權ヲ制限シテ邦人ニ居住ノ余地ヲ与フルナト云フハ姑息極マル次第第二テ之ニ依リテ徒ラニ邦人ヲ遊民ニ化シ支那人ニハ誤解ヲ生セシム支那ヨリ得タル土地ナルニ

ナルヘシ

(二)今日我滿州經營策ハ更ニ學術的タルコトヲ要ス即チ工業試驗所等ノ専門學者ノ調査、研究ニ俟テ計畫ヲ進ムルニ非ラサレハ支那人トノ競争ニ於テ勝利覓東ナシ邦人發展ノ余地ハ体的労働ニアラスシテ智的方面ナラサルヘカラス滿鐵力燃料政策、アルミニウム工業、製鉄業等ニ其注意ヲ集中シツツアルハ最モ喜フヘキ所ナルカ政府モ亦近ク滿州ニ各種専門學者ヲ派出シテ母國産業經濟トノ交渉連絡ニ付研究セシメ其調査ノ結果ヲ參考トシテ我經營ヲ學術的ナラシムルト共ニ學者輩モ自ラ進ンテ其研究調査ノ結果ヲ民俗的平易ニ發表シ企業家ノ參考ニ資スヘキナリ

(三)殖民地經營ハ畢竟母國ト周密ナル關係アルニ非レハ発達ヲ期シ難シ我滿州經營ニ對シテ帝國政府力經濟政策殊ニ關稅政策等ニ於テ内地ト更ニ密接ナル連絡交渉ヲ作ルノ必要アルヘク其筋ノ専門的研究ヲ要スト思考ス

(四)交通

新鐵道開通鐵道網擴張ハ經濟的ニハ(一)邦人ノ活動範圍擴張(二)一地方ノ豊凶ヲ以テ他地方ノ豊凶ヲ補フコトニ

支那人借地權ハ制限セラレ一面借地權ヲモ制限セラルヘキ商租地設定ニ支那側カ甘シテ自ラ同意ヲ表スルカ如キ矛盾アルヘキヤト指摘セラレ吾人ハ常ニ弁解ニ苦ムモノナリ付屬地内支那人借地權制限ノ如キ姑息不徹底ナル措置ハ直ニ廃止スルヲ要ス(付言(統括)參照)

(2)經濟的不安定ニ對スル救済策

(一)保護政策カ今日ノ事業渋滞ヲ来タセル次第ハ前述ノ通りニテ事業計畫及經營ノ疎漫ナルハ一面保護政策ノ結果ニ歸スヘク從テ産業保護ノ方針ハ直ニ各個ノ企業ヲ保護奨励セントセシテ個人企業ノ発達シ得ル狀況ヲ招徠スルコトニ努ムヘキナリ少クトモ個人企業ノ獨立シウル狀態ノ發生ヲ促スヘキナリ滿鐵モ近時右様ノ政策ヲ取ルニ至リタルモノナルカ電氣事業其他ヲ分離獨立セシメント計リツツアルカ如キハ最モ喜フヘキ現象ニテ滿鐵ハ鐵道及鉱山ヲ以テ本業トナシ其以外ノ企業ノ獨立シ得ル狀態ニ立至ラハ之レヲ獨立ノ企業トシテ分離セシメ獨立シタル企業者カ其危險ト計算ニ於テ經營ニ當リ滿鐵ハ之レヲ監督スルノ方針ヲ取ラハ更ニ今日ヨリ其企業計畫集約ナルヲ得テ事業遂行所期ノ如ク

ナリテ經濟的安定ヲ招徠スル所以ニテ最モ喜フヘキ次第ナルカ交通ノミ開ケタリトテ新鐵道沿線ニ居住營業ノ自由ナクハ物資ノ買入其他ニ於テモ邦人ニ充分ノ活動ヲ許サス、商租權ヲ許ストセハ格別ナルカ未タ直ニ其時機ニ到ラストセハ鐵道沿線首要停車場ノ周圍何百哩ヲ邦人ノ居住營業ニ開放セシムルカ如キ提案ヲナシテハ如何カト存ス斯種ノ提案ハ相當ノ機會ヲ捉フルニ於テハ支那側ニ於テ承諾セストモ限ラス元來支那側カ鐵道敷設ノ利ヲ知リタルハ土地値上ヲ望ム慾心ニ出ツ、新線沿道ノ土地ノ値上リハ日本人カ来住スルコトニ依リテ更ニ刺激セラルヘク從テ鐵道開通後邦人ノ来住ニ付テハ寧ロ歡迎スヘキカトモ考ヘラル農場經營ニモ差支ヘナキ程度迄広ク首要停車場付近ヲ開放セシムレハ邦人企業經營ノ目的モ達セラルヘク又首要停車場付近ニ非ラサレハ勞力ヲ得ルコト難ク故ニ人口稀薄ナル滿蒙ノ土地ニ於テ之カ全部ノ開放ヲ望ムヨリモ勞力供給ノ關係ヨリ先ツ首要停車場付近ヲ開放セシメ開放後何等ノ故障ナキ実績ヲ示スニ於テハ商租ノ交渉モ自然円満ニ速開セシムルノ機運ヲ生スヘキヤト思考ス

(3) 金融不安定ニ対スル救済策

銀資金欠乏ニ依ル商業取引所ノ障害ニ付テハ縷陳ノ要ナシト雖銀資金ノ要ヲ認メテ政府力相当ノ施設ヲ為ス場合新設銀行ニ依テ之ヲ為サシムルカ如キハ最モ宜シカラス我國ノ事情ニ於テ銀行設立後直ニ株主ハ其配当ヲ望ミ銀行当局ハ事業ノ成績ヲ挙クルニ急ナル結果自然貸出ニ無理ヲ生スルハ当然ニテ既往在滿銀行業失敗ノ原因皆茲ニアリ滿州ニ銀資ヲ持来ルトスルモ尚既設銀行ニ依テ是カ運用ヲ計ルヘク不動産金融ニ就テモ同様之又既設銀行ニ其運用ヲ托スヘク然ラサレハ再ヒ既往ノ失敗ヲ繰返シ邦人ノ堅実ナル發展ヲ阻害スルノ虞ナシトセス

(付 記 一)

右意見書付言

(付 言)

極東貿易ヨリ大連ノ地位ヲ考フルニ上海ハ現今極東貿易ノ中心市場ニシテ從ツテ又金銀為替相場ノ出會ヲナス処タリ此地位ヲ持續スル間ハ我國モ亦極東ニ於ケル經濟的優越地位ヲ占メ得タリト言フヘカラス上海ニ對抗シ其繁榮ヲ奪フ目的ヲ以テ大連ノ將來ニ付最モ慎重ニ考慮スルヲ要ス上海

況ヲ招徠スルコトニ努メ保護企業ハ成ルヘク早キニ於テ独立ヲ促スヘキナリ滿鉄カ頻リニ電氣事業其他ノ分離独立ヲ計リツツアルカ如キハ最モ喜フヘク鐵道及鉱山ヲ以テ滿鉄ノ基本事業トナシ其以外ノ企業ノ独立シ得ル状態ニ立至ラハ之レヲ獨立ノ企業トシテ分離セシメ獨立シタル企業者カ其危険ト計算ニ於テ經營ニ當リ滿鉄ハ之レヲ監督スルノ方針ヲ取ラハ企業計畫益々堅実ナルヲ得テ事業遂行所期ノ如クナルヘシ

(二) 我滿州經營ハ更ニ學術的タルコトヲ要ス即チ工業試驗所等ノ専門學者ノ調査、研究ニ俟テ各種事業ノ計画ヲ進ムルニ非ラサレハ支那人トノ競争ニ於テ成功ヲ期シ難シ邦人發展ノ余地ハ体的労働ニアラスシテ智的方面ナラサルヘカラス滿鉄カ燃料政策、アルミニウム工業、製鉄業等ニ其注意ヲ集中シツツアルハ最モ喜フヘキ所ナルカ政府モ亦常ニ滿州ニ各種専門學者ヲ派出シテ母國産業經濟トノ交渉連絡ニ付研究セシメ其調査ノ結果ヲ参考トシテ我經營ヲ學術的ナラシムルト共ニ専門學者モ自ラ進ンテ其研究調査ノ結果ヲ通俗的平易ニ發表シ企業家ノ参考ニ資スヘキナリ

ハ現ニ東洋ノ極東貿易ノ中心市場タリト雖揚子江流域ハ原料産額ノ豊富ヲ以テ称セラルルニ拘ラス露國ノ小麦、米國ノ棉花ノ如キ纏リタル多量原料ノ上海ニ搬出セラルルモノ無ク且石炭ハ開鑿及撫順ヨリノ供給ニ俟ツ貿易港トシテ多年ノ歴史ト揚子江流域ヲ控ヘルカ為メ殷賑ヲ極ムト雖多大ノ弱点伏在セリ且地方ノ擾乱多年ニ亘リ何時ニ至リテ平靜ニ歸スヘキヤ全ク予測スヘカラス大連ハ之ト異ナリ二百万噸ノ大豆、豆粕三百万噸ノ石炭ノ輸出貨物アリ地ハ渤海ノ要衝ニ當リ鐵道ハ欧州ニ通シ北支那ノ發達ト大連ノ繁榮ニ伴フテ上海ニ代ル將來極東ノ船舶ヲ大連ニ集中セシムルコト全ク望ミナキニ非ラス又努メテ此域ニ達セシムルコトヲ期スヘキナリ

(付 記 二)

右意見書「經濟的不安定ニ対スル救済策」ノ訂正

(2) 經濟的不安定ニ対スル救済策

(一) 保護政策カ今日ノ事業不成績ヲ来タセル次第ハ前述ノ通りニテ事業計畫及經營ノ疎慢ナルハ一面保護政策ノ結果ニ歸スヘク從テ産業保護ノ方針ハ直ニ各個ノ企業ヲ保護奨励セントスルヨリモ個人企業ノ發達シ得ル状

(二) 殖民地經營ハ畢竟母國ト周密ナル關係アルニ非レハ發達ヲ期シ難シ滿州經營ニ對シテ帝國政府カ經濟政策殊ニ關稅政策等ニ於テ内地ト更ニ密接ナル連絡交渉ヲ作ルノ必要アリ特ニ専門的研究ヲ要望ス彼ノ關東州ノ特惠關稅制度ノ如キ理想的且實際的ニ完全ナリヤ母國トノ交通連絡ノ改善ノ余地ナキヤ特ニ母國産業ト滿蒙ノ開拓トノ連絡ニ至ツテハ最モ慎重ノ考慮ヲ要スヘシ我對滿政策ハ母國ノ産業經濟ノ要求ヲ基礎トシテ定ムヘキハ勿論ナルカ我燃料政策ノ將來ヨリ新邱炭山ノ獲得我土木工業上滿州木材ノ搬出食料問題上滿蒙ノ水田經營製織上滿蒙ノ羊毛等我國國家經濟上特ニ留意スヘキモノ枚挙ニ遑アララス殊ニ新邱ノ炭山ノ如キニ至ツテハ專門家ノ夙ニ注意スル処ニシテ我九州炭、北海道炭ノ命脈ニ付最モ懸念アル今日撫順ノ姉妹炭山トシテ新邱炭ヲ保有スルト否トハ我國工業ノ將來ノ命脈ニモ關スヘキモノアルヤニ謂ハルルヲ以テ今日ヨリ之カ獲得ニ就テハ國策トシテ充分ノ用意ト努力トヲ為スヘキモノト思考セラル

(付 記 三)

満州経営ニ関スル吉田総領事意見書ニ対スル亜細亜局第一課意見

満州経営ニ関スル件(一五、七、一七、奉天來機密)

公第五五五号 主亜一)

吉田総領事ノ意見ハ要スルニ在滿邦人企業不振ノ原因ヲ政治、経済及金融上ノ不安定ニ帰シ之カ打開策トシテ(一)経済ヲ政治ヨリ分離セシメ付属地ヲ商工業ノ中心トシ支那人ニ借地権ヲ開放シ(二)満鉄関係事業ヲ鉄道鉱山ニ止メ爾余ノ事業ハ適宜之ヲ分離独立セシメ学理的ニ産業政策ヲ研究シ本邦ノ対滿經濟政策ヲ確立シ新設鉄道沿線ニ於テ支那側ヲシテ本邦人居住地域ヲ設定セシメ(三)銀資金ヲ供給シ之カ運用ヲ旧來ノ金融機関ニ依ラシメ不動産金融モ亦既設銀行ニ依ラシムルトキハ前記三種ノ不振原因ヲ除却シ得ヘシト云フニ帰着ス(一)ニ対シテハ奉天ノ政情ハ全滿州ニ影響スルニ因リ付属地ト雖モ之ヲ免ル能ハサルヘク支那人ニ対スル借地権ノ開放ハ付属地ノ面積ト付属地外ニ於ケル本邦人ノ根拠地獲得困難ナル現状ヲ考慮スル要アリ(二)ニ対シテハ滿鉄事業ノ整理ハ直チニ既存又ハ計画セラルヘキ一般企業ノ保護助長トナルヤ疑アリ産業政策ノ講究及經濟政策殊ニ現行特

モ大ナルハ金融制度ノ欠陥ト政策ノ失敗ニ帰セサルヘカラス故ニ本聯合会ハ曩ニ滿州金融制度並ニ政策改善ニ関シ金融制度調査会ニ附議討究セラレンコトヲ要望シ次テ調査資料ヲ輯録発表シテ之ニ資スルトコロアリタリ然ルニ滿州ニ於ケル金融制度並ニ政策ノ改善ハ現下行詰レル斯界ノ整理立直シヲ前提トスルノ要アリ其難易單ナル金融制度政策ノ改善ト同一ナラス是レ從來滿州財界ノ整理改善ニ関シ幾多討究立案サルアリシト雖モ何レモ實現ノ運ヒニ至ラス我カ大陸發展ニ対スル嚆矢トシテ国民痛恨ノ目標トナリツツ在再今日ニ及ヘル所以ナリ然レトモ徒ラニ之ヲ放任推移セシメンカ滿州ニ於ケル我カ勢力ハ漸次衰退消滅ノ外ナカルヘク二十億ノ国帑ト十萬ノ生靈トヲ犠牲ニ供シ贏チ得タル所謂特殊利益モ終ニ之ヲ利用スル能ハサルヘシ斯克ノ如キハ我國將來ノ興廃ニ関スル事実ニ甚大ナリ、事情斯克ノ如キヲ以テ

A、政府ハ過去ニ於ケル其ノ責任ト帝國ノ將來ニ鑑ミ適當ノ救済資金ヲ支出シ以テ滿州財界ノ癰腫タル鮮銀東拓ノ固定貸ヲ整理スルト同時ニ

B、金融制度並ニ政策ノ根本的改善ヲ断行シ以テ積弊ヲ

惠関税ノ改正並新設セラルヘキ鉄道沿線ノ開放ハ講究ノ価値アリ(三)銀資金ノ供給ハ(通貨ノ供給ヲ指スモノニアラス)シテ資金ヲ銀ニテ入手スルコトノ困難ヲ指スモノト解ス)収支計算ノ場合ニ於ケル金融業者ノ危険ノ負担緩和方ニ関シ大ニ研究ノ余地アルヘク新銀行ヲ不要トスル理由ハ一応尤モナルモ不動産金融ヲ既設銀行ニ委任スヘシト云フニ至リテハ既設銀行カ商業銀行タル關係上如何カト思ハル

(付記四)

昭和二年五月十三日付式村滿州商業會議所連合會長ヨリ田中義一外務大臣宛

滿州金融制度並ニ政策改善ニ関シ要請ノ件

昭和二年五月十三日 (昭和二年五月十八日接受)

第七回滿州商業會議所連合會

會長 式村 茂 (印)

外務大臣男爵 田中 義一殿

滿州金融制度並ニ政策改善ニ関シ要請ノ件

滿州財界ハ今ヤ疲弊惘惘ノ極ニ達シ鮮銀、東拓ハ多ク其資金ヲ固定セシメテ其職能ヲ發揮スル能ハス全ク行詰リノ状態ニアルコト世間周知ノ如シ而シテ其ノ因テ來ル禍根ノ最

一 掃シ百年大計ヲ樹立スヘキナリ而シテ其方法トシテハ

一、朝鮮銀行ノ滿州ニ於ケル業務一切ヲ繼承シ之ヲ骨子トシテ滿州中央銀行ヲ設立シ以テ金融機關ニ統制アラシメ二、東洋拓殖会社ノ滿州ニ於ケル金融業務ヲ繼承シ之ヲ中心トシテ滿州不動産銀行ヲ創設シ以テ拓殖金融ノ充實ヲ図リ

三、正金銀行ノ滿州ニ於テ発行スル銀券ハ之ヲ中央銀行ニ統一シ其ノ調節ヲ図ルト同時ニ金銀兩勘定ヲ開キ、實際ノ運用ヲ円滑ナラシムヘキナリ、然レトモ金銀兩種ノ貨幣ヲ併用スルハ其比価變動ニ依ル經濟上ノ不利尠ナカラサルヘキヲ以テ政府ハ速カニ滿州幣制調査会ヲ組織シ其利害得失ヲ徹底的ニ研究シ以テ滿州ニ於ケル幣制ヲ確立スヘシ

今ヤ滿州ノ貿易額ハ十一億ヲ超エ、之ヲ朝鮮ノ七億四千萬円台灣ノ四億三千万円ニ比スルモ遙カニ上位ニ在リ投資將二十億ヲ超エ其ノ物資ノ豊富ナルト國際の關係ノ緊密ナル点ニ於テ到底台灣朝鮮ノ比ニアラス、今日既設機關ヲ改造シテ滿州ニ本拠ヲ有スル銀行タラシムルモ其ノ時期決シテ

尚早ナラス況ンヤ吾人カ支那民族ノ間ニ介在シテ業ヲ営ミ其成績ヲ拳ケントスルニ当リテヤ金融ノ整備ハ則チ其ノ第一義ナリトス、時恰モ金融制度調査會開催サレテ特殊銀行會社ノ整備改善ヲ企図サルアリ銀價又戰前ニ復歸シ滿州ニ於ケル金融制度政策ヲ根本的ニ改善シ財界ヲ更始一新セシムルニ絶好ノ機會ナリトス政府ハ万難ヲ排シ本要綱ヲ断行セラレンコトヲ切望シテ止マス、右聯合會ノ決議ニ依リ別紙説明書相添ヘ此段要請候也

説明書

一、現下滿州財界ノ行詰リノ大因ハ金融制度ノ欠陥ト政策ノ錯誤ニアリ

抑々經濟界ニ於ケル金融機關ノ衰退ハ即チ商工業ノ衰退ヲ意味スルモノナリ滿州ニ於ケル金融機關ニシテ一正金銀行ヲ除クノ外何レモ最近二分ノ一又ハ三分ノ一ニ減資シ整理ノ途上ニアラサルナク財界全ク行詰リノ狀勢ヲ現出セルハ世界的原因以外金融制度ノ欠陥ト政策ノ錯誤ニ因ル独特ノ事由存スルカ為メナリ滿州ニ於ケル金融機關ハ貿易機關トシテ横浜正金銀行アリ商工機關トシテ朝鮮銀行アリ不動産金融機關トシテ東洋拓殖会社アリテ一見甚タ整備セルカ如

二、滿州ノ金融改善ハ一ニ政府ノ英斷ニ待ツノ外ナシ

滿州ニ於ケル金融改善ノ方策ニ就テハ種々ノ說アリト雖モ金融機關ハ其ノ整備統一ヲ基調トセサルヘカラス、屋上更ニ屋ヲ架スル新設論ノ如キハ之ヲ採ラス既設機關ヲ改善シ之ヲ利用スルヲ当然ノ順序ナリト信ス而シテ其ノ改善スヘキ既設機關トハ即チ鮮銀、東拓ニシテ此ノ兩者ハ巨大ノ資金ヲ固定セシメ滿州財界ノ癌腫ヲナシ其職能ヲ發揮スル能ハサルヲ以テ之ヲ改善利用セントセハ其ノ切開手術ヲ断行シテ本文Aニ該当スル所謂財界ノ立直シヲ行ヒ然ル後Bニ掲クル金融制度政策ノ改善ニ移ラサルヘカラサルナリ然ラハ其不治ノ癌腫ヲ開切シ財界ヲ起死回生セシムヘキ適當ノ救済資金トハ果シテ幾何ナリヤト云フニ滿州ニ於ケル總貸出高三億八千万円ニ達スルニト其他ノ事情ヨリ之ヲ考察シテ約一億円見当ニ及フヘシト推算セラル、是レ滿州ニ於ケル金融改善カ特ニ重大性ヲ帯ヒ実行困難視サルル所以ナリトス然レトモ此ノ救済資金ハ必スシモ新規ニ支出ノ要アルニアラス鮮銀東拓ニ對スル從來ノ貸付金中ヨリ処理スルノ方途ヲ講スレハ即チ足レリ若シ政府ニ於テ右資金ノ処理絶

キモ其間何等ノ統制ナク夫々ノ立場ニ於テノミ策動シ方針全ク区々ニ出テ全体トシテノ金融作用ハ著シク阻碍サル殊ニ朝鮮銀行ト正金銀行トハ相對立シ前者ハ金券ヲ發行シテ之カ普及統一ヲ使命トシ後者ハ銀券ヲ擁シテ其必要不可欠ヲ固執シ欧州大戰當時ニ於ケル財界ノ好調ニ乘シ所謂金建問題ヲ中心トシテ互ニ相衝突シ相排撃シ情弊百出甚タシク財界ヲ混濁セシメタルハ世人ノ周知スル所ナリ、為メニ朝鮮銀行ノ如キハ莫大ノ損傷ヲ受ケ其結果日本向送金為替ヲ制限シ或ハ新規貸出ヲ停頓セシムルノ止ムナキニ至リタリ若シ夫レ東洋拓殖会社ニ至リテハ拓殖資金トシテ低利且ツ長期ノ貸出ヲ行ヒ難キ実情ニアリ殖産興業ヲ主要トスル滿州ニ於テ斯ノ如キハ抑モ産業ノ振興ヲ期スル所以ニアラス滿州産業界ノ萎靡振ハサル蓋シ故ナキニアラサルナリ想フニ鮮銀東拓ノ滿州進出ハ滿鮮統一主義ニ発端シ滿州ノ經濟事情ト其地位ヲ能ク理解スルコトナカリシ為メ今日ヨリ之レヲ見レハ全ク失敗ニ歸シ滿州財界行詰リノ一大伏因ヲ為セリ而シテ今其打開策ヲ講セントスルニ當リテヤ先ツ從來ノ弊害ヲ除去シ其ノ欠陥ヲ補ヒ錯誤ヲ矯正スルハ即チ其第一義ナリトス

對ニ困難ナリトセラルルニ於テハ啻ニ滿州財界ノ立直シヲ行ヒ得サルノミナラス鮮銀東拓ノ改造利用ヲ骨子トスル金融制度ノ根本的改善策モ亦画餅ニ歸シ結局無為ニ終ルノ外ナキナリ然レトモ經濟界ノ心臓トモ称スヘキ金融機關ヲ不治ノ癌腫ニ罹ラセナカラ何等治療ノ方法ヲモ講セス現状ノ儘推移スルカ如キハ抑モ滿州ヲ經濟的ニ放棄セントスルノ類ニシテ吾人ノ忍フ能ハサル所ナリ曩ニ十億ノ巨費ヲ西北利亜出兵ニ費シタル政府ハ今又滿州財界ノ危急存亡ヲ告クルニ際シ具サニ各般ノ事情ヲ審查シ其利害得失ヲ闡明シ英斷以テ滿州ニ對スル經濟政策ノ中軸ヲナス金融制度ノ根本的改善ヲ企図スヘキナリ而シテ其方法トシテハ

(一)朝鮮銀行ノ滿州ニ於ケル業務ヲ繼承シ之ヲ骨子トシテ資力充實セル滿州中央銀行ヲ設立シ以テ從來ノ病弊ヲ芟除スルト同時ニ金融機關ニ嚴然タル統制アラシメ金銀券ノ發行ヲ統一シ其調節ヲ図リ實際ノ運用ヲ円滑ナラシメ其營業ヲ滿州本位タラシムヘキナリ

(二)東洋拓殖会社ノ滿州ニ於ケル金融業ヲ繼承シ之ヲ中心トシテ滿州不動産銀行ヲ設立シ以テ拓殖資金ノ充實ヲ期スヘシ現在ノ如ク貸出高ハ回収高ニ及ハス然モ最低關東州一割

一分州外一割二分ト云フカ如キ金利ヲ以テシテハ到底産業ノ開発ハ期スヘカラス低利且ツ長期ノ貸出ヲ行ハシムルハ満州ノ現状ニ鑑ミ最モ緊急ナリトス

三、満州幣制確立ノ必要

満州ニ対スル我貨幣政策ハ大正六年朝鮮銀行ニ金券ヲ統一シ正金銀行ノ発行スル銀券ノ強制通用力廃止以來専ラ金券ノ統一ヲ主眼トセルモ未タ銀ノ關係ヲ全然閑却スル能ハサル事情ニアリ金券ノ中心市場タル大連ニ於テスラ尚特産物ニ対シテハ銀ヲ以テ取引シ支那労働者ノ賃金其他ニ対シ支那小銀貨ヲ使用スルモノ又鈔ナカラス況ンヤ満鉄沿線ニ在リテハ支那通貨ヲ用フルニアラサレハ商取引ヲ行ヒ難キ状態ニアリ在留商民ハ雜然タル日支兩國通貨ノ間ニ介在シテ其比価ノ變動ニ悩マサルコト多ク為メニ經濟ノ進展ヲ阻碍スルコト大ナリ日支兩國民ノ經濟關係複雜セル満州ノ如キ特殊地域ニ於テハ兩國共通ノ幣制ヲ策立シ以テ之等ノ不利不便ヲ除去スルハ吾人ノ理想トスル所ナルモ支那ノ現状ハ近キ将来ニ於テ之カ實現ヲ期スル能ハサルヘキヲ以テ少ナクトモ我貨幣政策ニ関シテハ根本の方策ヲ樹立スルノ緊急ナルヲ認メラル今ヤ満州ニハ我カ金投資既ニ十億円以上

ニ達シ金銀兩資ハ相交错シ利害關係相輻輳ス從テ之カ決定ニハ特ニ慎重審議ヲ要スルヲ以テ政府ハ關係当事者ハ勿論広ク人材ヲ網羅シタル満州幣制調査會ヲ組織シ徹底的ニ其利害得失ヲ闡明シ以テ満州ニ対スル貨幣政策ヲ確立スヘキナリ

編註

付記一及ビ付記二ハ外務省用箋ニタイプサレ、機密公第五五五号文書ノ様ニ在奉天日本總領事館ノ名入り用箋ヲ使用シテイナイ。付記一ハ機密公第五五五号ノ(1)政治的不安定ニ対スル救済策ニ続キ、又付記二ハ(2)經濟的不安定ニ対スル救済策ノ修正ト思惟サレルガ、吉田總領事ガ本機密公信發送後、追加・修正意見ヲ認メ呈送シタ文書ヲ外務本省デタイプニ付シタモノカ、或ハ亜細亞局ニ於テ必要ガアツテ吉田總領事ノ意見ニ添加スルタメ作成シタモノカ明確デナイ。

六一七 七月二十一日

齋藤関東軍參謀長ヨリ
金谷參謀次長宛(電報)

張作霖ハ大連ニ泊シ帰奉ノ件

関電第三五九号

張作霖ハ予定ヲ變更シ二十日大連ニ泊シ本日午前十時半出發帰奉ノ途ニ就ケリ

今回張ノ旅大訪問ハ何等政治的交渉ナカリシモ張ハ郭松齡

事件ニ関シ日本官民ニ迷惑ヲ懸ケタルコトニ就キ謝辞ヲ述ヘ且ツ本回ノ訪旅ニ対シテハ終始日本側カ好意ヲ示セルコトヲ感謝シ非常ノ好感ヲ以テ引揚ケタリ

六一八 八月二日

在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天票暴落ノ影響ニ関シ報告ノ件

第二二一号

往電第二一六号ニ関シ

其ノ後奉天票ハ引続キ激落シ去ル二十八日先物ハ遂ニ五百八十元ヲ割リ更ニ軟調ナリシカ南口奉軍不利說ニ対スル奉天当局ノ否認省長總商會等ノ奉票維持ニ関スル臨時協議會開催等ニ連レ月末ニ於テハ先物五百四十元本月二日五百五元迄見直セリ本件暴落ノ裏面ニハ官銀号筋ノ操縦投機者流ノ迷惑アリ市況安定セス依然下押気配ナリ今回ノ暴落ハ邦商側ニハ直接影響少ナキモ支那側労働者給料生活者等ニハ物価騰貴生活困難ニ基ク影響次第ニ現ハレ昨今奉天警察巡警兵工廠職工等ノ賃銀増加要求運動重大ナラントシ奉天当局ハ表面此カ事実否認ニ努メ来レルモ今回ノ暴落ト共ニ遂ニ兵工廠職工三割職員二割ノ奉票増銀ヲ行ヘルカ今後暴落

五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉

六一八 六一九

六一七

続カハ此ノ種要求運動カ益々擡頭スヘク高梁繁茂期ノ匪賊ノ出没ト相俟ツテ形勢益々悪化スヘシ尚ホ前頭善後策協議會ニ於テハ半ニ謠言取締職工賃銀ノ増加省公債払込督促等ニ関スル二、三決議ヲ見タル外妙案ナク為メニ張作霖ノ叱責ニ遇ヘリ
北京ヘ転電シ哈爾濱、吉林、長春、鉄嶺、遼陽、安東、牛莊、齊々哈爾へ暗送セリ

六一九 八月三日

在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天票ノ暴落ニヨル經濟ノ混乱ニ関スル件

第二二三号

(八月四日接受)

先月来奉票一時七百元台ニモ達セントスル状況ヲ生セルカ流石ノ支那側モ非常ニ狼狽シ張作霖自ラ商務會其ノ他主ナル商民ヲ集メ奉票価格ノ維持ヲ命スルト共ニ南口方面戰勝說ノ宣伝商務會幹部ノ更迭上海為替取組額ノ増加日本側取引所錢莊取引ノ制限要求等種々画策中ナルカ結局ハ妙案ナク為メニ益々莫省長ノ無能ヲ攻撃スルモノヲ生スルト共ニ人心王永江ノ復職ヲ思フノ傾向ヲ増シツツアリ公債ハ約二千万元ノ強制募集ヲ見タル由ナルカ兵工廠其ノ他軍用糧秣

費等ノ金利支払出来ス右相当ノ額ニ上リ其ノ方ヘ振替ヘ省
外及外国支払ニ充当シツツアルモノ如シ從テ財政窮乏ハ
奉票暴落トナリテソノ一面ヲ暴露シツツアル次第ナルカ奉
票釣リ上ケノ唯一ノ財源タル特産物ハ本年早魃ノ為メ其ノ
收穫時期遅レ其ノ出廻リ初期ハ十月末ナルヘク夫レ迄ノ期
間奉票釣リ上ケ益々困難トナリ今後ノ落調予想付カス奉票
下落ノ結果購買力衰ヘ夏枯時期モ例年ナレハソソロ買注
文出ツル季節ナルモ本邦商人ニ対スル普通商談皆無ニシテ
只タ特ニ軍事關係ノ買注文アルノミ一般ノ不景氣ト物価騰
貴ハ漸次人心惡化ヲ表現シ同盟罷業匪賊出没今後一層甚タ
シカルヘシト思ハル

北京ヘ転電シ天津、上海、漢口、南京、哈爾賓、滿州里、
齊齊哈爾ヘ暗送セリ

六二〇 八月三日 鎌田滿鉄奉天公所長ヨリ
滿鉄本社庶務部長宛

金融紊乱整理ニ関シ莫省長、張作霖ニ献策ノ
件

奉天情報第四五号 (八月九日外務省接受)
大正十五年八月三日

- 一 現洋ヲ多額ニ鑄造スル外銅貨ヲ鑄造シ以テ釣銭ノ用ニ
供ス
 - 一 總商會ニ命シ一週或ハ十日ニ一回金融會議ヲ開催スル
コト
 - 一 各処ノ小錢卓及小錢舖及經紀ノ營業ヲ取消シ以テ金融
紊乱ノ本源ヲ断ツヘシ
 - 一 今後銀行錢号等ノ設立ヲ許可セス以テ紙幣乱発ヲ防止
ス
 - 一 日支人合資ノ錢号設立及支人出資日本人名義ノ錢号設
立ヲ許可セス
 - 一 各銀行、錢号ニ命シ為替料ヲ低下セシムルコト
 - 一 現洋売買ノ額ヲ規定シ規定ヲ超過シタルトキハ投機取
引ヲナスモノトシテ処罰ス
 - 一 文武官吏ノ投機取引ヲ禁止ス
- 写送付先 大蔵理事、支社長、哈爾賓事務所長、調査課
長、文書課長、各公所長、奉天、長春、鉄嶺、開原、
地方事務所長

六二一 八月七日(着) 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天公所長 鎌田 弥助

庶務部長殿

莫省長金融ニ関シ張作霖ニ献策ノ件(警察情報)

莫奉天省長ハ就任以來金融政策ニ全力ヲ拏ケ居ルモ大勢ノ
趨ク処何等効果ナク七月三十日金融整理ニ関シ張作霖ニ左
記要旨ノ意見ヲ献言セリト

記

- 近來金融紊乱シ諸物資異常ノ騰貴ヲ来セルカ其原因タル
ヤ種々アリ整理甚タ困難ナルカ茲ニ整理ニ関シ管見スル
処ヲ陳ヘ大帥ノ裁可ヲ申請ス
- 一 各銀行、錢号ノ現洋、金票ノ有高ヲ調査シ全部ヲ市場
ニ売出サシム
 - 一 現洋、金票カ将来如何ナル価格ニ到達スルトモ各銀
行、錢号ノ買収ヲ嚴禁ス
 - 一 京奉、奉海、四洮、洮昂、錦朝、東省各鉄道ノ運賃ヲ
全部奉票ニ改正スルカ或ハ現洋一元ヲ奉小洋二元四角
ノ率ニテ奉票ヲ徴収ス
 - 一 地租、契約税、塩税、訴訟費等各種税金及付加税ハ総
テ奉小洋以テ徴収シ現洋或ハ奉大洋ヲ取消ス

奉天票暴落対策ニ関スル張作霖ノ談話ニ関ス
ル件

第二三二号(極秘)
貴電第一一三三号ニ関シ
往電第二二七号ノ(三)中第一段脱漏セルニ付追電ス
本官ハ奉天票暴落ニ付当面ノ対策ヲ質セルニ張ハ急ニ色ヲ
變ヘ奉天票及奉天財政ニ付テハ何等憂フルモノ無キモ奸商
ノ投機ニ依テ奉票価額乱高下為シツツアリト憤リ奉天票ノ
発行高ハ二億二千万元ニシテ其ノ中回収済ノ分六千万元ア
リ清室ノ所領及荒蕪地ノ処理ニ依リ八千万元ヲ得ヘク公債
募集ニ依リ一億元ヲ得ヘク以テ奉票兌換ノ基礎トスルニ足
ルモ更ニ交通、中国銀行、辺業銀行、吉、黑兩省ニ命シ一
千万元ノ釀出ヲ命シ正金、朝鮮銀行等ノ約千万円ノ預金ヲ
モ官銀号ノ勘定ニ移サシメタリ

在支公使ニ転電シ哈爾賓、長春、吉林、安東、牛莊、齊齊
哈爾ヘ暗送セリ

編註 本電見当ラズ

六二二 八月十日 木村重細亞局長ヨリ
在奉天吉田總領事宛

松井奉天顧問作成ノ「東三省財政問題ト対策」

二対スル亜細亞局ノ見解調書送付ノ件

付屬書

七月二十九日亜細亞局作成調書

奉天省財政問題ニ関スル松井東三省保安總司令
部顧問意見書ニ関スル件

(極秘)

拜啓時下益々御清榮奉賀候陳者松井奉天顧問ニ於テハ最近「東三省ノ財政問題ト対策」ナル意見書ヲ作成シ東三省財政ヲ弁護スルト同時ニ奉天票ニ関スル亜細亞局調書(奉天票ニ関スル件調書)並正金銀行意見書(以上本年六月二十六日付機密第九五号ヲ以テ貴方ニ送付済)ニ対シ批評ヲ加ヘ之ヲ各方面ニ配布致居候処右同顧問意見書中ニハ奉天省財政ヲ弁護スルニ急ナル余リ事実ヲ曲ケタル点モ鮮カラサルノミナラス諒解ニ基ク所論モ多ク様被認候ニ付為念当方ニ於テ別紙「奉天省財政問題ニ関スル松井顧問意見書ニ関スル件」調書ヲ作成シ前記諸点ヲ指摘スルト共ニ其誤リヲ匡シ置キ候ニ就テハ貴官御参考迄右別紙並付屬書類各二部宛茲ニ及御送付候条委細別紙ニ就キ御了承相成度此段申進旁々得貴意候 敬具

所論モ前後矛盾スルモノ多ク從テ之等ニ対シテハ一々反駁ヲ加フル程ノ必要ヲ認メサルニ付左ニ極メテ簡單ニ当方意見ヲ述ヘントス

(イ)松井顧問ハ前顯亜細亞局調書第一ノ(二)ニ挙ケタル奉票暴落原因ニ対シ一々反駁ヲ加ヘ且今次ノ奉票暴落ハ全ク誤解ニ基ク奉天財政ノ不人氣ニ原因スルモノナリト主張シ居レル処奉票力昨年末ヨリ下落ノ歩調ヲ辿リ爾來奉天当局ノアラユル対策(孰レモ一時的の彌縫策ニ止マリ根本的の救済策ナシ)ニモ拘ハラズ暴落ニ暴落ヲ重ネ遂ニ対金票五百元ヲモ突破セル現状(大正十五年七月二十六日対金票五百十七元ニ暴落シ取引所ニ立合ヲ中止スルニ至レリ)ニ対シ右ニ付テハ何等真因ト認ムヘキモノ無ク單ニ誤解ニ基ク不人氣ニ依ルモノナリト説明シ去ラントスルハ誠ニ奇怪ニシテ苟モ財政金融ニ関スル基本觀念否常識アルモノハ之ヲ承認スルハ勿論了解スルコト能ハサルヘシ

(ロ)同顧問ハ又正金意見書中ニ不成功ニ終レル奉天当局ノ奉票維持策トシテ掲記セル諸事項ニ付テモ一々意見ヲ述ヘ居ル処右同顧問ノ卑見ナルモノニ付テハ殆ト何ノ

大正十五年八月十日

追而別紙並付屬書類各一部宛ハ之ヲ松井顧問ニ御手交相成度右併セテ及御依頼置候

編註 機密第九五号ハ七月一日付テ發送サレタ

(付屬書)

奉天省財政問題ニ関スル松井顧問意見書ニ関スル件

一、松井奉天顧問ハ別紙「東三省ノ財政問題ト対策」中ニ於テ奉天省財政ニ関シ種々意見ヲ開陳シ居レル処其所論ヲ通觀スルニ同顧問ハ一方ニ於テ奉天省財政ハ今日特ニ悲觀ヲ要セス且奉票暴落ニ対シテモ奉天省ハ他人ノ援助ヲ受ケスシテ之ヲ恢復シ得ル自信アリト誇稱シ乍ラ他方ニ於テ奉天当局ハ日本側ヨリ鉄道又ハ産業開發資金ヲ得テ其手取金ヲ一時奉票維持金ニ振向ケンコトヲ希望シ居レリト述ヘ其云フ所矛盾撞着セリ

二、同顧問ハ又前記意見書中ニ於テ奉票ニ関スル亜細亞局調書並正金意見書(各別紙参照)ニ対シ批評ヲ加ヘ居ル処右批評ハ徒ニ奉天側ノ立場擁護ニ急ニシテ明白ナル經濟上ノ原則ヲモ無視セル議論渺ナカラサルノミナラス其

意味ナリヤ了解シ難シ奉天側ノ維持策ハ成功セリト云ハントスルカ將又失敗ナリト認メントスルカ甚不分明ナルカ奉天当局カ別段其以外ニ有効ナル対策ヲ講シタルコトヲ積極的ニ明示セサルコトト他方奉票力暴落ニ暴落ヲ重ネ居ル事実ハ否定シ得サルコトヲ併セ考フレハ結局同顧問モ奉天当局ノ企テタル維持策ハ總テ成效セサル姑息ナル手段ナリシコトヲ承認シタルモノト認メラル

(ハ)同顧問ハ更ニ奉票流通額ニ関シ本年五月末現在高ヲ二億二千万トナシ右ノ内四千万ハ既ニ回収済ニシテ尚引続キ一億一千万ヲ回収ノ予定ナル趣ヲ述ヘ居ル処果シテ然ラハ奉票流通額ハ僅ニ七千万ニ過キサルニ至ルヘク(之ヲ試ニ現相場(対金票五〇〇元)ニテ換算スレハ約金一千四百万円弱トナル)斯ル小額カ到底實際ノ需要ヲ満シ得サルコト明ニシテ此ノ一事ヲ以テ見ルモ右ハ実行不可能ナルコト言ヲ俟タス殊ニ二億二千万ノ発行高ニ至テハ曩ニ財政当局タリシ王永江カ郭反乱前ノモノトシテ公表セル数字ナリ然ルニ郭ノ反乱ニヨル財政上ノ急需ニ対シ一枚ノ奉票ヲモ発行セ

サリシコトハ何人モ信シ得サル所ナリ奉天当局トシテハ財政ノ安定ヲ誇張シテ弁解スルノ要アルヘキモ其ノ謬見ヲ鵜呑ニシテ殆ト自明ノ理ヲモ事実ヲモ否定シ去リ他説ヲ冷静ニ了解セサラムトスルニ至リテハ沙汰ノ限リナリ若シ夫レ奉票価格回復ノ為単ニ奉票流通額ヲ収縮シテ能事終レリト信スルモノナリセハ其愚ヤ及フヘカラス

(二)奉天省財政ニ関シ同顧問ハ奉天省臨時軍事費ハ從來省ノ特別収入ヨリ支出シ得ルノミナラス本年度以降ハ兵工廠費(八百万円)及航空処費(四百万円)ヲモ右特別収入ヨリ支弁スルコトナリタルヲ以テ省財政ニハ相当ノ余裕アル趣ヲ述ヘ居レル処仮ニ右事實ナリトスルモ同顧問ノ所説ニ依レハ本年度ノ特別収入予算ハ二千五百万弗ノ由ナルニ付右額ヨリ前頭兵工廠費並航空処費ヲ引去レハ残額僅ニ約一千三百万円ニ過キス然ルニ目下関外ニ於テ奉天側カ一部若ハ全部ノ費用ヲ負担シツアル軍隊ノ兵數ハ約十三万ニ達スヘク然モ其中ノ若干數ハ常ニ交戦状態ニアルモノナルニモ拘ハラズ之等ニ対シ前記千五百万円ヲ以テ優ニ一年間ヲ支ヘ

スルノ案ヲ発表シタルニ對シ楊宇霆ハ財政困難ヲ名トシテ之ニ反発シタル結果莫省長ハ其ノ立場ニ窮シ辭職ノ余儀ナキニ至ルヤモ計ラレサル状態ニアル趣ナルカ楊ト雖濫リニ莫省長ヲ窮地ニ陥ルルヲ欲スルモノニアラサルヘク從テ右ハ結局奉天財政力如何ニ困窮シ居レルヤヲ如實ニ語ルモノナリト認メラル要之前頭二事實ハ奉天当局並松井顧問ノ省財政及奉票ニ関スル誇大ナル弁解並揚言ニモ拘ラス事實ニ於テハ奉天当局自身モ其ノ財政ノ現状並ニ奉票ノ前途ニ就キ如何ニ困惑セルヤヲ最モ明白ニ示スモノナリ

乍然以上ハ現在ノ奉天財政並金融政策ヲ基礎トセル議論ナル処若シ確實ナル數字ヲ基礎トシ誠意ヲ以テ財政並金融政策ノ建直シヲ行フニ於テハ東三省ノ富裕ナル財源ニモ鑑ミ其ノ財政ノ前途未タ必スシモ絶望ト認ムヘカラス將又我方トシテモ松井顧問ノ欲スルカ如キ支途曖昧ナル借款ニ応スルコトニハ絶対ニ反対ナルモ奉天財政ノ困難ニハ充分同情シ居ルモノナルヲ以テ若シ奉天側ニ於テ真ニ其財政困難ヲ覺リ胸襟ヲ開キテ我方ノ援助ヲ求ムルニ於テハ我方ニ於テモ充分之ヲ援助スルニ吝カナラサル次第ニテ右我方ノ意向ハ既ニ奉天当局ニ於テモ承知シ居レル筈ナリ

得ヘシトナスハ余リニ事實ヲ曲クルモノナリ

(4)又同顧問ハ正金側カ奉天当局ニ於テ援助ヲ乞タル場合ニハ先ツ人ヲ派シテ予備調査ヲナサシムト云ヒタルニ對シ「調査セサレハ分ラヌ位ナラハ今日ノ議論ハ杞憂ナリ」ト述フルモ苟モ責任ヲ以テ対策ヲ立ツル為ニハ充分數字モ内情ヲモ調査シテ具體的案ヲ得サルヘカラス之ヲシモ調査セスシテ決定スヘシトナスカ如キハ暴論ニ非スシテ何ソ

以上挙げタル諸項ニ依リ松井顧問意見書カ大体如何ナル価値ヲ有スルモノナルカハ略判明セリト信ス

然ルニ最近奉天当局ハ軍隊ノ給与ヲ半額奉票、半額現大洋払トナシ僅ニ其ノ不平ヲ押ヘ居ル趣ナル処若シ松井顧問ノ言ノ如ク奉天当局ニ於テ真ニ省財政並奉票ノ前途ニ付自信ヲ有スル次第ナラハ寧ロ此際断乎トシテ軍隊給与ノ奉票払ヲ維持シ以テ其拠ル可キ処ヲ知ラシムヘキ筈ナルニ事茲ニ出テスシテ却テ姑息ナル半額現大洋払ヲ行フカ如キハ如何ニ奉天当局自身モ奉票ノ前途ニ付不安ヲ懷ケルカヲ示スト共ニ其無定見ヲ曝露セルモノト云フヘシ然ルニ他方莫奉天省長ハ文官ノ生活難救済ノ為俸給ノ三割ヲ現大洋ニテ支給

(大正十五年七月二十九日)

(別紙)

東三省ノ財政問題ト対策

陸軍少將 松井 七夫

東三省ノ財政ニ関シ論議セラレツツアル幾多ノ所見ハ概シテ憶測ニ過キス某方面ニ於テ絶対權威視セル専門家ノ意見ト称スルモノスラ其基礎ハ概シテ推定ニ基ク(具體的事實トシテハ僅ニ日本ノ銀行ニ於ケル預金ノ減少ヲ指スノミ)モノニシテ何等吾人ヲ啓発スルニ足ルモノナク從テ適確ニ支那側ヲ首肯セシムヘキ資料ナキハ頗ル期待ニ反シ大ニ遺憾トスル処ナリ依テ先ツ各方面ノ誤解ヲ解ク為メ極メテ単純ニ郭松齡事變後奉天ノ執リシ方針ト其經過トヲ説明シ次テ財政ニ関シ奉天当局ノ責任ヲ以テ説明スル數字ヲ挙げテ参考ニ供シ併セテ幾多所論ニ對スル卑見ヲ述ヘントス

一、郭松齡事變後奉天ノ執リシ方針ト其經過

1、方針ノ決定

郭松齡事變後奉天ノ執リシ方針カ保境安民内部ノ充實ニアリシ事論ヲ待タス此方針ハ終始一貫セルモノナリ然レトモ国民軍ト労働露國トノ關係愈々明瞭トナルニ至リ其

執ルヘキ手段ニ付テハ議論ニツニ分レタリ

文治派ハ単ニ過去ノ経験ニ基キ保境安民トサヘ標榜スレハ以テ直ニ平和ヲ招来シ大ニ裁兵ヲ行ヒ軍費ヲ節減シ得ヘシト主張セリ日本ニモ之ニ共鳴スルモノ尠カラス現ニ奉天当路者ノ所見ハ之ト異ナリ即從來ノ如ク単ニ支那内部ノ勢力争ナランニハ地勢ノ擁護ニヨリ或ハ其目的ヲ達シ得ル事文治派ノ説ク如キモノアラン然レトモ今ヤ四囲ノ情勢ハ一変セリ文治派ハ保境安民ト一ト口ニ称スルモ今日ハ保境安民ハ二様ノ仕事ナリ万一此儘退嬰主義ヲ取リ保境安民ト標榜セハ国民軍及之ト策応スル露國ノ侵略ハ益々東三省ヲ圧迫シ為ニ保境ニハ永キニ亘リ多大ノ施設ヲ要スヘシ而カモ果シテ能ク東三省ノ国防ヲ全クシ得ルヤハ保証スルヲ得ス故ニ東三省ノ保境ヲ全クスル為ニハ此際多大ノ犠牲ヲ忍ブモ国民軍ニ一大打撃ヲ加ヘサルヘカラス即チ此際断乎トシテ行フ幾多ノ犠牲ハ結局總計算ニ於テ消極主義ヨリモ軍費ニ於テモ節約シ得ルノミナラス目下必要已ムヘカラサル方法ナリト認メ玆ニ赤賊討伐ノ大旗ヲ揚ケテ国民軍ノ討伐ヲ断行スルニ決ス而シテ中央政局ノ如キハ之ヲ呉ニ一任シ奉天ハ国民軍討伐ノ目

特別収入ヲ以テ充ツルコトセリ從テ省財政ニハ從來ヨリモ千二百萬元ノ余裕ヲ生セリ

3、奉天ニハ省ノ財政トハ全ク独立セル特別収入ヨリ(内容ノ説明ハ避クルモ第二奉直戦迄ハ三千五百萬弗ナリシカ本年度ノ收入予算ハ二千五百萬弗ト計上ス)第一次奉直戦以來ノ奉天ノ軍備ハ之ニ依リテ整備セラレ現在ニ於テモ臨時軍事費ハ之ニ依リ支弁セラル(支那軍力戦争継続ノ為經常費以外ニ要スル臨時費ハ日本ト異リ頗ル小額ニシテ即チ平時官給糧食ハ高粱ニシテ一週ニ二食丈米又ハ麦粉ヲ給スルニ戦時ハ凡テ米又ハ麦粉ヲ支給シ菜モ官給スルニ依リ其差額ト後方輜重ノ増加人員ノ糧食費ヲ要スルニ過キス從テ現状ヲ以テ進マハ本年中戦争ヲ継続スルモ此特別収入ノ残余(兵工廠、航空処費ヲ差引タル)ニテ充分ナリ)

4、今後保境安民ニ移レハ奉軍ノ一部ハ直隸ニテ養ハシムルヲ得ヘク從テ軍事費トシテノ經常費モ減少スルヲ得(保境ニ必要ナル限度ノ軍隊ヲ保持スルニ止ムルコトハ勿論ナリ)

以上ノ如クナルヲ以テ奉天省ノ財政ハ今日特ニ悲觀ヲ要セ

的サヘ達セハ保境安民ニ移ルノ方針確定セリ

2、爾後ノ經過ノ概要

是ニ於テ張吳ノ握手反国民軍連盟ノ成立ニ努力シ遂ニ国民軍ヲ北京ヨリ驅逐スルニ至リシモ爾來奉天ハ国民軍討伐ヲ第一義トシ政局問題ノ如キハ第二位的ニ認ムルニ反シ直隸派カ対国民軍々事行動ヲ放擲シ専ラ政局問題ニノミ没頭シ此問題幾多紛糾ヲ生セシヲ以テ時局收拾ノ為ニハ寧ロ張吳直接会见万事ヲ決スルノ外ナキヲ觀破シ玆ニ天津予備會議北京ニ於ケル張吳ノ会见トナリ奉天ノ主義方針ハ直隸派ノ了解スル処トナリ奉天ハ其一贯セル方針ヲ貫徹シ此処ニ保境安民内容整頓ニ専念着手シ得ルニ至レリ

二、東三省ノ財政

1、奉天省ノ年收入ハ約四千万元ニシテ年支出ハ一昨年迄ハ概ネ三千六百万元内外ナリシモ昨年度ニ於テハ約六百万元ノ不足ヲ来セリ

2、省ノ財政中兎角攻撃ノ目標トナリツツアル軍事費中ノ兵工廠ハ八百万元航空処ハ四百万元ヲ經常費トシテ省ヨリ支給ヲ受ケツツアリシカ本年度以降ハ此經常費モ凡テ

ス張吳連盟ノ確立ニヨリ奉天カ幸ニ保境安民ニ専念スルヲ得ルニ至リシヲ以テ将来ハ益々然リトス

三、奉天票問題

奉天票ノ信用程度ハ省ノ財政ト相平行スルヲ自然トス現時奉票ノ下落ハ經濟的原因ヨリハ寧ロ人氣ニヨリ支配セラレアリト認ムルヲ至当トス之レ奉天カ郭松齡事变後執リツツアル保境安民ノ大方針ヲ了得スル能ハサル短見者流カ四囲ノ情況上如何ニシテ真ニ保境ヲ全フシ得ルヤヲ知ラス漠然保境安民トサヘ標榜スレハ直ニ軍備ヲ撤裁シ得ヘシトノ謬論日本人ノ間ニモ喧伝セラレ奉天カ高遠ナル目的ヲ以テ實施シアル対国民軍軍事行動ヲ以テ徒ラニ中央ニ対スル野心ト誤解シ其後軍事費ノ増大停止スル所ヲ知ラスト邪推スルカ故ナリ

1、奉天票ノ五月迄ニ於ケル流通額ハ二億二千万元ニシテ内奉天ノ中国交通兩銀行券(名称内容モ共ニ奉票ト称ス)約二千六百万元ヲ含ム(奉票ノ発行ニハ省ヨリノ監督官ノ檢証ヲ要スルヲ以テ銀行ノ帳簿ヲ一見スレハ明瞭ナリ)

2、奉天当局ノ執リツツアル対策ハ通貨ノ收縮ヲ目的トス

ルモノニシテ公債ノ発行ニヨル奉票一億元ノ回収及官銀号ノ貸出額約七千萬元ト前記両銀行券ノ回収(約半額ヲ回收スル予算)ニヨリ總計約一億五千万ノ通貨ノ収縮ヲ実行シ将来中国交通銀行ニハ奉票ノ発行ヲ差止メ回収シタル奉票ハ之ヲ焼却整理スルヲメ目下昼夜兼行整頓中ナリ

3、官銀号ノ内容制度ニハ根本的改革ヲ断行スルノ企図ナリ之ニ官銀行ハ奉天省銀行トシテノ特色ヲ發揮スル傍ラ純然タル營業ニ没頭スルノ事実少カラサレハナリ

四、日本ニ於テ奉票暴落ノ原因ト称スルモノニ対

スル卑見(○ハ卑見)

イ、奉天省財政ニ対スル不信用並ニ不安即チ

a、奉天当局カ奉票発行高兌換準備ニ関シ秘密主義ヲ取レルコト

○、之ハ親切ニ相談相手トナレルモノニハ何時ニテモ公開ス但シ官銀号ノ營業上ノ秘密ハ保証ノ限ニアラス又官銀号ニハ多額ノ不動産アリ單ニ日本銀行ニ於ケル預金ノ多寡ノミニヨリ基礎ノ確否ヲ制定スルハ早計ナリ
b、王永江去リタル結果財政紊亂シ軍閥ニハ益々軍備拡

ト

○、然リ毎年五六月ハ奉票下落シ農繁期ニ入り逐次昇騰スルヲ常トス

d、関内ニテ濫發セル奉天軍票ノ奉天ニ舞戻レルコト

○、軍票ノ大部ハ奉天ヨリ関内ニ輸送セル糧秣ヲ軍票ニテ売却シ回收セリ

ハ、日本円為替ノ昇騰

五、其他専ラ奉天付近ニテ噂サルル弱氣材料

1、官銀号ニ於テ現時モ毎日奉票ヲ印刷發行シツツアリトノ風説

○官銀号ニハ三百万元ヲ限度トシ銅元票ノ發行ヲ許可シアリ此銅元票ハ市街地ニ流通スル小額紙幣ニシテ常ニ新陳交換ヲ行フ

2、最近營口ニ米國ヨリ多額ノ新紙幣到着セリトノ宣伝

○第二奉直戰前米國ニテ印刷セシ紙幣ハ六千万元ニシテ目下流通セルモノハ三千万元ナリ残余ハ未發行紙幣トシテ官銀号内ニ封印保管シアリ

3、関稅會議ノ分ケ前ヲ当ニシアルモ實現困難ナルノミナラス之レカ為張吳決裂ヲ来タスヘシトノ予想

張ヲ行フヘシトノ予想

c、張吳關係ニ対スル不安並ニ大兵ヲ関内ニ出スヘシトノ予想

○、右ハ何レモ誤断ナリシ事ハ事實カ遂次証明シツツアリ

d、五千万円公債ノ前途樂觀シ難キコト

e、対日借款ノ不成立

f、奉票價格維持ノ為奉天ノ取リシ各種彌縫策ノ一モ奏効セサルコト

○、右ハ後ニ卑見ヲ述フ

ロ、奉票發行ノ過多

a、大正十四年以降ノ関内出兵及郭反逆ノ善後策ノ為メ奉票濫發

b、軍備擴張費捻出ノ為ノ奉票濫發(例ヘハ兵工廠ニ費セルモノ一億元ト称ス)

○、濫發トハ幾何ノ程度ヲ指スカ巷間伝フル四億元以上云々ハ当ラス而シテ軍備整理ニハ特別收入ヲ充用セルコト前述ノ如シ

c、特產物出廻期經過ニ奥地ノ奉票市場ニ現ハレタルコ

○奉天ハ関稅會議ノ分ケ前杯毫モ當ニシ居ラサルコトヲ断言ス(詳細ハ説明ヲ避ク)

4、孫伝芳山東ヲ窺ヒ此方面ニ復々軍事行動ヲ生スヘシトノ風評

○此ハ杞憂ニ過キサルコトハ事實カ証明シツツアリ

六、日本ノ權威アル専門家ナル者カ一モ成功セサ

リシト称スル奉天当局ノ奉票維持策ニ対スル所

見ト之ニ対スル卑見(○ハ卑見)

イ、城内支那側取引場ノ一時閉鎖、取引人ノ圧迫拘禁
右ハ從來屢々實行スル常套手段ニシテ効果ナシ

ロ、満鉄付屬地日本側取引所ニ於ケル取引禁止ノ請求
右ハ応諾スヘキ限ニアラス拒絕セリ但シ場外取引丈ハ禁止セリ

○、右二項ハ相關連セルモノニシテ城内ノミ制限スルモ効果ナキハ勿論ナリ日本取引所カ何等カノ制裁ヲ加ヘ投機的売買ヲ制限スルノ親切アラハ効果アラン現ニ日本取引所カ其自衛上ヨリ一時其保証シ得ル最低値段ヲ限定セシコトニヨリ忽チ五六十元昇騰ヲ見タル如シ(但シ官銀号カ投機的商買ヲナシツツアル弊ハ注意ヲ要スルノ点アリ

ハ、公共滙兌所ノ設立

ニ、奉天交易所ニテ金票ヲ売り奉票ノ買収

○、右二項ハ今日最早問題ニアラス之ハ寧ロ維持策ノ失敗ト云フヨリハ其実施ノ停止カ弱気材料トナレリト云フヲ当レリトセン

ホ、大洋五千万元公債発行ノコト

本条例ノ發布ヲ以テスルモ奉票相場ノ改善ニハ何等効果ナク却テ弱気材料ニ数ヘラレタリ

○、六月中旬迄ニ之ニ依リ回収セシ奉票約二千万元ニ達セリ此応募ハ強制的割当ノ弊アル代リニ夫丈可能性アリ唯斯クテ回収シタル奉票ハ再ヒ市場ニ出サレ結局一億元ノ増発トナルニアラスヤト云フ邪推ニヨリ外界カ自ラ求メテ弱気材料ニ宣伝シツツアルナリ

ヘ、官銀号、奉天中国交通兩銀行ノ貸出回収

三銀行貸出額約六千万元ト称セラレ回収容易ナラサルノミナラス一部実行セラルルモ却テ角ヲ矯メ牛ヲ殺スノ類ニテ財界ニ対シ紙幣濫発以上ノ攪乱ヲ来タスヘシ

○、総貸出額並ニ回収見込額ハ前述ノ通りニテ之レ亦六月中旬迄ニ二千万元ヲ回収セリ之レカ為却テ攪乱ノ種トナ

ニ入リシコト前述ノ如シ但シ王一派ノ唱フル保境安民ハ時局ニ適合セサル短見ニシテ彼等所説ノ如クセハ東三省ノ国防ノ為メ決シテ軍備ハ縮少スルヲ得ス

3、仮リニ奉天カ窮境ニ陥リ財政回復ノ援助ヲ泣付キ来リシトセハ先ツ予備調査ニ人ヲ派シ財政金融ノ調査ヲナシ夫ニ依リ財政金融ノ要部ニ適任者ヲ配置ス

○、此ノ如キ事態ハ絶対ニ到来セス調査セサレハ分ラヌ位ナラハ今日ノ議論ハ杞憂ト云ハレテモ致方ナカルヘシ

其他縷々述ヘタル処ハ要スルニ奉天ノ大方針ヲ了解セス誤想ニ基ク杞憂ヲ述フルノ觀アリ但シ説ク所ハ概シテ同感ニシテ恰モ奉天カ既ニ実行シ又ハ將ニ実行セントスルモノニ外ナラス

之ヲ要スルニ日本ニ於ケル議論ハ概シテ推測ニ基ク疑心暗鬼ナリ単ニ抽象的ニ是テモ悟ラサルハ支那ニ經濟的常識ナキナリト云ツテ見タ処テ夫テハ毫モ所謂蒙ヲ啓カシムル能ハサルナリ専門家ト称スル人ニモ特ニ名案ナク唯其結論トシテ奉天カ其尨大ナル軍事關係費ヲ削減シ保境安民ニ必要ナル程度ニ之ヲ削減シ得レハ自力ヲ以テスルモ恢復シ得ヘシトノ觀察ハ当レリト認ム而シテ今ヤ幸ニ之ヲ実行シ得ル

ルヤ否ヤハ各自見方ナリ

ト、二三方面ニ対スル借款ノ申込何レモ成功シタルヲ聞カス

○、此ノ如キ事實アリシヤハ承知セス鉄道問題ヲ指スモノトセハ其経過ハ今ハ明言スルヲ欲セス

チ、銀元鑄造命令

一日五萬元鑄造ヲ公布セシモ本計画ノ如キハ夢物語ナリ○、約二百萬兩ノ銀貨鑄造ヲ実施シツツアリ然レトモ之ハ技術不充分ノ為メ未タ小額ノ鑄造ヲ終リシニ過キス目下実行中ナリ

七、前項専門家ノ対策ト之ニ対スル卑見(○ハ卑見)

1、省財政ノ基礎ヲ確立シ内外人不安ノ念ヲ除去ス

○、支那側ハ財政ノ基礎ニハ自信ヲ有シアリ外界カ邪推シテ不安ヲ抱クハ致方ナシ時機ヲ待チ結果ヲ見ル外ナシ2、敵ニ其後ノ濫発ヲ止メ財政回復ニ伴ヒ徐々ニ調節ス即チ兵力ヲ以テ中央活動ヲ断念シ王一派ノ唱フル保境安民主義ヲ採用シ過大ノ軍事費ヲ節減ス

○、支那側ニテハ其後ノ濫発杯思ヒモ寄ラヌ処ナリ保境安民ハ奉天ノ終始一貫セル方針ナリ而シテ今ヤ漸ク実行期

ノ機運ニ到達セリ今日迄ノ幾多ノ行動ハ実ニ此処ニ到達セシカ為メノ已ムヲ得サル手段ナリシナリ短見者流カ此真意ヲ了得セスシテ徒ラニ揣摩憶測セシニ過キス既ニ奉天ハ実行期ニ入レリ然ラハ日本モ余リニ取越苦勞ノ要ナカラシカ

八、日本ノ対策

支那カ財政援助ヲ泣付キ来ルコトノ絶無ナルコト既ニ専門家モ云ヘル如ク自力ヲ以テ恢復シ得ルノ能力アリトスレハ日本ノ現下ノ対策ニハ大ニ考慮ヲ要スルモノアリ若シ日本カ徹頭徹尾彼ノ悟ルヲ待ツト称シ此間遂ニ何等具体的好意ヲ表現セス寧ロ冷眼視シテ其行詰リヲ期待スル如キ態度ヲ持シツツアル間ニ支那カ遂ニ自力ヲ以テ恢復シ得タリトセハ日本ハ夫テ誠ニ結構ナリシト満足スヘキヤ斯クシテ支那側ノ腦裏ニ殘ルモノハ何カ?此ノ如クニシテ能ク共存共榮ノ政策ヲ実行シ得ヘキヤ

奉天当局ハ其財政ニ関シ前述ノ如キ自信ヲ有スルニ拘ラス一面滿蒙開發ノ為例ヘハ鉄道ノ如キ或ハ産業開發事業ノ如キモノノ為資金ヲ入ルコトハ希望シアリテ而カモ一時此資金ニ奉票維持ニ差向ケ其恢復ヲ速ニスルコトハ一挙兩得ナリト考ヘアリ此点ハ日本ノ最も利用スヘキ機會ナルヘシ

今日直ニ是等ノ事業ニ資金ヲ投スルハ徒ラニ支那ニ利用セラルルノミニテ是テハ日本ノ權威ヲ示ス所以ニアラスモツト苦シマセテ泣付テカラ助ケテ遣ルニアラサレハ難有味ヲ感セシムルニ足ラスト云フカ如キケチ臭キ根性ヲ以テ臨マハ遂ニ此絶好ノ機会ヲ逸シ永久ニ真ノ親和ヲ期シ難カルヘシ利用セラレテ利用スルノ要諦ハ此ニ在リ斯克シテ日本カ其欲スル政策ヲ実行スルヲ得ハ絶大ノ幸福ナラスヤ東三省問題ハ今ハ単ニ東三省問題ニアラスシテ日本ノ国防問題ナラスヤ

編註 松井七夫顧問意見書「東三省ノ財政問題ト対策」ハ七月十五日松井石根參謀本部第二部長ヨリ木村重細重局長宛ニ送付サレタ

六二三 八月十一日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

張作霖ノ奉天省金融整理ニ関スル布告文報告ノ件

公第六二二三号 (八月十八日接受)

大正十五年八月十一日

在奉天

天票ヲ低落セシメ市場ノ動揺ヲ来タスハ之レ毒ヲ吞テ自殺スルモノニアラスヤ本上將軍ハ愛民恤商ノ素志ヨリ一二奸商ノ累ヲ善良ナル商民ニ及ホスヲ目撃スルニ忍ヒス故ニ税金及手数料ハ一切加徴ヲ行ハス爾等各自良心ヲ有ス事理自ラ諒察スルヲ得ム乎本上將軍ハ紙幣ニ対シテハ絶對ニ之ヲ維持シ決シテ別種紙幣ヲ發行セサルヘシ今爾等ト約ス爾今現洋ノ価値ハ官銀号ノ送金価値ヲ以テ標準トシ一週間後ニ於テ五十仙ツツ低下セシメ奉大洋ノ本位迄之ヲ引下ケシムルコトヲ、故ニ物価ハ現洋ノ価値ニ伴レテ變動ヲ来スヘシ要之金融整理ニ関シテハ奉省官庁ハ甘シテ自家ノ損失ニ任シ決シテ商民ニ迷惑ヲ被ラシメサルヘシ若奸商ニシテ幣価、物価ニ対シ擅ニ低昂ヲ企ツル者アラハ之レ故意ニ金融ヲ破壊シ大局ヲ顧念セサルモノナルヲ以テ本上將軍ハ該商民ノ保護ニ任セサルノミナラス嚴ニ処罰シテ仮借セサルヘシ茲ニ布告ス

中華民國十五年八月四日

張 作 霖

本信写送付先 在支代理公使、長春、鉄嶺、安東、遼陽、牛莊、哈爾賓、齊々哈爾

總領事 吉田 茂(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

張作霖ノ奉天省金融整理ニ関スル布告ノ件

奉天省金融ノ維持並貨幣物価ノ平調ニ関スル張作霖ノ布告文ハ本月十日發行奉天公報ニ登載セラレタルカ大略如左
右御參考迄報告申進ス

記

地方ノ金融維持ハ公家ノ主要政勢ナレハ其ノ監督ニ服スヘク他人ノ操縦ヲ受クヘキニアラス東三省官銀号ハ私人ノ設立ニアラス凡奉省ノ徵收スル一般税金、地租及国税並商用取引ニハ同号紙幣ノ流通ニ頼ラサルナシ其ノ紙幣發行ノ担保ニハ毎年ノ省收入ヲ以テシテ尚剰余アリ況ヤ同号ノ資本金二千万元アリ且積立金及家屋ノ価値ハ数千万元ヲ下ラス而シテ既ニ丈量済ナル三陵官地(北陵一帶)、東來荒及小金川ノ荒地価値約二億元アリ毎年ノ塩稅、鐵道ヨリ現大洋三千万元ノ收入アリ現ニ公債ヲ募集シ大洋ヲ鑄造シツツアルニ於テオヤ此等巨額ノ保証ニ依リ金融ノ維持ニ努メツツアリ何ノ不信用力之有ラムヤ乃チ不肖ノ輩アリテ投機ニ心酔シ擅ニ謠言ヲ放チ無稽ノ談ニ聽キ故意ニ幣制ヲ紊リテ奉

六二四 八月十二日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

奉天票下落並ビニ中国側ノ対策ニ関スル件

付屬書一 奉天票市價維持會議ト總商會ノ不信任
二 奉天省新鑄銀元ノ事(正金銀行奉天支店調書)

公第六二四号

大正十五年八月十二日

在奉天

總領事 吉田 茂

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

奉天票下落並支那側ノ対策ニ関スル件

本件ニ関シ客月十七日付公第五五九号往信最近ノ状況ニ付往電第二二七号ノ(三)及第二三〇号ヲ以テ報告申進置タル処前記往信以後ノ状況ニ関シ左記ノ通報告ス

記

第一、奉天票相場

前記報告以後ニ於ケル奉天票對金票相場ハ別添表ノ如ク爾來四百五六十元ヲ徘徊シ暫ク安定ノ模様ナリシカ月末二十四五日ヨリ再ヒ暴落ヲ始メ二十八日奉天取引所相場ハ一挙ニシテ五百九十元乃至六百元ヲ割ラントシ現大洋

百元ニ対シテハ実ニ六百二十元ナル未曾有ノ相場ヲ現出シ巷間更ニ七百元説ヲ唱ヘラレントスル有様ナリシ為前記取引場ハ遂ニ同日開場ヲ見合セ五百七十元ヲ制限トシテ開場スルニ至リ其結果場内相場ハ右以上ノ出来値ヲ見サリシモ市中現物相場ハ五百九十元ヲ以テ取引セラレ更ニ低下ノ氣配見ヘタルモ右慘落ト共ニ支那当局ノ催セル緊急対策會議、新銀貨購造説、上海向為替売出、其他対日借款成立説、東京地方震災報道等相俟ツテ其反動一時顯ハレ八月始メニハ四百四十元見当迄見直スニ至レリ然レトモ右強氣材料何レモ誇張若ハ虚伝ナリシコト判明スルト共ニ再ヒ安値ヲ唱ヘ五日以降四百八十元台ヲ以テ寄付ツアリ今後低下ノ状予想ヲ許ササルモノアリ抑モ今回ノ暴落原因カ奈辺ニ存スルヤハ必シモ明確ナラス或ハ南口方面連軍ノ敗報、吳張連盟決裂、奉天官憲ノ金票買付其他官銀号筋ノ思惑或ハ印度ノ金本位制採用ニ依ル銀市価ノ下落等種々伝フル所アリ何レモ其一因タルハ想像ニ難カラスト雖畢竟之等諸原因ハ偶々下落ノ動機ヲ作リタルニ外ナラス其根源ハ奉票其モノ換言セハ奉天当局ノ貨幣制度其モノノ社会的信用全ク失墜シタルニ在消ス

イ、各銀行錢号ノ現洋金票ノ有高ヲ調査シ全部ヲ市場ニ売出サシム

ロ、現洋金票カ将来如何ナル価格ニ到達スル共各銀行錢号ノ買取ヲ禁ス

ハ、京奉、奉海、四洮、洮昂、錦朝各鉄道ノ運賃ヲ全部奉票ニ改正スルカ或ハ現洋一元ヲ奉小洋票二元四角ノ率ニテ奉票ヲ以テ徴収ス

ニ、地租、契約税、塩税、訴訟費等各種税金及付加税ハ總テ奉小洋票ヲ以テ徴収シ現洋或ハ奉大洋制ヲ取消ス

ホ、現洋ヲ多額ニ鑄造スル外(別添乙号正金調書参照)銅貨ヲ鑄造シ以テ釣込ノ用ニ供ス

ヘ、總商会ニ命シ一週或ハ十日毎ニ金融會議ヲ開催スト、各処ノ小錢舖及小錢舖經紀ノ營業ヲ取消シ以テ金融紊乱ノ本源ヲ絶ツ

チ、今後銀行錢号等ノ設立ヲ許可セス以テ紙幣ノ濫発ヲ防止ス

リ、日支人合資ノ錢号設立及支人出資日本人名義ノ錢号設立ヲ許可セス

ルコト言フ迄モナキナリ

第二、奉天当局ノ奉天票維持対策

今回ノ奉天票暴落ハ流石ノ奉天当局モ不勘狼狽シタルモノノ如ク二十六日来急激ナル暴落ヲ開始スルト共ニ張作霖始メ省長等ハ關係当局等ヲ招集シ之カ対策ニ付鳩首會議スル所アリタルモ結局別段ノ名案ナク依然成行ニ委サントスル有様ナリ右維持対策ニ関スル状況左ノ如シ

- (1) 七月二十七日莫省長ノ訓示 同日午後莫省長ハ總商会副會長官銀号總弁警察厅长等ヲ召集奸商取締及交易所ノ復活ニ付訓示スル所アリタリ
- (2) 七月二十八日奉天当局ノ臨時會議 同日午前楊宇霆、莫省長、張實業厅长、陶警察厅长、王政務厅长等ノ臨時対策會議アリタルモ別段ノ名案ナク散会ス
- (3) 同日張作霖ノ訓戒 同日午後張作霖ハ總商会役員其他關係商人百數十名ヲ一場ニ会シ訓戒ヲ与ヘタリ其後張作霖ハ遂ニ總商會長ノ不信任ヲ唱ヘ之カ改選ヲナスニ至レリ(別添甲号参照)
- (4) 莫省長ノ対策建議ト決議事項 莫省長ハ七月三十日金融整理ニ関スル左記意見書ヲ張作霖ニ提出ス

ヌ、各銀行錢号ニ命シ為替料ヲ低下セシム

ル、現洋売買ノ額ヲ規定シ超過シタル時ハ投機取引ヲ為スモノトシテ処罰ス

ヲ、文武官吏ノ投機取引ヲ禁止ス

等ノ建議ヲ為シタルモ結局金融対策トシテ決定シタルモノハ

- (1) 官銀号中国銀行交通銀行両支店ノ共同ヲ以テ官銀号内ニ公共滙兌所ヲ設置シ上海及天津向為替売出シヲ為シツツアル制限額奉大洋十萬元ヲ奉大洋四十萬元ニ拡張ス(八月二日ヨリ実行、売出条件ハ六月八日付公第四三九号報告所載ノ通り)
- (2) 官銀号一日二十萬元ヲ限度トシテ現大洋ノ売出ヲ為サシム(八月四日ヨリ実行第一日ハ九萬元ヲ売出セリ)

(3) 奸商ノ取締ヲ嚴重ニスルコト
等ニシテ(1)及(2)ノ如キハ果シテ何時迄継続スヘキヤ疑ハレタル所果シテ五日ニ至リ前記決議中ノ(1)及(2)ヲ廃止シ之ニ代フルニ現大洋二十萬元ニ相当スル額ノ奉天票ヲ滙兌所ニ於テ上海向為替トシテ売出ノコトト改メ五日ヨリ実行スルコトセリ(当日相場奉天大洋百元ニ付上海銀

十九兩)

奉天票相場表

月 日	取引所標準相場		現物平均相場
	前 場	後 場	
七月 十五日	四四、六〇元	四四、六〇元	四四、〇〇元
七月 十六日	四四、六〇	四四、三〇	四三、〇〇
七月 十七日	四四、七〇	四四、〇〇	四三、〇〇
七月 十九日	四四、八〇	四四、三〇	四三、〇〇
七月 二十日	四四、一〇	四四、〇〇	四三、〇〇
七月 二十一日	四四、三〇	休	四三、〇〇
九月 二十二日	四四、八〇	休	四三、〇〇
七月 二十三日	四四、〇〇	休	四三、〇〇
七月 二十四日	四四、〇〇	休	四三、〇〇
七月 二十六日	四四、一六	休	四三、〇〇
七月 二十七日	四四、三〇	休	四三、〇〇
七月 二十八日	四四、〇〇	休	四三、〇〇
七月 二十九日	四四、六〇	休	四三、〇〇
七月 三十一日	四四、三〇	休	四三、〇〇
八月 二日	四四、〇〇	休	四三、〇〇
八月 三日	四四、三〇	休	四三、〇〇
八月 四日	四四、〇〇	休	四三、〇〇

八月 五日	五〇、三〇	休	五〇、〇〇
八月 六日	四三、〇〇	休	四三、〇〇
八月 七日	五二、〇〇	休	五二、〇〇

七月二十一日以後十五日間後場不立

(付属書一) (別添甲号)

大正十五年八月二日

日下公館

奉天票市価維持会議ト総商会ノ不信任

七月下旬ニ於ケル奉天票下落ノ景況ハ実ニ慘憺タルモノニシテ忽チ約百元以下落シ現大洋百元ニ対シ奉票六百二十元ト云フ未曾有ノ相場ヲ現出シ巷間更ニ将来一千元説サヘ称ヘラルルニ至リシカハ張作霖ハ七月二十八日午後四時雀城在住ノ重ナル商家(銀行会社ノ代表者等モ)百余名ヲ大師府ニ召致シ大声叱呼シテ奉票下落ノ原因ハ戦争ノ影響ニアラス各商賈自ラ招ク所ナリト強弁シ且金融整頓方法ニ就テ公衆ノ回答ヲ要求シ置キ翌二十九日再来ヲ会合セシメ前日ノ回答ヲ求メタリシモ何等具体的案ヲ得ルニ至ラスシテ終レリ

抑々今回張作霖カ又シテモ奉票ノ暴落ニ肝癪ヲ起シ公衆ノ

力ナル原因ナキ限り近ク奉票ノ順調ヲ説クハ聊カ過早ニ属スヘント思考ス

付 記

本文李福堂ハ南関ニ於テ藥種、売藥商ヲ營ミ資産ト人望トヲ有スル省城有数ノ紳商ナリ又現總商会會長張志良ハ目下北京ニ於ケル全国總商會會議ニ参列中ナリト

(付属書二) (別添乙号)

大正十五年八月六日

正金銀行 奉天支店

奉天省新鑄銀元ノ事

当店要録第三十号及三十二号所載当地造幣廠ニ於ケル袁世凱弗ノ鑄造ハ其後都合ニヨリ本年六月十五日ヨリ愈着手ノ運トナリタルカ過般官銀号營業副主任周会卿氏ノ談ニヨレハ

右會議カ人氣上ニ相当ノ好影響ヲ与ヘタルカ又ハ官憲カ何等カノ手段ヲ講セシモノカ會議後奉票相場ハ漸次好況ヲ呈シ本二日午後ハ現大洋一〇〇ニ対シ五四〇、金一〇〇ニ対シ四九五ヲ称フルニ至レリ然レトモ戦時未タ終了セサル今日仮令改革後ノ總商会カ積極的活動ヲ行フトスルモ他ニ有

ヲ繼續シ居ル次第ニテ之ヲ鑄造ノ目的ハ一ニ哈爾濱ニ於ケル大洋票(旧東三省銀行發行大洋券、在哈中国、交通兩行發行大洋券等ニテ俗ニ哈大洋ト稱スルモノ)ノ声價維持ノ為ニアルコト今モ當時モ何等変リ無シ」

トノコトナリ

当初ハ鑄造高合計二千万トノ噂ナリシモ嘗テ大正十三年中現大洋一千万を鑄造スルト稱シ其十二、三萬元ヲ鑄出セシニ過キサリシ前例モアリ窮乏セル省財政ノ現狀ニ鑑ミ今後果シテ幾何程ノ鑄造ヲナシ得ルヤ疑ハシク前記当路者ノ談ニモ原料ハ相當準備セリトノコトナルカ当店ノ知ル所ニテハ去ル五月中上海市場ヨリ銅銀十五万兩、銀塊十五万兩合計三十万兩ノ現銀ヲ取寄セタルコトアル以外更ニ購入ノ事實ヲ聞カサルノミナラス況ンヤ中途奉天省内ニノミ適用セシムル特別銀元ヲ鑄造ストノ噂サヘ伝リタル等ヨリ推シテ引続キ大量ノ銀元ヲ鑄出スルモノトハ信シ難ク大部分ハ宣傳ヲ加味セルモノト考ヘラル

右新鑄銀元ハ最近迄市場ニ現ハレサリシカ今回奉票市価昂上策ニ關連シ本月四日ヨリ官銀号ニ於テ現大洋一日二十萬元ヲ限り売出スコトニ決定當日九萬元ノ売出高アリテ旧貨

ニ混用顧客ニ仕払フニ至リ当店ニ於テモ小額現物ヲ手ニセラルカ分析ノ上ナラテハ實質不明ナリ但シ表面民國三年ノ印字アリ、音、色共何等差異ヲ認メス外見モ唯 color カ旧貨ニ比シテ稍丸味ノ帶フル外全然旧貨ト異ナラス

追而最近大連支店ニ於テ分析試驗ノ手筈トナリ居レハ其上純分其他判明致スヘシ

六二五 八月十四日(着) 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天当局ノ日本人錢莊使用中国人檢拳ニ依ル

取引中止ニツキ報告ノ件

第二三四号

最近奉天票ノ暴落ニ付奉天当局カ種々善後策ニ苦慮シ居ル狀況ハ累次報告ノ通りナルニ奉天側ハ右暴落ハ主トシテ奸商ノ投機売買等ニ依ルモノト認メ終ニ實力ヲ以テ錢莊等ヲ圧迫セムトシ十一日突然商埠地邦人錢莊使用支那人二名ヲ無斷引致シ次テ十二日付屬地邦人錢莊使用支那人三名ヲ付屬地内ヨリ引致シタル事實發生シ本朝又二名ヲ付屬地外ニテ抑ヘ更ニ他ノモノヲモ檢拳ノ為密偵ヲ派遣シ居ル模様ナルカ為邦商使用支那人ハ極度ノ恐怖ニ驅ラレ十三日ハ開場

六二七 八月十六日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天当局ノ奉天票維持対策ガ効ヲ奏セザル實

情報報告ノ件

第二三五号

往電第二二三号ニ関シ

客月末來奉票激落ニ對スル奉天当局ノ維持対策ハ迭次往電ノ如ク結局何等功ヲ奏セス奉票ハ昨今辛フシテ五百元ニ止リ居ルモ弱氣材料ノ制限ト共ニ再度暴落ノ微疑ノ余地ナク奉天当局焦慮ノ狀益々著ルシク而モ彼等ハ之カ根本的救済策ヲ講シ得スシテ徒ニ末葉ニ拘泥シ例ヘハ(一)市場相場五百元ニ近キ際四百三十元ノ公定相場ヲ定メ右相場以上ニ依ル取引ヲ嚴禁スルト共ニ敢テ其ノ表面ヲ糊塗セシカ為城内ニ交易所ヲ設ケテ右公定相場ニ依リ申訴の金票交換ヲ行ヒ(一日ノ交易限度五萬元一人僅カ二三百元ニシテ到底實需ニ副ハサルノミナラス其ノ開場時間短ク且多クハ官銀号兵工廠ノ廻者ノ為ニ買取ラレ居ル為全ク有名無実ナリ)(二)金融取締條例ヲ發布シテ銀行錢莊ノ現大洋及金票ノ手持ヲ禁止シ現大洋ノ省外持出高ヲ五元ニ制限シ或ハ奉票思惑ノ大

セラレタルモ支那人立会ハサル為取引モ中止ニ陥リ當業者一同ハ之カ善後策ニ就キ措置方ヲ當館ニ陳情シ來リタリ本件支那人不法措置ニ對シテハ目下當方ニ於テ交渉中(前記被引致者中四名ハ既ニ釈放済)ニシテ一方警察ヲシテ現場ヲ監視セシメ取引繼續方ヲ督勵シ居レリ
北京ニ転電シ安東、哈爾濱、吉林、長春、鉄嶺、遼陽、牛莊ヘ暗送セリ

六二六 八月十五日(着) 在ハルビン天羽總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

ハルビンニ於ケル当局ノ措置振リ報告ノ件

第一九〇号

支那側奉天票維持ノ為種々ノ方法ヲ講シ居リシカ十二日規定以下ノ價格ニテ奉天票ヲ売買シタル廉ヲ以テ當地ノ有力ナル錢舖天合盛ヲ閉鎖シテ關係者ヲ逮捕シ奉天同様武力の圧迫手段ヲ執ラントスルニ至レリ他方官銀号始メ奉天官憲關係銀行ハ過日來盛ニ大洋ヲ売り円貨ヲ蒐集南送シツツアリ
奉天ヘ暗送セリ

手筋カ支那官辺ニ鮮カラサルニ拘ハラス之ヲ我取引所ノ責ニ帰シ往電第二三四号ノ如キ武力圧迫ヲ企ツル等其ノ行為全ク姑息ニ流レツツアリ一面之ヲ以テ見ルモ奉票カ支那側内情ヲ如何ニ困憊セシメツツアリヤヲ立証シ居リ現ニ一二日前交渉員カ当館員ニ対シ今回ノ武力干涉モ実ハ張作霖ノ命ニ出テタル窮余ノ一策ニ他ナラス云々ト漏シタルカ如キ其間ノ消息ヲ窺フニ足ルナリ

在支公使ヘ転電シ哈爾賓、吉林、長春、安東、牛莊、遼陽、鉄嶺ヘ暗送セリ

六二八 八月十七日 在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

日本人錢莊使用中国人檢舉事件ニ関シ抗議申

シ入レノ件

付記 八月二十日付屬地内ニ於テ錢鈔取引人逮捕ニ関スル汪中国公使ト木村亜細亞局長会谈要領

第二三六号

往電第二三四号ニ関シ

交渉員十六日蜂谷ヲ来訪今回ノ措置ハ事情已ムヲ得サルニ出テタルモノニシテ全ク他意ナク固ヨリ我方行政権其ノ他

木村局長ハ答ヘテ曰ク

今回ノ逮捕処罰事件ハ奉票問題トハ別問題ナリ東三省ニ於ケル經濟上ノ不安奉票ノ暴落ニ対シテハ日本政府ハ同情ヲ有シ居レリ之カ解決ノ要諦ハ軍費ヲ制限シ奉票ノ濫發ヲ防キ以テ其病源ヲ断ツニ在リ錢鈔取引ハ一種ノ為替取引ナリ之ヲ禁止又ハ妨害スルモ病源ニ対スル方策トシテハ下策ナリ然ルニ奉天側ニ於テ鐵道付屬地内ニ立入り取引人ヲ逮捕シ之ヲ処罰スルハ日本ノ警察管轄ヲ侵害スルモノニシテ其処置ハ日本政府ニ於テ諒解致シ難キトコロナリ若夫レ一部ノ奸商ノ為ニ相場ノ動揺ヲ憂フルナラハ支那側ニ於テ直接之ヲ逮捕処罰スルノ舉ニ出テストモ帝國領事ニ交渉スル等ノ方法モアルニ非サルヤト

汪公使曰ク

能ク了解セリ奉天ハ何分武人ノミニテ國際法条約等ニ通セサルコト即誤解ノ原因ナルヘシ只張ヨリ電報ノ次第モアリ今日申出テタル次第ナリ奉天側ニ於テ事態ノ根源ヲ了解セシテ國際問題ヲ惹起スルカ如キハ不得策ナル旨電報スヘシ

ト約シテ去レリ

ヲ侵害スルノ意毛頭ナキモ今後之ヲ繰リ返ササル様注意スヘキ旨回答セリ其ノ後取引事件發生セス取引所ハ十六日以來開場セラレタリ尚ホ本件類似ノ事件沿線各地ニ發生シ居ル事實ニ顧ミ不取敢公文ヲ以テ之レカ絶対制止方反省ヲ促シ置ケリ

莫斯科、北京ヘ転電シ滿州里ヘ暗送セリ

(付記)

八月二十日付屬地内ニ於テ錢鈔取引人逮捕ニ関スル汪中国公使ト木村亜細亞局長会谈要領

大正十五年八月二十日

付屬地内ニ於テ錢鈔取引人逮捕ニ関スル件

二十日汪公使木村亜細亞局長ヲ来訪シ

張作霖ヨリ電信ニ按シタルカ之ニ依レハ從來東三省ニ於テ張ハ常ニ日支親善ノ主義ニ依リ排日運動ノ如キハ嚴ニ之ヲ鎮庄シ来リタルハ貴公使モ承知セラルル通りナリ今回錢鈔取引人ノ逮捕処罰事件ハ彼等カ微利ヲ貪ランカ為ニ國策ヲ誤ラントスルカ故ニ右ノ措置ニ出テタル次第ニシテ何等排日ノ意アリタル訳ニ非ス此点ハ充分日本政府ノ諒解ヲ求メラレタシト云フニアリ

六二九 八月十七日(着) 児玉閣東長官ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

滿鉄付屬地錢莊業者ニ対スル奉天当局ノ強圧
手段ニ対シ吉田総領事ト打合せノ上嚴重抗議
方申シ入レタル件

第一四号

昨年以來奉天票暴落ヲ続ケ昨今更ニ甚タシク(銀票ノ相場四百七、八十元代)為ニ支那官憲ハ之カ防止策ニ焦慮シ最近鐵道付屬地ニ於テ支那人錢莊業者ニ対シ露骨ニ圧迫ヲ加ヘ其ノ錢鈔取引ヲ禁止スルノ態度ニ出スルヲ以テ右ニ関シ予メ奉天総領事ト打合セ支那側ニ於テ奉天票暴落防止ノ根本方策ヲ講セス徒ニ付屬地内錢莊業者ニ対シ脅圧手段ニ出ルハ我方行政権ヲ蔑視シ我取引所ニ於ケル正当適法ノ取引ヲ妨害スルモノナルヲ以テ之ヲ容認スルヲ得サル旨ヲ以テ嚴重抗議方十六日申入置キタリ奉天票暴落ニ依リ我商人ノ蒙ムル損害著シク彼我通商取引ヲ阻害スル事大ナルヲ以テ当方ニ於テハ予テ其ノ推移ニ注意シ特ニ当庁取引所ニ対シテハ機宜ノ処置ヲ誤マラサル様隨時適當ニ監督シ居ル次第ナル処鐵道付屬地ニ於ケル支那人錢莊業者ハ支那側ノ圧迫ニ

恐怖シ取引所ニ臨ムヲ躊躇シ為ニ我取引所ニ於ケル立会一時停止セサルヲ得サル形勢アリタルヲ以テ各取引所長及警察署長ニ訓令シ支那側不法ノ圧迫ニ対シテハ断然之ヲ排除シ以テ付属地内銭莊業者ヲ保護スルコトニ処置シ目下平常通開場シ居レリ

本件ニ関スル一般対策等ニ付テハ委細郵報ス

六三〇 八月二十日(着)

在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉票問題ニ関連シテ拘留中ノ中国側銭莊經理

銃殺ニ関スル件

第二四〇号

往電第二三五号ニ関シ

奉票問題ニ関スル支那官憲ノ暴力取締ハ益々過激トナリ昨十九日既ニ拘留中ノ支那側銭莊經理五名ヲ銃殺ノ刑ニ処シ(其ノ内ニハ現ニ尚拘留中ノ邦商側使用人二名ハ含マレス)更ニ同様手段ヲ講セントノ風評高マリタル為支那側銭莊業者ハ異常ノ恐慌ヲ来シ付属地取引所モ其ノ余波ヲ受ケ開場セルモ取引殆ント休止ノ状態ナリ

在支公使ヘ転電シ哈爾賓、吉林、長春、安東、鉄嶺、遼

在長春

領事 栗原 正(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

奉天官憲ノ奉票武力維持策ニ関スル件

奉天官憲ノ奉票武断吊上策ハ当方面ニモ多大ノ衝動ヲ与ヘ殊ニ去ル十九日ノ銃殺事件以来支那商人ノ恐慌甚タシク銭莊両替店全部再ヒ休業スルニ至リタルノミナラス邦貨トノ交換相場ニ触ルルヲ恐ルル結果輸入品ノ取引全然中絶シ邦商側モ前途ヲ頗ル憂慮シツツアル次第ナルカ本件今後ノ發展及邦商ニ及ホス影響等ニ付キ当方面ノ觀察ヲ綜合スルニ大体左ノ通り

一、張作霖ノ暴力政策カ今後果シテ如何ナル發展ヲ来スヘキヤ差当リ予断ヲ許ササル処ナルカ一般ニ張ノ専横ヲ憎ミ如斯ハ自ラ墓穴ヲ掘ルニ等シキハ勿論武力ニ依リ奉票相場ヲ左右セムトスルカ如キハ笑フヘキ愚策ニ過キスト看做シ居レリ然レ共漫然經濟上ノ原則ノミニ依リ之カ影響ヲ予測シ前途ヲ樂觀シ得ヘキヤ否ヤ軍閥万能ニ近キ支那ノ現状等ニモ顧ミ頗ル疑問トセサルヲ得サルヘク当地特産商ノ多クハ張作霖今回ノ暴挙ハ結局相当ノ効果ヲ収

陽、牛莊、齊齊哈爾ヘ暗送セリ

六三一 八月二十日

在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天当局ノ奉票吊上策ニヨリ取引停滯ノ件

第二四二号

支那官憲ハ奉票吊上策トシテ本月八日以降金及現大洋建値ノ諸取引ヲ禁止セシモ商人間ニハ未タ其ノ実行ヲ見ルニ至ラサリシカ漸次圧迫ノ度加ハルニ從ヒ支那商人等ハ金建取引ヲ拒ムニ至リ新商談ノ成立不能ナルハ勿論契約品ノ引渡し売掛金ノ回収等全然行詰リノ状態トナリ今朝本邦商人ヨリ歎願ノ次第アリ目下実情取調中

在支公使ヘ転電シ哈爾賓、吉林、長春、安東、鉄嶺、遼陽、牛莊、齊齊哈爾ヘ暗送セリ

六三二 八月二十一日

在長春栗原領事ヨリ
幣原外務大臣宛

奉天官憲ノ奉票武力維持策ニ関シ我が方モ機

宜ノ対策ヲ講ズル必要アル旨具申ノ件

機密公第一九八号

(九月二日接受)

大正十五年八月二十一日

ムルニ至ルヘシトノ觀察ヲ有シ在滿邦商ハ永ク多大ノ影響ヲ受ケ益々窮境ニ陥入ルヘキヲ憂慮シツツアル次第ナリ

二、沿線各地ノ銭莊業者ハ官憲ノ暴挙ニ戰慄シ一斉ニ店戸ヲ閉鎖シ休業スルニ至リタルハ前述ノ通ニシテ彼等ノ奉票投機思惑等モ殆ト屏息シ金對奉票ノ実需取引又中止ノ姿トナリタルノミナラス付属地取引所ニ於テサヘモ奉票ニ對スル需給ノ実情ヲ知ルニ由ナク満足ナル相場ヲ立ツルコト困難トナレリ從テ此儘相当期間継続セラルルカ如キコトアルニ於テハ奉票ハ自然外國貨ニ對スル接觸交換ノ機会ヲ激減シ一時人爲的ニ所謂公定相場タル三百九十五元ニ近寄ラムトスルニ至ルヘク現ニ本件勃発当初即チ本月十二日頃ハ金票ニ對シ四百七八十元ノ相場ナリシカ武力干涉ト共ニ四百二十三元ニ進ミ銃殺事件後更ニ上騰シテ三百九十五元ニ接近セムトスル形勢ヲ示シツツアリ右ハ支那商人カ公定相場以下ニ交換スルヲ極度ニ恐怖スル余リ自然我方取引所ニ於ケル相場ニモ反映セルモノナルヘク果シテ然リトスレハ官憲側ノ強圧策ニシテ緩和セラレサル限り相当継続スルモノト予想セサルヘカラサル

ヤニ思考セラル然ルニ奉票ハ御承知ノ通り例年夏期間散期ニ於テ金対相場百五十元ニ下落シ九月上旬特産出廻開始ト共ニ漸次上進シ十二月頃ニハ百二十元見当即チ前者ニ比シ約三割方騰貴スルヲ例トシ居レリ奉天官憲ノ目論見那邊ニアリヤヲ知ラサルモ引続キ武力取締ヲ維持セムトスル覚悟ナルヘキハ予想ニ難カラサル処ナルニ付キ旁々奉票ハ不自然ニ孤立セル儘表面所謂公定交換率ニ近キ相場ヲ維持シツツ九月上旬ノ特産出廻期ニ入ルモノト予想スル外ナク果シテ然リトスレハ奉票ニ対スル需要旺盛トナルト共ニ支那農民ニ依リ奥地ニ搬入死蔵セラルルモノ多ク自然流通額ヲ減スヘキニ付キ奉天側ノ遣口如何ニ依リテハ此間比較的容易ニ奉票騰貴ノ機運ヲ作り得ヘキヤニモ考ヘラル而シテ官憲側ハ右ノ機運ニ乗シ隨時所謂公定相場ノ引上ヲ行ヒ今回ト同一手段ニ依リ之カ武力維持ニ努ムヘク錢莊業者側モ後述ノ如キ事情ニ依リ結局官憲ニ盲従スル外ナキニ至ルヘキニ付キ如斯方法ヲ適宜繰返スニ於テハ特産出廻絶頂期タル十二月頃迄ニハ相当程度迄ノ奉票ヲ吊上ケ得ヘキヤニ予想セラレサルニ非ス但シ右ハ支那商人ヲ庄迫シ極度ノ恐怖心ノ下ニ無理押付

ケノ相場ナルニ付キ官憲側ノ態度緩和シ如斯危險ナキニ至ラハ之カ反動トシテ奉票暴落シ財界愈々混乱拾収スヘカラサルニ至ルヤ必セリ從テ支那側トシテモ容易ニ武力取締ヲ改メサルヘク自然我方ニ及ホス影響モ亦頗ル甚大トナリ俄ニ樂觀ヲ許ササルモノアル様認メラル

三、先ツ我カ輸出業者特ニ特産商ニ及ホス影響如何ヲ觀ルニ仮リニ前述ノ如キ恐怖時代ノ儘出廻期ニ入りタルモノトセムカ邦商ハ特産買付ニ必要ナル奉票ヲ得ントスルモ支那錢莊ハ官憲ノ暴力ヲ恐れ所謂公定相場以下ニテハ容易ニ邦商側ノ要求ニ応セサルヘク之カ為意外ノ支障ヲ来ス虞ナキヲ保シ難キニ反シ支那商人ハ出来得ル限り邦商殊ニ金票ノ關係ヲ避ケ手持奉票ヲ以テ自由ニ特産買付ヲ行ヒ自ラ之ヲ大連ニ出貨売却シ同地ニ於テ内密ニ奉票ト交換シ得ヘキニ付キ邦商ハ益々窮地ニ陥入り結局公定相場ニ近キ交換率ヲ以テ奉票ヲ入手スル外ナキノミナラス今後行ハルヘキ公定相場引上毎ニ不自然ニ高価ナル商品ヲ買入ルル結果トナリ著シク活動力ヲ減殺セラルルニ至ル懸念アリ

更ニ輸入業者殊ニ大宗品タル綿糸布商ニ及ホス影響如何

ルハ前述ノ通ナリ

四、今回槍玉ニ挙げラレタル天合盛ハ公主嶺本店以外ニ哈爾賓、長春、開原、奉天等ニ支店ヲ有シ各地共目醒シキ活動ヲ為シツツアリタル有力ナル錢莊業者ニシテ事實上奉票取引ヲ左右シ居リタル感アル趣ナルカ今回ノ強圧政策ニ依リ結局破産ノ外ナキ見込ナリト云フ然ルニ同店以外ノ錢莊兩替店ハ各地共勢力微弱ニシテ官憲ニ手向フカ如キ力ナキ由ニテ今後ハ官憲ノ思惑如何ニ依リ自由ニ操縦セラルルニ至ルヘントノ觀察ヲナスモノ多シ

五、本件此後ノ發展及影響等ニ関スル予想ハ大体上述ノ通ニシテ前途必スシモ樂觀ヲ許ササルヤニ思考セラルルニ付申迄モナキ次第乍ラ此際慎重御考究ノ上何等機宜ノ対策ヲ講シ取引ノ円満ヲ期セシムル必要アリト存セラル

右御参考迄ニ報告ス

本信写送付先 在支公使、奉天、吉林、哈爾賓各總領事、鐵嶺、遼陽、安東、牛莊、鄭家屯、齊々哈爾各領事、關東長官

六三三 八月二十一日

在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

張作霖ハ奉票取締布告効果ナキニ鑑ミ金融取締條例發布ノ措置ヲ執リタル件

公第六四九号

(八月二十八日接受)

大正十五年八月二十一日

在奉天

總領事 吉田 茂(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

金融取締條例發布ノ件

本月十七日付公第六三九号ヲ以テ報告申進置タル通張作霖ハ奉票取締ニ関シ嚴重ナル布告ヲ發シタルモ其後實際ノ効果ナキニ顯ミ今回更ニ大略左記ノ通金融取締條例ヲ發布セラルカ右條例中特ニ第一条及第三条ニ関シテハ去二十一日付機密公第六四六号ヲ以テ報告ノ通明ニ經濟共通ノ精神ニ悖リ且邦商ノ利害ニ重大ナル影響ヲ及ホス儀ニ付目下支那側ニ対シ同條例撤廃方ニ付嚴重交渉中ナリ

右報告申進ス

記

金融取締條例

第一条 銀行錢号ノ現洋金票ノ手持ヲ禁止ス

機關ニ命シ現洋銅元ノ密輸犯人ヲ逮捕セシム

第十二条 銀行錢号ニ多額ノ現大洋金票(五千元以上)ヲ

預金シタル者アリシ時ハ該銀行錢号ハ所管警察官署ニ報告シ警察官署ハ該現大洋金票ノ出処ヲ調査シ密輸ノ行為ナキヤ否ヲ明カニス

第十三条 軍人、警察官、憲兵ニシテ多額ノ現洋金票ノ密輸者ヲ逮捕シタル時ハ半額ヲ官署ニ納メ半額ヲ逮捕者ニ賞与ス

第十四条 人民ニシテ現洋金票建ノ商品ヲ購入スル時ハ東三省官銀号所定ノ相場ニ依ルヘク若シ違反シタル時ハ嚴重処分ス

第十五条 商埠地ヲ經過スル各種車輛ニ対シテハ特ニ調査シ以テ現大洋密輸ヲ防止スヘシ

第十六条 各銀行錢号ノ手持現大洋金票ハ總テ東三省官銀号ノ公定相場ニ依リ売出スヘシ

第十七条 本條例ニ若シ不備ノ点アリシ時ハ隨時修正ス

第十八条 本條例ハ公布ノ日ヨリ實施シ金融原状ニ復シタル時之ヲ廢止ス

本信写送付先 在支代理公使、沿線各領事

五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉 六三四

第二条 官吏ノ投機空売買ヲ禁止ス

第三条 現大洋ヲ携帶シ省境ヲ出ツル時ハ五元ヲ以テ限度トシ五元ヲ超過スル時ハ密輸ノ罪ニ問フ

第四条 銀行錢号錢莊錢卓等投機空売買ヲ為シタル時ハ經營者ヲ処罰スル外其ノ營業ヲ停止ス

第五条 支那人ト外人共謀シ現大洋ヲ省外ニ輸送シタル時ハ支那人ト外人トヲ問ハス金融紊亂ノ罪ニヨリ処罰ス

第六条 暴利ヲ貪ルノ徒ハ直チニ憲兵司令部或ハ警察庁稽査処ニ引渡シ詳細訊問ノ上処分ス

第七条 軍人ニシテ上項ノ行為アリシ時ハ逮捕シ軍法処ニ引渡シ処分ス

第八条 官吏ニシテ投機空買ヲ為シタル時ハ長官ニ於テ直ニ該官吏ヲ主管官署ニ引渡シ処分スヘシ若シ隱匿シテ引渡ササル時ハ該長官ヲ同等ノ罪ニ処ス

第九条 官署ノ出納ヲ司ル官吏ニシテ公金ヲ利用シ私利ヲ貪ル行為アリタル時ハ他ノ犯人ヨリ罪一等ヲ加フ

第十条 謠言ヲ流布シ民衆ヲ誤惑シタル時ハ金融紊亂ノ罪ニ依リ処分ス

第十一条 京奉、奉海、四洮、洮昂、東省、錦朝等ノ交通

六三四 八月二十二日(着)

在奉天吉田總領事ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

張作霖ノ錢莊圧迫ニヨル取引所ノ機能停止ニ

關スル件

第二四七号

往電第二四二号ニ関シ

張作霖ノ錢莊圧迫暴狀ハ累次既電ノ通りナル所之カ為メ市場ハ極度ノ恐怖ニ襲ハレ取引所ハ全ク名ノミトナリ其ノ出来高ノ如キモ十三、四日ハ不成立ニ終リ十六日ハ五十万、十七日二十二万、十八日三十三万、十九日五十六万、二十日六十七万、二十一日二十一万ノ出来高ニテ十二日以降ハ平素ノ十分ノ一ニモ上ラス然モ其ノ大部ハ二十八日受渡シ分ノ転売、買戻シニ過キサルヲ以テ新規約定全クナク取引所ノ機能全然停止セラレツツアリ

奉票相場ハ十八、九日頃迄四百七、八十元見當ヲ持統シ居リタルモ強制公定相場四百三十元ヨリ更ニ三百九十五元ニ吊上ケラレタルト市場恐怖觀念ニ包マレタルタメ二十一日ニハ四百三十元テウ恐怖相場ヲ顯出シ居レリ加之往電第二三五号ノ如キ金票手持禁止、金票交換制限並ニ金票ニ依ル

五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉 六三五

取引禁止等ノ事実アリ之等各種ノ事実相俟チ昨日支商取引ヲ全然休止状態ニ陥入レタリ之ヲ正金銀行輸入手形受入高ニ付テ取調フルニ郭松齡事変以後一時奉票相場落着ヲ見セタル本年二、三月ノ候ニハ昨年同期ニ比シ約二割高増加ヲ示メシタルニ四月以來漸次減少シ六月以降ノ如キ昨年同期ニ比シ僅カ三分ノ一ナリ

即チ昨年四月「四九七」(単位ハ千円以下同シ)、五月「五八四」、六月「六五五」、七月「六五二」、八月「五六六」ニ対シ本年四月「四九四」、五月「五二二」、六月「二六四」、七月「三五八」、八月「一八七」ニテ右例年ナラハ八、九月ハ冬期仕入時トシテ商談一層殷賑ナルヘキニ本年ハ春以來ノ取引決算未了ノ間ニ夏涸期ニ入りタルニ加エ奉票維持ニ対スル暴力手段ハ遂ニ取引所ノ機能ヲ停止シ市場ヲ威嚇シ犠牲ヲ以テ築キ上ケタル金票取引ノ基礎ヲスラ破壊セントシツツアリト我カ紡織其他輸入商ヨリ頻リニ本官ヘ陳情シツツアリ

在支公使ヘ転電セリ、哈爾賓、吉林、長春、安東、鉄嶺、遼陽、牛莊ヘ暗送セリ

六三六 八月二十四日 在中国掘臨時代理公使ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

張作霖ヨリ奉票救済ノタメ大倉組ニ短期借款

申込説ニツキ問合せノ件

付記一

大正十四年一月三十一日付在奉天內山總領事代理ヨリ幣原外務大臣宛機密公第五八号

奉天省政府ト大倉組トノ借款成立説ニ関スル件

二 大正十四年二月十四日

奉天省政府ノ大倉組借款問題等ニ関スル木村

亞細亞局長ト大倉組河野トノ会談要領

三 八月二十五日付大倉組門野重九郎ヨリ谷重細

亞局第一課長宛

奉天省政府ノ大倉組借款説ニ関スル件

第五三八号

本官発在奉天總領事宛電報

第三七号

奉天省政府ハ奉天票ノ救済等ヲ目的トシ大倉ニ対シ四五百万円ノ短期借款ヲ申出テ大倉ニテモ一応考慮中ニテ目下当地滞在中ノ河野ニ貴地出張ヲ促シ来レリトノコトナリ

右ハ二十一日東京発東方電奉天顧問趙欣伯ノ談話ト照応スル次第ナルカ本件ノ真相本官含迄ニ電報ヲ請フ

五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉 六三六

六三五 八月二十三日 庵谷枕奉天商業會議所会頭ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天票下落ニ関スル中国官憲ノ措置ニツキ我ガ対滿政策ヲ一新シ斷乎処置方切望ノ件

大正十三年第二次奉直戰後ヨリ奉天票ハ慘落ヲ以テシ之カ為在滿邦人ノ蒙ル損害確實ニ数千万円ニ達ス然モ支那官憲ノ奉天票對持策ナルモノハ其根底ヲ究メサル只一時ノ姑息手段ト高压の暴令ニシテ最近金融取締ニ関スル内訓ヲ発シ自國商人ノ日本金手持ヲ嚴禁シ或ハ錢鈔業者ヲ銃殺ニ処シ或ハ我國權ヲ犯シテ邦人使用支那人ヲ拘引投獄スル等ノ暴挙ヲ敢テシ為ニ支那商人ハ極度ノ恐怖心ニ襲ハレ日支商取引全ク杜絶シ方ニ在滿邦人各種ノ企業並貿易ハ根底ヨリ破壊セラレントスルノ情勢ニシテ真ニ寒心ニ堪エス斯ノ如キ情態ヲ誘致シ支那当局ヲシテ益々我ヲ輕視スルニ至ラシメタルハ一ニ我政府ノ對滿政策ノ當ヲ得サリシニ基因スルモノト認メサルヲ得ス此際我政府ハ從來ノ對滿政策ヲ一新シ茲ニ斷乎タル処置ヲ執ラレン事ヲ切望ス

右本會議所ノ決議ニ拠リ請願ス

大臣ヘ転電セリ

(付記一)

大正十四年一月三十一日付在奉天內山總領事代理ヨリ幣原外務大臣宛機密公第五八号

奉天省政府ト大倉組トノ借款成立説ニ関スル件

機密公第五八号

(大正十四年二月五日接受)

大正十四年一月三十一日

在奉天

總領事代理 領事 內山 清 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

東三省官憲對大倉組借款成立説ニ関スル件

当地居住支那浪人石本権四郎力館員ニ内話スル処ニヨレハ張總司令ハ奉直戰爭後軍備充實ニ余念ナキモ戰後ノ經濟的疲弊ハ到底東三省内ニ於テ軍資ノ調達覚束ナク對外借款ヲ思ヒ立チツツアリタル処先般天津ニ滞在中大倉組トノ間ニ營口ニ於ケル塩稅余款ヲ担保トシ一面所要軍器ヲ大倉組ヨリ購入スヘキ条件ノ下ニ金一千五百万円(一説ニハ一千万円トモ言フ)ノ借款契約成立シ既ニ三百万円ノ授受ヲ了シ軍器第一回ノ注文トシテ金四百五十万円ニ相当スル注文ヲ發シ右代金ノ内金トシテ正金支店ニ三百万円ヲ預託シ在リ

六四七

借款金ノ使途ハ張宗昌及李景林ニ付随シ直隸各地ニ駐屯セシメタル補充兵員ノ募集並ニ之ニ対スル軍器ノ購入ニ充当セントスルモノニシテ張氏ノ軍備擴張計画ヲ窺知シタル英米商人等ハ盛ニ武器売込ノ運動ニ奔走シツツアルモ既ニ大倉組トノ契約成立後ナルヲ以テ如何トモ為ス能ハサル状態ナリ云々トノコトニ有之右ハ俄カニ信ヲ措キ難キハ勿論ニ有之候得共客年十一月二十四日付機密公第四九七号拙信東三省官銀号ノ金票預金ニ関スル件及同年十一月二十八日付機密公第五〇七号東三省官銀号ノ金票預金ト大倉組ノ武器購入計画ニ関スル件等ノ報告ト関連考覈スルトキハ大倉組ト本省官憲トノ間ニ天津ニ於テ本件類似ノ何等カ交渉アリタルハ事実ナラント思料セラル尤モ正金銀行ニ対スル預金ハ未タ其儘ト為リ居ルヨリ察スルニ本件ハ現ニ商談進行中ナルヤニ察セラレ且又本年一月十九日付機密郵電第二五号奉天兵工廠擴張計画ニ関スル件ハ若干之レニ関連スルモノナルヤニ被存候但シ大倉側ハ一切極秘ト為シ居リ其ノ真相ヲ探知スルコト困難ニシテ引統嚴密視察中ニ有之候モ不取敢右聞込ノ儘此段報告申進候 敬 具

本信写送付先 在支公使、天津總領事

全然局長一個ノ私見トシテ貴君ハ從來張作霖ニ接近シ居ラルル処此ノ際吳ニモ連絡ヲ求メラルルハ至極結構ナルヘシト告ケタル処河野ハ自分ハ從來徐樹錚ト交際シ居レルカ徐ト吳トハ仇敵ナカラ互ニ相推賞シ合ヘル間柄ナルニ付(今次動乱中徐ニシテ京津ノ間ニ在リシナランニハ張、吳ノ間ヲ斡旋シ早ク時局ヲ收拾シ得タリシナラン)徐ニ依ラハ吳ニ接近スルノ途モアルヘシト思考セラルル処最近徐ノ自分ニ報スル所ニ依レハ彼ハ本年三月頃米国經由來邦ノ趣ナルニ付其ノ際何トカ手段ヲ講シ度シト考ヘ居ル次第ナリト述ヘタリ

三、次テ局長ヨリ最近大倉組ト奉天当局トノ間ニ一千万円余ノ借款契約成立シ既ニ三百万円ノ授受ヲ了シタルヤノ聞込アル処(大正十四年一月三十一日付奉天來信機密第五八号参照)事実如何ト尋ネタル処河野ハ全然左ノ事實ナシ尤モ先般來奉天当局ト大倉組トノ間ニ供給方交渉中ナリシ独逸武器ノ代金ニ充当ツル為メ奉天当局ニ於テ在奉天正金支店ニ三百万円ヲ預金シタルモ右ハ大倉組ヨリ融通シタルモノニハアラス(本件独逸武器供給ノ件ハ我カ軍部ノ故障ニ依リ沙汰止トナレリ)又曩ニ王永江ヨリ

(付記二)

奉天当局ノ大倉組借款問題等ニ関スル木村亜細亞局長ト大倉組河野トノ会谈要領

大正十四年二月十四日木村局長ト大倉組河野ト会

談ノ件

大正十四年二月十四日大倉組河野、木村亜細亞局長ヲ來訪シ左記要領ノ談話ヲ交換セリ

一、河野ハ支那ニ於ケル私立銀行ハ目下多分ノ遊金ヲ擁シ居ル実情ニテ金城銀行(天津)中南銀行(上海)塩業銀行(北京)等之カ中心トナリ本邦銀行ト提携シテ本邦銀行ノ対支投資ニ便乗シ度キ意向ヲ有シ居ルニ付(支那銀行家ハ此ノ方法ニ依リ自家ノ投資保護ノ途ヲ講セントスルモノニシテ場合ニ依リテハ支那六分日本四分ノ割合ニテ投資スルモ可ナル意向ナリ)自分ハ安田辺リヲ説キ付ケ度キ考ナリト語レリ

二、次テ河野ハ自分ハ予テ吳佩孚ニ接近ノ機会ヲ求メ居タル処吳失脚後鷄公山ヨリ漢口ニ出テタル時ヲ見計ヒ在漢口大倉組支店長村岡ヲ介シ前後四回迄モ吳ニ通信シタルモ吳ヨリハ未タ何等ノ返事ナシト語レルニ付木村局長ハ

大倉組ニ対シ張作霖カ盧永祥ニ供給スヘキ資金ヲ張ノ私債トシテ融通アリ度キ旨申出アリ大倉組ハ右ニ対スル担保トシテ奉天側本谿湖持株ノ提供ヲ求メタルコトアルモ右ハ不成立ニ終レリト答ヘタリ

(大正十四年二月十四日 守島記)

(付記三)

八月二十五日付大倉組門野重九郎ヨリ谷亜細亞局第一課長宛書信

奉天当局ノ大倉借款説ニ関スル件

大正十五年八月二十五日

門野 重九郎

外務省亜細亞局

谷 正之殿

拝啓離京勝ニテ御無音致居候只今電話ニテ申上候通り数週前奉天川本ヨリ金五百万円借入ノ申込張作霖氏筋ヨリ有之候旨申來リ候得共單ニ奉天票下落防止ノ為メ云々ニテ担保等具体的ナラス又当方金融上余裕有之次第ニモ無之旁々具体的ノ申入レヲ得ハ考慮スヘキ位ノ返答致置候最近奉天川本ヨリ在北京河野久太郎ニ対シ此借入金申入ニ付尚協議ヲナス為メ來奉ヲ促シ居リ候様子ニ御座候

現時入京中ノ趙氏トハ未タ面会モ不致或ハ老大倉モ昨日帰京ノ趣ナレハ同氏ノ訪問ヲ受ケタルヤモ不計候得共小生ハ老人ヨリ何等申来リ不居候

右奉天商談カ幾分ニテモ進捗致ス様ニ御座候節ハ貴方ヘ御報告可申上又御意向モ相伺出可申存念ニ御座候以上概況御参考迄申上候 敬 具

六三七 八月二十四日

末光(源藏)在奉天商工団体及ビ各機關連合協議会座長ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

奉天票暴落ニ関スル中国官憲ノ行為ニ対シ政府ノ根本的対滿蒙政策樹立方切望ノ件

(八月二十五日接受)

奉票暴落ニ対スル支那官憲ノ狂暴ナル行為ハ我在滿貿易ヲ杜絶シ日支經濟關係ヲ破壊セシモノニテ我總領事ノ警告交渉モ何等ノ効果ナク此際政府ハ速カニ根本的対滿蒙政策ヲ樹立スルト同時ニ対奉票方策ヲ確立シ現ニ侵害サレタル条約上ノ權利ヲ回復シ此危機ヲ匡救セラレンコトヲ切望ス

六三八 八月二十五日

在奉天吉田總領事ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

様注意シ置キアリ

関東長官、在支公使ヘ転電セリ

六三九 八月二十五日

関東庁警務局長ヨリ出淵外務次官宛(電報)

錢莊業者ノ不安去ラズ未ダ開業ニ至ラザル件

(八月二十六日接受)

支那側ニ拘禁中ノ錢莊業者ハ未タ釈放セス奉天城内ニアリテハ今尚時々帳簿検査ヲ行ヒツツアル為錢莊業者ハ何レモ開業セス各地ニ避難シタルモノハ避難先ヨリ密ニ店員ヲ帰奉セシメ支那側ノ空氣ヲ窺ヒツツアリ亦長春城内天合盛ト称スル錢莊業者ハ曩ニ拘引銃殺セラレタルカ其財産五百万円差押ヘ処分ヲ受ケタリ其他各地共不安未タ去ラス

六四〇 八月二十六日

在奉天吉田總領事ヨリ幣原外務大臣宛(電報)

奉天票相場回復ト其ノ影響ニ関スル件

第二五〇号

往電第二四七号ニ関シ

其後奉天票相場ハ奉天官憲ノ圧迫張家口占領特産出廻り期切迫其他対日借款説等ニ依リ漸次恢復シ本二十五日ニハ三

在奉天商工業者団体其他ノ代表者ヨリノ陳情

ニ関スル件

第二四九号

(八月二十六日接受)

八月二十三日商業會議所会頭ヨリ會議所ノ決議トシテ奉天官憲ノ奉票武力維持策ノ為滿州貿易ノ破壊ス可キ傾レアリトテ支那側ニ対シ断乎タル処置ヲ採ル様陳情ノ次第アリ右決議ハ其當時同會議所ヨリ貴大臣其他ヘ電報セル趣ナルカ次テ本二十五日在奉天商工業団体其他ノ連合ノ緊急協議会トシテ其代表者二十余名同様ノ趣旨ノ決議書ヲ以テ本官ニ面会ヲ求メ陳情ノ次第アリ尚代表者ヲ上京セシム可シトノ意味合ヲモ述ヘタルニ付本官ハ現状改善ノ為支那側ニ対シ現ニ努力中又帝國政府モ充分考慮ヲ加エ種々訓令ノ次第モアリ政策論ハ別トシ損害其他ノ実情ハ詳細本官ニ於テモ又帝國政府ニ於テモ充分明白ニ承知シ度シトテ各自ノ実見談ニ付事情ヲ聴取シ支那側交渉ニ付テハ猶努力ス可キ旨申聞ケ引取ラシメタリ代表トシテ来館者中ニハ新聞社モアリ又此機会ニ一騒キナサントスル輩モアルヤノ模様ニ付本日ノ会见談ニ付誤報ヲ防ク為連合通信ヲシテ其模様転電セシムルト共ニ代表者中ノ主ダチタル者ニ対シ行動ヲ慎重ニスル

百五十ヲ以テ寄付キ三百七、八十元ニ落著キタルカ之ヲ七月末五百八、九十元ニ比較スル時ハ一ヶ月ナラスシテ二百元ノ昂騰トナリ物価評定ノ基準全ク破壊セラレタル一方前段既報ニカカル金票手持禁止令ニ基キ金票建値不能ニ陥リ取引建値ノ依ルヘキモノ全ク失ハレ居ル現状ナルカ右ハ独リ邦商ノミナラス支那側商民ニ対スル一大打撃ニシテ元ヨリ看過シ難キ処一説ニ依レハ支那官憲ニ於テハ斯クシテ吊上ケラレタル奉票ヲ以テ聽テ特産期ニ於ケル金票買入ノ資金ニ供セントノ下心ニテ奉票ハ全ク奉天官憲ノ一賭博ノ目的物ニ化セリトナスモノアリ右ハ余リニ極端ニ走り穿チ過キタルトスルモ奉票ノ乱上下ハ金票取引禁止ト共ニ彼我ノ取引ヲ阻碍シツツアルハ現実ナル実状ナリ在支公使、関東庁長官、哈爾賓、吉林、長春、鉄嶺、遼陽、安東、牛莊ヘ転電セリ

六四一 八月二十六日

在奉天吉田總領事ヨリ幣原外務大臣宛

金融取締條例撤廃方ニツキ張作霖ニ申入レ交

涉中ナル旨報告ノ件

公第六六四号

大正十五年八月二十六日 (九月一日接受)

在奉天

總領事 吉田 茂(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

金融取締条例撤廃方ニ関スル件

当地支那側ノ発令ニ係ル金融取締条例撤廃方ニ付目下支那側ニ交渉中ナル旨去二十一日付公第六四九号ヲ以テ報告申進置タル処同条例ハ固ヨリ一般民衆ニ公然發布セシモノニ無之張作霖ヨリ単ニ關係各機關ニ対スル密令ナルニ付右ニ御含ミ相成度尙本官ヨリ張作霖ニ致セシ要求ハ別紙写ノ通ナリ右為念報告申進ス

本信写送付先 在支公使、沿線各領事

(別紙写)

公文第五二七号

大正十五年八月二十一日

駐奉日本帝國總領事 吉田 茂(印)

鎮威上將軍 張 作 霖 殿

拝啓陳者奉省金融ノ取締ニ関シ去十二日付ヲ以テ貴官憲ヨリ御公布アリタル取締金融條例中第一条及第三条ノ如キハ

明ニ邦商ニ対スル利益ヲ侵害スルモノニシテ貴国官憲ハ去十二日以来一般商人ノ現洋及金票ノ手持ヲ禁止セル為邦商トノ現物売買ニ当リ金票取引ヲ為ササルハ勿論先物取引ニ於テモ契約書面ニ金票建ヲ以テスル価格記載ヲ肯セサル為商談成立セス又去九日ヨリ貴国官憲ニ於テ奉票市価ニ伴ハサル公定相場ヲ発表シ總商會内ニテ貴国商ニ対シ右公定相場ニ依リ一日五萬元ヲ限り金票ニ交換シツアルモ邦商ノ收受スル奉票ハ之ヲ金票ニ交換スルノ途無キ為目下商取引杜絶ノ状態ニ有之候要之同条例ハ全文ヲ通シ其ノ精神ニ於テ經濟共通ノ原則ニ背反シ貴我両国ノ貿易ヲ阻害シ貴我通商條約第四条ニ反スルヲ以テ至急撤廃相成度此段照會得貴意候

敬 具

六四二 八月二十七日

在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

大倉組ニ対シ借款申入レノ実否ニツキ調査結

果回電ノ件

第二五一号

本官發北京宛電報

第八七号

貴電第三七号大倉組五百万借款ノ実否ニ関シ当地大倉組ニ就キ取調ノ処本月初メ奉天省長ヨリ大倉組ニ対シ官銀号ヲ借主名義トシ省長保証ノ下ニ老千万円半ケ年短期ノ借款申出アリ但差当リハ五百万円ニテモ可ナル処之カ担保其他ノ条件ニ就テハ大倉組ノ希望申出ニ依リ更ニ考慮スヘキ趣ナルカ右ニ対シ大倉ハ猶考慮中ニテ確答シ居ラス目下当地奉票問題ニ関連シ在留本邦人ノ反張熱昂シ居ルニ鑑ミ当地支店ニ於テハ暫ク觀望中(觀望中ト言フハ当地支店長ノ言フ処ニテ大倉本店ニ心スル意思アリヤ固ヨリ不明)愈々ノ談ニナレハ外務大臣ノ内許ヲ得ヘキハ勿論ナリ

猶右借款使途ハ明示シ居ラサルモ奉票救済ノ一時的対策ナルヘシ又貴電末段趙欣伯トノ關係ハ何等無之云々

右御含迄

大臣へ転電セリ

六四三 八月二十七日

在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

錢莊使用人釈放方及ビ金票手持禁止令撤廃方

ニ関スル莫省長トノ交渉結果報告ノ件

第二五二号

(八月二十八日接受)

往電第二四〇号邦人錢莊使用支那人未釈放者三名(前電二名トセシハ三名ノ誤)釈放方並往電第二三五号金票手持禁止令撤廃方ニ就キ二十六日蜂谷ヲシテ省長ヲ往訪セシメ本件支那側ノ措置ハ条約ト抵触シ日支通商貿易ヲ杜絶セシムルモノニシテ甚タ穩当ナラス之カ為当地並内地ニ於テハ國論次第ニ沸騰シ此儘ニ經過スルニ於テハ聽テ彼我國民感情上不愉快ナル結果ヲ醸スコトナキヲ保シ難キ旨ヲ説カシメタル処省長ハ(一)現ニ拘禁中ノ三名ニ就テハ目下猶取調中ニシテ其結果ニ就テハ明答シ難ク実ハ当方ニ於テモ開原事件アリ同地天合盛番頭引渡方貴方ニ申出テタルニ拘ラス引渡ヲ受ケ得サル為(拙信公第六八号参照)支那側民論亦穩ナラス旁々奉票問題ニ関スル事態今少シク鎮靜スルヲ俟ツニアラサレハ或ハ釈放モ困難ナルヘキカ(二)金票手持又ハ取引禁止ニ関シテハ何等官憲側ニ於テ法令若シクハ訓令ノ如キモノヲ出シ居ラス現ニ官銀号ニ於テ日々前記ノ金票交換ヲ行ヒ居ル次第ニテ金票使用杜絶セリトセハ夫ハ偶々民間ニ於テ信用回復シツツアル奉票ニ依ラムトスル結果ニ他ナラス云々ト

依テ蜂谷ハ金票五萬元交換ノ如キハ全ク有名無実ナルコト

並事実上金票取引ハ禁止セラレ之カ為被ル彼我通商ノ打撃少カラサルヘキコトヲ痛説セルモ結局言ヲ左右ニ托シテ言逃レ其間何等誠意アル態度ヲ示スニ至ラサリシ次第ナリ

六四四 八月二十八日 在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天票問題ニ関スル在留民大会ノ模様報告ノ

件

第二五五号

奉天票問題ニ関シ在奉商工団体各機關連合会主催ノ下ニ昨二十七日午後六時ヨリ奉天公会堂ニ於テ在留民大会ヲ開催シタルカ会衆約老千名ニ達シ

(一)我國權侵害ヲ匡正シ将来ノ保障ヲ徴シ拘禁セル邦人使用支那人ヲ即時釈放セシムルコト

(二)我金銀券ト奉天票トノ交換ヲ自由ナラシムルコト

(三)上海向為替取組金額ヲ制限セサルコト及邦人所有ノ奉天票ヲ公定相場ニ依リ兌換セシムルコト

(四)速ニ銀大洋若クハ小銀貨ニ対スル銀行兌換券条例ヲ制定シ之ヲ官憲ノ干渉圧迫ヨリ独立セシムルコト

ヲ決議シ及右決議事項ハ支那人民亦翹望スル処ナルヲ以テ

我政府ヲ督励シテ速ニ其実現ヲ期ストノ宣言ヲ決議シタル後有志数名ノ演説アリタルモ会衆ハ平靜ヲ持シ演説亦過激ニ亘ラス九時三十分散会セリ

六四五 八月二十八日 在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天票維持ノタメノ取引制限ニツキ中国側ト

交渉シタキ考ヘナル件

第二五七号

(八月二十九日接受)

金票取引問題ニ対スル支那側ノ主張ハ要スルニ其奉票維持策カ奏功ノ結果奉票騰貴シ金票下落スルモ為ニ邦人損害ニ対スル救済ノ途ナシト云ヒ(同電莫省長ノ談話参照アリタシ)支那側カ公定相場ヲ設ケン結果金票取引ニ支障ヲ来シタリトスルモ我震災當時ト同様困難事変ノ際ノ臨機非常措置ハ已ムヲ得ス(往電第二五三号揚ノ談)ト云ヒ奉票維持策カ一種ノ「テロリズム」ニシテ其支配ノ結果非常ニ恐怖相場出現セシメ日支商人カ已ムヲ得サル急場ノ必要ニ迫マラルル場合其損失ニ於テ公定相場若ハ之ヲ標準トシテ金ノ売買ヲ為シ併テ支那側毎週月曜日毎ニ官銀号ノ金票ニ対スル公定相場ヲ高メル結果(八月十六日公定相場三百九十

元、同月二十三日三百五十元)自然奉票ヲ吊上ケラレ其一

面日支ノ取引ハ阻害サレツツアル事実ヲ無視シ其主張ノ不当ナルハ云フ迄モナキカ去リトテ又徒ニ所謂奉票維持策ヲ

抛棄セヨト云フハ奉票ノ価値奈落ニ墜ルモ量リ知ラスト云フニ等シク之ヲ以テ支那側ニ迫ルモ無益ナルハ瞭ラカナリ

之迄支那側ヨリハ屢々奉天取引所ノ取引停止ヲ求メ之ヲ拒絶セルニ次テ取引ノ制限ヲ要望シ来タレルニ付本官直ニ峻

拒セシメテ不取敢聞東庁ニ対シ掛官出張取調ヘヲ求メタルニ既ニ報告ノ通ナルカ取引制限ノ可否ニ付テハ種々論議アル可キモ事実上「テロリズム」ニ依ル取引停止ノ実状ヨリ

モ我ニ有利ナル可シトセハ当面ノ応急策トシテ一応支那側ノ希望ニ応シ取引所一日ノ出来高ニ制限ヲ加ヘテ支那側ノ

金票取引禁止ヲ緩和スルモ一策ナラン其ノ制限額ノ定メ方ハ困難ナルモ日支実取引ヨリ生スル金票ノ需要ハ当地方ニ

於ケル輸出手形並輸出入貨物累年ノ平均等ニ依リテ推算シ得可ク之ニ幾何ノ投機ノ分量ヲ加ヘハ略々取引所機能全然

休止セサル程度ニ於ケル取引高ヲ推定シ得可シ元ヨリ数学的正確ヲ期スヘカサルモ一時ヲ糊塗シテ金票取引ヲ持續

スル短時日ノ応急策トシテ一考スル必要アリト考ヘラルル

ニ付明二十九日関東庁掛官ヲ招キ其意見ヲ聴取シ一応支那側ニ交渉シタキ考ヘナリ(関東庁ヘ転電セリ)

六四六 八月二十八日 在ハルビン天羽総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天当局ノ借款対策ニ関スル件

第二〇三号

本官発在奉天総領事宛電報

第一一二号

往電第一〇三号ニ関シ

馬中国銀行支店長二十七日他用来訪ノ節当地銀行筋ノ借款ハ見込ナキ故断念シタルモ(其後正金銀行ニ相談シタルハ事実ナルモ「インターナショナル」ニハ談セストノコトナリ)東支ハ只今「ダリバンク」ニ約千四百萬元ノ預金アル筈故特産商商業資金トシテ融通方申込マムカト考中ナルカ先方ハ種々ノ条件ヲ持出シ特産物東行南行問題ニ触ル虞アル故躊躇シ居ル次第ナリトテ暗ニ満鉄ニ融通方希望取次ノ口吻ヲ洩ラセリ

右「ダリバンク」預金ハ事実ナルモ同銀行ハ多額ノ現金ヲ有セサルカ故ニ多額ノ資金融通モ困難ナルヘシ

大臣、北京へ転電セリ

六四七 八月二十八日

幣原外務大臣ヨリ
在奉天吉田総領事宛（電報）

趙欣伯來省シ治外法權撤廢及ビ錢莊取締ニ関

シ対談ノ件

第一二六号（暗）

木村ヨリ

八月二十四日趙欣伯來省シ大臣次官及本官ニ対シ今般張作霖ノ法律顧問ニ任セラレ主トシテ東三省治外法權撤廢ノ準備ノ為メ法制ノ調査並立案ニ当ルコトナリタル旨並右任命ニ当リ張作霖ヨリ司法權ノ獨立尊重ニ付保障ヲ得置キタル旨ヲ語リタル後張作霖ノ伝言トシテ今次ノ錢莊取締ハ賭博的取引ヲ行ヒ奉天票ヲ暴落セシムル支那奸商ヲ処罰セシニ止リ何等日本側ニ迷惑ヲ及ホサムトスル趣旨ニ非ス又之カ為メ日支貿易ヲ阻害スルカ如キ惧無キ次第ナルニ付右御諒解ヲ請フトテ曩ニ汪公使カ張ノ電報ニ基キ了解ヲ求メタルト同様ノコトヲ張ノ伝言トシテ申述ヘタリ
右ニ対シ大臣ヨリ日本ハ支那ノ治外法權撤廢ニ付特ニ同情ヲ有シ現ニ法權委員會ノ勸告案作成ニ付テモ右ノ趣旨ニテ

尚趙欣伯ハ若槻總理ニ対シテモ同様ノ趣旨ヲ陳述スル所アリタリ御參考迄

六四八 八月二十八日

幣原外務大臣ヨリ
在奉天吉田総領事宛（電報）

奉天側ノ大倉ヘノ借款申入ニ関スル現状通報

ノ件

第一二七号（暗）

木村ヨリ

北京宛電第八七号ニ関シ本件為念門野ニ確メタルニ川本ヨリ奉天側ノ申込カ単ニ奉天票下落防止ノ為メ云々トアルノミニテ担保等何等具体的ナラサリシ為本店ニテモ金融上余裕アル次第ニモ非サルニ顧ミ不取敢具体的申入アラハ考慮スヘシ位ノ回答ヲ為シ置キタル趣ナルカ単ニ駄ヨク心酬セルニ止マリ今後右交渉進捗ノ模様アル場合ニハ更ニ当方ニ申出ツル筈ナリ
尚新聞報ニ依レハ目下趙欣伯ハ本件借款ニ付運動中ナル趣ノ処同人ハ往電第一二六号会谈ノ際何等右ニ言及セサリシノミナラス未タ大倉男トモ門野トモ会见シ居ラス

当リ居ル処同委員會ノ空氣並日本ノ輿論ヲ見ルニ支那ノ治外法權撤廢ハ先ツ法制ノ完備セル地方ヨリ漸進的ニ実行スヘシトノ意見ニ傾キ居ルカ如ク旁々東三省治外法權撤廢問題ニ付テモ日本其ノ他ノ列國ハ好意的考慮ヲ加フルヘシト思考ス然ルニ奉天側今次ノ錢莊業者銃殺事件ハ事支那ノ法域内ニ於ケル支那人ノ処罰ニ止ル以上外國側トシテ敢テ抗議ノ限ニ非サルモ司法權ノ獨立カ治外法權撤廢ノ前提タルニ顧ミ如斯不法措置ノ結果ハ自然列國側ヲシテ特ニ東三省ニ於ケル治外法權ノ撤廢ニ躊躇セシムヘキハ勿論日本輿論ノ同情ヲモ失フニ至ル惧アリト答ヘタルカ次テ本官ヨリ奉票暴落ノ原因並經過ヲ詳説セル後奉天側ノ対策カ姑息のニシテ何等根本原因ニ触レ居ラス殊ニ今次ノ暴力措置ノ如キハ本末顛倒ノ甚シキモノナルヲ指摘シタル処趙欣伯ハ同感ノ意ヲ表シタル上奉天側トシテハ本件ニ関スル日本側ノ調査等ヲ參考トシテ対策ヲ講究スルコト可然ト思考スル旨ヲ述ヘタルニ依リ本官ヨリ奉票下落ノ根本原因等ニ付テハ奉天側ハ夙ニ吉田総領事並松井顧問ニ就キ詳細熟知セル筈ナリト注意シ且法權ニ関スル大臣トノ談ハ新聞等ニ洩ラササル様申聞ケ置キタリ

六四九 八月三十一日

児玉閣東長官ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

金票ノ手持禁止、取引中止問題等ニ関シ奉天

総領事ニ意見回電シタル件

号外

奉天総領事ヨリ貴官宛第二五七号転電アリタルニ付右ニ対シ本日奉天総領事宛左ノ通電報セリ

金票取引問題ニ関スル支那側ノ主張ハ何レモ一応理屈アリト考ヘラルルモ当面ノ問題タル金票ノ手持禁止ニ関シ支那側ノ態度ハ従来慣習のニ完全ニ其流通ノ自由ヲ認メタルニ俄ニ之ニ制限ヲ加フルコトノ不当ナルコトハ勿論ノ義ニ有之此点ニ関シテハ貴官ヨリ強硬ナル抗議ヲ申込マル様致シタシ但シ本問題ト錢鈔取引ノ制限トハ全然別箇ノ問題ニシテ之ヲ相關連シテ解決セムトスルハ妥当ノ事ナラスト考フ

過日御内談申上ケタル通り取引所ノ件ニ関シテハ当事者ヲ呼ヒ出シ篤ト協議ノ結果人爲的ニ取引ヲ中止スルコトハ害コソアレ益ナキトノ結論ヲ得タルニ依リ此際ハ取引ヲ中止スル事ヲセス實際ノ運用上ニ付テ弊害ヲ除去スルコトノ方針ヲ取ル事トシタリ而シテ貴官ト協議ノ上派遣シタル坂谷

事務官吉松属ノ報告ニ依ルニ取引所ハ大体ニ於テ前記ノ方針ニ準拠シ何等支那側ノ主張スルカ如キ弊害ナキコトヲ確メタリ当方ノ意向ハ大体上記ノ通ナルカ尚特ニ坂谷、吉松ノ出張ヲ要スル理由アラハ申越アリタシ

六五〇 八月三十一日 幣原外務大臣ヨリ
在奉天吉田総領事宛 (電報)

金票取引制限問題ニ関シ更ニ講究ノ上方策至

急回電アリタキ件

付記 八月三十日亜細亞局

奉天票問題応急策ニ関スル正金銀行東洋課渡辺
次長意見要領

第一二九号 (暗)

貴電第二五七号ニ関シ

奉天取引所ノ錢鈔取引制限ニ関スル奉天当局ノ要望ヲ容ルルトスルモ果シテ御申越ノ如ク支那側ヲシテ金票取引禁止ヲ緩和セシムル上ニ幾何ノ実効アリヤ否ヤ疑問ノ余地渺カラサルニ付右ニ関シ更ニ御講究ノ上御見込等至急回電アリタシ

本電参考ノ為関東長官ヘ転電アリタシ

(付記)

(四) 公定相場

若シ現在ノ公定相場ヲ支那商人ニ対シ勵行シ金票債務支払ヲモ該相場ニ依ラシムルコトトセハ右ハ經濟ノ原則ヲ無視シタル暴挙タルノミナラス日本人ノ正當ノ利益ヲ損傷セシムル行為タリ

(ハ) 付屬地内取引所ニ於ケル取引高ノ制限

支那側ニ於テ本件取引高制限ヲ懇願シ来リタル際ニハ条件次第ニテハ相当考慮ノ価値アルヘシ即取引高制限ニハ(イ)各取引人ノ全体ノ取引高ノ制限(ロ)各取引人ノ残玉ノ高ノ制限(ハ)各一口ノ取引高ノ制限等アリ又制限ノ標準ニハ取引人ノ保証金ニ依リ又ハ信用程度ニ依ル等種々アルヘキモ何レニスルモ取引高ノ制限(主トシテ残玉ノ高ニ対スル制限)ハ他ニ例モアルコトニシテ必スシモ不可ナラス殊ニ奉天取引所ニ於テハ實際上投機ヲ目的トスル取引其大部ヲ占ムルニ付多少ノ制限ハ実害ナカルヘク而シテ若シ右ニ依リ支那当局ニ好意ヲ示シ交換的ニ城内ニ於ケル金票ノ取引ヲ容認セシメ得ル等ノ結果ヲ齎シ得ルモノトセハ經濟並金融上ハ大ニ有利ナルヘシ

奉天票問題応急策ニ関スル正金銀行東洋課渡辺次長意見要領

大正十五年八月三十日正金銀行東洋課渡辺次長ハ奉天票問題ニ関シ亜細亞局係官ニ対シ左ノ如ク陳述セリ

一、奉票下落ノ一般の影響等ニ関シテハ本年六月正金意見書中ニ述ヘタル通りナルカ今般ノ奉天官憲ノ措置ニ関シテハ之ヲ一般の問題ト切離シ單ニ奉天市ノミニ関スルモノトシテ且何等根本的奉票救済策ト關係ナク之ヲ研究シ得ヘシ

二、右支那側措置並之ニ対スル応急策ニ関スル意見左ノ如シ

(イ) 金票手持禁止

右ハ結局日本ヨリノ輸入取引ヲ禁止スル結果トナルニ付奉天当局ニ於テ事實何等カノ形式ニテ支那商人ノ金票(並現大洋)手持ヲ禁止シタルモノトセハ、之ヲ指摘シ支那側ニ敵談ヲ試ミラルルコト甚望シキモ單ニ威嚇等ニ依リ實際上支那商人ノ金票手持ヲ不可能ナラシメ居ルモノトセハ右ニ対シテハ懇談的ニ奉天側ノ了解ヲ求ムル外ナカルヘシ

(ニ) 錢莊庄迫

本件カ条約上不当ノ措置ナリトスレハ正式ニ抗議セラ
ルル事望マシキ様思考ス

之要今般ノ奉天官憲ノ措置ハ其及ホス範圍多ク奉天市外ニ出テス現ニ開原公主嶺等ニ於ケル相場ハ奉天ノ相場トハ異ルノミナラス取引モ大体支障無ク行ハレ居ルニ鑑ミ局部的問題トシテ之ヲ考究スルコト可然云々

(大正十五年八月三十日)

六五一 九月一日 在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛

邦商中国人使用人引渡並ニ錢鈔業者取締ニ関

スル莫省長談話要領報告ノ件

付屬書 八月二十六日峰谷領事ト莫省長トノ會談要領
機密公第六八二号 (九月七日接受)

大正十五年九月一日

在奉天

總領事 吉田 茂 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

邦商支那店員引渡並錢鈔業者取締ニ関スル莫省長

談話要領報告ノ件

当地支那官憲ノ錢鈔取引人庄迫並邦商使用支那人釈放ノ件ニ関シ去八月二十六日蜂谷領事ヲシテ莫省長ヲ往訪セシメ其談話要領ハ去二十七日發往電第二五二号ノ通ナル処当日同省長談話要領別添通り右何等御参考迄ニ報告申進ス

本信写送付先 在支公使、長春、鉄嶺、遼陽、牛莊、安東各領事

(付屬書)

八日二十六日蜂谷領事ト莫省長トノ會談要領

八月二十六日奉天票其他ノ問題ニ付蜂谷領事ト同日午後三時莫省長往訪ノ際ニ於ケル同省長談話ノ要領

河野副領事

一、蜂谷ヨリ目下支那警察庁ニ拘禁シアル邦商木内、富安両銀号使用支那店員三名ノ釈放ニ関シテハ從來公文或ハ口頭ヲ以テ其釈放ヲ要求シタルニ拘ラス今ニ何等的確ナル回答ニ接セス実ハ先日河野ヨリモ莫省長ニ右店員至急釈放方御願ニ及置タル次第ナルモ之又貴答ニ接セス貴省長ニ於テハ右釈放方ニ付如何ナル御意見ヲ有セラルルカ即チ(一)前記三人ヲ釈放スルカ(二)銃殺ニ処スルカ(三)一旦釈

思ハルル場外取引禁止ノ如キハ日本側ニ於テ進テ之ヲ實施シツアリ然ルニ奉票暴落ノ原因ハ貴方ニアリ又空取引ヲ為スモノハ主ニ支那人ナリ取引所ハ頗ル必要ナル機關ニシテ凡ソ商業殷盛ナル都市ニ於テ取引所ノ設置アラサルハナシ殊ニ右三店員ハ貴國警察官ヨリ不法ニ逮捕セラレタルモノナリ換言スレハ我行政權ノ侵害ナリ支那側ニ於テハ我取引所並付屬地内外ノ日支錢鈔ニ對シ不法ノ庄迫ヲ加フル等目的ノ為ニ手段ヲ選ハストノコトナラハ自ラ別ナルモ然ラサル限り現在市場ノ取引ヲ萎微セシメタル事實殊ニ五名ヲ銃殺シテ錢鈔ヲ庄迫シ日本側使用支那人ヲ今ニ釈放セサルカ為生スヘキ責任貴方ニアル可ク其結果ニ付テモ充分考慮セラレンコトヲ希望ス開原事件ニ付テハ已ニ申述ヘタル如ク未タ詳報ニ接セス今回開東庁ニ於テハ本件關係警察官ヲ開東庁ニ召集シ事實ヲ精査スルコトトナレリ何レ不遠内容判明ス可ク其時當館ヨリ貴方ニ明答スヘシ

釈放ニ付テハ今ヤ滿州及内地ニ於テハ連日大会ヲ開キ支那政府ノ乱暴ヲ指摘シ輿論頗ル激昂セリ

右ニ對シ莫省長ハ最初奉天票ノ暴落シツツアリシ際支那

放シタル後更ニ捕縛カ若シ釈放ストセハ何時頃ノ事ナルカ、ト尋ネタル処莫省長答ヘテ曰ク右店員三名ノ釈放方ニ付テハ未タ關係ノ向ト何等定マリタル協議ナシ自分トシテハ成ル可ク速ニ釈放シタキ考ナルモ御承知ノ如ク奉天票問題ト連帶關係アルノミナラス先般開原孫家台事件突発スルヤ商民一般非常ニ憤慨シ居レリ即チ張作霖ヨリ差使ハシタル王宮長ハ非常ナル侮辱ヲ受ケ中國官憲ノ面目ヲ失墜セシノミナラス支那側ヨリ正當ニ要求シツツアル支那商人ハ其引渡ヲ受クルコト能ハス為ニ最近奉天省トシテハ上下共ニ極度ノ神經過敏トナリ居レリ右直接交渉ノ任ニ當レル交渉署長ハ人民ヨリ其ノ才能ヲ論議セラレ又上官ヨリハ如斯明白ナル事件ニ関シ日本側ノ同意ヲ得ル能ハサルハ努力ニ於テ欠クル処アリト苛責セラレツツアリ故ニ店員ノ釈放ヲ決スル前ニ奉天票及開原事件ニ関スル日支兩國人ノ感情融和ヲ計ラサル可カラス之ヲ要スルニ釈放ト王宮長事件トハ彼此關係ヲ有ストテ釈放、奉票、王宮長ヲ連結力説アリ

右ニ對シ蜂谷ハ(イ)奉票ノ暴落ニ付テハ總領事ヨリ交渉署長並ニ支那側ニ對シ同情アル回答ヲ為シ現ニ空取引トモ

側ヨリハ貴館總領事ニ對シ奉天票ノ價格維持並空売買ノ取締方ニ付極力懇請セシモ貴方ニ於テハ取引所ノ必要、奉天票ノ信用ナキコト等ヲ上ケテ結局取締リ承認サレス其當時奉票暴落ノ極ニ達シ省民ノ苦痛名狀スヘカラサルモノアリキ然ルニ金票ハ奉票ノ反對ニ頗ル有利ノ地位ニアリキ然ルニ今ヤ如何今日ノ狀態ハ其時ト正反對ノ狀況ナリ

貴方ニ於テ奉票暴落救済方法ナカリシト同シク今日支那商ヲシテ金票ヲ使用シ其相場ヲ高メシムルノ方法ナキヲ遺憾トス

一、蜂谷ハ先般支那官憲ノ密令ニカカル金融取締條例中ニ(イ)金票手持ヲ禁スルコト(ロ)一日交換高五萬元ヲ超ユルヲ得ス(ハ)金票使用及取引ヲ禁ストノ事ナルカ右ニ對スル省長ノ意見如何ト語リタル処省長曰ク

(イ)該密令ニ相當スル訓令ノ發布セラレタルヲ知ラス省長公署其他ノ官憲ニ於テ此種發布アリシヲ耳ニセス右密令トハ多分商務會側ニ於ケル會員大多數ノ輿論ナルヘシ

(ロ)現在官銀号ニ於テハ資本少ナキ為メ多額、金票ヲ準備

スルヲ得ス已ムヲ得ス目下一日ニ金票五萬元ヲ人民ニ
売り出シツツアリ之ニヨリ見ルモ金票ヲ使用セストハ
全ク謠言ニ過キサルヘシ

(ハ)今や商民一般ニ奉票ノ相場回復、金融安定ニ対シ非常
ニ喜ヒ居レリ自分省長トシテモ此ノ現象ニ対シテハ満
足ニ堪ヘス将来益々此ノ状況持続セシムル責任アルヲ
感ス乃チ最近ハ支那商ハ奉票ヲ信用シツツアルハ金票
ニ対シテモ却テ之レヲ使用スルヲ好マサル奇観ヲ呈ス
ルニ至レリ其ノ理由何処ニアリヤ茲ニ卑見ヲ述フル事
左ノ如シ

(ニ)奉天省公債募集以来今日迄既ニ省政府ハ八千萬元ノ奉票
ヲ回收スルヲ得タリ即チ公債ニ依リ約三千万元塩、鉄道
其他税金ニヨリ約三千万元雜收約二千万元ヲ得タルニア
ル其回收シタル奉票ハ省政府ニ於テ任意之ヲ処分シツツ
アルヲ以テ此際取引所ニ対シ或ハ取引人ニ対シ防害庄迫
等ヲ加フルノ要全クナシ即省民ハ奉票ノ価値ニ付之ヲ認
ムルニ至レリ之レ奉票ニ対スル省民ノ信用ヲ加ヘタルモ
ノト云フヘシ然ルニ外間ニ於テ此ノ実状ヲ察セス奉票ノ
平復ハ一ニ官憲ノ暴力ニアリトハ無暴極マリナシ

六五二 九月二日 幣原外務大臣ヨリ
在奉天吉田総領事宛 (電報)

奉天票相場回復ノ原因及ビ取引状態等回電方
訓令ノ件

第一三二号

貴電第二六一号ニ関シ

奉天票ハ目先強氣ナル趣ノ処右ハ貴電第三五七号奉天当局
ノ「テロリズム」以外何等特殊ノ事情ニ基ツクモノニアラ
サルヤ奉天票目下ノ取引状態並滿州經濟界ノ現況トノ關係
等ト共ニ至急回電アリタシ

關東長官ヘ転電アリタシ

六五三 九月二日 児玉關東長官ヨリ
幣原外務大臣宛

奉天票整理ニ関シ意見具申ノ件

付記 十月十一日通商局第二課作成所見

關東長官ノ對奉天票整理意見ニ就テ

大正十五年九月二日

關東長官伯爵 児玉 秀雄

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

奉天票整理ニ関スル意見

(一)以上ハ奉天票ニ対スル實際ノ信用状況ヲ述ヘタルモノナ
リ奉票ノ平復ハ単ニ支那人ノミナラス平常取引密接ノ関
係ヲ有スル日本人ニアリテモ同慶ノ至ナルヘシ仮令取引
所ノ取引額カ平常ヨリ少ナシト雖モ奉票平復ノ幸運ニ比
較スレハ多少ノ損害ハ之レヲ忍ハサルヘカラス世間或ハ
此ノ奉票好況ハ一時的ナリト云フモノアルモ果シテ正鵠
ヲ得タル判断ナリヤ否ヤ之レヲ後日ニ徵セサルヘカラス
一、蜂谷ハ三店員ヲ釈放シ金票取引阻止ヲ除去スルニ非ス
ンハ日本側輿論増大ノ結果支那側官憲殊ニ張作霖ハ其為
メ不利ヲ蒙ルコトナリ奉省ニ取リテハ重大ナル結果ヲ
来タササルトモ限ラサルニ付此際速ニ釈放スル方利益ナ
ルヘシト忠告ヲ加ヘタルニ対シ省長曰ク輿論ノ沸騰ハ今
ヤ日本側ニ限ラレタルニ非ス支那側ニ於テモ同様ナリ毎
日新聞記者商業団体法律団体其他各種ノ団体員ハ省長公
署ニ推掛ケツツアリ此ノ激昂セル民心ヲ解クハ只日本側
ニ於テ開原事件ノ急速解決並同地錢鈔取引支那人ノ引渡
ヲ実行スルニアリ貴官ヨリ單ニ支那側ヲ責ムルハ当ヲ得
タルモノニ非スト信ス

(欄外記入)

奉天財政ノ状況ニ関シテハ常ニ深甚ノ注意ヲ払居候得共近
時当局ノ発表スル精確ナル情報無之微ニ表面ノ事実ヲ見聞
シテ之ヲ概観スルニ過キサルコトヲ常ニ遺憾ト致居候今次
奉票問題ニ関シテモ同様ノ状況ニ有之唯聊カ事実ニ直面シ
テ多少ノ感得有之候ニ付何等為御参考卑見及具申候也

奉天票整理ニ関スル意見

今次奉天票ノ暴落ハ主トシテ政治上經濟上ノ不安ニ胚胎シ
タルモノニシテ財政ノ紊亂奉票ノ濫發素ヨリ其ノ遠因タル
ヲ失ハスト雖モ必スシモ直接ノ原因ヲ為スモノニアラスト
思料セラル其ノ政治上ノ不安トシテハ

一、張郭戦後張カ其ノ声明セル保護安民主義ヲ固守セス関
内進出ヲ敢テシ奉國戦争亦容易ニ結末セス張吳連盟破綻
説等モ加ハリ張ノ軍國主義ノ前途ニ付予テ多大ノ不安ア
リタルコト

二、多倫南口方面ニ於ケル奉天軍大敗ノ流言突如宣布セラ
レ張ノ前途ニ多大ノ不安起リタルコト

他面經濟上ノ不安トシテハ

一、奉軍ノ関内進出ニ伴ヒ奉天官場ニ於ケル軍閥ニ対スル
文治派ノ多年ノ拮抗ヲ曝露シ遂ニ王永江ノ帰廬ト為リ殊

ニ王ノ声明書ハ世人ヲシテ王ノ隱退ニ依リ奉天財政ハ遂ニ收拾スル能ハサルヘシトノ觀察ヲ為サシムルニ至リタルコト

二、張ノ軍事行動ノ継続ハ將來限ナク軍事上ノ出費ヲ要シ遂ニ奉天財政ノ破綻ヲ来スヘシトノ危惧アリタルコト
三、兵工廠ノ雄大ナル経営其ノ他多額ノ軍需品資金トシテ官銀号ニ対スル借上金ノ増加ハ益奉票ノ増発ヲ促シ奉票発行銀号タル官銀号ノ基礎ヲ破壊スヘシトノ危惧アリタルコト

四、張氏私經濟ノ傀儡タル官銀号ハ張ノ失墜ニ依リ破綻スヘシトノ危惧アリタルコト

五、新奉天票ノ發行説

六、奉天票鈔上策ニ関スル支那官憲側ノ各種策動ノ失敗等ヲ挙ゲ得ヘク之等兩因ハ偶多倫南口ニ於ケル奉天大敗ノ流言ヲ機トシ内外人ニ非常ナル衝動ヲ与ヘ突如トシテ奉票ノ大崩落ヲ招致シタルモノニシテ世上ノ通説ノ如ク奉天財政ノ紊乱又ハ奉票濫発ノ樞機ノ結果ナリト遽ニ速断シ得ヘカラサルモノアリ

世間多クハ奉天財政ヲ以テ積年ノ兵戰ニ省帑潰ニ苛歛誅求

称セラル而シテ其ノ大部分ハ前記塩稅及鐵道益金ニ依リ支弁セラルルヲ以テ奉天固有ノ財政ニハ大ナル影響ナキモノノ如シ尤モ最近設立シタル兵器廠ノ経営ハ規模頗ル宏大ニシテ其ノ設立及経営ハ莫大ナル費用ヲ要シ（經營費年額千七百万元ト称セラル）官銀号ノ借上金モ主トシテ其ノ費用ニ充テラルタルモノニシテ奉票濫発ノ一因ヲ為シタルモノト認ムヘク嘗テ文治派ノ財政整理案ノ一眼目ト為リタルモノニシテ將來其ノ整理ノ如何ハ奉天財政整理上重大ナル關係アリ特ニ注意ヲ要スヘキ事項トス

奉天票濫發問題ニ関シテハ相当根拠アル推測ニ依ルニ其ノ現時ノ發行高ハ二億二、三千万元内外ナルモノノ如ク世上或ハ四億ト称シ或ハ五億ト称スル者アルモ確實ナル計算ノ基礎アルニ非スシテ恐ク奉票ノ暴落ヨリ打算シタル臆測ナルヘシ果シテ然ラハ昨年八月頃ニ於ケル奉票ノ發行額ハ既ニ二億元内外ノモノナリシヲ以テ最近ニ於テ奉票力特ニ濫發セラレタリト云フ事實ハ之ヲ認メ難シ尤モ二、三年前ニ於ケル奉票ノ流通額大体八、九千万元見当ナリシニ比シ現時ノ奉票流通額ハ相当急激ノ増加ヲ為シタルモノト云フヘク其ノ濫發ノ事實ハ之ヲ首肯シ得ヘシト雖モ其ノ發行額ニ

紊乱度ナキカ如ク觀察スルモ誠ニ同省十四年度ニ於ケル予算ナルモノヲ内査スルニ歲入三千四百萬元、歲出二千七百三十萬元ニシテ歲入剩餘六百七十萬元ヲ有セリ実狀果シテ斯ノ如キヤ之カ実査甚タ困難ナリト雖モ現時塩稅益金九百萬元内外京榆鐵道益金亦四百萬元内外アリ何レモ省財政ノ歲入ニ計上シツアルヲ以テ必スシモ虚構ノ見積ト称シ難シ（或ハ昨年度ニ於テ始テ六百万元ノ歲入不足ヲ生セシトモ言フ）殊ニ奉天財政ニ付注意ヲ要スヘキハ官銀号ニ於ケル借上金ノ外（一億円見当ト称セラル）今次公募シタル公債以外ニ公債上ノ負担ヲ有セサルコト之ナリ又一般人民ノ負担ニ付テ考フルモ戰時稅ノ意味ニ於テ特ニ重稅ノ課セラレタルモノナク其ノ担稅力ニ於テ尚余裕アリト謂フヘク其ノ財政ノ現況ハ世上揣摩スルカ如キ甚シキ紊乱ノ狀況ニ在リト思料スルコト能ハス

又戰費ノ問題ニ関シテモ世上之ヲ以テ財政上ノ癌ナリト指称スルカ如キモ元來支那ノ戰費ナルモノハ今尚糧ハ敵ニ依ルノ主義ニシテ戰爭費ト雖經常的軍事費ト大差アルコトナク兵器彈藥ノ供給ノ外直接ノ戰費トシテ奉天財政ノ負担ト為ルヘキモノハ現時一箇月僅ニ百五十萬元内外ニ過キスト

於テ現時ト大差ナキ昨年八月頃ニ於テ奉票相場力能ク百三十一元見當ヲ保持シタル事實ニ徴スルトキハ今次ノ暴落カ單ニ過剩ナル奉票ノ流通ノ為ニ非スシテ他ニ特殊ノ原因アリシコトヲ察知スルニ足ルヘシ申迄モナク奉票ハ銀系ノ通貨ニシテ大体ニ於テ銀相場ノ影響ヲ免レサルモノナルカ昨年八月ト現時トヲ比較スルニ銀相場ハ約四割ノ下落ト為リタルヲ以テ奉票モ亦当然之カ影響ヲ受クルモノトシ大体ニ於テ二百元内外ヲ以テ現時ノ奉票ノ價值相場ト為スニ近カルヘク今次暴落ノ最低相場タル四百九十二元ト云フカ如キハ全ク政治及經濟上ノ不安ニ基ク恐慌的相場ニ外ナラスシテ奉票ノ当然ニ有スヘキ價值ニ非スト謂フヲ妨ケス翻テ奉票改善問題ニ付考究スルニ其ノ關鍵ハ實ニ官銀号ノ改善ニアリ官銀号力張ノ私經濟ノ運用機関トシテ混用セラルルコト現狀ノ如クナルニ於テハ官銀号ノ發行スル何等兌換的基礎ヲ有セサル奉票ノ價值ハ張ノ勢力ノ一伸一退ニ依リテ影響セラルルコトヲ免レ難ク彼ノ張郭戰爭ノ際ニ於ケル如ク官銀号ノ正金及鮮銀ニ於ケル預金力一朝ニシテ張ノ名義ニ變更セラルルカ如キコトアルニ於テハ到底官銀号ノ信用ヲ維持シ得ル所以ニ非ス又現時ノ如ク官銀号ノ經濟ト省財政

トカ混合セラルルニ於テハ結局官銀号ノ基礎ヲ危殆ニ陥ラシムルモノナルヲ以テ二者ハ与ニ両者ノ關係ヲ截然ト區別スルコトヲ以テ現時ニ於ケル緊急且根本的ノ解決点ト為スヘシ

茲ニ注意スヘキハ奉天財政ハ其ノ運用上我大藏省証券及國庫債券等ニ類スル制度ヲ有セス支出上ノ必要アルニ於テハ漫然官銀号ノ借上金ヲ以テ之ニ充当スルモノニシテ必スシモ其ノ実實力ニ順応セス茲ヲ以テ借上金多ケレハ又奉票ノ増発ヲ免レス況ンヤ其ノ借上金ハ主トシテ兵工廠ノ拡張其ノ他軍需品ノ購入等不生産の事業ニ投セラルルモノナルヲ以テ増発セル奉票ノ回収ハ容易ノコトニアラス

茲ヲ以テ一定ノ制規ノ下ニ短期公債ノ發行方法ニ依リ一面省財政ノ運用ヲ円滑ニシ一面官銀号ノ經濟ヲシテ省財政ニ累セラルルコトナカラシムルノ必要アリ

今次ノ奉票暴落及奉天財政ノ窮迫ヲ以テ近時世界ノ視聽ヲ衝動シツツアル仏貨ノ暴落及仏國財政ノ窮迫ニ比スルニ其ノ程度ニ於テ素ヨリ霄壤ノ差アルノミナラス又其ノ趣甚タ異ルモノアリ即チ仏國ニ在リテハ國際貸借上ノ膨大ナル戰債償却カ其ノ解決上ノ難關タリト雖モ奉天ノ問題ニ在リテ

ハ最モ望マシキ所ニシテ之カ当面ノ対策ハ少クトモ

一、此ノ機ニ於テ軍備ノ整理ヲ断行スルコト

二、内政改善主義ヲ確立シテ速ニ其ノ実施ニ着手スルコト

三、官銀号ノ整理ハ兌換制度ノ確立ニアリト雖モ差当リ奉天財政ヲシテ短期公債ノ制度ヲ確立セシメ官銀号ノ借上金ヲ肩代リセシムルコト

官銀号ニ於ケル張ノ私經濟運用ヲ截然銀号經營中ヨリ區別スルコト

ニアリト信ス而シテ之カ整理ハ支那人ヲシテ之ニ当ラシムルヲ利トスヘク支那人ニシテ始メテ能ク之ヲ為シ得ヘク邦人ヲシテ之ニ当ラシムルモ到底満足ナル効果ヲ挙げ難カルヘシ蓋シ支那財政ノ運用ハ全ク複雑錯綜シテ權變制軌ナク到底邦人ノ遽ニ窺知スルコト能ハサルモノアレハナリ元來支那人ハ財政經濟問題ニ関シテハ極メテ鋭敏ナル資性ヲ有シ仮令學理ニ通曉スルコトナシトスルモ其ノ環境ニ善処スル財政の手腕ニ至リテハ到底邦人ノ追從ヲ許ササルモノアリ既ニ支那人ニ其ノ人アリトセハ帝國ノ指導ノ下ニ斯ル人物ヲ推薦スルコトモ亦考慮セラレサルニアラサルヘシ尚又金融整理ノ為我ヨリ直接資金ノ供給ヲ援助スヘシトノ

ハ其ノ救済ハ僅ニ内面ノ整理ヲ以テ達成スルコトヲ得ヘク一旦之カ整理ニ当ランカ其ノ解決ハ容易ニシテ左程ニ悲觀スヘキ程度ノモノニ非スト思考セラル之ヲ隣省吉林ニ於ケル官帖カ民國初年當時ノ常備ニ比シ現時百七、八十倍ノ對外価値ヲ失墜シ居ルニ拘ラス能ク其ノ貨幣タル信用ト財政上ノ破綻ヲ生セシメサル事實ニ徴スルモ必スシモ卑見ノ失当ニ非サルコトヲ察知セラルルニ足ルヘシ

之ヲ要スルニ最近ノ奉票暴落ノ原因ハ主トシテ政治及經濟上ノ不安ニ基因スルモノニシテ単ニ財政ノ窮迫奉票濫発ノ直接ノ結果ニ依ルモノニ非ス而シテ政治上ノ一半ノ原因タリシ奉國戰爭ハ今ヤ張ノ決定の勝利ニ歸シタリ今若シ張ニシテ当初聲明セルカ如ク兵ヲ戢メテ保境安民主義ニ復歸シ内政及財政ノ改善ニ努メンカ其聲明ト共ニ奉天官憲ニ對スル一般ノ不安ハ茲ニ一掃セラレ内政改善主義ノ聲明ハ又自ラ經濟上ノ不安ヲ霧散セシムヘク恰モ特産物ノ出廻期ニ際シテ奉票需要ノ激増ハ恐ク先強ノ氣配ヲ以テ逐次票價ノ安定ヲ見ルニ至ルヘシ乍併支那政局ノ推移如何ニ依リテハ亦復最近ノ覆轍ナシトセス事素ヨリ内政ニ屬スト雖モ我對支貿易上一日モ速ニ彼ヲシテ其ノ整理ニ着手セシムヘキコト

意見ハ少クトモ現状ヲ以テシテハ却テ弊害ヲ醸成シ易キ虞アリ素ヨリ整理ノ当局其ノ人ヲ得テ整理ノ方針確立シ資金援助ノ必要アル場合ニ於テハ鐵道鈺山等少クトモ帝國後日ノ利權トナルヘキモノヲ担保トシテ融通スルヲ利トスヘク漫ニ金融機關其ノモノヲ信用シテ巨額ノ資金ヲ融通スルカ如キハ相當考慮ノ余地アリト思考ス

(欄外記入) 楊、莫ノ說ノ転電ニ非スヤ此ノ所論ノ根拠ヲ問ヒ
タシ

編註 本意見書ハ「九月十日關東庁文書課長神田氏持參」シ
タモノデアル

(付記)

十月十一日通商局第二課作成所見

關東長官ノ對奉天票整理意見ニ就テ(未定稿)

児玉關東長官ノ奉天票整理意見ハ要スルニ奉天票下落ノ主因ヲ最近ニ於ケル戰報(奉天軍ニ不利ナル)其他奉天省ノ財政、施設等ニ對スル市場ノ不安人氣ニ歸シ次ニ東三省財政ニ関シ事實歳入剩余ヲ示シ居ルコト、戰費ハ意外ニ僅少ナルコト、省民ノ公債消化力並担稅力ニ余裕アルコト等ヲ挙げテ奉天省財政ヲ樂觀シ奉天票暴落ニ関シ官銀号ノ紊亂ハ之ヲ認ムルモ最近一ケ年間に於テ濫発ノ事實ナシト断シ

更ニ法貨下落ニ比較シテ回復ノ容易ナルコトヲ指摘シ吉林官帖ノ例ヲ挙ケテ奉天票下落カ財政上破綻ヲ来ササルコトニ論及シ終リニ以上ノ諸点ヲ綜合シテ本件ニ対スル方策トシテ軍備ノ整理、行政ノ改善、短期公債ノ発行、官銀号ニ於ケル張作霖ノ私經濟運用ノ制限等ヲ挙ケ財政ハ某有力支那財政家ノ變理ヲ勸説シ尚奉天当局ノ金融整理(?)方針確立シ資金ヲ必要トスル場合ニ於テハ帝國ハ利權ヲ確保シテ借款ニ応スルモ可ナル旨付言セリ

更ニ之ヲ要約スレハ奉天省財政ハ基礎強固ニシテ奉天票ノ如キモ濫発ノ事實ナシ今日奉天票ノ暴落ヲ見タルハ主トシテ根底ナキ市場ノ不安人氣ニ因ル但シ張作霖ニ於テ官銀号ニ関シ私の運用ノ事實アリ之ヲ匡正スルト共ニ支那人ノ手ニ依リ軍備行財政ノ改善ヲ行ヒ短期公債ノ発行ヲ行ハハ奉天票ノ回復ハ易々タリ場合ニ依リテハ借款ニ応スルモ可ナリト云フコトニ帰着ス

対策ノ当否ニ関スル点ハ暫ク擱キ右対策ノ基礎トナルヘキ奉天省財政並奉票ノ現状ニ関スル長官ノ所見ハ果シテ妥当ナルヤ当課ノ接受セル諸般ノ報告其ノ他ノ材料ニ徴シ疑ノ余地渺カラス左ニ主ナルモノヲ述フヘシ

何人ト雖モ其ノ危大ナルニ一驚ヲ吃スル処ナルカ之ニ斧鉞ヲ加ヘ得ル見込アルヤ換言スレハ直ニ張作霖カ保境安民主義ニ立歸リ且之ヲ嚴守シ得ルヤ之ヲ過去ノ事例ニ徴スルモ又張作霖ニ対スル強制力ノ實際存在セサル現状ヨリスルモ疑問ノ余地渺カラス

翻テ十四年度ニ於ケル奉天省財政ノ實際ヲ考フルニ前記予算編成後奉天派ハ山東江蘇ニ侵出ヲ企テ半歳ナラスシテ江浙戦ニ敗レ奉國戦ニ転シ更ニ郭松齡ノ反逆事件ニ際シテハ死力ヲ尽シ辛シテ危難ヲ免レタルカ此間ニ於ケル直接間接ノ戦費ハ幾何ニ達シタルヤ僅ニ六百七十萬元ノ歳入不足ニテ終結シ得タルヤ一説ニ依レハ奉天省ハ李景林、張宗昌、姜登選、楊宇霆ノ戦敗引上並郭松齡討伐ニ要シタル費用ハ二億元内外ニ達シタリト伝ヘラレ居レリ又本年三月二日付王永江カ張作霖ニ提出シタル意見書ニ依レハ軍事行動ニ因リ財政窮迫セル事實ヲ挙ケ塩稅收入ノ如キハ軍費ノ二十分ノ一ニモ当ラスト述ヘ居レリ仮ニ塩稅收入ヲ九百萬元トセハ軍費ハ実ニ一億八千萬元(塩稅收入ハ七百万元トノ説アリ之ニ依ルモ尅億四千万元)ニ達スヘシ

更ニ最近ニ於ケル軍事上ノ支出ニ関シ軍費一千八百万元、

一、奉天省財政ニ関スル点

奉天省財政ノ真相ハ之ヲ窺知スルコト頗ル困難ナルニ因リ右ニ関スル各種ノ論議觀測等ハ輕々ニ之カ可否ヲ判断スル能ハス長官ノ挙ケタル奉天省政府ノ歳出入予算ノ如キモ昨年八月邦人側ニ伝ハリタル民国十四年度一般會計ニ関スル予算ニ係リ全然右ニ依リテ奉天省財政ヲ論議スル能ハサルモノアリ併シ乍ラ今仮ニ之ニ拠リ奉天省財政ヲ見ルニ軍費ハ租稅收入ト同額ニシテ(十二年度ニ於テモ然リ)本来中央政府ヘ送付スヘキ塩稅收入及京奉鐵道收入ヲ抑留スルニ非レハ行政費等軍費以外ノ一切ノ經費ヲ支出スル方法ナキ状態ナリ即チ奉天省財政ハ平時ニ於テモ塩稅收入並鐵道收入ノ抑留ニ依リ漸ク之ヲ支持スルモノナルコトヲ看取セラハルト共ニ若シ支那國政府及關係各國ニ於テ此等變則的収入ヲ認メストセハ行政費ハ先ツ軍費ノ三割方削減ヲ断行スルニアラサレハ支出ノ途ナキコトヲ察知スルコトヲ得ヘシ勿論現今ニ於ケル中央政府ノ實力及關係各國ノ態度ヨリ見レハ奉天省ノ之等借款担保ニ關係アル諸收入ノ抑留ハ当分何等不安ナク遂行シ得ヘシト雖之ヲ以テ奉天省財政ヲ樂觀シ得ヘキヤ又歳入總額ノ六十二%強ニ相当スル軍費支出ハ

兵工廠經費二千三百万元、張作霖機密費一千万元合計五千万元ト計算セルモノアリ

奉天省財政ニ関シ何レノ説カ正当ナルヤ之ヲ判定スヘキ基準ナキニ依リ到底之ヲ論スルモ際限ナキ次第ナルカ単ニ前記十四年度一般會計予算ヲ主トスル觀測ニテハ満足ナル諒解ニ達スルコト能ハス

二、奉天省ノ公債負担力並租稅力ニ関スル点

長官ノ説ニ依レハ奉天省ハ最近發行セル五千万元金融整理公債以外公債ノ發行ナシトノコトナルモ民国六年十月滙兌券ト前後シテ發行セラレ其ノ後奉天票兌換問題ニ関スル論議カ偶々好景氣ニ因リ一時閑却セラレタル民国九年ニ於テ有耶無耶ノ間ニ滙兌券ヲ以テ回收セラレタル奉天興業銀行ノ四分利債券二千三百万元ニ関スル考察ヲ逸セラレタルヤニ認メラル蓋シ同債券ハ張作霖カ奉天興業銀行ノ民間株全部ヲ買収シ之ヲ彼ノ一手ニ収メ一種ノ社債ノ形式ニ依リ銀行券ノ様式ニ則リ償還期日ヲ定ムルコトナク年利四分ヲ以テ市場ニ売出シ奉天票ヲ回收シタルモノニシテ官銀号カ該銀行及東三省銀行ヲ合併スルニ當リ其ノ処置ニ窮シ(支払ヲ要スル利子年九十二萬元ニ達スル計算トナル)大正九年

二月ニ於ケル中日協定第一項ノ規定ヲ幸トシ全体ノ知レサル滙兌券ヲ以テ之ヲ回収シタルモノナリ右ハ之ヲ以テ直ニ東三省公債負担力判定ニ資スル能ハスト雖モ偶之ニ由リ発行者ノ発行公債ニ対スル責任觀念並省民間ノ公債ニ対スル信用ヲ察知スルニ余アルヘシ又今回発行セラレタル五千万元公債ノ如キモ民間ニ於テハ本公債ヲ有価証券トシテ購入セントスル意思全然ナク殆ト奉天当局ノ強制割当ニ係ルモノニシテ本年五月該公債條例ヲ發布シ各県ニ対シ強制的ニ之カ引受ヲ命シタルニ拘ラス応募成績頗ル不良ニシテ九月初頭ニ於テスラ予定額ノ応募ヲ見タルハ僅カ十二県ニ止リ大多數ノ県ハ全然応募シ居ラス為ニ省長ハ九月中各県ニ対シ引受額ノ払込方ヲ嚴達セリ今之ヲ奉天興業銀行債券ニ比スルニ新公債ハ利率ニ於テ前者ノ五割ヲ増加シ（而カモ奉天大洋ト現大洋トノ換算率カ時価ニ比シ頗ル有利ナレハ實際ハ更ニ好利廻トナル）償還期限及償還貨幣ヲ明示シ居レルニ拘ラス如斯不成績ヲ示スハ畢竟民間カ当局ヲ信頼セサルト未タ公債ヲ以テ財産保全ノ目的物トシテハ勿論確實安全ナル投資物件トシテ認メサルトニ緣由スルナランモ一面ニ於テ滿州ノ經濟狀態カ僅々數ヶ所ノ商業都市ヲ除キ大部分

ノ多キヲ以テ奉天票ヲ本位貨幣トスル省民ハ納税ニ際シ奉天票ト現大洋トノ比価ノ變動ニ因ル損害ヲ負担セサルヘカラス尤モ商業都市ニ於テハ奉天票下落ノ場合物価ノ騰貴ヲ来スヲ以テ納税上仮令従前ヨリモ多額ノ奉天票ヲ支出スルトモ左程苦痛ヲ感セサルヤニ想像セラルル処奉天票下落ノ場合ニ於ケル物価ノ調節カ必スシモ通貨下落ニ因ル損失ヲ「カヴァー」セサル実情、売買取引ノ減退又ハ停止ニ因ル損害、手持奉天票及奉天票債権ノ価値低落ニ因ル損害、不動産ヨリ生スル金銭収入ノ減退等ヨリ考フルトキハ右ノ場合納税額ノ増加ハ当然ニシテ而カモ奉天票力漸次落調ヲ辿レルニ徴シ東三省商民カ現在税捐負担ヲ増加シ居レルハ贅言ヲ俟タサルヘシ此点近來活動シ居レル金融維持会カ此機ニ乗シ巧ニ奉天票本位採用ノ条件トシテ納税用貨幣並奉天省經營事業ノ收受貨幣ヲ奉大洋ニ改正スヘシト唱道スルコトヲ忘レサルニ徴スルモ明カナリ（本件ハ九月十五日採択セラレ省長ヨリ発令アリタリ一五、九、一七奉天來公第七三〇号）

農村ニ於テハ近年來特ニ通貨ノ危險ヲ感シ奉天票ノ手持ハ可及的必要額ニ止メントナシ居ルヲ以テ直接税タルト間接

カ未タ農業經濟ノ域ヲ脱セスシテ通貨スラ必要以上ニ手持スルコトヲ避クル狀態ニ在ルヲ考慮セサルヘカラス果シテ然ラハ公債ノ発行ハ如何ニ其ノ制度ヲ改善スルトモ滿州全般ノ經濟狀態カ進歩セサル限り少数ノ商業都市以外ニ於テハ所期ノ目的ヲ達スルコト難カルヘシ（但シ射倖心ヲ刺戟スヘキ有利ナル割増付債券ノ発行ハ此限ニアラス）次ニ東三省民ノ担税力ニ関シ長官ハ単ニ戰時税ノ意味ニ於テ特ニ重税ヲ課セラレタルモノナキヲ理由トシ尚余裕アリト論斷セラレタル処抑東三省ハ張作霖ノ專制政治ノ行ハルル所ニシテ事實上人民ノ参政權ヲ認メ居ラサルニ因リ現行税制ノ如キモ一見何等ノ障害ナク運用セララルカ如シト雖モ内実省民ノ所得ヲ不当ニ圧迫セル事實ナキヲ保シ難シ之ハ兎ニ角トシ十二年度及十四年度税捐收入ニ就キ省民人口ヲ仮ニ一千三百五十万トシ其一人當ノ負担額ヲ計算スルニ十二年度ニ於テ二元一角七分強十四年度ニ於テ二元二角二分強（十三年度不明）ヲ示シ此三年間ニ於テ大ナル増徴ナキカ如シト雖モ之ヲ以テ直ニ担税力ニ余裕アリトハ云ヘサルヘシ何トナレハ現行税制ニ依レハ收受貨幣ハ奉天省ノ基本貨幣タル奉天票ヲ使用セスシテ現大洋ヲ採用シ居レルモ

税タルトヲ問ハス苟モ奉天票力下落スルニ於テハ手持金ノ価値低下ヲ来シ手持品ノ処分難ヲ伴ヒ延テ納税上ノ負担ヲ増加スヘキハ之ヲ取引並金銭収支カ頻繁ニシテ通貨騰落ノ損害ヲ物価騰落ニテ調節シ得ル商業都市ノ場合ニ比シ一層切實ニ察知シ得ヘシ

若シ夫レ奉天票建ノ勤勞所得ニ依リ生活スル者ニ至リテハ物価騰貴ニ伴フ支給金ノ増加ナキ限り奉天票ノ下落ニ因ル税額ノ増加負担ノ加重ハ頗ル現実的ニシテ如何ニ大ナル打撃ヲ被ルヘキカニ関シテ贅言ヲ俟タサルヘシ

以上ニ依レハ奉天票ノ下落ハ納税者ニ対シ当然納税額ヲ増加シ同時ニ事實上新税ノ設定又ハ税率ノ引上ト同一ナル打撃ヲ与フルモノニシテ課税主体タル奉天省ヨリ見レハ何等收入ニ變化ヲ来サスト雖モ課税客体タル納税者ヨリ見レハ負担ノ増加ニ外ナラス更ニ長官ハ奉天省ハ戰時税ヲ設ケタルコトナシト云ハルルモ最近ニ於テ奉天省ハ現大洋ニ依ル京奉鐵道運賃ノ引上ヲ行ヒ又教育費ニ充当スト称シテ捲烟特捐ヲ創設セリ右ハ之ヲ其ノ施行時期ト民間ニ於ケル影響トヨリ見レハ明カナ戰時税ト同一ノ効果ノ有スルモノト認メサルヘカラス此外奉天省經營ノ事業即鐵道、電報、印

紙、土地払下、電灯、電話、電車等ノ料金ハ一切現大洋ヲ收受スルヲ以テ之等料金ノ支払ニ関シ奉天票ヲ本位トスル省民ハ奉天票下落ノ都度下落率大現実ニ支出ヲ増加シ居レリ

以上ハ省民ノ負担ニ関シ課税並官營事業料金ノ收受貨幣ニ依ル圧迫事情ヲ考察シタル次第ナルカ抑奉天票ノ動揺並下落ハ前述セル通り程度ニ差コソアレ奉天票ヲ本位トスル支那人ニ於テ常ニ財産上ノ損失ヲ生シ居レリ尤モ純經濟的ノ原因ニ因リ奉天票ノ動揺又ハ下落ヲ来ス場合モ尠カラサルモ事實上奉天省当局ノ公私ニ亘ル措置ニ関シテ奉天票ノ動揺又ハ下落ヲ生スル場合亦屢ナリ前者ノ場合ニ於テハ省民ハ其ノ損害ニ関シ自カラ其ノ責ニ任セサルヘカラサルモノアルモ後者ノ場合ニ於テハ省民ハ其ノ損害ニ関シ責ニ任スヘキ理由ナシ但シ右ハ商業者ヲ中心トシテノ場合ナルモ更ニ直接商工業ノ經營ニ關係ナキ省民ヨリ之ヲ見ルトキハ通貨ノ變動ニ伴フ損害ハ全然東三省幣制紊乱ノ致ス処ニシテ其ノ罪ハ全然当局ニ歸スヘキモノト云フヘシ然ルニ之等不都合ナル損害ハ絶ヘス省民側ニ於テ負担セサルヘカラサルニ依リ其レ丈省民側ハ所得ヲ減少スルコトナルハ明カナ

説(奉天当局ノ談ニモ符合ス)ヲ真ニ近キモノトシ之ヲ昨年八月ニ於ケル發行額ト比較シ濫發ノ事實ナシト論斷セル処第二次奉直戰後戰勝ノ余威ニ乘シ山東江蘇ニ勢力ヲ伸張シタル奉天派ハ十月以降江浙戰ニ次クニ奉國戰奉郭戰アリ仮令糧ハ敵ニ依ル主義ナリトスルモ戰費ハ蓋シ巨額ニ達シタルヘク從ツテ此等ノ事變ヲ予想セサル十四年度軍事費予算ヲ以テシテハ到底之ヲ償フニ由ナカリシモノト認メラル果シテ然ラハ之カ財源ハ之ヲ何ニ求メタルヤ當時奉天當局ノ資金調達方法トシテハ關内外ニ於ケル軍用票ノ發行ト預金ノ引出以外別ニ資本ノ徵發、借款、増税、新課税等ノ事實アリシヲ聞カス戰時緊急ノ場合殊ニ軍用品代金ノ決済ニハ金票ヲ要スルコト大ナルト共ニ物資調達上資金ノ必要ナルコトハ何人ト雖モ之ヲ否定スル能ハサル処ニシテ此点支那各地ニ於ケル戰乱ノ場合軍費調達ノ為金融逼迫シ銀塊騰貴スル事實ニ依リテモ明カナル次第ナルカ奉天省ハ右ノ期間ニ於テ軍費ニ関シ如何ナル financing ヲ行ヒタルヤ以上ヲ明カニセサルニ於テハ奉天票濫發否定説ハ到底之ヲ信スルコト能ハス

五、吉林官帖ニ関スル点

ル次第ニシテ其ノ損害タルヤ區区タル課税又ハ官營事業料金ニ依ル損害ト比スヘカラサル程度ニ在ルヲ以テ奉天省ノ税源ハ決シテ之ヲ樂觀スル能ハス

東三省ハ我付屬地ノ如ク調査機關不備ナルノミナラス右ノ如キ損害ノ發表ハ省民カ保身上容易ニ之ヲ行フ能ハサル事情アルヲ以テ之ヲ的確ナル根拠ニ依リ説明スルコト能ハサルヲ遺憾トス

三、金票ニ対スル奉天票ノ下落ハ不自然ナリトノ点

奉天票ハ銀系通貨ニ対スル紙幣ナリト雖モ兌換紙幣ニアラスシテ事實上不換紙幣ナリ故ニ主トシテ其ノ發行主体ニ対スル一般經濟界ノ信用ニ基キ銀元ヲ標準トシテ對内的ニ其ノ交換価値ヲ決定セラレ之ニ依リテ外貨ニ對スル比価ヲ算出セラルルコトハ云フ迄モナキコトナルカ之ニ對シ長官ノ説ノ如ク兌換紙幣ノ場合ヲ援用シテ銀価ノ下落率ニ依リ金票ニ對スル比価ヲ算出スルハ失當モ甚シ而シテ右ヲ基礎トシテ市場ニ於ケル奉天票相場ヲ恐慌的相場ト論斷スルニ至ツテハ其ノ意ノ那邊ニ在ルヤヲ捕捉スルニ苦シム

四、奉天票濫發否定ニ関スル点

長官ハ現今ニ於ケル奉天票ノ發行額ニ関シ二億二三千萬元

長官ハ吉林官帖カ暴落シ居レルニ拘ラス通貨ノ価値喪失並財政ノ破綻ヲ生シ居ラサル事實ヲ擧ケ奉天票並奉天省財政ノ成行ヲ樂觀セラルルカ如シ云フ迄モナク吉林官帖ハ全然市中取引ニ依リ流通価値ヲ決セラレ之カ激落ニ際シテモ未ダ省當局ノ人為的手段ニ依リ釣上ヲ見タルコトナク極メテ自然ニ流通シ居レル通貨ナリ此点奉天票ト頗ル趣ヲ異ニスルモノニシテ之ヲ以テ奉天票ニ関シ人為的吊上策ノ不可又ハ奉天票成行放任説ヲ唱フルニ於テハ肯綮ニ中ルモ然ラサルニ於テハ何ノ為ニ之ヲ引用セルヤニ付理由スル能ハス況ヤ官帖發行機關タル永衡官銀号ハ多少ノ現銀及通貨準備ヲ有シ且吉林省内ニ於ケル所有不動産時価約五十萬元ヲ有スルニ依リ發行額タル五億吊ハ之等ニ依リ優ニ償還シ得ヘシト云フ民間ノ信用ヲ有スルヲ以テ到底東三省官銀号トハ其ノ根底ニ於テ格段ナル懸隔アルニ於テオヤ

之ヲ要スルニ長官ノ奉天省財政並奉天票樂觀ニ関スル各種ノ根拠ハ之ヲ容易ニ承認スル能ハサルモノアルニ付之等ノ根拠ニ基ク対策ニ関シテハ俄ニ當否ヲ論シ難シト思考ス

(大正十五年十月十一日)

六五四 九月二日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

金融維持会幹部ト日本側商業會議所各機関側
ト金融維持ニ関シ協議会開催ノ件

機密公第六八五号 (九月七日接受)

大正十五年九月二日

在奉天

總領事 吉田 茂(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

金融維持会幹部ト日本側商業會議所各機関側ト金

融維持ニ関シ協議会開催ノ件

支那側金融維持会ハ客月二十六日臨時会ヲ召集シ其ノ幹部
ハ日本側各機関ヲ訪問シ意見ノ交換ヲ為ストノ決議ヲ為シ
去ル二十九日奉天總商會ヨリ奉天商業會議所ニ通知シ尚本
會見ニハ官憲及銀行業ヲ避ケタキ旨ヲ申添ヘ来リ乃テ三十
日午後奉天商業會議所ニ於テ約三時間ニ亘リ會談ヲ遂ケタ
ルカ其概況別紙ノ通りニ付御參考迄報告申進ス
本信写送付先 在支公使、在滿各領事並分館主任

(別紙)

テ蓋シ已ヲ得サリシヲ以テ此点特ニ諒セラレタク今回ノ
手段ハ永久ノ方法ニハ非ス勿論一時的ノモノナルカ之カ
永遠ノ維持策トシテハ

一、奉天票ノ發行ヲ制限スルコト

二、特產物ヲ奉天票ノ基本金トスルコト

三、戰爭ヲ中止スルコト

等ニアレ共現在ニ処スヘキ応急措置ニ関シ御考付ノ点モア
ラハ御指導ヲ乞フ奉天票ハ匯兌票トシテ上海為替ヲ官銀号
ヨリ売出シツツアレハ絶体ノ不換紙幣ニアラス又奉天通貨
ヲ現大洋ニ改ムルコトハ既ニ省政府ニ上申シアリ只其場合
現在ノ奉天票ヲ如何ニ扱フヘキカニ就テハ何等ノ研究ヲ為
シ居ラス

銀行ヲ獨立セシメ官憲ノ圧迫ニヨリ濫發ヲ行フカ如キコト
ナカラシムルコトニ付テハ極力実現ヲ期スヘシ

奉天軍力發行セシ軍用票ヲ奉天票ニ引換フル云々ハ噂サニ
過キス奉郭戰當時ノ官銀号紙幣發行高ハ一億一千万円ニシ
テ奉天省一ケ年ノ歳入ハ七千万円ニ達シ戰時ナラサル平年
ニ在リテハ其三分ノ一ヲ以テ歳出ノ總テヲ支弁シ得殘余三
分ノ二ハ全然過剩ト為ル次第ナレハ一億一千万円ノ發行ハ

支那側出席者

奉天省議會副議長 馮 景 異

奉天省教育會副會長 李 象 庚

奉天總商會副會長 盧 景 崙

付屬地華商會長 祖 章 義

同 上 副會長 董 子 衡

同 上 副會長 劉 漢 廷

日本側出席者

奉天商業會議所會頭 庵 谷 忱

同 上 副會頭 高 橋 貫 一

奉天居留民會長 川 本 靜 夫

奉天地方事務所長 平 野 正 朗

奉天地方委員會議長 末 光 源 藏

一、支那側ノ所述

從來ノ日支親善ニハ尚不十分ノ点アリ將來日支兩國ノ協
力提携ニヨリテ真ノ親善ヲ致シタシト前提シ這般奉天票
ノ暴落ハ既ニ御承知ノコトキ処之レカ防止策トシテ奉天
官憲カ極端ナル手段ヲ採リタルハ本金融維持會ノ本旨ニ
ハ非サルモ奉天省民ノ生命タル奉天票價維持應急策トシ

過大ナリト言フヘカラス

張上將軍ハ現大洋一元ニ對シ奉天票一元二角迄制限取締ヲ
為スヘシトノ命ナルモ金融維持會トシテハ現大洋一元對奉
天票二元以下ニ維持シ得レハ十分ナリト考フ

日支両商民ヲ以テ金融常設委員ヲ置キ互ニ意見ノ交換ヲ為
シ金融維持ニ資スヘシトノ御意見ハ至極同感ナル趣金融維
持會ニ報告シ之カ實現ニ努ムヘシ此上共現在ニ処スル應急
策御考付ノ際ハ御通知ヲ願度シ

二、日本側ノ所述

日支親善ニ関スル貴說御尤ナリ從來貴國官憲ハ民論ニ逆
行スルヲ以テ遺憾ナカラ応シ難シトノ辭令ヲ以テ我官憲
ノ經濟施設ニ関スル交渉ヲ拒絕セラルルコト多シ畢竟日
支両國民相互ノ意思疎通不十分ナルニ因ルモノナルヘシ
將來ハ此点ニ留意シ互ニ意見ノ交換ト意思ノ疎通ヲ計リ
度シ

金融ノ問題ハ永遠ノ策ヲ講スヘキモノニシテ一時的姑息
ノ策ヲ弄スヘキモノニアラス貴見三ヶ条ノ金融維持策ハ
何レモ必要ノモノナレ共其外官銀号ノ紙幣發行ニ関シ兌
換準備金ヲ置カルルコト最モ必要ナルヘシ奉天ニ於テ

発行セラレタル紙幣ヲ硬貨ニ引換ヘントシテ能ハサルカ如キハ甚タ不都合ノコトニシテ吉林ニ於ケル吉林大洋哈爾賓ニ於ケル哈爾賓大洋ノ如キモノヲ当地ニ於テモ發行シ且ツ何レノ土地ニ對シテモ為替取組ノ自由ヲ得セシムルト共ニ現貨ト引換ヘシメサルヘカラス此ノコトハ大正九年二月既ニ貴我兩國金融調節委員會ニ於テ決定シ居レルコトナレハ貴國官憲ハ速カニ之レヲ實行スルノ義務アルヘシ又官銀号ハ獨立セシメタル上官憲ノ圧迫ニヨリテ紙幣ヲ濫發スルカ如キ惡弊ハ之ヲ一掃スルノ必要アリ官銀号ハ其資産状態ハ勿論紙幣發行商等ヲ發表セサル為メ一般ノ不安ヲ買ヒ從ツテ票価ニモ影響スル所大ナリ宜シク週報又ハ月報トシテ公表スルコト可ナルヘシ現在ノ奉天票ハ何等兌換準備ナキ紙片ニ過ギス之レカ市中ニ通貨トシテ流通スルハ一ニ信用ナリ故ニ發行者ノ信用失墜セハ票価ノ暴落スルコト当然ノコトニシテ之レカ暴落ヲ防ク為メハ票其ノモノニ価格アラシメサルヘカラス其方法ハ即チ兌換準備ヲ整フルニ在リ

一時的ノ方策トシテハ戰爭ヲ中止シ一面借款ヲ起シテ此急場ヲ整理スルコト捷徑ナルヘク其他ノ對策ヲ發見セス

定相場毎週月曜毎ニ五十元乃至六十元宛引上等ニ依リ先物高トナル傾向ヲ馴致シ目先強氣生セシモノノ如シ正金筋ノ觀測ニテハ天盒盛沒収財産千余万元ト稱セラルルカ右ヲ以テ支那側ハ奉票昂上ケ manipulation ノ資源ニ充テ居ル疑アリ又兵工廠其他政府筋ノ外国人宛支払ヲ一時延期シツツアル形跡アリ旁々一時強氣ヲ示シタルカ固ヨリ強氣材料ニ深キ根柢アルニアラサレハ吳佩孚敗退奉軍南下說ニテ昨日以來三百元台ヲ示シ居リ特產出廻リ期迄ハ猶幾多波瀾發生スヘク外人宛支払延期モ際限アルヘケレハ暴力相場モ長ク維持出来兼ヌヘシ相場乱上下ノ為メ冬物仕入期ニ際スルモ新取引發生セサルノミナラス問屋筋中比較的支払ヲ正確ニナシ来レル向ハ之迄ノ仕入高ニ反シ物価引下令ノ為メ商品價格引上出来難ク中秋節支払期ニハ支那側ニモ倒産者尠カラサル見込ナリ

關東長官ヘ転電セリ

六五六 九月三日 幣原外務大臣ヨリ
在奉天吉田總領事宛(電報)

奉天官憲ノ奉天票約上策ニ関シ關東庁及ビ中国側ト懇談ノ上結果回電方訓令ノ件

金融維持会カ奉天票ノ価格維持ニ尽瘁シ仮リニ現大洋一元對奉天票二元以下ニ復セシメ得タリトスルモ之レヲ永遠ニ保持シテ平定ヲ保タシムヘキ方策アリヤ我々ノ困難スルハ票価ノ高又ハ低ニアラスシテ常ナキ變動ニヨリ安定セサル一事ニアリ奉天票ノ變動ハ日支兩國国民ノ均シク苦痛トスル処ナレハ之レカ維持ニ関シテ相協力シテ最善ヲ尽ササルヘカラス就テハ日支各四五名ツツノ金融委員ヲ常設シ常ニ意見ノ交換ヲ行ヒ對策ヲ考究スルコトトシテハ如何

六五五 九月三日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天票回復ノ原因等ニツキ報告ノ件

第二二六号

貴電第一三二二号ニ関シ

奉票暴力維持策ノ結果商取引杜絶シ已ムヲ得サル必要ノ実需額以外金票取引ナク市場ハ全ク恐怖相場ニ支配セラレツツアル次第ハ既電ノ通りナリ此恐怖相場ノ中ニモ一時目先強氣ヲ生セシハ西北軍事終了保障安民ノ宣言說等ノ樂觀材料ノ他物価引下令ニ依リ強制的三割引下官銀号ノ奉票公

付記 九月一日亞細亞局第一課

奉天票応急策ニ関スル正金銀行武内取締役意見
要領

第一三四号

奉票約リ上ノ為奉天官憲ノ執レル圧迫手段ハ本来本末顛倒姑息手段ニ過ギス其ノ根本救済策ニ就テハ貴官ニ於テモ折角尽力中ナルカ所謂金融取締條例中金票ノ手持禁止金奉票ノ公定相場強制両票交換額ノ制限等ハ實際上貿易禁止邦人ノ債權取立不能ヲ助長スルニ均シク条約上ノ議論ハ姑ク別トスルモ直接損害ヲ蒙ルモノハ独リ帝國臣民ノミナラス支那人モ亦收入上大ナル利益ヲ失フコトナルヘシ二十六日付公第六六四号貴信ニ依レハ奉天官憲ハ金票手持又ハ取引禁止ニ関シ密令ヲ發シタル趣ナルモ貴電第二二二二号ニヨレハ斯ノ種法令若ハ訓令ヲ出シ居ラサル旨ヲ言明シ居レルカ仮リニ之ヲ事実トスルモ民間ニ於テハ實際上官憲ノ圧迫殊ニ右條例ノ強行ヲ恐レ取引又ハ交換ニ躊躇シ居レルニ付人心安定ノ為斯カル條例乃至命令ノ存在セサルコトヲ此際日支両官憲ニ於テ公表スルコトニ取運ハレタク又取引所取引ニ對シ貴見ノ如ク取引高ニ制限ヲ加フルコトハ余リニ

正面ヨリ庄迫スルノ形トナリ面白カラサルニ付往電第一二九号ノ通り再考アリタク寧ロ取引所ニ対スル証拠金率ノ増加等自然ニ投機の取引ヲ制限スル方法関東庁側ト協議相成テハ如何將又支那側ニ於テ金對奉票ノ間ニ公定相場ヲ強制スル以上右相場ニヨル現貨交換ノ義務アルモノニシテ之ヲ僅ニ一日金五万円ニ制限スルカ如キハ右ノ責任ヲ執ラサルモノトシテ警告ノ要アリト認メラル若シ官憲ニ於テ現貨交換ノ用意ナシトスレハ其相場ハ商民ノ自由タラシムヘキ理ナリ從テ差当リ奉天官憲ヲシテ公定相場ニ依ル現貨交換額ヲ増大シテ実需ニ副ハシムルカ又ハ公定相場ヲ撤廃スルカ何レカノ措置ヲ講セシムルコト当面ノ喫緊事ト思考セラル就イテハ右ノ趣旨ニ依リ懇談ヲ遂ケラレ結果貴見ト共ニ回電アリタシ

(付記)

九月一日亜細亞局第一課

奉天票問題應急策ニ関スル正金銀行武内取締役意見

要領

大正十五年九月一日武内正金銀行取締役谷亜細亞局第一課長ヲ來訪シ奉票問題應急策中取引所ニ於ケル取引高ノ制限

六五七 九月四日(着)

兄玉関東長官ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天票救済策ニ関スル意見具申ノ件

第一六号

奉天票暴落ニ伴フ支那官憲ノ錢莊取引強圧政策並ニ之ニ対スル我方措置振ニ関シテハ八月十七日発号外(奉天総領事宛第四八号転電)其他公信ヲ以テ屢次申報シ又本件ニ関スル意見書ハ九月二日出発上京ノ神田事務官ニ持参セシメ置キタル処閣下ヨリ奉天総領事宛第一二九号及第一三二号ヲ以テ御電訓相成リタル次第モアリ右卑見ノ大要御参考迄左ノ通り

一、今次奉天票ノ暴落ハ主トシテ政治上經濟上ノ不安ニ胚胎シタルモノニシテ財政ノ紊乱及奉票ノ濫発ハ固ヨリ遠因タルニ相違無キモ其ノ直接ノ原因ヲ為スモノニ非スト思考セラル政治上ノ不安トシテハ奉天戦争ノ容易ニ終止セス張吳連盟破綻説アリタル上ニ多倫南口方面ニ於テ奉天軍大敗ノ流言突如トシテ宣布セラレ為ニ張氏ノ前途ニ多大ノ不安ヲ懷クニ至リタルニアリ經濟上ノ不安トシテハ張ノ軍事行動ノ経緯ハ將來際限無ク軍事費ノ支出ヲ要

五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉 六五七

ニ関シ大要左ノ如ク陳述セリ

取引所ニ於ケル取引高制限ノ一方法トシテ売買証拠金ノ増額ヲ行フコトモ亦場合ニ依リテハ適當ナルヘシ即奉票對金票相場ハ七月末六百元台ヲモ割ラントシタルニ對シ昨今ハ既ニ三百元台ニ引返シタル次第第二ニ奉票價格ハ最近一ヶ月中ニ殆ト倍額セルモノト認ムヘシ從テ斯ル際ハ売買証拠金モ之ニ準シテ増額シ差支ナキヤニ認メラルル処右増額ハ斯ル乱高下ノ相場ヲ現出スル際ニ於テハ取引ノ危険ヲ減少シ投機の分子ヲ少ナカラシムルノミナラス延イテハ之ニ依リテ間接ニ取引高ヲ制限スルノ効果ヲモ挙ケ得ヘシ

尤モ証拠金ノ増減ハ取引所ノ裁量ニ依リ適宜之ヲ行ヒ得ヘキモノナルニ付奉天取引所ニ於テモ既ニ実行シ居ルヤモ知レサルカ此際ハ前述ノ如ク投機の分子ヲ減少スルト共ニ間接ニハ取引高ヲモ制限スルノ趣旨ヲ以テ相当大ナル程度ノ証拠金額増加ヲ断行スルコト或ハ有効ナルヘシ云々

(大正十五年九月一日岡崎記)

シ依リテ奉天財政ノ破綻ヲ來シ又官銀号ニ對スル借上金ノ増加奉天票ノ増發ヲ促シ官銀号ノ基礎ヲ破壊シタルニアリ之ニ加ヘテ奉票釣上ノ為種々ノ策動多ク失敗ニ帰シ却ツテ人心ヲ衝動シタルモノナリ

二、奉天財政状態奉天票増發ノ成行等ニ付テハ茲ニ之ヲ省略シ(意見書ニ詳説セリ)最近ノ奉天票暴落力單ニ財政ノ窮迫奉票濫發ノ直接結果ニ非ストスレハ政治上不安ノ基タル奉天戦争奉軍ノ勝利ニ終リタル今日若シ張兵ヲ收メテ保障安民内政改善主義ニ復歸スルニ於テハ其ノ生命ト共ニ一般ノ不安ハ茲ニ漸次薄ラキ又特産物出廻り期ニ及ヒ奉票需要増加スルニ從ヒ奉票價格ハ恐ラク先強ノ氣配ヲ以テ安定ノ傾向ヲ見ルニ至ル可シト推測セラル

三、奉票相場ノ暴落乃至不安定ノ彼我通商ヲ阻害スルコト甚シカレハ此ノ際奉天官場力其ノ財政ノ根本の整理ニ着手センコト最モ望マシキ処ニシテ是固ヨリ内政ニ屬セルモ当面ノ対策トシテハ(一)内政改正主義ヲ確定シテ軍備ノ整理ヲ断行スルコト(二)官銀号ノ経営ヲ改善シ一ニ同号カ張作霖ノ私の運用ニ混同セラルルヲ廢スルコト最モ緊急ナリト思料セラル委細ハ意見書ニ付テ御諒知ヲ乞フ

六七九

奉天へ転電セリ

(欄外記入 一) 直接原因ニ挙ケタル事実ト経済上ノ不安ニ挙ケタル事実ト幾何ノ差違アリヤ

(欄外記入 二) 此点然リ然レトモ現下ノ問題ハ張作霖ノ各種ノ金融政策カ内外人ニ損害ヲ与ヘ商工業貿易ヲ停頓シ居レル事実ノ匡救ヲ急務トシシカモ之カ匡正ハ我方ノ態度如何ニヨリ緩和シ得ル見込アルニ付張ノ施政方針並軍事行動ノ束縛等幾多ノ問題ヲ伴フ政局ノ安定策ヲ取ルヨリモ直截簡明ナル前記ノ方法ヲ取ル方幾何ノ効果アルカ絮説ヲ要セサルヘシ

六五八 九月四日 在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛

邦商錢鈔業者ニ対スル中国官憲ノ圧迫、使用人逮捕等ニ関シ抗議申入レノ件

付属書一 八月二十三日付在奉天吉田総領事ヨリ張作霖宛公文第五二八号写

二 民国十五年八月二十八日付張作霖ヨリ在奉天吉田総領事宛政字第三号写

三 九月三日付在奉天吉田総領事ヨリ張作霖宛公文第五六五号写

公第六九一号

(九月九日接受)

大正十五年九月四日

(別紙甲号)

公文第五二八号

大正十五年八月二十三日

駐奉日本帝國總領事 吉田 茂 (印)

鎮威上將軍 張作霖殿

拝啓陳者貴官憲ハ奉票暴落防止策ヲ標榜シ当付属地内外在住ノ貴我両国錢鈔業者ヲ圧迫シ名ヲ金融攪乱者取締ニ藉リ巡警ヲシテ同業者ノ帳簿檢閲ヲ強要セシメ邦商使用人等ヲ無断逮捕拘禁セシメタル事件ニ関シテハ爾来当館ヨリ其都度貴国当該官憲ニ口頭又ハ文書ヲ以テ警告申進幸ニシテ被拘禁者多数ハ釈放セラレタルモ邦商富安銀号使用人邢宝亭(当十九年)及路振廷(当十六年)ハ去十二月ニ、邦商木内銀号使用人周烈如(当二十六年)ハ去十四日ニ拘禁セラレ爾今釈放セラレス此儘ニセハ我國論益々沸騰シ貴官憲ノ暴挙ニ対シ論難攻撃愈々甚シカルヘク遂ニ貴我國交ニモ關係可致重大ナル事態ヲ惹起シ帝國政府ヲシテ貴總司令ニ対シ更ニ嚴重ナル交渉ヲ開始セサルヲ得サルニ至ルヘク依テ右邦商ノ三使用人即時釈放セラルト共ニ尚今後絶對ニ斯ル不法措置ナキ様貴官憲ニ早速嚴達相成度此段照会得貴意候

五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉 六五八

在奉天

總領事 吉田 茂 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

邦商錢鈔業者ニ対スル支那官憲ノ不法逮捕ニ関スル件

邦商富安銀号使用人邢宝亭、路振廷及木内銀号使用人周烈如即時釈放方ニ付曩ニ本官ヨリ張作霖ニ対シ別紙甲号写ノ通り申入レ置キタル処今般別紙乙号ノ通奉票低落ノ原因ハ奸商ノ投機ニ因ルヘキモノニシテ今回拘禁セシ奸商ヲ夫々処分シ其他ハ主管官庁ニ於テ処理スルコトナリ其ノ結果既ニ釈放サレタル者多数アリ邢宝亭等三名ハ目下取調中ニテ果シテ犯罪行為アラハ地方官ニ於テ処分スヘク外人ノ使用人タル故ヲ以テ寛假スヘキ明文無之旨回答シ来タリ然ルニ其後楊宇霆並省長ニ対シ本官ヨリ其不当ヲ申聞タル処八月三十一日ニ至リ前記拘引者中邢、路ノ二名ヲ釈放スルニ至リタルモ周烈如一名ハ未釈放ナルニ付之レカ釈放方更ニ別紙丙号ノ通申入レ置キタリ

右報告ス

(付属書一)

敬 具

(付属書二)

(別紙乙号)

政 参 号

照 会

鎮威上將軍 節制東三省軍政督弁東北边防屯墾督 弁 奉 天 軍 務 善 後 事宜公署為照復事接准貴總領事第五二八号公文囑將貴国商使用華人邢宝亭路振廷周烈如三名釈放等因業已閱悉查奉票跌落之原因不一而其實在為奸商搗把所致究其禍患不惟奉省三千万民人之身家財產遭其傾陷即僑奉之各国商民亦被波及前經令行所屬嚴加取締並蒙

貴總領事及貴国商民一致声請維持誰知暴落如故此本上將軍所以不得不執法而行之実情當為各友邦官民所諒解者也日前被伝拘押之奸商除懲弁外業經布告不咎既往在案所有伝押商民即飭主管有司分別訊明陸續省釈者已有多数諒為貴国官商所深知其邢宝亭等正在核弁之中適准貴總領事來文請求釈放並以国交上重大事件為言查整理金融本係我国内政即使外商因貿易關係亦必加意贊助俾中外商民同霑利益不意前日敦請維持者今忽出以非難之論調遺憾殊深況以邢宝亭三人言之彼

在中国境内營業即應歸地方官管轄治理果有犯罪行為當然由地方官按律懲弁按之公法証之約章未有因其為外商僱用即可寬假之明文庇請

貴總領事詳督事實陳明

貴政府予以諒解勿生誤会是所深盼相應照復惟希

查照此照會

大日本駐奉總領事吉田

張 作 霖

中華民國十五年八月二十八日

(付屬書二)

(別紙丙号)

公文第五六五号

大正十五年九月三日

駐奉日本帝國總領事 吉田 茂 (印)

鎮威上將軍 張作霖殿

拝啓陳者木内銀号及富安銀号使用中国人邢宝亭路振廷及周烈如釈放方ノ件ニ関シ八月二十八日付政字第三号貴照復ノ趣閱悉致候然ルニ富安銀号使用中国人邢宝亭及路振廷ノ二名ハ八月三十一日釈放セラレタルニモ不拘木内銀号使用中

伝ヘラレ取引所錢莊取引モ本月二日以来後場ノ取引ヲ再開シ出来高モ幾分恢復氣味アリ依テ金票取引取締ノ実狀見極メノ上緩和増進ノ事實ナク支那側ヨリ更ニ本件ニ付何等要求シ来ルニ於テハ必要ニ応シ御来示ノ通り証拠金率増加等ノ形式ニテ投機抑制方法講究致スヘシ不取敢

六六〇 九月十四日

在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

張作霖ノ借款問題ニ関シ大倉組奉天支店長ト

ノ会談内容報告ノ件

機密公第七二七号

(九月二十日接受)

大正十五年九月十四日

在奉天

總領事 吉田 茂 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

借款ニ関シ大倉組奉天支店長来談ノ件

当地大倉組川本支店長此程来訪張作霖側ヨリ屢々借入金ノ話アリ現ニ五百万円至急借入度旨楊宇霆ヨリ申入レアリ大倉組トシテハ奉天省政府トハ種々ノ取引關係アリ無下ニモ拒絶シ難キヲ以テ不即不離ノ態度ニテ応接シ来タレルカ五

五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉 六六〇

國人周烈如一名ハ爾今釈放サレス目下取調中ナリトノ事ヲ以テ永ク拘留シ置クコトハ貴我通商航海条約第四条及第七条ヲ無視スル所以ニシテ我國論ノ貴國官憲ニ対シ益々誤解ヲ増加スヘキヲ以テ右周烈如至急釈放サレ度此段重ネテ照會得貴意候 敬 具

六五九 九月五日(着)

在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天票救済策ニ関シ中国側トノ交渉狀況回復電

ノ件

第二六八号

貴電第一三四号ニ関シ

取引所取引高制限案ハ固ヨリ臨機応急ノ処置ニ止マリ支那側カ根本的救済策ニ付キ諒解ナキ以上ハ無益ナル処莫省長ノ態度ハ本年九月一日付機密公第六八二号拙信ノ通り又偶々貴電御来訓ノ次第アリ依テ其ノ後支那官憲トノ交渉ノ際ニハ本件ニハ全ク立チ入ラス暫ク形勢ノ推移ヲ見ツツアル処今回ノ金票取引禁止ニ関スル奉天官憲ノ措置不当ナルハ往電第二六三号ノ通り楊宇霆等モ肯定スル所ニテ多少内々反省ノ跡アリ市場金票取引モ幾分取締緩和シツツアルヤニ

百万円借款内渡金トシテ先ツ百万円程度ニ於テ相談ニ応シ不取敢本溪湖炭坑支那側所有株ヲ抵当ニ入レシメ暫テ同炭坑ノ実権ヲ収ムルノ基礎トモナスヲ得レハ差シテ不利益ニ非サルヘシト考ヘオル次第ナリ右ハ素ヨリ自分一個ノ考ニテ本社重役辺ノ意向ハ存セサルカ假令又重役ニ於テ之ヲ希望スルモ外務省側ノ了解ヲ得サレハ実行ハ不可能ナルヘキニ付本官ヨリ可然申添ヘアリ度シ云々ト云ヘリ之ニ対シ本官ハ奉天省財政ノ現狀ニ於テ百万円ヲ貸スモ焼石ニ水トモ云フヘク大局ニハ別段ノ影響モナク而シテ之カ為メニ大倉組事業ノ一進展ヲナスヲ得ハ特ニ反对ヲスヘキ理由モナキカト考ヘラルルモ申出ノ趣ハ一応本省ニ進達致スヘシト申聴ケオキタリ此段報告ス

本信写送付先 在支公使

六六一 九月二十日

在長春票原領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天金融維持会ノ錢鈔先物取引禁止ノ通牒ニ

対スル各地取引人ノ反応ニ関スル件

第三六号

十六日夜奉天金融維持会ノ名ヲ以テ各付屬地商務会其他ニ

対シ今後付属地ニ於ケル錢鈔先物取引ヲ中止シ残玉ハ一週間以内ニ打切ルヘキ旨通牒シ来リタル為我官管取引所ニ於テハ鮮カラス恐慌ヲ来シ殊ニ公主嶺ニ於ケル支那側取引人ハ特産先物取引ヲモ禁止セラレタルモノト思ヒ込ミ十七日一斉ニ之カ手仕舞ヲ為スニ至リ四平街モ略右同様ノ疑惑ヲ抱キ残玉ヲ打切ルモノ多ク事態重大ト認メラレタルニ付十八日同地ニ長春、公主嶺、四平街及開原取引人代表者集合シ善後措置方協議スル事トナリタルカ今回ノ禁止令モ從來通り錢鈔先物取引ノミヲ目標トシ特産取引ニハ關係ナキモノノ如ク認メラレタル為不取敢支那側ヘ嚴重交渉方奉天總領事及関東長官ヘ電請スルト共ニ各取引所ニ於テモ極力特産先物取引ヲ維持スルニ勉メ暫時成行ヲ注視スル事ニ打合セタル趣ナリ

在支公使、奉天、鉄嶺、関東庁長官ヘ転電シ哈爾賓、吉林、牛莊、安東ヘ暗送セリ

六六二 九月二十一日

在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天金融維持会ノ先物取引中止ノ通牒ニ関シ
省長及ビ金融維持会ニ申入レノ結果回電ノ件

外務大臣、鉄嶺、長春ヘ転電セリ

六六三 九月二十二日

幣原外務大臣ヨリ
在長春栗原領事宛(電報)

錢鈔先物取引中止ニヨル特産物取引ノ渋滞防
止ニ関スル奉天官憲及ビ特産物取扱業者ノ意
向回報方訓令ノ件

第二二号

貴電第三六号ニ関シ

奉天金融維持会ノ提唱スルカ如ク錢鈔先物取引ヲ中止スルニ於テハ特産物出廻期ニ入り代金支払ニ要スル奉票ノ調達又ハ金票トノ振替決済ニ方リテ困難ヲ生シ結局特産物ノ買付ヲ渋滞セシムルノ虞ナキニアラス其ノ結果自然先物取引モ行ハレサルニ至ルヘシ随テ今回取引人代表者ノ打合ノ通り特産先物取引ヲ維持スル為メニハ矢張錢鈔先物取引ヲモ存続スルコト必要ナルヤニ思料セラルル処此辺ニ関シ奉天官憲ハ如何觀測シ居ル模様ナリヤ將亦貴地方特産物取扱業者殊ニ支那側業者ニ於テ如何ニシテ實際上特産現物及先物ノ取引ヲ支障ナク実行セムトスル考ナリヤ其ノ間ノ実情承知シ置タキニ付適宜關係者ノ意向御取纏ノ上詳細郵報セ

本官發関東庁長官宛電報第六七号

去ル十六日付貴電ノ趣省長ニ申遣ハスト共ニ去ル十八日並ニ二十日兩回当地金融維持会代表者ニ対シ取引所ノ改善、空取引ノ取締リニ付テハ支那側ト充分協力スルヲ辭セス又真面目ナル奉票維持ノ相談ナラハ元ヨリ其援助ニ吝ナラス然レトモ本件ノ如キ暴令ハ徒ニ各地ノ人心ニ動揺ヲ来シ我行政權ノ侵害ニ付直ニ之ヲ撤廃ス可キ旨戒告セル処右代表者ハ維持会トシテハ各地取引所ノ取引中止ヲ主張スル意思ナク且当会ノ通牒ハ總テ土地ノ風習ニ從ヒ執筆セシモノニテ形式ハ嚴重ナルモ省政府自ラ蔽フ為メニ過キス内容ハ左程喧シキモノニ非ス又当会ヨリ現物先物ノ取引ヲ禁止セヨト伝ヘシニハ非スシテ単ニ空売買ノ停止ヲ通牒セシカ實際取引所ニ於テハ迷惑ヲ感シ居ルニ付テハ先方要求ノ次第ヲ協議ス可シト陳弁セルニ付本官ハ更ニ同通牒ノ取消ヲ迫レルニ本件ニ関シテハ仲秋節後總會ヲ開キ之ヲ會員ニ諮リタル上何分ノ処置ヲ講ス可シト答ヘリ依テ本官ハ右会见後、直ニ交渉員ニ対シ前記談話ノ要領ヲ告ケ至急同通牒ノ取消發令方申込ミ置キタリ右不取敢

ラレタシ

本電本大臣ノ訓令トシテ在奉天總領事及在鉄嶺領事ニ転電シ尚参考ノ為メ在支公使及関東長官ニ転電シ哈爾賓、吉林、牛莊、安東ノ各總領事及領事ヘ暗送セラレタシ

六六四 九月二十七日

在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

先物取引禁止ニヨル奉天票調達困難ノ影響ニ
ツキ報告ノ件

第二九二号

貴大臣發長春宛電報第二二号ニ関シ

先物取引禁止ノ結果奉票調達困難トナルヘキハ御来示ノ通りナル処右ニ関スル当地金融維持会側ノ態度往電合第一九四号ノ通りナルカ同会ハ昨二十六日協議会開催ノ上結果何等当方ニ申出ノ管ナルヲ以テ御来示ノ点ハ更ニ先方ノ反省ヲ促ス様致シタク尤モ同会ハ表面民間代表ナルモ実ハ官憲ノ傀儡ニ止マリ進テ自ラ本件解決ニ当ル力ナク目下省長交渉署ニ対シ折角交渉中ナルモ之亦甚タ煮切ラサル有様ナリ一方本件實際上ノ影響ニ就キ特産出廻リ切迫ノ際ニモアリ不取敢坂内書記生ヲシテ現地出張ノ上取調ヘシメタル処四

平街、公主嶺、開原何レモ取引開始若ハ残玉整理ノ状態ニテ新規売買ナク当地及長春ニ於テハ影響比較の少キモ昨今中秋節、日曜、祭日引続ノ為真ノ影響ハ二十七日以降ニ於テ現ハルモノト観測セラレ居リ相場ハ公定相場二百九十元ニ対シ三百六十元見当ヲ唱ヘ居レリ

猶本件影響ニ対スル特産商取引所側ノ観測ハ何レモ悲觀的ニシテ特産出廻期タル来月初ニ於テ猶此状態持續セラレムカ奉票調達難ニ伴フ特産買付不能トナリ全ク泣寝入トナル外ナシト認メ居ル処一方正金側ノ観測ニ依レハ右特産商等ノ打撃ハ事実ナルモ元来此等特産物ノ本邦輸出高ハ日本向ヲ始メ総計三億円ニ上リ右輸出ハ即チ奉票価値維持ノ根柢ヲ為スモノナレハ之カ輸出杜絶ハ聽チ奉票価値ノ根柢ヲ覆スモノナルカ故ニ支那側ニ於テ堪フル処ニアラス今回禁止ノ如キモ愈々出廻期ニ際会セハ自ラ何等解決ノ途生スルニアサルカ唯此場合特産取引ハ支那官憲筋ノ手先ニ依リ官銀号方面ヨリ奉票資金ヲ得テ買占メラレ大連方面ヨリノ大規模買付トナルヘク一方昨今銀安ノ關係モアリ旁々大局上特産輸出額ニ就テハ無論活況ヲ呈スルコトトモナルヘク之カ為痛撃ヲ被ムルモノハ所謂青田買付商奥地直接取引者等

四三号我警告ニ対スル張ノ不誠意ヲ責ムルト同時ニ本件ニ就テモ亦其ノ不誠意ヲ詰リ其ノ結果如何ニヨリ往電第一二三号末段ノ措置ヲ執ルノ準備トシタシ

就テハ貴官ハ張作霖ニ面談ノ上奉天官憲ハ曩ニ市場相場トハ全然異ナレル公定相場ヲ定メタルカ而モ自ラ定メタル相場ニ依ル現貨交易ヲ僅カニ一日五萬元ニ限定シタルカ故ニ交換ヲ為シ得サル邦商ハ公定相場ニ依リテ財産ノ一部ヲ奉天官憲ノ権力ニ依リテ強奪セラルト同様ノ結果ニ陥レリ尚奉天側ハ右相場ノ官定ヲ以テ足レリトセス金融維持会ノ名ニ於テ錢鈔先物取引ヲ禁止セリ之カ為一般邦商ハ勿論特産商ハ時節柄資金調達ノ途ヲ失ヒタルヲ以テ右維持会ヲ傀儡トスル奉天官憲ノ措置ハ実ニ在滿日支商民ノ生業ヲ奪ヒ三億円ニ上ル滿州ノ輸出貿易ヲ破壊セムトスルモノニシテ是レ角ヲ矯メムトシテ牛ヲ殺スニ等シ

右兩個ノ結果ニ対シ張ハ如何ニシテ匡救ノ途ヲ講セントスルヤ本邦ノ輿論ハ既ニ其ノ忍耐ノ極ニ達シ政府ニ逼リテ張ノ横暴ニ対スル明確ナル対策ヲ要求シツツアル旨ヲ説示セラレ先方ノ回答振依然トシテ誠意ノ認ムヘキモノナキニ於テハ帝國政府ニ於テモ將來ノ態度ニ付大ニ考慮スル処アル

ナルカ右兩者ハ自ラ區別シテ考フヘキモノタルヘシト言フニ在リ

六六五 九月二十九日 幣原外務大臣ヨリ 在奉天吉田總領事宛(電報)

奉天官憲ノ自由取引圧迫措置ニ関シ本邦輿論

激昂ノ狀況等張作霖ニ申入レ方訓令ノ件

第一五二号(至急)

往電第一三四号ニ関シ

其ノ後ノ御報告ニ依レハ奉票取引ニ関スル当方抗議ニ対スル奉天官憲ノ態度ハ極メテ誠意ヲ欠キ其ノ暴令ノ結果直接我商民ノ不当ニ蒙ル損害ハ特産品買入期差迫ルト共ニ愈大ナラムトスル為單ナル付屬地内ノ取引所擁護ノ問題ト異ナリ其ノ影響重大ナルモノアルノミナラス更ニ奉天官憲ハ金融維持会ノ名ニ於テ錢鈔先物取引ヲ禁止シ以テ間接ニ特産物取引ヲ禁止スルニ均シキ措置ヲ採ラシメ益々不当ノ挙ニ出テツツアリ之カ為本邦ノ輿論ハ極度ニ刺激セラルルニ至レリ此際往電第一三四号末段ノ通公定相場ヲ強制スル以上右相場ニヨル現貨交換ノ義務履行ヲ強硬ニ主張シ責任ヲ問フコト我対策ノ第一ノ要件ナリト思考セラル從テ往電第一

ヘキ旨ヲ申入レ置カレタク若シ先方ニ於テ多少トモ其ノ非ヲ悟リ具体的談判ノ余地アリト認メラルル場合ニハ往電第一三四号後段ノ要求ヲ更メテ提出セラルヘク之ニ対シ奉天官憲ニ於テ当然ノ責任即自己ノ定メタル相場ニ依ル交易ヲ無限ニ遂行シ得サル旨ヲ申出ツル場合ニハ一切ノ取引ハ其ノ金建タルト銀建タルトニ論ナク又現金取引タルト為替取引タルト將又錢鈔取引タルト物品取引タルトヲ問ハス日支商民ノ自由トラシムヘク從テ之ニ因リテ生スル金又ハ現大洋ノ手持ハ官憲ニ於テモ勿論之ヲ容認スヘキコトヲ要求セラレタク右ニ対スル先方ノ応答振回電アリタシ

本電貴電第二八三号ノ面会前ニ到達セハ本件モ其ノ際併セテ張ニ申入レラレタク又右面会後ニ到着セハ本件ノミ單獨ニ申入レラルルコトニ致度シ

六六六 十月二日 在奉天吉田總領事ヨリ 幣原外務大臣宛

奉天票問題ニツイテノ高交渉員トノ談話要領

送付ノ件

公第七五五号 (十月七日接受)

大正十五年十月二日

在奉天

総領事 吉田 茂(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

奉票問題ニ付交渉員来訪ノ件

本件ニ関シ去九日高交渉員来訪ノ際奉票維持策ニ付相談アリタル処其談話ノ要領大略別紙ノ通ナリ右御参考迄報告ス
本信写送付先 在支公使、安東、牛莊、遼陽、鉄嶺、長
春各領事

(別紙)

奉票問題ニ付高交渉員来訪ノ件

九月九日高交渉員来館ノ砌談話ハ奉票問題ニ移リ如何ニセハ維持シ得ラルルヤトノ尋ネアリタルニ付先ツ金票取引禁止ノ違法ナルコト錢鈔業者逮捕銃殺ノ苛酷ナルコト官銀号ニ於ケル一日兌換額ヲ五萬元ヨリ十萬元ニ倍加セシ由ナルモ素々此制限ヲ設クルノ不当ナルコト及前記ノ如キ支那側ノ不法ニ基キ日支通商ハ全然杜絶シ邦商ノ被ムレル損失ノ巨額ニ達スヘキヲ説キタル処交渉員ハ省政府ハ金票取引ヲ禁シタルコト無ク又金票ノ手持ヲ嚴禁セシコト絶対ニナシ只商務会内ニ於テ金融維持ニ付協議ノ際問題トシテ論議セ

ラレタルヤニ聞ク金融攪乱者ニ対シテハ充分取締ルヘキモノナルモ極刑ニ処セシハ非難ヲ免カレサルヘク尤モ官銀号ノ実力トシテハ一日十萬元ノ兌換ヲ以テ相当ト見做スヘク元来奉票ノ流通区域ハ非常ニ広ク熱河、察哈爾ニ及ヒ居レリトテ暗ニ官銀号ノ信用アルコトヲ持出シタルニ付支那側ニテ奉票流通区域ノ広キヲ説明スルモ最近暴力取締ニ出テシ前迄日ニ低落ニ低落ヲ重ネタルカ右ハ銀行ノ信用薄弱ヲ証スルモノニアラスヤ現在ノ奉票価値ハ武力ニ依ル相場ニシテ自然ノ価値ニ非ラス且奉票ハ東三省ニ於テハ流通スヘキモ北京、天津等ノ地方ニテハ絶対ニ通用セサルヘシ又官銀号ニ於ケル一日十萬元ノ兌換ハ相当ナリトノ貴見ナルモ之ハ真相ニアラス即チ滿州ニ於ケル一箇年ノ取引ハ七億ナリ而シテ三省中商業殷盛ノ区ハ奉天ナリ若シ一日ノ兌換高ヲ十萬元ト見積リ一箇月ハ三百萬元一箇年僅カニ三千六百万元トナリ之ヲ全額七億ニ比較セハ如何是計算ニ從フモ奉省政府カ一日ノ兌換高ヲ任意ニ制限スルハ通商ヲ破壊スルモノナルニ付速ニ撤廃スヘキモノナリ尚其十萬元モ一般支那商ニ分配セラルルニ非ラスシテ単ニ兵工廠其他一二官家ノ使用ニ留マルニ於テオヤ奉票暴落ノ原因トシテ省政府ノ

奉票濫發ヲ指摘スヘキ真ノ原因トテハ戰爭ニ在ルヘシト告ケタルニ高ハ一応之ヲ肯定シタル後奉票回収ニハ鋭意努力シツツアリ即チ省政府ノ奉票發行高ハ合計二億二千万元ナリ内約九千万元ハ之ヲ回収シタルニ付残額一億三千万元ニ過キス奉省政府ノ勢力範圍ノ拡張セラレタル今日此残額位ノ奉票ハ必要ナルヘク又回収ニ就テハ左程困難ニモ非サルヘシ奉省ニ於テ日支商人ニ依リ主トシテ使用セラルルハ奉票ト金票ナリ故ニ支那側ニ於テ奉票ヲ本位貨幣トセシ以上若シ日本商側ニ損失アラハ奉票ニ依ラスシテ金票建ニ一定シテハ如何尚支那側ノ希望スル所ハ取引所ニ於ケル奉票取引ノ控除ニ在リト云ヘルニ付奉省政府ニ於テ奉票發行總額ハ二億二千万元ナリト主張セラルルモ其実情ヲ示シ財政ノ基礎ヲ公開セサル以上之ヲ信スルニ由ナク又奉票ヲ本位ニ取極メタリト称スルモ凡ソ一國ノ輸出入ト貨幣相場ノ高低ノ關係ヲ究メスハ問題ハ解決セラレス又支那側ハ奉票暴落ノ根本ヲ論セスシテ単ニ取引所ヲ攻撃スルハ謬見モ亦甚シト云フヘシ抑々外國貿易ノ存スル限り取引關係國ノ貨幣ノ相場ノ立ツハ当然ナリ張作霖ニアレ莫省長ニアレ皆奉票ノ下落救済ハ難問題ナルコトヲ口ニセラルルモ只悲觀セラ

ルルノミニテ實際ノ維持方策ヲ建テサル以上実ニ如何トモ術ノ施スヘキモノナシトテ支那側ノ無策ヲ指摘シタル後我方ニ於テハ元来維持ノ為ニハ援助ヲ吝マサル旨ヲ述ヘ若シ過日李科長ヨリ話アリタル通取引所ノ奉票取引ニ付果シテ制限ヲ加フルコトヲ望マルルニ於テハ当方ハ敢テ一考ヲ惜マス実ハ先日関東庁ヨリ官吏ノ派遣アリテ大略ノ調査ハ出来居ル由ナルカ要ハ省政府ニ於テ奉省ノ財政状態ヲ公開シタル上當方ト切實協議シテハ如何ト説キタルニ高ハ然ラハ如何ナル方法ヲ採ルヘキヤト問ヒタルニ對シ奉省ノ財政状態ヲ根本的ニ研究シタル後維持ノ方法ヲ講スヘシ故ニ苟モ省ノ財政ニ関スル材料ニ付テハ全部之ヲ挙ケテ本官ニ明示シ相談アリタシ出来得レハ其結果ヲ世上ニ公表スルカ若シ秘密ニ付スル必要アラハ敢テ公表スルノ要ナシト答ヘタルニ凡ソ一省ノ財産ヲ明示シ財政状態ヲ表示スルハ頗ル困難ナルノミナラス之ヲ外國人ニ示スハ果シテ如何ト云ヘルニ付若シ貴方ニ於テ不賛成ナラハ敢テ之ヲ強ユルニアラス帝國政府トシテハ只貴方ニ對シ貿易杜絶ニ依ル損害賠償ヲ要求スルノミト跳ネ付ケタルニ然ラハ支那側ヨリ誰ヲ推挙セハ可ナルヤト尋ネタルニ依リ省政府ノ任命ニ係ル財政当局

者ナラハ可ナリ但莫省長ハ徒ニ理論ヲ好ミ理屈ヲ並フルニ付同省長ト相談スルヲ欲セスト云ヘルニ高ハ本件ニ付テハ曩ニ貴方ヨリ督軍公署ニ公文ヲ以テ照会セラレアルニ付何レ正式ニ回答アルヘク又自分トシテハ貴方ノ趣意ニ副フ様省当局者ニ懇談スヘシト答ヘタリ

六六七 十月六日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

奉天票問題ニ関シ張作霖ト對話ノ模様報告ノ件

公第七六七号 (十月十二日接受)

大正十五年十月六日

在奉天

總領事 吉田 茂(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

奉票問題ニ関シ張作霖ト對話ノ件

本件ニ関シ往電第三〇二号ヲ以テ申進置ノ通り去一日張作霖ヲ往訪シ先ツ滿鉄沿線ニ於ケル我取引所ニ對シ奉天官憲ノ庄迫ニ付テハ此迄莫省長金融維持会代表等ニ詳細説明セル通ナルカ奉票價格ノ安定ヲ見サル限り日支商人ハ共ニ其

打撃ヲ被ムル次第ナリ故ニ双方協助ノ途ヲ講スヘキニ奉天官憲ハ金融維持会ノ名ニ於テ錢鈔先物取引ヲ禁止シ尚鉄嶺以外ノ各取引所ニ對シ特産先物ヲモ禁止セル不當ヲ責メタル処張ハ特産先物取引ヲ禁止セシコト全然無之右ハ何カノ誤伝ナラム現ニ過日自分ハ哈爾濱ニ於テ麦四百石ノ先物ヲ契約セシメタリ只錢鈔ノ先物取引ニ付テハ禁止セルモ實際如何ナル命令ニ基キ取締ヲ為シ居ルカ又現在ノ成績等ニ付テハ全ク承知シ居ラス依テ今夜九時ニ莫省長、商務会正副会長ヲ召集シ委細聴取ノ後明十月二日何分ノ回答ヲ貴官ニ致スヘシト云ヘルニ付錢鈔先物取引禁止トハ空賣売ヲ指スモノナラム然ルニ商人ハ先物取引ニ依リ資金ヲ調達シ以テ特産物ノ契約ヲ為ササルヘカラス若シ官憲ニ於テ錢鈔先物取引ヲ禁止スルハ之レ特産物取引ヲ禁止スルニ等シキ不當ノ舉ニシテ之レカ為我輿論ノ激昂不遑ト告ケタルニ張ハ貴方取引所ニ於ケル全部ノ錢鈔先物ヲ禁止スル意思ニ非ラスシテ貴說ノ通只空賣売ニ依ル賭博的行ヲ為ス謂フニ在ルノミナリト答ヘタリ本官ハ奉天官憲ハ曩ニ公定相場ヲ定メタルモ現貨交易ヲ僅ニ一日十萬元ニ限定シ尚金及現大洋ノ手持ヲ禁止スルハ滿州貿易ヲ破壊スルモノニテ其結果邦

商ノ被ル損害ハ特産物買入期ノ差迫ルト共ニ漸次増大スル

モノニシテ當業者ハ既ニ忍耐ノ極ニ達シ政府ニ逼リテ奉天官憲ノ横暴ニ對スル明確ナル対策ヲ要求シツツアリ貴方ニ於テ沿線各地取引所ノ錢鈔及特産物ノ先物取引ヲ禁止スルノ趣旨ニ非ストセハ明ニ之ヲ表示アリタシト迫レル処前記貴說ニ付テハ自分ハ僅ニ事情ノ半面ヲ知レルニ過キス故ニ先ツ現狀ヲ聴取シタル上何分ノ回答ヲ為スヘシ云々
右何等御參考迄ニ報告ス

本信写送付先 關東長官、長春、鉄嶺、安東、牛莊各領

事

六六八 十月七日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

奉天票問題ニ関シ張作霖ニ對シ要求条項交付ノ件

機密公第七六八号 (十月十二日接受)

大正十五年十月七日

在奉天

總領事 吉田 茂(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

奉票問題ニ関シ張作霖ニ對スル我方要求条項

拙電第三〇二号問題ニ関シ張作霖ハ去一日会谈ノ際省長及商務会正副会長ヲ呼出シ何分ノ処置ヲ協議シタル上翌二日回答スヘシト約シ乍ラ其後何等回答ナク日々支那側ニ回答督促セルモ日曜、祭日等ニ際会セル故力要領ヲ得サルニ付昨五日張作霖ニ宛テ金融維持会ノ錢鈔先物取引ノ禁止通電ハ日支特産商ヲシテ穀類出廻期ニ際シ金融調達ノ途ヲ失ハシムルモノニシテ其結果兩國國民ノ被ル打撃ノ莫大ナルヲ説キ予テ要求ノ通(一)金融取締條例ノ發布ナキコトヲ公表スルコト(二)金融弁法五箇条ノ即時撤廢(三)公定相場ヲ廢止シ若クハ右相場ニ依ル交易所ノ金票無制限交換実行ノ至急實施スヘキ旨書面ニ認メ右書面ヲ交渉員ニ交付シ置キタルカ更ニ右ニ基キ先方ノ回答ヲ促ス心得ナリ右一応報告ス

本信写送付先 關東庁長官、長春、鉄嶺、安東、牛莊各領事

六六九 十月十日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天票問題及ビ張作霖ニ對スル警告案等協議ノタメ旅順出張方請訓ノ件

第三〇八号 (極秘)

閑院宮隨行來奉セル兒玉閣東長官ニ九月四日付拙信木村亜細亜局長宛拙信所載松井少將ト会谈ノ次第ヲ述ヘ奉票問題ハ勿論警告案遂行モ今日ノ如ク出先陸軍側ト所見ヲ異ニシテハ面白カラス長官モ上京前軍司令官ト充分協議スル様勸告セル処今回長官ヨリ本官ニ旅順ニ來ル様希望シ來リ折柄芳沢公使來奉ノ答ナリシヲ以テ一旦斷リタルモ公使今十日北方出發ニ付本官ハ往復三日ノ予定ニテ今晚出發旅順ニ赴キタク御承認ヲ請フ松井モ軍司令官ノ命ニ依リ同様旅順ニ赴ク筈

六七〇 十月十六日(着)

在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天票問題等對東三省關係ノ全般ニツキ閣東
長官及ビ閣東軍司令官ト協議ノ件

付記 十月十三日奉天發連合通信

奉天票問題ヲ繞リ對滿政策ニ関シ協議ノ件

第三一六号

往電第三〇二号ニ関シ

去ル十一日旅順ニ閣東長官ヲ往訪シ奉天ニ於ケル現對支關

第二十四号 (亜)

奉天十三日發連合通信

○奉天票問題と滿州四機關の態度

奉天票問題に対する日本の滿州四機關(總領事館、閣東庁、滿鉄及び閣東軍)の態度は十一日閣東軍司令官官邸に於ける兒玉長官、武藤司令官吉田總領事会见協議の結果全く一致し吉田總領事は今朝歸奉した。閣東長官より奉天取引所長及び警察署長宛ての訓電によれば吉田總領事は同問題に關し支那側に対し近く更に抗議的警告を発すべく各機關は一致して之を援助し徹底的解決の方法を取る事となつて居ると。此の訓電に依ると吉田總領事は今後支那側との妥協的協定を廢し従來の方針に従ひ強硬に交渉を繼續するものと見られる。

十月十三日着

第三十四号 (亜)

奉天十三日發連合通信

○奉票問題に対する日本側の方針

奉票問題に対する閣東長官、閣東軍司令官、吉田總領事、張作霖氏顧問松井氏等会谈の結果日本側の方針一致を見たるは既報の通りであるが其の内容は結局權利義務の觀念を離れ此際經濟的見地から合理的に日支間の交渉を遂げ円滿

係ノ全般ヲ説明シ目下ハ全ク軍政時代ニアリテ所謂外交ナルモノ無ク支那側ニ對スル主張ヲ貫徹セントスレハ閣東庁陸軍滿鉄等在滿政府諸機關カ益々同一歩調ヲ取り一体トナリテ支那ニ當ルノ外無ク殊ニ目下軍閥ノ勢力盛ナルニ當リ理論ヲ以テ彼ヲ論シ難ク力ヲ以テ支那側ヲシテ正理正道ヲ歩ムヲ余儀ナクスルノ外ナシ此故ヲ以テ今日陸軍ノ協力ヲ特ニ要望セサルヲ得サル次第ヲ述ヘ長官ハ奉票問題ヲ一ニ取引所ノ取引ヲ制限若ハ中止スル等ノ作用ニ依リテ解決シ得ルト考ヘ居ルヤニ見ヘタルニ付奉票問題ハ斯ル單純ナル問題ニ非ス奉天軍ノ財政全局ニ関スル性質ヲ帶ヒ畢竟戰ヲ止メ財政建直ヲ考究スルニ非サレハ奉票問題ノ解決不可能ナル次第ヲ説明シタル後軍司令官々邸ニ長官ト同行シ以上同様ノ趣意ヲ軍司令官ヘ述ヘ置キタリ松井少將同席セリ長官軍司令官トノ会合ニ付近着内地新聞ニモ各種ノ報道有ルヲ以テ為念電報ス

(付記)

十月十三日奉天發連合通信

奉天票問題ヲ繞リ對滿政策ニ関シ協議ノ件

解決を図る事及び暴落の根本原因は要するに張作霖氏の軍事的行動に帰着するものであるから内政干渉の範圍を超へぬ程度で支那側の整理を促す事を骨子としたものらしい。此の決定された方針は北滿視察を了へて再び來奉する芳沢公使とも打合せの上更に政府に請訓した上支那側との交渉を再開するものと見られている。

十月十三日

第三十九号 (亜)

奉天十三日發連合通信

○對滿政策協議

十一日閣東軍司令官官邸に於ける兒玉長官、武藤軍司令官、吉田總領事の会合に依り奉票問題の協定を見たことは既報の通りであるが更に探聞する処に依れば右会合の目的は單に奉票問題のみではなく寧ろ對滿政策の根本義に就き意見の交換を行ひ何れも一致した具体案を得たものの如く右は極秘に付せられている。

尚本日ハルピンより來奉した芳沢公使は本日午後二時三十分より在留邦人有力者を招き意見を聴取し更に吉田總領事と共に松井顧問を招き右の重要具体案に就き協議の筈である。

次で午後五時より楊宇霆氏の訪問を受け意見の交換を為し六時半より日本側有力者及張作霖氏以下支那側幹部を招き晚餐会を開催すると。

十月十三日着

六七一 十月二十四日

庵谷(忱)満洲商議連合会長ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天票問題ニ関スル満洲商業會議所連合会ノ

決議電請ノ件

十月二十三、四日ニ亘リ奉天票問題ニ関シ

満洲商業會議所連合会ヲ開キ左ノ決議ヲナシタリ此段電請ス

第一、我カ金融機関ノ発行ニ係ル金銀券ノ南北満州ニ於ケル使用及交換ノ自由ヲ保障セシムルコト

第二、我カ取引所ノ取引ニ影響ヲ及ボスヘキ何等直接間接ノ制限ヲ加ヘサルコト

第三、通商貿易及殖産工業其ノ他一般邦人ニ関係アル交渉

案件ハ此際誠意ヲ以テ迅速ニ解決セシムルコト

理由

奉天票ノ暴落ハ張作霖氏ノ軍事行動継続ノ結果ニシテ其ノ原因自ラ明カナリ然ルニ支那官憲ハ之カ吊上策トシテ硬貨

ニ引替ヘノ責任ナク且為替決済ノ能力ナキ奉天票ノ使用ヲ市場ニ強要シ二十有年余間内外為替決済資金トシテ普遍的ニ流通セシムル我カ金銀券ヲ市場ヨリ駆逐セントシ金融取締内訓ヲ発シテ金銀券ノ手持ヲ禁シ或ハ金融弁法五箇条ヲ発シテ各商店ノ資本若ハ商取引ヲ悉ク奉天票本位トシ他ノ貨幣使用嚴禁ノ舉ニ出テ更ニ進シテハ南滿ニ近クハ北滿ニ人為的不當ノ公定相場ヲ設ケテ金銀券トノ交換ヲ不可能ナラシム併カモ此ノ間無辜ノ民ヲ殺戮シテ暴威ヲ逞フシ或ハ金融維持会ヲ設ケ相策心シテ暴令ノ徹底ニ力メ種々ノ手段ヲ弄シテ自国民ヲ恐怖セシメ陰ニ陽ニ我カ取引所ノ廃滅ヲ企ツル等ノ暴挙ヲ敢テスルニ至レリ我カ在留民ハ曩ニ奉天票ノ慘落ニ依リ幾千万円ノ損失ヲ被リ今又一般取引ノ障害ニ遇ヒ日滿貿易ハ全然杜絶シ我カ殖産工業ハ其ノ根底ヨリ破壊セラレ存亡ノ岐路ニ彷徨シツツアリ特ニ注目スヘキハ時正ニ特産物ノ出回期ニ際シ東三省官銀号ハ金銀券取得ノ一方策トシテ奉天票ニ依リ多量ノ特産物買占ヲ行ヒ彼我ノ商民ニ甚大ノ打撃ヲ与ヘツツアリ如斯ハ畢竟支那完憲ニ於テ我カ国憲ヲ輕侮シ吾ト親善協調ヲ保ツノ誠意ナキ結果ニシテ實ニ奉天票問題ニ止ラス近年彼我關係ノ諸問題ハ悉

ク停頓シテ解決ヲ見ル能ハス邦人事業ハ擁塞シテ進展ノ途ナキ状態ニ在リ若シ万一現状ヲ以テ推移センカ真ニ重大ノ事態ヲ招致スルハ蓋シ火ヲ見ルヨリ明カナリ而シテ我等ノ要求タルヤ元ヨリ多岐ニ亘ルトイヘトモ其ノ最モ急速解決ヲ要スルモノハ所掲ノ如ク我カ金融機関ノ発行ニ係ル金銀券ノ南北満州ニ於ケル使用及交換ノ自由ヲ保障セシムルコト其ノ一ナリ我カ取引所ノ取引ニ影響ヲ及ボスヘキ何等直接間接ノ制限ヲ加ヘサルコト其ノ二ナリ通商貿易及殖産工業其ノ他一般邦人ニ関係アル交渉案件ハ此際誠意ヲ以テ迅速ニ解決セシムルコト其ノ三ナリ以上ノ各項ヲ實現スル為支那官憲ニ対シ嚴重交渉セラレタキコト之ナリ

六七二 十月二十五日(着)

在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

趙欣伯、張作霖ノ代理トシテ非公式會談ノ続

行ヲ希望シタル件

付記 十月二十四日奉天發連合通信

張作霖ヘノ警告ニ関スル件

第三二七号

(六七三文書)
往電第三二六号ニ関シ

五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉 六七二

趙欣伯今二十五日来訪張作霖ハ本官トノ會談後直ニ莫省長ヲ呼出シ協議スル処アリ次テ自分ヲ呼出シ張ノ代理トシテ本官ヲ尋ネ更ニ協議スル様命ヲ受ケタルカ別ニ確答ヲ齎サスシテ協議スルモ無意義ナレハ昨日ハ松井少將ト相談ニ暮ラシタル様ノ次第ナリ莫省長ハ兎ニ角更ニ非公式ニ會談商議セラレタク自分モ其間ニ斡旋スヘク猶楊宇霆ニモ會談アリタシト言ヘルニ付莫省長トノ會談固ヨリ辞スル処ニアラス張トノ會見後一応楊宇霆ニ會談始末ヲ告ケ其意見ヲ確メタル後帝國政府ニ電報報告ノ考ニテ一昨日以來其所在ヲ求メタルモ終ニ會見ノ機會ヲ得ス何レ其内會談致スヘント答ヘ置キタリ

(付記)

十月二十四日奉天發連合通信

張作霖ヘノ警告に關する件

第二十二号(垂)

奉天二十四日發連合通信

○吉田総領事の警告

吉田総領事は河野副領事を伴ひ二十三日午後張作霖氏を訪問し奉天票問題に關し
一 軍事を熄め文治本位とし保障安民を主持する事

二 公定相場を撤廃する事

三 金銭交換の自由を認むる事

等を内容とする嚴重なる警告を発した。張作霖氏は恰かも近く入京の準備を遂げつつあつた折柄とて警告に接し相当昂奮したものゝ如く省長莫德惠顧問趙欣伯博士其他を臨時召集し今晚三時迄種々協議する処あり趙博士は本日張作霖氏の意を体し吉田総領事を官邸に訪問答する事となつて居る。

十月二十四日着

第三十二号(亜)

奉天二十四日發連合通信

○日本側警告に対する支那側の意向

奉天票問題に關する吉田総領事の警告に対し支那側は本日協議の結果日本の警告の要旨たる第一、軍事行動を止め民治に専念し保境安民を本意とせよとの点に就ては其の主旨は極めて賛成であり且斯くあるを希望し既に芳沢公使と張作霖氏等の会見に際しても充分意のある処を表明したか支那現時の状態よりして絶対に戦争せぬと保証し難い事情にあり第二、第三の公定相場撤廃、金銀交換の無制限自由保証も現在日支間の主張が兩極端に走り此の儘外交的交渉に

移る時は勢ひ衝突を免れぬから此の際右警告に対する確な回答を為さざるを可とすと云ふに決定し兩者間の意見の接近を図り解決点に到達せしめんとの方針を執る事となつた。此の意味に於て趙欣伯博士は二十五日吉田総領事と莫德惠氏との会見を斡旋し吉田、莫德惠、趙欣伯三者間に忌憚なき意見の交換を遂げ兩者の接近を図る筈であると。

十月二十四日着

六七三 十月二十六日(着)

在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉天票問題ニ関スル張作霖トノ会谈内容報告

ノ件

第三二六号

爾來奉票問題ニ関シ支那側ト交渉ヲ続ケ來レル処先方ノ態度遂ニ鮮明ヲ欠ケルニ依リ一昨二十三日張作霖ヲ往訪シ最近我商人カ現大洋二千元支那警察ノ為メニ没収サレ(往電第三一四号参照)又滿州米輸出護照發給ヲ故意ニ遅延シ我商人ニ損害ヲ加ヘツツアル等ノ事實ヲ述ヘ交渉ニハ当局アリ貴下ヲ勞スルノ意ニハアラサルモ斯ル小問題ヲ惹起シテハ徒ニ邦人ノ反感ヲ唆ルノ愚ヲ言ハントスルノミ更ニ奉票

問題ニ付未タニ何等ノ回答ナク自然帝國政府モ貴下ノ誠意ヲ疑フニ至ルヘシト言ヘルニ張ハ再ヒ既往我ニ對スル好意ノ數々ヲ述ヘ奉票ノ価格ハ三省民ノ福利ノ為メニ維持セサルヲ得ス元來貴方ハ金建ナレハ奉票ノ騰落ハ無關係ナラント言ヘルニ付本官ハ先ツ其ノ蒙ヲ弁シタル後貴下カ省民ノ利益ノミ主張セハ我亦邦人ノ為メニ主張セサルヲ得ス既ニ國交ノ存スル以上自國ノ利害ノミ主張セハ却テ自ラ損フニ至ルヘク貴我協力シテ此ノ難局ヲ救ハント欲ス是レコソ交渉ニ力ヲ尽ス次第ナリト言ヘルニ日本側ハ奉票ノ下落金票ノ騰貴ニ依リテ自ラ利スル所モ大ナラン元來三省ニ於ケル金票ノ流通ハ寺内内閣ノ要望ニ依リ自分一個ノ裁量ニ依リテ許可セル処朝鮮銀行、滿鉄等金票ヲ使用シ奉票暴落ニ依リテ利スル所多シト聞ク本年三省ノ收穫減少、民食ノ欠乏財政亦窮迫ノ折柄奉票救済ノ為メ朝鮮銀行ハ金票ノ貸出ニ応セサルヘキヤト切り出セルニ付本官ハ金票ノ流通ニ貴下ノ許可ヲ要セシ筈ナシ又邦人ニ損害ヲ加ヘ帝國政府ノ反感ヲ挑発シツツアル現状ニ於テ日本側銀行カ貴方ニ好意ヲ寄スヘキニ非ス抑帝國政府ハ奉天政府ノ前途ニ特ニ憂フル所アリ本年四月誠ヲ尽シテ貴下ニ忠言ヲ致シタル所以ハ貴下

ノ為メニ深く画レハナリ爾來稅政日ニ募リ北支那一帶怨嗟ノ声ニ滿ツ悉ク貴下ノ知ル所ニ非ルヘキモ貴下ノ名ニ於テ暴政ノ行ハルナリ内治ハ無理ニセヌカ其ノ常道ニシテ袁世凱ト雖モ人心ヲ失ヘハ倒レサルヲ得ス貴下今ニ於テ遠ク慮ルナクハ民遂ニ去ルヘク切ニ自省ヲ望ムト言ヘルニ張曰ク今ヤ人心惡化シ赤化ハ三省ニ臨ミ全ク乱世ノ感アリ此ノ難局ニ処シテ帝國政府ノ奉票ニ関スル要望ハ之ヲ聽從スル能ハスト斷言セルニ付本官ハ然ラハ更ニ言フヘキコトナシ貴下ノ所言ハ直ニ帝國政府ニ報告スヘク此ノ上ハ帝國政府自ラ決スル所アラント言ヒ放テルニ張ハ再ヒ前言ヲ繰リ返シタルカ本官ハ答フルナクシテ別レタリ

北京へ転電セリ

六七四 十月二十八日(着)

在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

奉票問題解決策ニツイテ莫省長ニ小野前大蔵

次官トノ会見ヲ勸告ノ件

第三二八号(至急)

往電第三二七号ニ関シ

楊宇霆ハ頻ニ張作霖莫省長ニ説キ一面趙欣伯ハ本官ニ莫ト

懇談ヲ希望セルヲ以テ昨二十七日莫ニ面談セル処莫ハ平常ト甚タ異ナル穩容謙遜ナル態度ヲ以テ応接シ奉票問題解決策ニ付援助ヲ求ムルノ意ヲ述ヘタルヲ以テ本官ハ本件解決案ニ畢竟財政ノ根本ニ触レサルヲ得ス財政ノ現状ヲ公開シ若ハ帝國政府丈ニテモ内示スルノ決心有リヤ少ナクモ財政専門家カ東三省財政状態ヲ諒解シ得ル丈ノ組織ヲ完成シ滿州財界ノ不安ヲ除クヲ要ス我カ専門家ヲシテ其ノ組織丈ニテモ立タシメテハ如何即座ノ思付ナカラ近ク前大蔵次官小野義一歐洲ヨリ当地通過ノ筈ナリ奉票問題ノ解決ヲ遅延セシメ難キ事情モ有レハ不取敢先ツ同氏ニ付意見ヲ尋ネテハ如何ト申聞ケタル処莫ハ直ニ賛意ヲ表シ甚タ結構ナル思付ニ付左様願ヒ度ト言ヘルニ付尤之レ全然即座ノ思付ナレハ小野カ承諾スルヤ否ヤ引受ケ難キモ一応本官ヨリ頼ミ見ルヘシト申添ヘ置キタリ

右ハ警告案別紙第二ニ入ルノ階梯トシテ小野ヲシテ財政組織ノ大綱ヲ説キ財政顧問ノ必要ヲ以テ支那側ニ説得セシメ度希望ニ出スル次第財政顧問ノ義ハ先達来楊宇霆ニハ松井少將ヨリ説得スル処有リ楊カ賛成シ居ル結果莫カ即座ニ賛成ヲ表セルモノナルヘシ卑見御拝納ヲ得ハ浜口内相辺ヨリ

六七六 十月二十九日

在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

莫省長ノ取引所撤廃要望ニ関連シ専門家派遣

方詮議稟請ノ件

第三三一号

(十月三十日接受)

往電第三三〇号ニ関シ

莫省長ハ取引所ノ弊害ヲ述ヘ東三省ノ民度開ケス取引所有ルカ為ニ射倖心ヲ増長シ之カ為メニ産ヲ失フ者少カラサルノミナラス奉票ノ乱上下スル場合ニハ益々之ヲ煽ルノ弊アリ支那側ハ此弊ヲ認メテ城内交易所ヲ撤廃セル所日本側取引所ハ適々其撤廃ノ為メニ却ツテ今日ノ盛大ヲ致スニ至レリトテ取引所撤廃ニ付頻リニ希望スル所アリ曾テ郭松齡カ取引所ニ懸リテ五百萬元ヲ失ヒ張作霖カ之ヲ救ヒ僅カニ破産ヲ免カレル事ヲ得タリト種々ノ打明話ヲモナセリ本官ハ取引所存置ノ必要ト遽ニ之ヲ廃止シ難キ理由トヲ説キ殊ニ特産出回リニ近キ奉天票相場乱高下スル此際ニ於テ特産先物売買ヲ契約スレハ一面取引所ニ買繋キ売繋キヲナスハ已ムヲ得サル次第ヲ述ヘ何等明ラカナル理由ノ存セサル限リ之カ停止ヲ命シ難キモ取引所ノ取引方法及ヒ組織等ニ付

哈爾賓領事館氣付小野ニ宛テ然ルヘク至急電報申聞ケル様致シ度ク又小野ヲ不適當ナリト考ヘラルルニ於テハ適當ノモノヲ御指名ヲ請ヒタク支那側ヘハ前記ノ保留ニ基キ指名替ヲ致スヘク小野ハ莫斯科ヨリ昨今哈爾賓着ノ事ト思ハル

六七五 十月二十九日

在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

莫省長ガ公定相場ハ励行シ居ラザル旨釈明ノ

件

第三三〇号

往電第三二八号ニ関シ

莫省長所謂公定相場ハ現ニ励行シ居ラサル旨ヲ述ヘ元来公定相場ナルモノハ商人団体タル金融維持会ノ要望ニ応シテ之ヲ承認セルニ過キスシテ官自ラ設定セルニ非ス從テ右ハ撤廃ハセサルモ飽迄モ励行スルノ意ナキ旨弁解ト共ニ自発的ニ励行セサル事ニナレルノ意ヲ述ヘタリ市中ノ現状ニ當テ見ルニ兩三日来大兩替店ノ大口交換ハ未タ自由ニ開始セラレサルカ如キモ小兩替店ノ小口引換ニハ不自由ナク交換開始シツツアリ取引所錢鈔取引モ出来高漸次増加ノ傾向ヲ生シツツアリ

テハ喜ンテ研究改善ノ方法ヲ講スヘシト言ヒ置キタリ

奉天取引所撤廃ニ付支那側ハ張作霖以下常ニ我取引所ヲ無視シ頻リニ之カ撤廃ヲ要望シ居リ無下ニ拒絶スルモ如何カト右ノ通一応ノ挨拶ヲナセル次第ナルカ從來当方モ關東庁ニ對シ取引所ノ取引改善支那側トノ關係上將又奉票乱高下ノ際ニ於ケル錢鈔取引ノ實際ヲ研究ノ為専門家掛官派出ヲ希望シ八月中坂谷事務官其他ヲ出張セシメタルモ其取調ヘノ結果ニ付テハ未タ聞ク所ナシ本件ニ付關東長官ノ態度ヲ忌憚ナク批評スレハ取引所問題ヲ以テ支那側トノ關係ヲ独占シテ何等カ支那側ヲ操縦セント欲スル跡アリテ政略ヲ離レ取引所ノ取引改善ノ意味ニテ調査セントスル本官ノ希望ヲ全然滿タササル嫌ヒアリ依テ寧ロ此際外務省ヨリ商租權ニ依頼シ取引所ニ關スル専門家ヲ派遣セラレ實地ニ付テ公平ナル調査ヲナシ支那側ノ苦情モ聞キ彼等ノ要望ニ満足ヲ与フルト共ニ之ヲ機會トシテ取引所自身ノ基礎ヲ堅固ニシ其取引ノ方法改善ノ途ヲ講スル処置ニ出テタク何分ノ儀至急御詮議ヲ請フ

六七七 十月二十九日

在ハルビン天羽総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉 六七八

ハルビン商務会ノ日本金票排斥ノ伝單配布ニ

ツイテ報告ノ件

第二八一号

往電第二七一号ニ関シ

其ノ後銀相場ノ騰貴ニ連レ大洋票モ騰貴シタル為メ支那官
憲ノ大洋票取引ニ対スル干渉ハ止ミタルモ当地商務会ハ数
日前外國貨幣(事實ハ日本金票)排斥ノ伝單ヲ配布シタリ
右ハ張煥相等官憲ノ指金ニ出テタルモノノ如ク大洋票價格
維持以外新ニ紙幣ヲ増發セントスル為メナルヤニ察セラル
成行極力監視中

北京へ転電シ奉天、長春へ暗送セリ

六七八 十一月二日

在ハルビン天羽総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

円貨排斥ニ関シ公文ヲ以テ張煥相ノ注意ヲ喚

起シ、更ニ蔡道尹ニ聞キ質シタル件

第二八五号

往電第二八一号ニ関シ(外國貨幣排斥ノ伝單配布)

現在ニ於テハ円貨ヲ排斥スル事困難ナルモ其ノ成リ行キハ
我方ニトリ重大ノ關係アルカ故ニ三十日公文ヲ以テ張煥相

六七九

七〇〇

ノ注意ヲ喚起シ更ニ十一月一日及二日張煥相及蔡運升ト宴
会ニ落合タル機会ニ本件ニ対スル意向ヲ聞キ質シタル処蔡
道尹ハ大洋票相場維持ノ為官憲ノ措置ニ付張長官ヨリ相談
有リタルモ先般大洋票ノ下落ハ一般銀相場ノ低落ト日本貨
幣ノ世界の騰貴トニ基因スル事明白トナリタルカ故ニ官憲
ノ干渉ハ差止ムヘク況ンヤ円貨排斥ノ如キハ夢想タモセス
ト弁解シ張長官ハ商務總會ノ伝單ニテ北滿ニ於ケル外貨ヲ
排斥シ大洋建値ヲ懲憑シタルハ勞農側ニ於テ「チエルボネ
ツ」貨幣ノ流通ヲ計画シ東支鉄道ニ於テ依然留ヲ建値トナ
シ居ルカ故ニ之ヲ阻止センカ為ニテ円貨排斥ノ如キハ毫モ
考慮シ居ラス尚商務總會ニ付取調中ナレハ追テ回答スヘシ
ト弁解シ居タリ右不取敢

在支公使へ転電シ奉天、長春へ暗送セリ

六七九 十一月五日(着)

在奉天吉田総領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

財政調査ノタメ財務官派遣方ノ趙欣伯ノ希望

ニツキ報告ノ件

第三三六号

往電第三三五号ニ関シ

昨三日趙欣伯楊宇霆莫省長トノ協議ノ結果ヲ以テ來訪シ
(一)財政調査ハ帝國政府派遣ノ財務官トシテ公然調査ニ從事
セシメ度
(二)調査後借款其ノ他ノ財政的援助ヲ与フルノ諒解ヲ得タシ
ト希望シ

帝國政府派遣ノ財務官トシテ公然調査ヲ開始スレハ其ノ調
査ノ性質明瞭ニシテ却テ外間ノ疑惑無ク内密調査ヲ委託ス
ルトナレハ官銀号其ノ他内部ノ疑惑ヨリ却テ種々外間噂ノ
原因ヲナスヘク財務官タル名称ヲ以テ公然來ラルルハ単純
ナル張作霖ニ於テ其ノ信用モ自然厚カルヘク又單ニ財政調
査ノミトアリテハ支那側ハ財政ノ内情ヲ打明ケルニ躊躇ス
ヘク現ニ莫省長ハ最後迄固ク此ノ点ニ付異議ヲ唱ヘ居リタ
レハ調査ノ遂行六ヶ敷ノミナラス張作霖ヲ説得スルニモ甚
タ困難ナル事情有リ是非調査後ニ於テ財政的援助ヲ与ヘラ
ルル様諒解ヲ得タシトノ楊宇霆ノ意見ナリト言ヘルニ付本
官ハ之ニ対シ一応尤モナルモ元來本件ハ支那側ニ財政ノ大
綱ヲ諒解セシメントスルノ趣旨ニ出テ莫省長ニ説ク処有リ
タル次第ナルカ楊宇霆ノ意見ハ本官ヨリ一步進ミタル考案
ナリ依テ即座ニ是非ノ回答ハ出來サルモ武内ヲ財務官トシ

五 奉票暴落問題等ニ関スル奉天省政府トノ交渉 六八〇

テ当地派遣ハ公私ノ關係上容易ナラス帝國政府ノ囑託若ハ
奉天政府財政顧問トシテ帝國政府ヨリ推薦スルハ或ハ可能
ナラン又借款ヲ前提トシテ帝國政府カ顧問ヲ推薦スルカ如
キハ事情之ヲ許サス然レトモ既ニ顧問ヲ推薦スルニ同意ス
トナレハ調査後適當ナル財政計画立ツニ於テハ必要ナル財
政的援助ヲ考慮スヘシトノ程度ニ於ケル諒解ナレハ帝國政
府ノ同意ヲ得ヘキカ兎ニ角一応具申シテ回訓ヲ待タルト申
聞ケ置ケリ

六八〇 十一月五日

幣原外務大臣ヨリ
在奉天吉田総領事宛(電報)

内地ヨリ専門家ヲ派遣スルコトハ關東庁側ノ

意向ヲ明ラカニシタル上措置スル旨回電ノ件

付記一

十二月十八日奉天票安定問題ニ関スル出淵次
官、木村亞細亞局長ト兒玉橫浜正金銀行頭

取、武内取締役トノ會談要領

二

十二月十八日兒玉正金銀行頭取ヨリ出淵外務
次官へ手交ノ奉天票ニ関スル所見

第一六六号

貴電第三三一号ニ関シ

七〇一

付屬地内取引所ニ対スル支那側ノ苦情ハ我方ニ於テ場外取引ノ取締ヲ嚴重ニシ折角弊害ノ抑制ニ努メ居ル今日此ノ上耳ヲ藉スヘキ筋合ニアラサルモ先方説得ノ為メ必要ト認メラルルニ於テハ貴官ヨリ関東長官ニ対シ篤ト事態ヲ説明シテ至急調査資料ノ送付ヲ求メラレタク内地ヨリ専門家ヲ派遣スルコトハ貴方ニ於テ同長官ト十分打合ヲ遂ケラレ大体関東庁側ノ意向ヲモ明カニシタル上更メテ何分ノ措置ヲ執ルコトト致シタシ

(付記一)

奉天票安定問題ニ関スル出淵次官木村亜細亜局長

ト児玉正金頭取武内取締役トノ会談要領

本件ニ関シ大正十五年十二月十八日出淵次官、木村亜細亜局長ト横浜正金銀行児玉頭取武内取締役ト種々懇談ノ次第アリ次テ同二十一日児玉頭取木村亜細亜局長ヲ来訪シ更ニ意見ヲ交換スル所アリタルカ本件東三省財政整理奉天票安定問題調査立案ノ為メ専門家ヲ派遣スル事ニ関シテハ当初正金側ニ於テハ相当難色アリタルヤニ認メラレタル処右理由トシテ児玉頭取ノ所説ヲ綜合スルニ大要左記三点ニ帰着スルカ如シ

一、若シ本件調査立案ニ当リ正金銀行ノ名ヲ表面ニ出スコト面白カラサルニ於テハ右調査立案ニ当ル専門家ハ例ヘハ外務省囑託ノ名義ヲ以テシ正金銀行トハ何等關係ナキコトトスルノ方法モアルヘク要スルニ其ノ経歴手腕等ニ於テ我国ニ權威アル専門家ヲ派遣シ得ルニ於テハ形式ハ如何様ニモナルヘク又場合ニ依テハ直チニ武内氏ノ如キ重役カ出馬セス不取敢其ノ補助者若クハ先驅ノ意味ニテ他ノ經驗アル若手ヲ派遣シテ本件調査立案ヲ為サシメ其ノ結果ニ関スル具体案樹立ノ可能性アリヤ否ヤ或ハ更ニ有力ナル専門家ヲ派遣スルヲ得策トスルヤ否ヤヲ考慮スルコトトスルノ方法モ無キニ非サルヘシ

加之本件調査ニ当ル専門家ノ問題ト東三省財政顧問ノ問題トハ全然別問題ニシテ外務省トシテモ武内氏カ奉天ニ赴キ其ノ儘顧問トシテ同地ニ駐マラルコトヲ希望スルモノニアラス先ツ武内氏ノ如キ有力ナル専門家ヲシテ調査立案セシムルニ於テハ其ノ結果タル具体案ノ実行ニ当ルヘキ顧問ノ人選ニ付テハ其ノ後更メテ考慮スルコトトスルモ差支ナキ次第ナリ

二、奉天票ノ安定策ハ遂ニ之ヲ求ムヘカラストノ説ハ或ハ

一、此ノ際正金銀行ノ重役カ奉天ニ赴キ東三省ノ財政整理殊ニ奉天票安定ノ問題ニ関スル調査立案ニ当ルニ於テハ正金銀行カ其ノ重役ヲ派シテ調査立案ヲ為サシムルト言フ事實ノミニテ直チニ奉天票ノ価格ニ變動ヲ来シ却テ面白カラサル結果ヲ招来スヘシ

二、正金銀行トシテハ支那殊ニ東三省ノ現状ニ顧ミ此ノ際奉天票安定ニ関スル具体案ハ到底立チ得サルモノト認メ居ル次第ナル処仮リニ何等方法アリトスルモ之ヲ実行スル為ニハ巨資ヲ要スヘク又支那ノ現状ニ於テ銀行制度兌換制度等ノ確立ヲ期スルコトハ不可能ナリ

三、支那ニ於ケル地方的貨幣ノ価格ノ變動ハ何レノ時ニ於テモ免レサル所ニシテ日本ノ小商人ハ別トシ支那農民並商人ハ自衛上ノ必要ト永年ノ經驗ニ基キ夙ニ右貨幣価値ノ變動ニ因ル危険ヲ防ノ方法ヲ講シ居リ又日本人ニテモ大資本家並大企業家ハ何レモ同様ノ方法ヲ講シツアル次第ニテ旁々奉天票ノ變動ハ國際上爾ク我対満貿易ニ対シ重大ナル影響ヲ及ホスモノニ非ス現ニ奉天票ノ価格激変以來モ我対満貿易ハ着々發展シツツアリ

右正金側意見ニ対シ出淵次官並木村局長ヨリ大要

然ラム、然レトモ今ヤ支那側ニ於テ折角誠意ヲ披瀝シテ日本側ノ協力ヲ求メ来リ之カ為ニハ平素外部ヨリ到底窺知シ難キ東三省ノ財政並金融状態ノ内部ヲ開示シテ調査立案ノ材料ヲ提供セムトノ態度ニ出テツツアル次第ナルヲ以テ先ツ我方専門家ニ於テ右材料ニ基キ充分調査研究ヲ遂ゲ其ノ上ニテ安定策無シトノ断案ニ到達スルモ遅カラサルモノト思考ス外務省トシテモ強テ亜細亜局私案所載ノ如キ具体案ノ作成セラルコトヲ期待スルモノニハ非ス若シ充分調査研究ノ結果遂ニ奉天票安定ノ方策無シトノ結論ニ到着スル場合ニ於テハ右結論ヲ得タル事夫レ自身カ今後政府ノ方針確立上有益ナル材料トナルヘキノミナラス支那側ニ対シ忠告乃至警告ヲ行フ上ニモ將又一般ヲシテ納得セシムル上ニモ充分ナル効果アリ

三、前記(三)ニ関シテハ滿州方面ニ直接利害關係ヲ有スル本邦貿易業者並企業家等ハ悉ク奉天票ノ動揺ヲ以テ我対満貿易ニ悪影響ヲ及ホスモノトシテ政府殊ニ外務省ニ対シ救済策樹立方ヲ迫リ居ル次第ニテ從テ仮リニ正金側所説ノ如クスル惡影響ナシトスルモ政府トシテハ予メ何等充分ナル調査研究ヲ遂クルコトナク漫然惡影響ナシトノ断

案ヲ提ケテ之等救済方ヲ迫ルモノヲ説破スルヲ得ス正金銀行トシテモ亦今直チニ頭取ノ意見トシテ斯ル結論ヲ以テ彼等ニ臨ム事ハ同様躊躇セラルルコトナルヘク旁々仮リニ右断案ニシテ真ナリトスルモ先ツ有力ナル専門家ヲ派シ調査研究ノ上之ヲ立証スルノ必要アリ

四、尚正金側ニ於テハ財政整理資金トシテノ千五百万円乃至二千万円ノ借款ヲ以テ純然タル借款ト思考シ懸念ヲ懷キ居ラルルヤニ認メラルル処右資金ハ滿鉄東亜勸業及大倉組ニ於テ利権獲得ノ代償トシテ支那側ニ与ヘムトスルモノニシテ普通ノ借款トハ大ニ趣ヲ異ニス故ニ仮リニ東三省財政整理並奉天票安定ノ具体案成立ニ至ラサルカ或ハ右具体案ハ成立スルモ支那側之ヲ実行セサル場合ニ於テモ本件借款ハ何等我カ方ノ損失トナルモノニハ非ス即我カ方ニ於テハ本来利権ノ代償トシテ支那側ニ交付セサルヘカラサル資金ノ内其ノ一部ヲ東三省ノ財政整理乃至奉天票安定ノ資金ニ振向ケシメ日支双方ノ利益ヲ図ルト共ニ此ノ機ニ於テ諸種ノ懸案ヲモ一併解決セムトスルモノニシテ政府ノ重キヲ置ク所效ニ在ル次第ナリ

以上外務省側説明ニ対シ兎玉頭取ハ委細了承ノ旨ヲ述ヘタ

ノ政情財政状態並ニ奉天票ノ現情ニ照シ極メテ至難ノ業デアル、シカモ一度此レニ手ヲ染テ予期ノ効果ヲ挙げ得サルニ於テハ其ノ害毒ヤ現在ノ不安定ニ比シ更ニ甚シキモノガアルデアラウ、故ニ成功ノ確信アルニアラサレバ決シテ関与スベキデナイト思フ

奉天当局ガ奉天票ノ安定ヲ目的トシテ東三省財政状態ノ調査ヲ吾ガ方ノ専門家ニ委スル事ハ至極結構デアル、定メテ誠意モアルデアラウガ要ハ行詰マリタル現時ノ財政状態ニ於テ借款ヲ獲ントスルニアル事ハ疑ヲ容レナイ、從テ借款ヲ獲ルニ必要ナル間ハ調査ヲ委スルデアラウガ此レヲ經過スレバ調査ヲ委スル必要ガナクナル、而シテ終局ノ目的タル奉天票安定ニ成功セストスルモ財政ノ内狀ヲ知ル丈ノ利益ハアルトノ議論モアルガ恐ルル所ハ種種ノ条件ガ完備シテ後着手スルニアラサレハ借款ダケガ残り、調査モイイ加減ニ了リ奉天票安定ニ何等貢獻セズシテ却ツテ一層動揺ヲ来タシ畢竟得ル所ヨリ失フ所ガ多イ事トナル

二、奉票安定ノ問題ハ要スルニ貨幣価値維持ニ関スル世界的原則ヲ無視スル訳ニハ行カヌ即チ其ノ普通ノ方法トシ

ル上然ラハ正金銀行トシテハ不取敢支那ノ帳簿並支那語ニ精通シ且充分経験アル支配人若クハ副支配人級ノ人物ヲ選任シ之ヲ先驅或ハ斥候ノ意味ニテ東三省ニ派遣シ支那側提出ノ材料ヲ基礎トシテ調査セシムル事トスヘキ処夫レニテ差支ナキヤト質ネタルニ付

木村局長ハ本件ニ関シテハ當ノ責任者タル吉田総領事トモ協議シタルカ同総領事モ右先驅者ノ背後ニハ事情ニ依テハ直チニ奉天ニ呼寄せ得ル有力ナル専門家アル事ヲ支那側ニ香ハスニ於テハ支那側モ誠意ヲ以テ材料ヲ提供スヘシトノ意見ナルニ付右御含ニテ取急御人選煩度ト答ヘ

結局先ツ外務省側ニ於テ支那側ト交渉ノ上前記所謂先驅者ノ奉天ニ赴クヘキ時期等ヲ定メ其ノ旨正金銀行へ通告スルニ於テハ正金側ニ於テモ右ニ間ニ合フ様人選ヲ了スル事トナリタリ

(付 記 二)

十二月十八日兎玉正金銀行頭取ヨリ出淵外務次官へ手交ノ奉天票ニ関スル所見

一、奉天票ヲ安定セシムルヲ得バ滿州經濟上誠ニ好都合デアル事ハ多言ヲ要サナイ然シナガラ此ノ事タル目下滿州

テ適當ナル兌換準備ヲ有スルコトヲ必要トスル而シテ其ノ割合ハ政治上、經濟上基礎強固ナル国ニ於テ且發行銀行ノ信用完全ナル場合ニ於テ四割乃至六七割ノ現金ヲ必要トスル(其ノ幾分ハ在外為替資金ニテモ宜シ)奉天票ノ場合ニハ現大洋若クハ上海ニ於ケル為替資金ヲ有スルコトヲ必要トス然ルニ現時ニ於テハ無一物デアル試ミニ此準備ヲ新設セントスルニ例ヘバ奉天票流通高ガ三億アリトスレバ目下ノ相場ニテ其ノ実価六千万弗デアル半額準備シテモ三千万弗ヲ必要トシ特ニ目下ノ如キ政治上經濟上乱脈ナル非常ノ際シカモ發行銀行信用皆無ナル場合到底此ノ金額位ニテハ全然見込立タヌ、シカモ流通高ハ恐ラク遙カニ夫レ以上ナリト思ヘバ益々六ヶ敷キコトデアル

三、此ノ際應スル借款總額千五百万円トスルモ相応ノ部分ヲ奉天当局ガ自由ニ使用シ得ル事ヲ要スルデアラウ其ノ全部ヲ準備ニ充當スル事不可能ナルヤ勿論ニシテ然カモ借款全部ノ金額ヲ一時ニ交付スル事モ困難デアルダラウカラ準備ニ十分ナル資金ヲ此ノ財源ヨリ得ル事ハ六ヶ敷イダラウ

四、奉票ノ安定ヲ期スルタメニ必要ナル準備ヲ調達スル事既ニ困難ナルニ於テハ奉天当局ガ臨時増発ヲ希望スル場合ニ其ノ準備ヲ提供セシムル事不可能ナル事ハ明瞭デアル

五、戦費ヲ公債及軍票支弁ノ方法ニヨラシムルノ案ハ一見銘案ナルガ如キモ公債支弁ノ方法ハ既ニ再三試ミラレ失敗ニ了リタル所ニシテ要スルニ後ナキ即チ償還ノ途不確ナル公債ハ応募者ナク軍票モ亦引換準備ナケレバ流通困難デアル、若シ又公債ニシテ強イテ応募セシメ軍票ニシテ強イテ流通セシメ得ル事アリトスルモ結局奉天政府ノ背負込ミトナリ軍票ハ第二ノ奉票トナリ其ノ弊害タルヤ奉票増発ト選ブコトナイ、故ニ此ノ方法ハ奉票安定ヲ助クルガ如クシテ其ノ実素乱ヲ増スニ過ギナイ、北京ニ於ケル奉票ノ発行ハ其ノ一例デアル

六、張、奉天政府及官銀号ハ異身同体ニシテ張ノ行動奉天財政ノ遺線リ奉票発行ノ伸縮ハ不可分ノ関係デアル張ノ関外進出ノ場合ノ如キ殊ニ奉票増発ヲ必要トスル事ハ言フ迄モナイガ将来保境安民ノ方針ヲ採ル事トナリテモ種々ノ場合ニ於テ発行制限ヲ徹底のニ勵行スル事ハ不可能

州地方ノ通貨ハ幾多ノ興亡變遷ヲ經タルニモカカハラズ滿州ノ經濟貿易ハ屢々トシテ発達シ自ラ通スル途ガアルモノト認メラル、上海、天津、漢口等ノ開港場モ一步踏ミ出セバ各種ノ貨幣流通シ然カモ貿易ニハ自ラ適當ノ貨幣ガ選バレテ十分ノ便宜ヲ足シテ居ルノデアル、奉票モ此レト等シク自然ニ放委セバ貿易ニ必要ナル貨幣ガ自ラ発達シ流通スルニ至リ奉票ノ流通範圍漸然狹マリ例ヘバ金票鈔票等益々多ク流通スルニ至ルベキデアアラウ

十、若シ又通貨安定ヲ飽迄希望スルトシテモ寧ろ現状ニ於テ手ヲフレズ奉票ノ益々下落シテ例ヘバ相場千、二千進ンデ万或ハ其レ以上トモナル様ノ場合ニ至リ施設ヲ試ミル事遲シトセス却テ策ノ得タルモノナルヤモ知レズ例ヘバ流通額現在ノ二倍トナレバ相場ハ二千トナルヤモ知レズ、四倍トナレバ一万ニナルヤモ知レズ即チ整理ニ要スル資金ノ割合ハ実例ニ照セバ通減シ從テ整理ガ容易ニナル訳デアル独乙ノマークノ如キハ其ノ一例デアル

十一、奉票ヲ軍費ニ支出シテ増発ヲナスハ最悪ノ場合ナルガ此レヲ特産物搬出ノ場合ニ奧地ニ投下シ其ノ特産物ヲ開港場ニ売り放チ以テ金票鈔票ヲ收納シ更ニ此ノ金票鈔

ナルノミナラズ或ハ必ズシモ得策ニアラサル場合ノ發生スル事モ想像セラル

七、仮リニ一步ヲ譲リ此ノ際奉票發行準備成リ発行制限ノ諒解確立スルトセンモ張ニ於テ危急存亡ノ際ニ於テ約束ヲ敵守スル事ハ事実不可能ナラサルヘキカ換言スレバ其ノ運命ヲ奉票価値維持ノタメニ犠牲トスル事ハ敢テセヌデアラウ

八、前項ノ如キ場合ハ勿論其ノ他必要ニ応ジ奉天当局ガ奉票増発ヲナサントセバ監督ヲ潜リ発行スル方法ハ幾干デモアル結局発行制限ノ約束ヲ履行スル誠意ノ程度ガ問題デアリ此ノ誠意ノ継続ガ事実上不可能デアルト言フ事ニ帰スルノデアル

九、根本問題トシテ奉票ノ安定ガ絶対的必要ナルヤト言フニ或ハ必ズシモ然ラサルヤ知レヌ、勿論滿州ノ如キ密接特種ノ關係アル境土ノ幣制ガ整頓シ安定スル事ハ万々望マシキ事ニ相違ナキモ現在ノ支那各地ノ状況ニ照シ奉票不安定ナルハ殆ンド当然ノ成リ行キニシテ避クベカラザル現象デアルヤモ知レヌ、而シテ奉票ノ一高一下ガ往々經濟上ノ障害ヲ來タス事勿論ナルモ過去ヲ達觀スレバ滿

票ヲ以テ奉票ヲ買収スルハ当局ノ慣用手段ニシテ恐ラク其ノ利益ガ奉天省歳入ノ重要部分ヲナスノデアル、此ノ点発行制限ヲナスニ最モ困難ナル事情タル事ハ考慮ヲ要スル

十二、従前ノ牛莊ノ過爐銀、天津ノ撥兌等其ノ規模ノ大小コソアレ奉票ト同様ノモノデアルガ自然淘汰ニヨリ今デハ殆ンド通貨トシテ存在セズ、滿州ニ於テモ既ニ取引ニ奉票ヲ用ユル事ヲ避クル傾向ガ顯著デアル故ニ此ノ際奉票ノ信用復活ヲ計ルハ或ハ時代錯誤ニシテ寧ろ成リ行ニ委スル方得策ナルヤモ知レズ

六八一 十一月二十二日 木村亞細亞局長 会談要領

東三省財政整理問題ニ関スル件

付記一 十一月二十二日付大倉組門野重九郎ヨリ木村

亞細亞局長宛書簡

本溪湖事業ニ関スル件

二 十一月二十六日亞細亞局作成調書

奉天派ノ江北進出ト其ノ対策ニ関スル件

三 昭和二年四月十六日関東庁警務局長ヨリ出淵

外務次官他宛関機高収第八三三〇号ノ二

張作霖ノ大倉組ヘノ借款申入ニ対スル岩瀨煤
鉄公司總弁ノ内話報告ノ件

本溪湖問題ニ関スル木村局長大倉門野会谈要領

一、十一月二十二日大倉門野木村局長ヲ来訪シ最近奉天側
ヨリ大倉支店ヲ通シ頻リニ借款ヲ迫リ居レル処大倉ト張
作霖トノ關係ハ御承知ノ通ニテ大倉老人トシテハ之以上
不即不離ノ態度ヲ持シ得サル事情アリ從テ今回門野ニ於
テ天津奉天方面ニ旅行スルニ就テハ自然張作霖楊宇霆ト
会谈ノ節何トカ応答セサルヲ得サル次第ナリト述ヘタル
ニ付

木村局長ハ

東三省財政整理問題ニ関スル吉田總領事交渉ノ一端ヲ語
リ目下張ヨリ楊ヲ通シテ漸ク日本側ノ誠意ヲ覺リ其ノ財
政狀態ヲ披露シテ我方ノ救援ヲ求ムルノ域ニ達シタルヲ
以テ政府トシテモ之ニ対シ何等カノ決心ヲ以テ望ムノ必
要ヲ認ムルニ至レリ但シ此ノ際政府殊ニ預金部ノ援助ヲ
求ムルコトハ到底不可能ナルヘキヲ以テ滿鉄其ノ他滿州
ニ特殊ノ利害關係ヲ有スル諸会社資本家ヲ物色シテ一定
ノ条件ノ下ニ相当ノ金額ノ支出ヲ求メ財政整理ノ借款ニ

大正十五年十一月二十二日

大倉組 門野 重九郎

外務省

亞細亞局長 木村 銳市殿

拜啓

本日ハ參上御邪魔申上候其節御話ノ本溪湖事業ニ就キテ
ハ

(一)營業年限ノ延長

現合弁契約ニテハ期限大正二十九年末ニ相成居リ余ス処十
四ヶ年ニ有之候ニ付現契約期限滿了後少クモ更ニ三十ヶ年
延長致シ置キ度ク

(二)同地ノ事業經營ヲ日本側ニ委任スル事

支那側役員職員等ノ或モノハ名目ヲ存シ俸給ヲ支給ノ事ト
致シ実質上ノ經營ヲ日本側ニ委任セシメ度ク

(三)当初ヨリ承認シアル隣接石炭鉱区ヲ完全ニ公司ニ
与フル事

合弁契約成立以來毎々公式ニ確定セントシツツ未タ其運ニ
至ラサル現公司所有鉱区ノ隣接石炭鉱区ヲ完全ニ公司ノ所
有ニ致シ度ク

付テハ更ニ特別ノ条件ヲ付シテ之ニ応セシムルノ案ヲ必
要トシ居ル際ナリ故ニ大倉側ニ於テモ政府ノ此ノ方針ニ
添フ様進マレタク吉田總領事モ態々右ノ為帰朝シタル次
第ナレハ此ノ際大倉側ニ於テハ奉天側トノ關係ヲ絶タサ
ルト同時ニ同当局ニ対シテハ大倉トシテハ政府ノ方針ニ
反スル訳ニ行カサレハ政府ト話ヲ進メラレタク政府トノ
話サヘツカハ大倉トシテ考量スルニ吝ナラストノ趣旨ニ
テ応酬シ置カレタシト述ヘタルニ

門野ハ至極同感ノ意ヲ表シタルニ付木村局長ハ話題ヲ転
シテ門野ニ対シ

東三省財政整理借款問題ニ関シ滿鉄其他ニテモ応スルト
セハ大倉ニテモ一口参加シ得ヘキヤヲ問ヒタルニ門野ハ
確定ナル保証サヘアラハ大体五百万円位借款ニ応スルニ
異存ナク之ニ対スル交換利益トシテ差當リ(一)本溪湖ノ合
弁延長及(二)同事業ノ委任經營ニシテ此ノ場合支那側ノ出
資ニ対シテハ配當ヲ保証スル考ナリト述ヘタリ

(付記一)

十一月二十二日付大倉組門野重九郎ヨリ木村亞細亞局長宛書
簡

本溪湖事業ニ関スル件

以上ノ三点カ満足ニ參リ候様ナレハ目下御考慮中ノ奉天財
政整理借款ニ参加カ又ハ独立ニ微力ナカラ大ニ奮発可仕存
念ニ御座候間隨時御方針ノアル処ニ依リ御指示ノ下ニ好機
ヲ相待チ可申候

敬具

(付記二)

十一月二十六日亞細亞局作成調書

奉天派ノ江北進出トソノ対策ニ関スル件

付屬書 東三省財政整理対策

奉天派ノ江北進出ト之カ対策ニ関スル件

奉天派ニ於テハ依然トシテ関内ノ軍事並地盤擴張ニ腐心シ
東三省ノ財政殊ニ奉票問題ノ窮況ニ対シテハ単ニ表面ヲ糊
塗スルノミニシテ何等実質アル整理計画ヲ樹ツルコトナク
而シテ最近ニ至リテハ北伐軍ノ進出吳孫ノ没落ヲ機トシ江
北ニ進撃シテ北伐軍ト正面衝突ヲ演出セムトスルノ觀アリ
仍テ思フニ此ノ際奉天軍ノ南下ヲ阻止スルカ如キハ極メテ
困難ナルヘシト雖奉天軍ノ無節制ニ伴フ彼我双方ノ危厄ヲ
予防セムカ為ニハ去ル四月対張警告ノ後ヲ追ヒ適宜我在支
公使又ハ關係地方帝國領事ヲシテ左ノ措置ニ出テシムルコ
ト可然ト思考セラル

(一)奉軍ノ江北ニ於ケル地位ノ危険ナルヲ如実ニ説明セシメ
同軍ニ於テ江北ニ対シ一定ノ地盤ヲ擴張シタル上ハ反奉
軍ニ対シ速ニ妥協的態度ニ出テ以テ其ノ地位ヲ保持スル
ト共ニ戦乱ノ拡大ヲ防クニ努メシムルコト

(二)而シテ東三省ニ於テハ奉天当局ヲシテ差当リ財政ノ整
理、鐵道網ノ完成ニ意ヲ注キ以テ其ノ勢力ノ充實ニ力ヲ
致サシメ之カ為ニハ別紙第一号ノ方法ニ依リ我方ニ於テ
財政の技術的援助ヲ与フルコト

尚山東省ノ關係ニ於テモ右ノ方針ニ準シ差当リ同地方支
那当局ヲシテ最近閣議通過ノ山東積極策(別紙第二号)
ヲ実施ニ応セシムルコト

(付屬書)

(別紙一)

東三省財政整理対策

東三省ノ財政整理問題ニ付テハ曩ニ閣議決定ノ通先ツ以テ
整理ノ具体案ヲ考究シ然ル後必要ニ応シ資金ノ調達ニ從事
スルヲ当然ノ筋合トスヘキモ最近吉田總領事ト奉天当局ト
ノ懇談ノ經過ニ徴スルニ先方ニ於テモ何等借款ノ供給ヲ受
クル目当ナクシテハ到底我方ニ対シ其ノ財政状態ノ調査ヲ

款ニ応スルニ躊躇セサルヘク

結局之等会社ヲ通シ合計千五百万円乃至二千万円ノ借款資
金ヲ収集スルコト然迄困難ナラサルヘント思考セラル就テ
ハ右ノ含ヲ以テ昨今奉天側ニ於テ漸ク我真意ヲ諒解シ来レ
ル此ノ機ヲ逸セス我金融界ノ相当ナル専門家ヲシテ東三省
ノ財政状態調査ニ從事セシムルコトトシ而シテ同専門家ノ
三省財政改革具体案成ルト相前後シテ同人ヲシテ前記(イ)(ロ)
(ハ)諸会社ノ希望ニ対スル奉天側ノ意向ヲ付度セシメ其ノ結
果政府ニ於テ奉天側力右ニ応諾ノ意向アルコト並右財政改
革案遂行ノ誠意アルコトヲ認メタルトキハ之等諸会社ヲシ
テ本件財政整理借款ニ関スル限リ一種投資組合ヲ組織セシ
メ該組合ヲシテ政府ノ指導並我財政専門家監督ノ下ニ奉天
側トノ間ニ借款契約ヲ締結セシムヘク而シテ同契約ノ実施
ニ当リテハ奉天側ヲシテ我財政専門家ノ監督ヲ受ケシムル
コト

編註 別紙第一号見当ラス

(付記三)

昭和二年四月十六日関東庁警務局長ヨリ出淵外務次官他宛開
機高収第八二三〇号ノ二
張作霖ノ大倉組ヘノ借款申入ニ対スル岩瀨煤鉄公司總弁ノ内

委スルノ意思ナキコト殆ント明瞭トナリ斯クテ奉天当局ヲ
シテ其財政政策殊ニ奉票問題ニ付キ從來ノ弥縫手段ヲ継続セ
シムルモ結局自他ニ益ナク我特殊地域ノ康寧ヲ期スル所以
ニアラサルヲ以テ此ノ際我方トシテハ一定ノ財政整理借款
ニ応スルノ覚悟ヲ以テ東三省ノ財政調査ニ從事スルノ必要
ヲ認ムルニ至レリ而シテ其ノ財源ニ就テハ之ヲ政府ニ求ム
ルコトハ困難ナルヘキモ東三省内ニ特殊ノ利害關係ヲ有ス
ル諸会社ヲシテ之ニ応セシムルノ見込ナキニアラス現ニ

(イ)大倉組ニ於テハ別添亜局長ト門野トノ会谈録及同局長宛
門野書簡ノ通此ノ際本溪湖問題ヲ解決シ得ルニ於テハ右財
政整理目的ノ為五〇〇万円位ノ借款ニ応スルニ客ナラサル
態度ヲ示シ又

(ロ)満鉄ニ於テモ此ノ際支那側トノ間ニ其ノ計画セル諸鐵道
ニ関スル契約ヲ確定シ得且支那側ヨリ正当ナル担保ノ提供
ヲ受クルニ於テハ此ノ担保ニ対スル投資ノ形式ニ依リ五百
万円位ヲ支出シ右財政整理借款ニ応スルモ厭ハサルヘク尚
(ハ)最近悲境ニ在ル東亜勸業ニ於テモ東三省新設鐵道ノ沿線
土地開放並之ニ対スル一定ノ使用収益權獲得ヲ条件トスル
ニ於テハ此ノ際右財政整理ノ為五〇〇万円乃至千万円ノ借

話報告ノ件

開機高収第八二三〇号ノ二

(昭和二年四月二十一日外務省接受)

昭和二年四月十六日

関東庁警務局長

内閣 拓殖局長 殿
外務 次官 殿
関東軍 參謀長 殿
関東憲兵 隊長 殿
満鉄 情報課長 殿
支那側煤鉄公司ヲ抵当ニ大倉組ニ対シ借款申込ノ
内情

首題ノ件ニ関シ岩瀨煤鉄公司總弁ノ洩セル処左ノ如シ
北京ニ在ル張作霖ハ戰費涸渇ノ為メ莫省長官銀号等ニ対
シ頻リニ現銀ノ輸送方ヲ電命シ来ル為メ總有手段ヲ講シ
送金シツツアリト雖モ到底其ノ要求ヲ充シ得ヘキ方法ナ
キニ窮シ今回奉天總領事ト会見ノ機会ニ於テ顧問等ノ手
ヲ經テ大倉組關係ノ向ヘ借款ヲ申入タルハ事実ナリ
本件ニ関シテハ客年四月頃支那側ヨリ五百万円借款ヲ申

出タルコトアリ当時奉天ニ於テ支那側ト折衝自自分カ昨秋案ヲ提ケテ上京シタルモ當時政府ノ高等政策タル「南滿ニ於ケル商租權、東拓並ニ精糖会社等ノ土地問題其他ノ諸懸案ト共ニ当公司ノ大倉ニ委任經營モ之ト一括シ政治借款ヲ為ス方針ノ下ニ当公司ノ局部的借款ハ一頓挫ノ儘今日ニ及ヒタルモノナルカ省長其他ノ要人等ヨリ屢々河野北京駐在大倉代表在奉河本支店長並ニ自分等大倉關係者ニ對シ經濟借款ヲ申入レ又ハ懲慝スルコトアルモ大倉トシテハ本國政府ノ命無キ限リ單獨ニ部局的經濟借款ヲ締結スルコト能ハサル立場ニアルノミナラス目下大倉トシテハ本交渉ヲ積極的ニ進ムルハ從來大倉組ノ對支投資ノ方針トシテ一官辺ノ中心人物ト提携セス真ノ日支提携利源ノ開發ヲ主眼トシテ之ヲ行ヒ来リタル為メ支那側上下ニ比較的党派ノ如何ヲ問ハス好感ヲ以テ迎ヒ来ラレタルハ常ニ誇トシ来リタル処ナルヲ以テ今俄ニ從來ノ方針ニ依ラスシテ之ニ応セムカ火事場泥棒的ニ猜疑セラレ或ハ北方援助ノ誹謗ヲ受ケ將來大倉組ノ對支投資ニ甚シキ禍根ヲ貽スモノナルヲ以テ大倉組ニ於テハ飽迄受動的ニ応酬スルコトトシ本國政府力之ヲ認メ而シテ確實ナル

六八二 十二月七日 在奉天蜂谷總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛

米國ヘ発注ノ奉天新票到着ノ件

公第八九六号 (十二月十三日接受)

大正十五年十二月七日

在奉天

總領事代理 領事 蜂谷 輝雄(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

米國ヘ注文ノ奉天票到着ノ件

東三省官銀号カ予テ米國ニ注文シ置キタル新票二十二箱宮口ニ陸揚セラレ營口ヨリ京奉線ニテ本月二日着奉ノ旨警察報告アリタルヲ以テ取調タルニ客月二十九日大連埠頭積出しニテ十二月一日滿鉄線ニテ着奉シ同日東三省官銀号ニ引渡シタル荷出人米國トムソン商会荷受人東三省官銀号内容印刷物ト為シタルモノ四十五箱アリ奉天駅員ノ観測ニヨレハ右印刷物トハ奉天新票ヲ指シ其ノ數量一箱五十萬元合計二千二百五十萬元前後ナラントノコトナリ

右報告ス

本信写送付先 在支公使

抵当ヲ提供セサル限り之ニ応セサル方針ナリ又自分一個ノ想像トシテハ日本政府ノ方針トシテ南方ノ勢力今日ノ如ク増大セル折柄政治借款ヲ締結シ南滿ニ於ケル懸案ノ諸件ヲ一括解決スルコトハ特ニ列國環視ノ際北方援助ノ誤解ヲ招カスル虞アリトシ急速解決スル見込ナク從テ本問題モ当分未解決ノ儘ニ推移スルモノト思料セラル

尚ホ公司内支那側幹部カ事毎ニ猜疑ノ眼ヲ以テ之ニ臨ミ事業ノ執行ニアリテモ支那側ハ邦人側ニ邦人側ハ支那側ニ互ニ氣兼ねスル為メ決定ヲ躊躇シ曠シク時日ヲ遷延シ為ニ經營上多大ノ悪影響アルノミナラス支那側ハ滿鉄ヨリ鐵道運賃ノ減額ノ形ヲ代ヘタル産業助成金ノ交付ノ如キスラ徒ニ体面論(裏面ハ更ニ或種ノ利權ヲ要求スルニアラスヤト猜疑シ体面論ニ結ビ付)ヲ以テ之カ受領ニ反對スルカ如ク事業ノ遂行ニ障害アル現状ナルヲ以テ要求ノ借款ニ応スルニハ絶好ノ機會ナルヲ以テ此際之ニ応シ經營ヲ委任大倉ノミニ依リテ經營スルヲ希望スルハ勿論ナリ云々

六八三 十二月二十八日 在ハルビン天羽總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

大洋票ノ価額維持ノタメ金円ヲ排斥セントス

ル張煥相行政長官ニ警告ヲ与ヘタル件

第三二〇号(至急) (十二月二十九日接受)

往電第三一七号ニ関シ(大洋票価額維持策ニ関スル件)

張行政長官ハ其後(一)金円ト大洋票トノ交換ヲ禁止シ(二)錢鈔交易ヲ停止シ(機密第九六七号拙信中外國兌換所設立ノ模様ナシ)(三)支那商人ニ對シ金貨ノ受入ヲ禁止シ(四)支那及露國商人ニ對シ商品ヲ大洋建ニスルコトヲ命令シタリトノ情報アリ金円ノ流通ニ對シテ微細ナル干涉ヲ為シ漸次金円排斥ノ形跡顯著トナリタルカ故ニ二十八日張長官ヲ往訪長時間ニ亘リ懇談ヲ遂ケ同時ニ文書ヲ以テ警告ヲ与ヘ置ケリ其際張長官ハ今回ノ措置ハ張作霖ノ命令ニ依リ大洋票価額維持ヲ目的トシ金円排斥ハ勿論ナルカ目下ノ処当地方ノ貨幣流通ハ大洋票二千五百萬元ト金円五千万円トニシテ大洋票ハ金円ノ二分ノ一ニ過キササルカ故ニ大洋票ノ流通擴張ヲ計ラサレハ其価額ヲ維持スルコト困難ナル事情アリ自然大洋票価額ノ維持カ其結果ニ於テ金円流通制限トナリタルハ遺憾ナルモ右(一)乃至(四)ノ制限ハ未タ訓令セル事實ナク商人カ

不安ヨリ自発的ニ差控ヘ居ル次第ナリト弁明セリ但現在ノ支那官憲ノ遣口及張長官ノ口吻ヨリ察スレハ当地地方ニ於テ大洋票ノ流通ヲ計ラムカ為ニ金円ヲ駆逐セムトスル意向アルハ明ニシテ今ノ儘ニ推移スレハ北滿ハ勿論南滿ニ於ケル我經濟的地位ニ深甚ナル影響ヲ及ホスヘシ

北京、奉天ヘ転電シ、長春、齊齊哈爾ヘ暗送セリ

六八四 十二月二十八日

在ヘルビン天羽總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

金円排斥問題ノ解決ハ張作霖ニ対スル根本政

策ト関連ノ件

第三二二号(至急)

(十二月二十九日接受)

往電第三二〇号ニ関シ

張煥相ハ国幣使用名目ノ下ニ金円ヲ排斥セムトスル意向アリシハ前回ノ場合本官ノ抗議ニ対スル回答ニ依リ察知シ得ヘキカ(十一月八日付拙信第八六五号)今回ノ如キ激烈ナル手段ニ出テタルハ張作霖ノ命令ニ基キ過般奉天ニ於テ打合ハセタル結果ニシテ相当ニ鞏固ナル決心ヲ有スルカ故ニ此際本官ヨリノ懇談若ハ一片ノ抗議位ニテハ左シタル効果ナカルヘク先ツ本元ノ張作霖ヲ動かスト共ニ背後ニ強キ威

力ヲ以テ交渉ニ臨ムニアラスムハ反省セシムルコト能ハサルヘシ然ルニ元来金円排斥ハ利権回收運動ノ一発露ナルモ主トシテ大洋票ノ下落ニ基キ大洋票ノ下落ハ大洋票ノ濫発ニ依リ大洋票ノ濫発ハ奉天派軍費用ノ膨張ニ起因スルモノナルカ故ニ張作霖ノ関内進出ヲ止メサル以上本問題ノ根本解決策ニ触レタリト言フヘカラス而シテ張作霖関内進出ニ対シテハ帝國政府トシテモ屢警告ヲ与ヘタル由聞及ヒタルカ他方ニ於テ滿鉄ハ奉天軍隊ヲ輸送スルカ如キ政府ノ方針ハ政府監督ノ機關ニ対シテスラ徹底セサルモノアリ近來東三省支那官憲ノ態度益々増長我對支交渉一トシテ渋滞セサルモノナキハ種々ノ原因ニ依ルモノアルニ起因スルヤニ見受ケラル北滿金円排斥問題交渉カ成功スルヤ否ヤモ一ハ我政府ノ奉天官憲ニ対スル態度如何程迄鞏固ナルヤ否ヤニ係ル

北滿ニ於ケル金円流通ハ条約上ノ根拠ナク正面ヨリ強ク抗議シ能ハサル事実ニ鑑ミ世上一片ノ文書ノ抗議ニ止ムヘキカ將又金円流通ノ禁止ハ滿州ニ於ケル我經濟上ニ深甚ナル影響ヲ及ホスヘキカ故ニ何処迄モ之カ流通ヲ企図スヘキカ若シ政府ノ方針後者ニ在リトセハ奉天派ニ對シ有ラユル威

第三二二号

(十二月三十一日接受)

往電第三二二号ニ関シ

庄ヲ加ヘテ反省ヲ促スノ覚悟アリヤ右ハ独リ北滿ノ問題ニ止マラス一般奉天派ニ對スル關係ニ影響シ我對支關係ノ全局ヲモ慮慮決定スル必要アルニ付本問題ノ対策ニ関シ至急何分ノ饒御回訓ヲ仰ク

北京、奉天ニ転電セリ

六八五 十二月三十日

在ヘルビン天羽總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

張煥相ノ大洋票ト外国貨幣ノ交換禁止令ニ對

シ領事団会合ノ上撤回方抗議シタル件

付記一

昭和二年一月十一日在ヘルビン天羽總領事發

幣原外務大臣宛電報第一三三

張長官ヘノ対応策ニツイテ在中國公使宛電請

転電ノ件

二

昭和二年一月十五日着在ヘルビン天羽總領事

發幣原外務大臣宛電報第一四

金円排斥問題本邦輿論ニ鑑ミ稍々緩和セラレ

タル件

三

昭和二年一月十八日在中國芳沢公使發幣原外

務大臣宛電報第九一

楊宇霆來訪ノ際張煥相ノ措置ニツイテ注意喚

起セル旨在ヘルビン總領事宛回答転電ノ件

支那官憲ハ支那及露國商人ニ對シ来年一月一日ヨリ總テノ商品ヲ大洋建ニ變更セン事ヲ強制シ商業界ニ混乱ヲ与ヘ居ルカ故ニ三十日領事団会合ノ結果本官ハ首席領事トシテ張煥相ニ對シ張長官カ大洋票ト外国貨幣トノ交換ヲ禁止スル命令ヲ出シ且ツ貨幣ノ交換及取引ニ對シ急激ナル變更ヲ与ヘ商業上ニ惡影響ヲ及ホシ居ル事實ニ付注意ヲ喚起スルト共ニ之ニ抗議シ斯ノ如キ措置ヲ撤回セン事ヲ要求スル旨ヲ申入レ置キタリ

在支公使、奉天、長春、齊齊哈爾ヘ転電セリ

(付記一)

昭和二年一月十一日在ヘルビン天羽總領事發幣原外務大臣宛

電報第一三三

張長官ヘノ対応策ニツイテ在中國公使宛電請転電ノ件

第一三三

(昭和二年一月十二日接受)

本官發在支公使宛電報第一〇

張長官ノ金円排斥手段ハ往電第一一〇号ノ如ク多少緩和セラレタルモ露支商人ノ金円受入、金円ト大洋票トノ交換及錢

莊交易所ニ於ケル金円ノ上場ヲ禁スル等依然金円駆逐ニ付テハ手ヲ緩メス結局張長官ノ更迭ヲ見ルニ非サレハ解決困難ナル可ク他方今回張煥相ノ日本ニ対スル高圧政策ヲ其儘看過スル時ハ今後対支交渉上ニモ多大ノ支障ヲ来タス可キノミナラス煥相ノ如キ極端ナル利権回収ヲ執ルニ於テハ早晩我滿州政策ノ故障トナル可キカ故ニ平素煥相ト懇意ナル本官並ニ当地滿鉄及陸軍代表者ニ於テモ此際其没落ヲ絶対ニ必要ト認ムルニ一致シ夫々各方面ニ渡リ付ケテ運動ヲ開始シタルト同時ニ十日開催ノ当地商業會議所及在留民會連合会モ地方官憲ノ非違糾弾ヲ決議シタル次第モアルニ付テハ張作霖、楊宇霆ト御會見ノ際好機會アラハ右御含ヲ以テ然ル可ク御注意アリタク又通信及新聞紙同宣伝方然ル可ク御取計相成様致シタシ

外務大臣ヘ転電シ奉天ヘ暗送セリ

(付記二)

昭和二年一月十五日着在ハルビン天羽總領事宛幣原外務大臣宛電報第一四号

金円排斥問題本邦輿論ニ鑑ミ稍々緩和セラレタル件

第一四号

十四日古沢力子冲漢ノ希望ニ依リ會見シタルニ于督弁ハ金

取引ノ最有効ナル仲介トナレル我円金ノ通用ヲ妨害スルカ如キハ全ク經濟ノ原則ヲ無視セルノ処置ニシテ日本商人ノ迷惑損害一方ナラサルノミナラス支那人自身モ亦同様迷惑及損害ヲ被リツツアル次第ニテ張ノ措置殆ト正氣ノ沙汰ナルヤヲ疑ハサルヲ得スト述ヘタル処楊ハ自分ハ好ク之ヲ諒解セリ実ハ数日前張將軍ヨリ張煥相ニ対シ用語ハ抽象的ナ

円排斥問題ニ対スル日本輿論激昂ニ鑑ミ十二日及十三日張長官及支那側金融業者ト會合ノ結果(一)傅家甸(支那街)ニ於ケル金円売買ハ以前ノ通りトシ(二)特別区(外國人住居区域)内ハ露支商人用金円受入ハ暫ク許シ難キモ金融業者ノ金円売買ハ自由ニスル事ニ決シタリ張煥相ノ命令カ其儘実行シ難カル可シト述ヘタル由

右ハ日本諸新聞ノ反響及民會長北京行等ノ為緩和セントスル積ナル可シ

在支公使ヘ転電シ奉天ヘ暗送セリ

(付記三)

昭和二年一月十八日在中国芳沢公使宛幣原外務大臣宛電報第一号

楊宇霆來訪ノ際、張煥相ノ措置ニツイテ注意喚起セル旨在ハルビン總領事宛回答転電ノ件

第九一号

(昭和二年一月十九日接受)

本使宛在哈爾濱總領事宛電報

第一号

一月十七日楊宇霆來訪ノ節本使ハ同人ニ対シ張煥相カ哈爾濱ニ於テ大洋票ノ価格ヲ維持セムトスル精神ハ諒トスヘキモ之カ為警察力又ハ其他ノ手段ニ依リ多年ノ間流通シテ商

リシモ方法ノ誤レルコトヲ電報シタルカ右ハ張ノ面目ヲモ考ヘ用語ヲ抽象的ニ為シタル迄ニテ其ノ意味ハ従前ノ事態ニ復歸スヘシト言フノ意味ナリ猶自分奉天ニ歸リタル上張ニ面會ノ節親シク説示スル処アルヘシト答ヘタリ

大臣ヘ転電セリ